

玄海原子力発電所

第 4 号機

点検計画

計画期間中における点検の実施状況等

(第 1 4 保全サイクル)

点検計画の記載について

1. 点検計画については以下の方針に従い記載している。

(1) 記載している設備について

点検計画には発電所設備の主要機器として、以下の設備を対象に記載している。

① 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の14に規定する技術基準が適用される設備

a. 定期事業者検査の対象となる設備

b. 実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則別表第二において、設計及び工事の計画に記載が要求されている設備^{*1}（事後保全を実施する資機材等を除く）

② 保全重要度が高い設備

※1：基本設計方針にのみ記載する設備も含む

(2) 記載している点検について

点検計画には上記設備の主要な点検として、以下を記載している。

- ・定期事業者検査に係る点検
- ・定期事業者検査の都度性能維持のための措置を伴う点検
- ・定期事業者検査に係る点検の実施頻度より短い実施頻度で行う性能維持のための措置を伴う点検
- ・記載対象設備において、上記に該当する点検が無い設備については主要な点検

上記以外の点検（主要機器の上記条件以外の点検や附帯設備^{*2}の点検等）については、「**保守基準（3，4号）**」及び「**玄海原子力発電所 土木建築基準**」に基づき策定している。なお、基本的に設計基準事故及び重大事故等、双方に対処する設備は、点検計画の設計基準事故対処設備等に記載し、重大事故等にのみ対処する設備は、重大事故等対処設備に記載している。

※2：附帯設備の例

潤滑油、潤滑水、シール水、冷却設備、電源、制御回路、オリフィス、レギュレータ、フローグラス等

(3) 保全重要度について

「**保守基準（3，4号）**」及び「**玄海原子力発電所 土木建築基準**」の考え方に従い、「高」又は「低」の何れかで表記している。

なお、保全重要度「高」の設備については、保全方式として予防保全のうち時間基準保全を選定し、事後保全は選定していない。

(4) 保全方式について

保全方式について以下のとおり記載している。

- ・時間基準保全を採用しているもの：点検頻度

(5) 点検頻度について

次の整理により「M」：月、「C」：保全サイクル、「Y」・「F」：年度及び「年間」で表記している。

- ・性能維持のための措置を伴う点検及びそれに伴い実施する点検については、「M」又は「Y」により表記している。なお、記載した頻度は、運転期間（総合負荷性能検査から解列）に対応した値を示している。また、複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目については、その点検頻度の最短から最長を記載している。
- ・性能維持のための措置を伴わない点検については、「C」^{※3}又は「F」^{※3}により表記している。
- ・供用期間中検査のように年管理するものについては、「年間」により表記している。
- ・このほか「**「**（3，4号）」に従い管理する肉厚測定は、検査箇所ごとの管理となるため、本表では、「余寿命による」と表記している。

※3：「C」又は「F」により表記しているものは、性能維持のための措置を予定していない点検であり、劣化進展がごく軽微なため、分解・開放点検や定期事業者検査停止時期に合わせた実施管理が適しているものを対象にしている。

(6) 点検時期について

設計基準事故対処設備等の点検については、「定検起動後」^{※4}、「プラント運転中」^{※4}の表現により、備考欄に実施時期を記載している。

なお、これらの記載がないものについては、「定検停止中」^{※4}に実施することとしている。

※4：「定検起動後」、「プラント運転中」、「定検停止中」のプラント状態は、以下のとおり。

- ・「定検起動後」とは、原子炉起動後の定期事業者検査期間中をいう。
- ・「プラント運転中」とは、原子炉の運転中（定期事業者検査期間を除く。）をいう。
- ・「定検停止中」とは、定期事業者検査のための原子炉の停止中をいう。

(7) 状態監視方法の記載について

保全方式として時間基準保全を選定した機器については、保全をより充実する観点で採用している状態監視技術について方法・頻度を備考欄に記載している。

(8) 今回の実施計画について

第14保全サイクル中に点検を計画するものに「○」を記載している。

なお、複数の機器や複数のタスクをまとめて記載した項目については、本保全サイクル中に一つでも点検の計画があれば「○」としている。

簡易点検については、点検内容が分解点検・開放点検に包含されるが、分解点検・開放点検を実施する場合についても「○」と記載している。

(9) 前回実施時期について

当該点検の前回実績（定検回数又は実施年度）を記載している。

目 次

1. 点検計画 設計基準事故対処設備等(1/2)

機器又は系統名	ページ
原子炉本体（炉心）	1/85
原子炉本体（原子炉容器）	1/85
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設（燃料取扱設備）	1/85
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設（使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備）	1/85
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設（燃料取替用水設備）	2/85
原子炉冷却系統施設（一次冷却材の循環設備）	2/85
原子炉冷却系統施設（主蒸気・主給水設備）	5/85
原子炉冷却系統施設（余熱除去設備）	12/85
原子炉冷却系統施設（非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備）	15/85
原子炉冷却系統施設（化学体積制御設備）	21/85
原子炉冷却系統施設（原子炉補機冷却水設備）	27/85
原子炉冷却系統施設（原子炉補機冷却海水設備）	33/85
原子炉冷却系統施設（原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置）	34/85
計測制御系統施設（制御材）	34/85
計測制御系統施設（制御棒駆動装置）	35/85
計測制御系統施設（ほう酸注入機能を有する設備）	35/85
計測制御系統施設（制御用空気設備）	37/85
計測制御系統施設（その他設備）	39/85
計測制御系統施設（発電用原子炉の運転を管理するための制御装置）	41/85
放射性廃棄物の廃棄施設（気体、液体又は固体廃棄物処理設備）	41/85
放射性廃棄物の廃棄施設（原子炉格納容器本体外の廃棄物貯蔵設備又は廃棄物処理設備からの流体状の放射性廃棄物の漏えい検出装置又は自動警報装置）	44/85
放射線管理施設（放射線管理用計測装置）	44/85
放射線管理施設（換気設備）	44/85
原子炉格納施設（原子炉格納容器）	56/85
原子炉格納施設（圧力低減設備その他の安全設備）	56/85
原子炉施設（その他設備）	60/85
蒸気タービン（車室、円板、隔板、噴口）	63/85
蒸気タービン（調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁）	63/85
蒸気タービン（復水器）	65/85
蒸気タービン（蒸気タービンに附属する熱交換器）	66/85
蒸気タービン（蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備）	67/85
蒸気タービン（蒸気タービンに附属する管等）	74/85
その他発電用原子炉の附属施設（非常用電源設備）	75/85
その他発電用原子炉の附属施設（常用電源設備）（発電機、変圧器 他）	81/85
その他発電用原子炉の附属施設（非常用電源設備）（その他の電源装置）	82/85

1. 点検計画 設計基準事故対処設備等(2/2)

機器又は系統名	ページ
火災防護設備（消火設備）	84/85
火災防護設備（その他設備）	84/85
浸水防護設備（外郭浸水防護設備）（内郭浸水防護設備）	85/85
浸水防護設備（その他設備）	85/85
非常用取水設備（取水設備）	85/85
土木建築設備	85/85
プラント総合全般機器	85/85
竜巻防護設備	85/85

2. 点検計画 重大事故等対処設備

機器又は系統名	ページ
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設（使用済燃料貯蔵設備）	1/4
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設（使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備）	1/4
原子炉冷却系統施設（非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備）	1/4
原子炉冷却系統施設（原子炉補機冷却設備）	1/4
計測制御系統施設（計測装置）	2/4
計測制御系統施設（工学的安全施設等の作動信号）	2/4
計測制御系統施設（制御用空気設備）	2/4
計測制御系統施設（その他設備）	3/4
放射線管理施設（放射線管理用計測装置）	3/4
原子炉格納施設（圧力低減設備）	3/4
原子炉施設（その他設備）	3/4
非常用電源設備	4/4

3. 原子力規制委員会の内規に従い実施する点検計画

4. 長期保守管理方針に基づく点検計画

別紙ー1 クラス1機器、Ni基合金溶接部（供用期間中検査対象）

別紙ー2 クラス2機器（供用期間中検査対象）

別紙ー3 クラス2管（原子炉格納容器内）のうち

一次冷却材と同温・同圧の流体が流れる系統（供用期間中検査対象）

別紙ー4 重大事故等クラス2機器（供用期間中検査対象）

別紙ー5 重大事故等クラス3機器（供用期間中検査対象）

1.点検計画 設計基準事故対処設備等

機器又は系統名	実施教(機組名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保 全 方 式 又 は 順 度	今 回 の 実 施 計 画	前 回 実 施 時 期 (定 検 回 数)	検 査 名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
原子炉本体 (炉心)	再使用予定の燃料集合体 1式※	外観点検	高	1C	○	I3	GM-2 燃料集合体外部検査	※:炉心設計による
	取出し燃料集合体 1式※	外観点検	高	1C	○	I3		※:炉心設計による
	燃料集合体 199体							
	内挿物 1. 制御棒クラスト 2. フォトリフレクティブ 3. フォトリフレクティブ 4. 2次中性子源	外観点検	高	1C	○	I3	GM-3 燃料集合体炉内配置検査	※:炉心設計による
	原子炉本体のうち炉心	機能・性能試験	高	1C	○	I3	GM-81 炉物理検査 GM-4 原子炉停止余裕検査	定検起動後 定検起動後
	原子炉容器本体	開放点検	高	13M	○	I3		
	燃料移送装置	分解点検	高	13M	○	I3		一部プラント運転中
	燃料移送装置制御設備 1式	機能・性能試験	高	1C	○	I3		一部プラント運転中
	燃料取替クレーン	分解点検	高	13M	○	I3		
	燃料取替クレーン制御設備 1式	機能・性能試験	高	1C	○	I3		
	使用済燃料ピットクレーン	分解点検	高	13M	○	I3		一部プラント運転中
	使用済燃料ピットクレーン制御設備 1式	機能・性能試験	高	1C	○	I3		一部プラント運転中
	1. 燃料移送装置(コアインダクタラム) 2台 2. 燃料取替クレーン 3. 使用済燃料ピットクレーン	機能・性能試験	高	1C	○	I3	GM-36 燃料取扱装置機能検査	
	1. 新燃料エレベータ 2. 燃料取扱量少レーン	機能・性能試験	低	1C	○	I3	GM-75 燃料取扱設備検査	
	1. 燃料取替クレーン 2. 燃料移送装置 3. 使用済燃料ピットクレーン	機能・性能試験	高	1C	○	I3	GM-95 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	
1. 燃料取扱量少レーン 2. 新燃料エレベータ	機能・性能試験	低	1C	○	I3			
原子炉キャビティ	外観点検	高	1C	○	I3			
燃料取扱キャナル(炉心取替容器内/燃料取扱機内)	外観検査	高	1C	○	I3			
キャスクピット	外観検査	高	1C	○	I3			
新燃料貯蔵庫	外観検査	低	1C	○	I3			
1. 新燃料取扱工具 2. 使用済燃料取扱工具 3. 燃料取替ラック	外観点検	低	1C	○	I3	GM-95 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)		
使用済燃料運搬用容器 (NFT-1 4 P型 2 2号機)	外観点検	高	1F	○	2021年度			
使用済燃料運搬用容器 (NFT-1 4 P型 2 3号機)	外観点検	高	1F	○	2021年度			
使用済燃料ピット浄化給油設備	機能・性能試験	高	1C	○	I3	GM-99 使用済燃料貯蔵槽浄化給油系機能検査	使用済燃料ピット含む	
4 A 使用済燃料ピットポンプ	簡易点検(組入時他)	低	1Y	○	2021年度		プラント運転中	
4 A 使用済燃料ピットポンプ電動機	分解点検	低	4Y	○	2018年度		プラント運転中	
4 B 使用済燃料ピットポンプ	簡易点検(組入時他)	低	1Y	○	2021年度		プラント運転中	
4 B 使用済燃料ピットポンプ電動機	分解点検	低	4Y	—	2019年度		プラント運転中	
	4 B 使用済燃料ピットポンプ電動機	分解点検	低	4Y	—	2019年度		プラント運転中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保 全 方 式 又 は 頻 度	今 回 の 実 施 計 画	前 回 実 施 時 期 (定 検 回 数)	検 査 名	備 考 ()内は適用する設備診断技術	
核燃料物質の取扱施設及び附属施設 (燃料取扱用水設備)	4 A 使用済燃料ピット冷却器	開放点検	高	10Y	—	2021年度		プラント運転中	
	4 B 使用済燃料ピット冷却器	開放点検	高	10Y	○	2012年度		プラント運転中	
	4 A 使用済燃料ピットフィルタ	開放点検	低	10Y	—	2019年度		プラント運転中	
	4 B 使用済燃料ピットフィルタ	開放点検	低	10Y	—	2020年度		プラント運転中	
	4 A 使用済燃料ピット脱塩塔	外観点検	低	1C	○	13			
	4 B 使用済燃料ピット脱塩塔	外観点検	低	1C	○	13			
	0V-SF-011 4 A AM用 S F P ポンプ出口弁	駆動部点検		低	—	—	2016年度		プラント運転中
		分解点検			—	—	2016年度		
		機能・性能試験			—	—	2016年度	GM-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検			—	—	2016年度		
	0V-SF-094 4号 S F P 脱塩水補給ライン逆止弁	分解点検		低	130M	—	8	GM-87 1次系逆止弁検査	
		簡易点検(加入異他)		高	1Y	○	2021年度		プラント運転中 (稼動診断:切替後)
		分解点検			4Y	—	2021年度		
		機能・性能試験			4F	—	2021年度	GM-84 1次系ポンプ機能検査	
	分解点検		4Y		—	2021年度			
	4 A 燃料取扱用水ポンプ	簡易点検(加入異他)		高	1Y	○	2021年度		プラント運転中 (稼動診断:切替後)
分解点検			4Y		○	2018年度			
機能・性能試験			4F		○	2018年度	GM-84 1次系ポンプ機能検査		
分解点検			4Y		○	2019年度			
原子炉冷却系配管 (一次冷却材の循環設備)	燃料取扱用水ピット	開放点検	高	130M	—	13			
	4 A 蒸気発生器本体	開放点検(2次側管板上水を含む)	高	13M	○	13			
	4 B 蒸気発生器本体	開放点検(2次側管板上水を含む)	高	13M	○	13			
	4 C 蒸気発生器本体	開放点検(2次側管板上水を含む)	高	13M	○	13			
	4 D 蒸気発生器本体	開放点検(2次側管板上水を含む)	高	13M	○	13			
	4 A 蒸気発生器伝熱管 3,382本	非破壊試験	高	26M	○	12	GM-6 蒸気発生器伝熱管本体検査		
	4 B 蒸気発生器伝熱管 3,382本	非破壊試験	高	26M	—	13	GM-6 蒸気発生器伝熱管本体検査		
	4 C 蒸気発生器伝熱管 3,382本	非破壊試験	高	26M	—	13	GM-6 蒸気発生器伝熱管本体検査		
	4 D 蒸気発生器伝熱管 3,382本	非破壊試験	高	26M	○	12	GM-6 蒸気発生器伝熱管本体検査		
	4 A 1次冷却材ポンプ	分解点検	高	10年間	—	12		一部プラント運転中	
	4 A 1次冷却材ポンプ用電動機	機能・性能試験		高	1C	○	13	GM-93 1次冷却材ポンプ機能検査	一部定格起動後
		簡易点検(加入異他)			13M	○	13		
		分解点検			52M	—	12		
		分解点検			10年間	—	13		一部プラント運転中
	4 B 1次冷却材ポンプ	分解点検		高	1C	○	13	GM-93 1次冷却材ポンプ機能検査	一部定格起動後
		機能・性能試験			13M	○	13		
簡易点検(加入異他)			52M		—	12			
分解点検			10年間		—	13		一部プラント運転中	
4 B 1次冷却材ポンプ用電動機	分解点検		高	1C	○	13		一部定格起動後	
	機能・性能試験			13M	○	13			
	簡易点検(加入異他)			52M	—	12			
	分解点検			10年間	—	13		一部プラント運転中	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
4 C 1 次冷却材ポンプ	4 C 1 次冷却材ポンプ	分解点検	高	10年間	○	6	GM-07 1次冷却材ポンプ機能検査	一部プラント運転中
		機能・性能試験						
4 C 1 次冷却材ポンプ用電動機	4 C 1 次冷却材ポンプ用電動機	簡易点検(油入その他)	高	13M	○	13		
		分解点検						
		機能・性能試験						
4 D 1 次冷却材ポンプ	4 D 1 次冷却材ポンプ	分解点検	高	10年間	—	7	GM-07 1次冷却材ポンプ機能検査	一部プラント運転中
		機能・性能試験						
		簡易点検(油入その他)						
4 D 1 次冷却材ポンプ用電動機	4 D 1 次冷却材ポンプ用電動機	分解点検	高	13M	○	13		
		機能・性能試験						
		簡易点検(油入その他)						
4 A 1 次冷却材ポンプメカニカルシール	4 A 1 次冷却材ポンプメカニカルシール	分解点検	高	20M	○	12	GM-09 1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	一部プラント運転中
		機能・性能試験						
		簡易点検(油入その他)						
4 B 1 次冷却材ポンプメカニカルシール	4 B 1 次冷却材ポンプメカニカルシール	分解点検	高	20M	—	13	GM-09 1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	一部プラント運転中
		機能・性能試験						
		簡易点検(油入その他)						
4 C 1 次冷却材ポンプメカニカルシール	4 C 1 次冷却材ポンプメカニカルシール	分解点検	高	20M	○	12	GM-09 1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	一部プラント運転中
		機能・性能試験						
		簡易点検(油入その他)						
4 D 1 次冷却材ポンプメカニカルシール	4 D 1 次冷却材ポンプメカニカルシール	分解点検	高	20M	—	13	GM-09 1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	一部プラント運転中
		機能・性能試験						
		簡易点検(油入その他)						
加圧器本体	加圧器本体	開放点検	高	13M	○	13		
		機能・性能試験						
		簡易点検(油入その他)						
9号内計装用シンプレチューブ B5本	9号内計装用シンプレチューブ B5本	非破壊試験	高	78M	○	8	GM-11D 9号内計装用シンプレチューブ体積検査	
		機能・性能試験						
		簡易点検(油入その他)						
4V-RC-055 4号 加圧器安全弁A	4V-RC-055 4号 加圧器安全弁A	分解点検	高	13M	○	13	GM-10 加圧器安全弁分解検査	
		機能・性能試験						
		簡易点検(油入その他)						
4V-RC-056 4号 加圧器安全弁B	4V-RC-056 4号 加圧器安全弁B	分解点検	高	13M	○	13	GM-10 加圧器安全弁分解検査	
		機能・性能試験						
		簡易点検(油入その他)						
4V-RC-057 4号 加圧器安全弁C	4V-RC-057 4号 加圧器安全弁C	分解点検	高	13M	○	13	GM-10 加圧器安全弁分解検査	
		機能・性能試験						
		簡易点検(油入その他)						
4PV-432A 4号 加圧器逃がし弁A	4PV-432A 4号 加圧器逃がし弁A	分解点検	高	52M	—	11	GM-13 加圧器逃がし弁分解検査	
		機能・性能試験						
		簡易点検(油入その他)						
4PV-432B 4号 加圧器逃がし弁B	4PV-432B 4号 加圧器逃がし弁B	分解点検	高	13M	○	13	GM-13 加圧器逃がし弁分解検査	
		機能・性能試験						
		簡易点検(油入その他)						
4V-RC-054A 4号 加圧器逃がし弁A元弁	4V-RC-054A 4号 加圧器逃がし弁A元弁	分解点検	高	130M	—	11	GM-11 加圧器逃がし弁機能検査	
		機能・性能試験						
		簡易点検(油入その他)						
4V-RC-054B 4号 加圧器逃がし弁B元弁	4V-RC-054B 4号 加圧器逃がし弁B元弁	分解点検	高	130M	—	5	GM-11 加圧器逃がし弁機能検査	
		機能・性能試験						
		簡易点検(油入その他)						
4V-RC-054C 4号 加圧器逃がし弁C元弁	4V-RC-054C 4号 加圧器逃がし弁C元弁	分解点検	高	130M	—	11	GM-11 加圧器逃がし弁機能検査	
		機能・性能試験						
		簡易点検(油入その他)						
4V-RC-054D 4号 加圧器逃がし弁D元弁	4V-RC-054D 4号 加圧器逃がし弁D元弁	分解点検	高	130M	—	5	GM-11 加圧器逃がし弁機能検査	
		機能・性能試験						
		簡易点検(油入その他)						

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
4V-RC-05/B 4号 加圧器逃がし弁B元弁		駆動部点検	高	1300	—	11		
		分解点検			—	6		
		機能・性能試験			○	13	GM-14 加圧器逃がし弁元弁機能検査	
		電動機分解点検			—	6		
4V-RC-05/A 4号 加圧器スプレイ弁A		駆動部点検	高	200	—	13		
		分解点検			—	13		
		機能・性能試験			—	13	GM-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検			○	12		
4V-RC-05/B 4号 加圧器スプレイ弁B		駆動部点検	高	200	○	12		
		分解点検			○	12		
		機能・性能試験			○	12	GM-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検			—	10		
4V-RC-017 4号 抽出ライン元弁		分解点検	高	650	—	10		
		分解点検			○	11		
		分解点検			○	11		
		分解点検			—	12		
4V-RC-019A 4号 Aグループ第一ドレン弁		分解点検	高	390	○	11		
		分解点検			○	11		
		分解点検			—	12		
		分解点検			—	12		
4V-RC-019B 4号 Bグループ第一ドレン弁		分解点検	高	390	—	12		
		分解点検			—	12		
		分解点検			—	12		
		分解点検			—	12		
4V-RC-019C 4号 Cグループ第一ドレン弁		分解点検	高	390	—	12		
		分解点検			—	12		
		分解点検			—	12		
		分解点検			—	12		
4V-RC-019D 4号 Dグループ第一ドレン弁		駆動部点検	高	520	○	10		
		分解点検			—	12		
		分解点検			—	12		
		分解点検			—	12		
4V-RC-077 4号 P R T 自動ガス分析ライン内隔離弁		駆動部点検	高	1300	—	11		
		分解点検			—	11		
		分解点検			—	11		
		分解点検			—	6		
4V-RC-078 4号 P R T 自動ガス分析ライン外隔離弁		駆動部点検	高	1300	—	6		
		分解点検			—	6		
		分解点検			—	6		
		分解点検			—	6		
4V-RC-084 4号 P R T N ₂ ライン外隔離弁		駆動部点検	高	1300	—	6		
		分解点検			—	6		
		分解点検			—	6		
		分解点検			—	6		
4V-RC-095 4号 P R T 補給水ライン外隔離弁		駆動部点検	高	1300	—	6	GM-85 1次系弁検査	
		分解点検			—	6	GM-87 1次系弁検査	
		分解点検			—	7		
		分解点検			—	13		
4V-RC-088 4号 P R T N ₂ ライン逆止弁 加圧器比例ヒータ 1式		機能・性能試験	低	1C	○	13		
		機能・性能試験			—	13		
		機能・性能試験			—	13		
		機能・性能試験			—	13		
4V-RC-101A 4 A S G H D 外隔離弁		駆動部点検	高	520	○	10		
		分解点検			—	10	GM-85 1次系弁検査	
		分解点検			—	10		
		分解点検			—	10		
4V-RC-101B 4 B S G H D 外隔離弁		駆動部点検	高	520	○	10		
		分解点検			—	10	GM-85 1次系弁検査	
		分解点検			—	11		
		分解点検			—	10	GM-85 1次系弁検査	
4V-RC-101C 4 C S G H D 外隔離弁		駆動部点検	高	520	—	10		
		分解点検			—	10		
		分解点検			—	10		
		分解点検			—	10		
4V-RC-101D 4 D S G H D 外隔離弁		駆動部点検	高	520	○	10		
		分解点検			—	10	GM-85 1次系弁検査	
		分解点検			—	10		
		分解点検			—	10		
4V-RC-016A 4 A S/G サンプルライン外隔離弁		駆動部点検	高	1300	—	8		
		分解点検			—	8	GM-85 1次系弁検査	
		分解点検			—	8		
		分解点検			—	8		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
電子炉設備運転設備 (主蒸気・主給水設備)	4V-016R 4 B S/Gサンプライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	8	GM-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	8		
		駆動部点検		130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9		
	4V-016C 4 C S/Gサンプライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	9	GM-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	9		
		駆動部点検		130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9		
	4V-016D 4 D S/Gサンプライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	9	GM-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	9		
		駆動部点検		130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9		
4V-016E 4号 S G H Dモータ出口遮がし弁	漏えい試験	低	10C	—	9	GM-86 1次系安全弁検査		
	機能・性能試験		10C	—	9			
	駆動部点検		65M	—	12			
	分解点検		130M	○	4			
4V-016A 4 A S G H D止弁	駆動部点検	高	65M	—	13			
	分解点検		130M	○	4			
	駆動部点検		65M	—	12			
	分解点検		130M	—	9			
4V-016B 4 B S G H D止弁	駆動部点検	高	130M	—	9			
	分解点検		65M	—	12			
	駆動部点検		130M	—	9			
	分解点検		65M	—	12			
4V-016C 4 C S G H D止弁	駆動部点検	高	130M	—	9			
	分解点検		65M	—	12			
	駆動部点検		130M	—	9			
	分解点検		65M	—	12			
4V-016D 4 D S G H D止弁	駆動部点検	高	130M	—	9			
	分解点検		65M	—	12			
	駆動部点検		130M	—	9			
	分解点検		65M	—	12			
4V-016E 4号 B D D Tドレンライン逆止弁	駆動部点検	低	130M	—	9	GM-87 1次系逆止弁検査		
	分解点検		26M	—	13			
	駆動部点検		13M	○	13			
	分解点検		1C	○	13			
4VCV-3610 4 A 主蒸気遮がし弁	漏えい試験	高	1C	○	13	GM-28 主蒸気遮がし弁漏えい検査 GM-27 主蒸気遮がし弁機能検査 GM-206 最終ヒートシントシリング熱輸送設備作動検査		
	機能・性能試験		1C	○	13			
	駆動部点検		26M	○	12			
	分解点検		13M	○	13			
4VCV-3620 4 B 主蒸気遮がし弁	漏えい試験	高	1C	○	13	GM-28 主蒸気遮がし弁漏えい検査 GM-27 主蒸気遮がし弁機能検査 GM-206 最終ヒートシントシリング熱輸送設備作動検査		
	機能・性能試験		1C	○	13			
	駆動部点検		26M	—	13			
	分解点検		13M	○	13			
4VCV-3630 4 C 主蒸気遮がし弁	漏えい試験	高	1C	○	13	GM-28 主蒸気遮がし弁漏えい検査 GM-27 主蒸気遮がし弁機能検査 GM-206 最終ヒートシントシリング熱輸送設備作動検査		
	機能・性能試験		1C	○	13			
	駆動部点検		26M	—	13			
	分解点検		13M	○	13			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全部重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
4WV-5640 4 D 主蒸気運転がし弁弁弁		駆動部点検	高	26M	○	12	GM-28 主蒸気運転がし弁弁弁点検	
		分解点検		13M	○	13		
		漏えい・异响		1C	○	13		
		機能・性能試験		1C	○	13		
4WV-5615 4 A 主蒸気隔離弁バイパス弁		簡易点検(グラウンドハンドバックン取替)	高	26M	—	13	GM-27 主蒸気運転がし弁弁弁点検 GM-206 取替ヒートシントク熱輸送設備作動検査	
		駆動部点検		52M	—	13		
		分解点検		130M	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	11		
4WV-5625 4 B 主蒸気隔離弁バイパス弁		簡易点検(グラウンドハンドバックン取替)	高	26M	○	12	GM-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		52M	○	10		
		分解点検		130M	—	12		
		機能・性能試験		10C	—	12		
4WV-5635 4 C 主蒸気隔離弁バイパス弁		簡易点検(グラウンドハンドバックン取替)	高	26M	—	13	GM-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		52M	—	11		
		分解点検		130M	—	13		
		機能・性能試験		10C	—	13		
4WV-5645 4 D 主蒸気隔離弁バイパス弁		簡易点検(グラウンドハンドバックン取替)	高	26M	○	13	GM-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		52M	—	12		
		分解点検		130M	○	4		
		機能・性能試験		10C	○	4		
4V-5523A 4 A 主蒸気運転がし弁弁弁		簡易点検(グラウンドハンドバックン取替)	高	65M	—	12	GM-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		65M	—	12		
		分解点検		130M	—	12		
		機能・性能試験		10C	—	12		
4V-5520B 4 B 主蒸気運転がし弁弁弁		電動機分解点検	高	130M	—	10	GM-85 1次系弁検査	
		簡易点検(グラウンドハンドバックン取替)		65M	—	13		
		駆動部点検		65M	—	13		
		分解点検		130M	—	13		
4V-5520C 4 C 主蒸気運転がし弁弁弁		機能・性能試験	高	10C	—	13	GM-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	13		
		簡易点検(グラウンドハンドバックン取替)		65M	○	11		
		駆動部点検		65M	○	13		
4V-5520C 4 C 主蒸気運転がし弁弁弁		分解点検	高	130M	○	4	GM-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	○	4		
		電動機分解点検		130M	○	4		
		電動機分解点検		130M	○	4		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
AV-MS-520P 4 D 主蒸気配がし弁元弁	簡易点検(フランドバンドバックネン取替) 駆動部点検 分解点検 機能・性能試験 電動機分解点検	分解点検	高	65M	—	11		
		駆動部点検		65M	—	12		
		分解点検		130M	—	5		
		機能・性能試験		10C	—	5	GM-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	5		
		分解点検		26M	—	13		
		漏えい試験		2C	—	13	GM-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	13	GM-25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M	—	13		
		漏えい試験		2C	—	13	GM-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
AV-MS-526A 4 A 1 主蒸気安全弁	分解点検 漏えい試験 機能・性能試験	分解点検	高	26M	—	13		
		漏えい試験		2C	—	13	GM-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	13	GM-25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M	○	12		
		漏えい試験		2C	○	12	GM-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	13	GM-25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M	○	12		
		漏えい試験		2C	○	12	GM-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	13	GM-25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M	—	13		
AV-MS-527A 4 A 2 主蒸気安全弁	分解点検 漏えい試験 機能・性能試験	分解点検	高	26M	—	13		
		漏えい試験		2C	—	13	GM-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	13	GM-25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M	○	12		
		漏えい試験		2C	○	12	GM-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	13	GM-25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M	○	12		
		漏えい試験		2C	○	12	GM-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	13	GM-25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M	—	13		
AV-MS-527B 4 B 2 主蒸気安全弁	分解点検 漏えい試験 機能・性能試験	分解点検	高	26M	—	13		
		漏えい試験		2C	—	13	GM-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	13	GM-25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M	○	12		
		漏えい試験		2C	○	12	GM-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	13	GM-25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M	○	12		
		漏えい試験		2C	○	12	GM-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	13	GM-25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M	—	13		
AV-MS-527C 4 C 2 主蒸気安全弁	分解点検 漏えい試験 機能・性能試験	分解点検	高	26M	—	13		
		漏えい試験		2C	—	13	GM-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	13	GM-25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M	○	12		
		漏えい試験		2C	○	12	GM-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	13	GM-25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M	○	12		
		漏えい試験		2C	○	12	GM-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	13	GM-25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M	—	13		
AV-MS-527D 4 D 2 主蒸気安全弁	分解点検 漏えい試験 機能・性能試験	分解点検	高	26M	—	13		
		漏えい試験		2C	—	13	GM-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	13	GM-25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M	○	12		
		漏えい試験		2C	○	12	GM-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	13	GM-25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M	○	12		
		漏えい試験		2C	○	12	GM-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	13	GM-25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M	—	13		
AV-MS-528A 4 A 3 主蒸気安全弁	分解点検 漏えい試験 機能・性能試験	分解点検	高	26M	—	13		
		漏えい試験		2C	—	13	GM-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	13	GM-25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M	○	12		
		漏えい試験		2C	○	12	GM-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	13	GM-25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M	○	12		
		漏えい試験		2C	○	12	GM-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	13	GM-25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M	—	13		
AV-MS-528B 4 B 3 主蒸気安全弁	分解点検 漏えい試験 機能・性能試験	分解点検	高	26M	—	13		
		漏えい試験		2C	—	13	GM-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	13	GM-25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M	○	12		
		漏えい試験		2C	○	12	GM-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	13	GM-25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M	○	12		
		漏えい試験		2C	○	12	GM-26 主蒸気安全弁漏えい検査	
		機能・性能試験		1C	○	13	GM-25 主蒸気安全弁機能検査	
		分解点検		26M	—	13		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式又は頻 度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
4V-MS-528C 4 C 3 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	○	12	GM-26 主蒸気安全弁漏えい検査 GM-25 主蒸気安全弁機能検査	
		漏えい試験		2C	○	12		
		機能・性能試験		1C	○	13		
4V-MS-528D 4 D 3 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	○	12	GM-26 主蒸気安全弁漏えい検査 GM-25 主蒸気安全弁機能検査	
		漏えい試験		2C	○	12		
		機能・性能試験		1C	○	13		
4V-MS-529A 4 A 4 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	—	13	GM-26 主蒸気安全弁漏えい検査 GM-25 主蒸気安全弁機能検査	
		漏えい試験		2C	—	13		
		機能・性能試験		1C	○	13		
4V-MS-529B 4 B 4 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	—	13	GM-26 主蒸気安全弁漏えい検査 GM-25 主蒸気安全弁機能検査	
		漏えい試験		2C	—	13		
		機能・性能試験		1C	○	13		
4V-MS-529C 4 C 4 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	○	12	GM-26 主蒸気安全弁漏えい検査 GM-25 主蒸気安全弁機能検査	
		漏えい試験		2C	○	12		
		機能・性能試験		1C	○	13		
4V-MS-529D 4 D 4 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	○	12	GM-26 主蒸気安全弁漏えい検査 GM-25 主蒸気安全弁機能検査	
		漏えい試験		2C	○	12		
		機能・性能試験		1C	○	13		
4V-MS-530A 4 A 5 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	—	13	GM-26 主蒸気安全弁漏えい検査 GM-25 主蒸気安全弁機能検査	
		漏えい試験		2C	—	13		
		機能・性能試験		1C	○	13		
4V-MS-530B 4 B 5 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	—	13	GM-26 主蒸気安全弁漏えい検査 GM-25 主蒸気安全弁機能検査	
		漏えい試験		2C	—	13		
		機能・性能試験		1C	○	13		
4V-MS-530C 4 C 5 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	○	12	GM-26 主蒸気安全弁漏えい検査 GM-25 主蒸気安全弁機能検査	
		漏えい試験		2C	○	12		
		機能・性能試験		1C	○	13		
4V-MS-530D 4 D 5 主蒸気安全弁		分解点検	高	26M	○	12	GM-26 主蒸気安全弁漏えい検査 GM-25 主蒸気安全弁機能検査	
		漏えい試験		2C	○	12		
		機能・性能試験		1C	○	13		
4V-MS-530A 4 A 主蒸気隔離弁		駆動部点検	高	52M	—	11	GM-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 GM-29 主蒸気隔離弁機能検査	
		分解点検		26M	—	13		
		機能・性能試験		1C	○	13		
4V-MS-533B 4 B 主蒸気隔離弁		駆動部点検	高	52M	—	11	GM-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査 GM-29 主蒸気隔離弁機能検査	
		分解点検		26M	—	13		
		機能・性能試験		1C	○	13		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
4V-MS-529C 4 C 主蒸気隔離弁		駆動部点検	高	52M	○	11	GM-45 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		20M	○	12		
		機能・性能試験		1C	○	13		
4V-MS-533D 4 D 主蒸気隔離弁		駆動部点検	高	52M	○	11	GM-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		20M	○	12		
		機能・性能試験		1C	○	13		
4V-MS-536A 4 A 主蒸気逆止弁		分解点検	高	20M	—	13	GM-29 主蒸気隔離弁機能検査	
		分解点検		20M	—	13		
		分解点検		20M	—	13		
4V-MS-536B 4 B 主蒸気逆止弁		分解点検	高	20M	○	12	GM-29 主蒸気隔離弁機能検査	
		分解点検		20M	○	12		
		分解点検		20M	○	12		
4V-MS-539C 4 C 主蒸気逆止弁		駆動部点検	高	65M	—	11		
		分解点検		130M	—	11		
		電動機分解点検		130M	—	11		
4V-MS-539D 4 D 主蒸気逆止弁		駆動部点検	高	65M	—	11		
		分解点検		130M	—	11		
		電動機分解点検		130M	—	11		
4V-MS-570A 4号 T/D AFWP 駆動蒸気入口弁 A		簡易点検(グランドハンドレックス取替)	高	65M	—	13		
		駆動部点検		65M	—	10		
		分解点検		130M	—	13		
4V-MS-570B 4号 T/D AFWP 駆動蒸気入口弁 B		簡易点検(グランドハンドレックス取替)	高	10C	—	10	GM-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	13		
		電動機分解点検		130M	—	13		
4V-MS-575A 4号 T/D AFWP 駆動蒸気元弁 A		簡易点検(グランドハンドレックス取替)	高	65M	—	12		
		駆動部点検		65M	—	10		
		分解点検		130M	—	12		
4V-MS-575B 4号 T/D AFWP 駆動蒸気元弁 B		簡易点検(グランドハンドレックス取替)	高	10C	—	12	GM-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	5		
		電動機分解点検		130M	—	5		
4V-MS-576A 4号 T/D AFWP 駆動蒸気逆止弁 A		分解点検	高	30M	○	11		
		分解点検		30M	○	11		
		駆動部点検		65M	—	12		
4V-MS-576B 4号 T/D AFWP 駆動蒸気逆止弁 B		分解点検	高	130M	—	12		
		分解点検		10C	—	12		
		電動機分解点検		130M	—	12		
4V-MS-585A 4 A 主蒸気隔離弁上流ドレン弁弁		駆動部点検	高	65M	—	13	GM-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	13		
		機能・性能試験		10C	—	13		
4V-MS-585B 4 B 主蒸気隔離弁上流ドレン弁弁		駆動部点検	高	65M	—	13	GM-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	13		
		機能・性能試験		10C	—	13		
		電動機分解点検	高	130M	—	13		
		電動機分解点検		130M	—	13		
		電動機分解点検		130M	—	13		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
4WS-58C 4 C 三原気源離弁上流ドレン元弁		駆動部点検	高	65M	○	9		
		分解点検		130M	○	4		
		機能・性能試験		10C	○	4	GM-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	○	4		
4WS-58D 4 D 三原気源離弁上流ドレン元弁		駆動部点検	高	65M	—	10		
		分解点検		130M	—	5		
		機能・性能試験		10C	—	5	GM-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	5		
4CV-500A 4 A タービンバイパス弁		駆動部点検	低	20M	○	12		
		分解点検		13M	○	13		
		機能・性能試験		1C	○	13	GM-62 タービンバイパス弁機能検査	
		電動機分解点検		20M	○	12		
4CV-500B 4 B タービンバイパス弁		駆動部点検	低	13M	○	13		
		分解点検		1C	○	13	GM-62 タービンバイパス弁機能検査	
		機能・性能試験		30M	—	13		
		電動機分解点検		30M	—	13		
4CV-500C 4 C タービンバイパス弁		駆動部点検	低	65M	—	11		
		分解点検		1C	○	13	GM-62 タービンバイパス弁機能検査	
		機能・性能試験		30M	—	13		
		電動機分解点検		30M	—	13		
4CV-500D 4 D タービンバイパス弁		駆動部点検	低	30M	—	13		
		分解点検		30M	—	13		
		機能・性能試験		65M	—	11		
		電動機分解点検		1C	○	13	GM-62 タービンバイパス弁機能検査	
4CV-500E 4 E タービンバイパス弁		駆動部点検	低	30M	○	12		
		分解点検		30M	○	12		
		機能・性能試験		65M	—	12		
		電動機分解点検		1C	○	13	GM-62 タービンバイパス弁機能検査	
4CV-500F 4 F タービンバイパス弁		駆動部点検	低	30M	○	12		
		分解点検		30M	○	12		
		機能・性能試験		65M	—	12		
		電動機分解点検		1C	○	13	GM-62 タービンバイパス弁機能検査	
4CV-500G 4 G タービンバイパス弁		駆動部点検	低	30M	—	13		
		分解点検		30M	—	13		
		機能・性能試験		65M	—	13		
		電動機分解点検		1C	○	13	GM-62 タービンバイパス弁機能検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
4CV-500H 4 H タービンバイパス弁		駆動部点検	低	30M	—	13		
		簡易点検(グラウンドバッキング取替)						
		分解点検						
4CV-500J 4 J タービンバイパス弁		機能・性能試験	低	1C	○	13	GM-62 タービンバイパス弁機能検査	
		駆動部点検						
		簡易点検(グラウンドバッキング取替)						
4CV-500K 4 K タービンバイパス弁		分解点検	低	65M	○	9		
		機能・性能試験						
		駆動部点検						
4CV-500L 4 L タービンバイパス弁		機能・性能試験	低	1C	○	13	GM-62 タービンバイパス弁機能検査	
		駆動部点検						
		簡易点検(グラウンドバッキング取替)						
4CV-500M 4 M タービンバイパス弁		分解点検	低	65M	—	10		
		機能・性能試験						
		駆動部点検						
4CV-460 4 A 主給水制御弁		機能・性能試験	高	1C	○	13	GM-62 タービンバイパス弁機能検査	
		駆動部点検						
		簡易点検(グラウンドバッキング取替)						
4CV-470 4 B 主給水制御弁		分解点検	高	13M	○	13		
		機能・性能試験						
		駆動部点検						
4CV-480 4 C 主給水制御弁		駆動部点検	高	13M	○	13		
		分解点検						
		機能・性能試験						
4CV-490 4 D 主給水制御弁		機能・性能試験	高	52M	—	12		
		駆動部点検						
		分解点検						
4CV-461 4 A 主給水バイパス制御弁		分解点検	高	13M	○	13		
		機能・性能試験						
		駆動部点検						
4CV-471 4 B 主給水バイパス制御弁		分解点検	高	13M	○	13		
		機能・性能試験						
		駆動部点検						
4CV-481 4 C 主給水バイパス制御弁		分解点検	高	52M	—	11		
		機能・性能試験						
		駆動部点検						
4CV-491 4 D 主給水バイパス制御弁		分解点検	高	52M	—	11		
		機能・性能試験						
		駆動部点検						

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
原子炉冷却系配管 (余熱除去系統)	4C-W-520A 4 A 主給水循環弁	簡易点検(グラウンドハンドハッキン取替)	高	52A	—	13		
		駆動部点検		130B	—	13		
		分解点検		130M	—	13	GM-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	13		
原子炉冷却系配管 (余熱除去系統)	4C-W-520B 4 B 主給水循環弁	簡易点検(グラウンドハンドハッキン取替)	高	52B	—	11		
		駆動部点検		130B	—	8		
		分解点検		130M	—	8	GM-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	8		
原子炉冷却系配管 (余熱除去系統)	4C-W-520C 4 C 主給水循環弁	簡易点検(グラウンドハンドハッキン取替)	高	52C	—	13		
		駆動部点検		130B	—	13		
		分解点検		130M	—	13	GM-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	13		
原子炉冷却系配管 (余熱除去系統)	4C-W-520D 4 D 主給水循環弁	簡易点検(グラウンドハンドハッキン取替)	高	52D	—	13		
		駆動部点検		130B	—	11		
		分解点検		130M	—	6	GM-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	6		
原子炉冷却系配管 (余熱除去系統)	4 A 余熱除去冷却器	開放点検	高	130B	—	11		
		開放点検		130B	—	11		
		簡易点検(組入封じ)		13M	○	13		
		分解点検		52M	—	13	GM-17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 GM-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(稼働診断:1ヶ月)
原子炉冷却系配管 (余熱除去系統)	4 A 余熱除去ポンプ用電動機	簡易点検(組入封じ)	高	13M	○	13		
		分解点検		52M	—	13		
		簡易点検(組入封じ)		13M	○	13		
		分解点検		52M	—	13		
原子炉冷却系配管 (余熱除去系統)	4 B 余熱除去ポンプ用電動機	簡易点検(組入封じ)	高	13M	○	13		
		分解点検		52M	—	11		
		簡易点検(組入封じ)		13M	○	13		
		分解点検		52M	—	11		
原子炉冷却系配管 (余熱除去系統)	4C-V-601 4 A 余熱除去ポンプミニフロー弁	駆動部点検	高	130B	—	7		
		分解点検		130M	—	7		
		機能・性能試験		10C	—	7	GM-45 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	7		
原子炉冷却系配管 (余熱除去系統)	4C-V-603 4 A 余熱除去冷却器出口流量設定弁	駆動部点検	高	130M	—	5		
		分解点検		130M	—	12		
		機能・性能試験		10C	—	12	GM-45 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	12		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
4CV-604 4 A 余熱除去冷却器ハイパス流量制御弁		駆動部点検	高	1300	—	5		
		分解点検		1300	—	12		
		機能・性能試験		10C	—	12	GM-85 1次系弁検査	
4CV-611 4 B 余熱除去ポンプノニフロー弁		駆動部点検	高	1300	—	8		
		分解点検		1300	—	8		
		機能・性能試験		10C	—	8	GM-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		1300	—	8		
4CV-613 4 B 余熱除去冷却器出口流量設定弁		駆動部点検	高	1300	○	4		
		分解点検		1300	○	12		
		機能・性能試験		10C	○	12	GM-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		1300	○	4		
4CV-614 4 B 余熱除去冷却器ハイパス流量制御弁		駆動部点検	高	1300	—	11		
		分解点検		1300	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	11	GM-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		1300	—	11		
4CV-120 4 A 余熱除去ラインバルブ高温側出口弁		駆動部点検	高	1300	—	5		
		分解点検		1300	—	5		
		機能・性能試験		10C	—	5	GM-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		1300	—	8		
4CV-130 4 B 余熱除去ラインバルブ高温側出口弁		駆動部点検	高	1300	—	7		
		分解点検		1300	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	11	GM-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		1300	—	7		
4V-BH-002A 4 A 余熱除去ポンプ入口内閣離弁		駆動部点検	高	1300	—	8		
		分解点検		1300	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	11	GM-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		1300	—	7		
4V-BH-002B 4 B 余熱除去ポンプ入口内閣離弁		駆動部点検	高	1300	—	8		
		分解点検		1300	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	11	GM-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		1300	—	8		
4V-BH-004A 4 A 余熱除去ポンプ入口速がし弁		駆動部点検	高	1300	—	13		
		分解点検		1300	—	13		
		補えり試験		10C	—	13	GM-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	13		
4V-BH-004B 4 B 余熱除去ポンプ入口速がし弁		駆動部点検	高	1300	—	13		
		分解点検		1300	—	13		
		補えり試験		10C	—	13	GM-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	13		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術 第11回定検より追加 第11回定検より追加
	4V-RH-005A 4 A 余熱除去ポンプ入口弁	駆動部点検	高	1300	—	—		
		分解点検						
	4V-RH-005B 4 B 余熱除去ポンプ入口弁	駆動部点検	高	1300	—	—		
		分解点検						
	4V-RH-012A 4 A 余熱除去ポンプ出口逆止弁	分解点検	高	1300	—	13		
		分解点検						
	4V-RH-010B 4 B 余熱除去ポンプ出口逆止弁	分解点検	高	1300	○	4		
		分解点検						
	4V-RH-018A 4 A 余熱除去ポンプRWS P側入口弁	駆動部点検	高	1300	—	7		
		分解点検						
	4V-RH-018B 4 B 余熱除去ポンプRWS P側入口弁	電動機分解点検	高	1300	—	7		
		分解点検						
	4V-RH-026A 4 A 余熱除去冷却器出口低圧抽出ライン止弁	駆動部点検	高	1300	—	6		
		分解点検						
	4V-RH-026B 4 B 余熱除去冷却器出口低圧抽出ライン止弁	電動機分解点検	高	1300	—	6		
		分解点検						
	4V-RH-024A 4 A 余熱除去冷却器出口遮断止弁	機能・性能試験	高	10C	—	6	GM-85 1次系弁検査	
		駆動部点検						
	4V-RH-024B 4 B 余熱除去冷却器出口遮断止弁	分解点検	高	1300	○	4		
		分解点検						
	4V-RH-022A 4 A 余熱除去冷却器出口遮断止弁	機能・性能試験	高	10C	—	4	GM-85 1次系弁検査	
		分解点検						
	4V-RH-022B 4 B 余熱除去冷却器出口遮断止弁	補えい・実験	低	10C	—	11		
		機能・性能試験						
	4V-RH-020A 4 A 余熱除去冷却器出口遮断止弁	分解点検	低	1300	○	11		
		補えい・実験						
	4V-RH-020B 4 B 余熱除去冷却器出口遮断止弁	機能・性能試験	低	10C	—	11	GM-86 1次系安全弁検査	
		分解点検						
	4V-RH-042A 4 A 余熱除去冷却器出口外筒遮断止弁	分解点検	高	1300	—	12		
		分解点検						
	4V-RH-042B 4 B 余熱除去冷却器出口外筒遮断止弁	補えい・実験	高	10C	—	12		
		機能・性能試験						
	4V-RH-043A 4 A 余熱除去冷却器出口外筒遮断止弁	駆動部点検	高	1300	—	12		
		分解点検						
	4V-RH-043B 4 B 余熱除去冷却器出口外筒遮断止弁	機能・性能試験	高	10C	—	12		
		電動機分解点検						
	4V-RH-045A 4 A 余熱除去冷却器出口筒継ぎ止弁	駆動部点検	高	1300	—	13		
		分解点検						
	4V-RH-045B 4 B 余熱除去冷却器出口筒継ぎ止弁	分解点検	高	1300	—	13		
		機能・性能試験						
	4V-RH-045C 4 C 余熱除去冷却器出口筒継ぎ止弁	電動機分解点検	高	1300	—	13	GM-85 1次系弁検査	
		分解点検						
	4V-RH-045D 4 D 余熱除去冷却器出口筒継ぎ止弁	分解点検	高	1300	—	12		
		分解点検						

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
原子炉冷却系経路等 (非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備)	4V-RH-07A 4 A B 余熱除去冷却器出口連絡弁 A	駆動部点検	高	1300	—	5		
		分解点検		1300	—	5		
		電動機分解点検		1300	—	5		
	4V-RH-07B 4 A B 余熱除去冷却器出口連絡弁 B	駆動部点検	高	1300	○	4		
		分解点検		1300	○	4		
		電動機分解点検		1300	○	4		
	4V-RH-08A 4 A 余熱除去ラインバルブ高置側入口弁	駆動部点検	高	1300	—	12		
		分解点検		1300	—	12		
		電動機分解点検		1300	—	12		
	4V-RH-08B 4 B 余熱除去ラインバルブ高置側入口弁	駆動部点検	高	1300	—	9		
		分解点検		1300	—	9		
		電動機分解点検		1300	—	9		
4V-RH-050A 4 号 余熱除去ラインバルブ低置側入口逆止弁	分解点検	高	1300	—	9	GM-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GM-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
	分解点検		1300	—	11			
	分解点検		1300	—	11			
4V-RH-050B 4 号 余熱除去ラインバルブ低置側入口逆止弁	分解点検	高	1300	—	13	GM-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GM-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
	分解点検		1300	—	11			
	分解点検		1300	—	11			
4V-RH-051A 4 号 余熱除去ラインバルブ高置側入口逆止弁	分解点検	高	1300	—	5	GM-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GM-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
	分解点検		1300	—	5			
	分解点検		1300	—	5			
4V-RH-051B 4 号 余熱除去ラインバルブ高置側入口逆止弁	分解点検	高	1300	○	4	GM-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GM-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
	分解点検		1300	—	5			
	電動機分解点検		1300	—	5			
4V-RH-071 4 号 AMI 用代替再循環ポンプ出口第一逆止弁	駆動部点検	高	1300	—	5			
	分解点検		1300	—	5			
	電動機分解点検		1300	—	5			
4V-RH-072 4 号 AMI 用代替再循環ポンプ出口弁	駆動部点検	高	1300	—	5			
	分解点検		1300	—	5			
	電動機分解点検		1300	—	5			
4V-RH-073 4 号 AMI 用代替再循環ポンプ出口第二逆止弁	駆動部点検	高	1300	—	5			
	分解点検		1300	—	11			
	電動機分解点検		1C	○	13			
AMI 用代替再循環ポンプ	駆動部点検	高	1C	○	13	GM-18 非常用炉心冷却系機能検査		
	分解点検		1C	○	13			
	電動機分解点検		1C	○	13			

1. 高圧及び低圧注水系
 ・高圧注水ポンプ
 ・余熱除去ポンプ
 ・切替弁
 ・高圧注水弁
 ・高圧タンク

2. 高圧注水弁
 ・高圧タンク

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
4 A 高圧注入ポンプ		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	13	GM-17 非常用冷却油系ポンプ分解検査 GM-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(稼働診断:1ヶ月)
		分解点検(メカニカルシール取替)		52M	—	12		
		分解点検		104M	—	12		
4 A 高圧注入ポンプ用電動機		分解点検	高	78M	—	13		(稼働診断:1ヶ月)
4 B 高圧注入ポンプ		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	13	GM-17 非常用冷却油系ポンプ分解検査 GM-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(稼働診断:1ヶ月)
		分解点検(メカニカルシール取替)		52M	—	13		
		分解点検		104M	—	13		
4 B 高圧注入ポンプ用電動機		分解点検	高	78M	○	8		(稼働診断:1ヶ月)
4 A 蓄圧タンク		開放点検	高	130M	—	12		
4 B 蓄圧タンク		開放点検	高	130M	—	11		
4 C 蓄圧タンク		開放点検	高	130M	—	11		
4 D 蓄圧タンク		開放点検	高	130M	—	11		
4 A 格納容器再循環タンク		外観点検	高	1C	○	13		
4 B 格納容器再循環タンク		外観点検	高	1C	○	13		
4 A 格納容器再循環タンクスクリーン		外観点検	高	1C	○	13		
4 B 格納容器再循環タンクスクリーン		外観点検	高	1C	○	13		
4V-SI-002A 4 A 安全注入系ポンプRWS P側入口弁		駆動部点検	高	130M	—	11		
		分解点検		130M	—	12		
		電動機分解点検		130M	—	9		
4V-SI-002B 4 B 安全注入系ポンプRWS P側入口弁		駆動部点検	高	130M	—	11		
		分解点検		130M	—	12		
		電動機分解点検		130M	—	11		
4V-SI-004A 4 A 安全注入系ポンプ入口逆止弁		分解点検	高	130M	—	11		
		補えり試験		10C	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	11		
4V-SI-004B 4 B 安全注入系ポンプ入口逆止弁		分解点検	高	130M	—	11	GM-86 1次系安全弁検査	
		補えり試験		10C	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	11		
4V-SI-011A 4 A 高圧注入ポンプ出口逆止弁		分解点検	高	130M	○	4		
		分解点検		130M	—	5		
		分解点検		130M	○	4		
4V-SI-011B 4 B 高圧注入ポンプ出口逆止弁		分解点検	高	130M	—	5	GM-86 1次系安全弁検査	
		分解点検		130M	—	4		
		分解点検		130M	—	5		
4V-SI-014A 4 A 高圧注入ポンプミニフロー逆止弁		分解点検	高	130M	○	4		
		分解点検		130M	—	5		
		分解点検		130M	—	4		
4V-SI-014B 4 B 高圧注入ポンプミニフロー逆止弁		分解点検	高	130M	—	5		
		分解点検		130M	—	4		
		分解点検		130M	—	5		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
4V-SI-01EA 4 A 高圧注入ポンプ第一ミニフロー弁		駆動部点検	高	1300	—	11		
		分解点検		1300	—	11		
		電動機分解点検		1300	—	11		
4V-SI-01EB 4 B 高圧注入ポンプ第一ミニフロー弁		駆動部点検	高	1300	—	12		
		分解点検		1300	—	12		
		電動機分解点検		1300	—	12		
4V-SI-01EA 4 A 高圧注入ポンプ第二ミニフロー弁		駆動部点検	高	1300	—	11		
		分解点検		1300	—	11		
		電動機分解点検		1300	—	11		
4V-SI-01EB 4 B 高圧注入ポンプ第二ミニフロー弁		駆動部点検	高	1300	—	11		
		分解点検		1300	—	12		
		電動機分解点検		1300	—	12		
4V-SI-02EA 4 A 高圧注入ポンプ対水注入ライン止弁		駆動部点検	低	1300	—	11	GM-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		分解点検		1300	—	11		
		電動機分解点検		1300	—	11		
4V-SI-02EB 4 B 高圧注入ポンプ対水注入ライン止弁		駆動部点検	低	1300	—	12		
		分解点検		1300	—	12	GM-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		電動機分解点検		1300	—	12		
4V-SI-02EA 4 A 高圧注入ライン外隔離弁		駆動部点検	高	1300	—	11		
		分解点検		1300	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	11	GM-85 1次系弁検査	
4V-SI-02EB 4 B 高圧注入ライン外隔離弁		駆動部点検	高	1300	○	4		
		分解点検		1300	—	12		
		機能・性能試験		1300	—	12		
4V-SI-062B 4 A 高圧注入ライン外隔離弁		駆動部点検	高	1300	—	12		
		分解点検		1300	—	12		
		機能・性能試験		10C	—	12	GM-85 1次系弁検査	
4V-SI-062A 4 B 高圧注入ライン外隔離弁		駆動部点検	高	1300	—	12		
		分解点検		1300	—	12		
		機能・性能試験		1300	—	12		
4V-SI-064B 4 A 高圧注入ライン隔離逆止弁		駆動部点検	高	1300	—	12		
		分解点検		195H	—	—	第14回定検より追加	
		電動機分解点検		195H	—	—	第14回定検より追加	
4V-SI-066A 4 A B 高圧注入ポンプ出口連絡弁A		駆動部点検	高	1300	—	13		
		分解点検		1300	—	13		
		電動機分解点検		1300	—	13		
4V-SI-066B 4 A B 高圧注入ポンプ出口連絡弁B		駆動部点検	高	1300	○	4		
		分解点検		1300	○	4		
		電動機分解点検		1300	○	4		
4V-SI-067A 4号 A Bドレープ高圧側高圧注入ライン止弁		駆動部点検	高	1300	—	7		
		分解点検		1300	—	7		
		電動機分解点検		1300	—	7		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術	
4号 C/Dグループ高圧側高圧注入ライン止弁	4号 C/Dグループ高圧側高圧注入ライン止弁	駆動部点検	高	1300	—	8	GM-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GM-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
		分解点検		1300	—	11			
		電動機分解点検		1300	—	8			
4号 Aグループ低圧側高圧注入ライン止弁	4号 Aグループ低圧側高圧注入ライン止弁	分解点検	高	1300	—	7	GM-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GM-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
		分解点検	高	1300	○	4			
		分解点検	高	1300	—	5			
4号 Cグループ低圧側高圧注入ライン止弁	4号 Cグループ低圧側高圧注入ライン止弁	分解点検	高	1300	—	6	GM-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GM-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
		分解点検	高	1300	—	7			
		分解点検	高	1300	—	8			
4号 Aグループ高圧側高圧注入ライン第一止弁	4号 Aグループ高圧側高圧注入ライン第一止弁	分解点検	高	1300	—	9	GM-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GM-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
		分解点検	高	1300	—	10			
		分解点検	高	1300	—	12			
4号 Bグループ高圧側高圧注入ライン第一止弁	4号 Bグループ高圧側高圧注入ライン第一止弁	分解点検	高	1300	—	11	GM-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GM-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
		分解点検	高	1300	—	11			
		分解点検	高	1300	—	8			
4号 C/V再循環タンク外筒離弁	4号 C/V再循環タンク外筒離弁	駆動部点検	高	1300	—	9	GM-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GM-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
		分解点検		1300	—	9			
		電動機分解点検		1300	—	9			
4号 B/V再循環タンク外筒離弁	4号 B/V再循環タンク外筒離弁	駆動部点検	高	1300	—	10	GM-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GM-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
		分解点検		1300	—	10			
		電動機分解点検		1300	—	10			
4号 A/V再循環タンク側入口止弁	4号 A/V再循環タンク側入口止弁	分解点検	高	1950	—	—	GM-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GM-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	第1.4回定検より追加	
		分解点検	高	1950	—	—			第1.4回定検より追加
		駆動部点検	1300	—	12				
4号 A/V再循環タンク側入口止弁	4号 A/V再循環タンク側入口止弁	分解点検	高	1300	—	12	GM-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 GM-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
		分解点検	高	1300	—	12			
		電動機分解点検	1300	—	12				

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
4V-SI-132B 4 B 蓄圧タンク 出口弁		駆動部点検	高	1300	—	13	GM-18 非常用冷却系主要弁分解検査 GM-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検		1300	—	13		
		電動機分解点検		1300	—	13		
4V-SI-132C 4 C 蓄圧タンク 出口弁		駆動部点検	高	1300	○	4	GM-18 非常用冷却系主要弁分解検査 GM-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検		1300	○	4		
		電動機分解点検		1300	○	4		
4V-SI-130D 4 D 蓄圧タンク 出口弁		駆動部点検	高	1300	—	5	GM-18 非常用冷却系主要弁分解検査 GM-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検		1300	—	5		
		電動機分解点検		1300	—	5		
4V-SI-133A 4 A 蓄圧タンク 出口第一逆止弁テスト弁		駆動部点検	低	1300	—	7	GM-45 1次系弁検査	
		分解点検		1300	—	7		
		機能・性能試験		10C	—	7		
4V-SI-133B 4 B 蓄圧タンク 出口第一逆止弁テスト弁		駆動部点検	低	1300	—	13	GM-45 1次系弁検査	
		分解点検		1300	—	13		
		機能・性能試験		10C	—	13		
4V-SI-133C 4 C 蓄圧タンク 出口第一逆止弁テスト弁		駆動部点検	低	1300	○	4	GM-45 1次系弁検査	
		分解点検		1300	○	4		
		機能・性能試験		10C	○	4		
4V-SI-133D 4 D 蓄圧タンク 出口第一逆止弁テスト弁		駆動部点検	低	1300	—	5	GM-45 1次系弁検査	
		分解点検		1300	—	5		
		機能・性能試験		10C	—	5		
4V-SI-134A 4 A 蓄圧タンク 出口第一逆止弁		分解点検	高	1300	—	13	GM-18 非常用冷却系主要弁分解検査 GM-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検		1300	—	5		
		機能・性能試験		10C	—	5		
4V-SI-134B 4 B 蓄圧タンク 出口第一逆止弁		分解点検	高	1300	—	5	GM-18 非常用冷却系主要弁分解検査 GM-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検		1300	—	7		
		機能・性能試験		10C	—	7		
4V-SI-134C 4 C 蓄圧タンク 出口第一逆止弁		分解点検	高	1300	—	5	GM-18 非常用冷却系主要弁分解検査 GM-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検		1300	—	5		
		機能・性能試験		10C	—	5		
4V-SI-134D 4 D 蓄圧タンク 出口第一逆止弁		駆動部点検	高	1300	—	7	GM-18 非常用冷却系主要弁分解検査 GM-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検		1300	—	7		
		機能・性能試験		10C	—	7		
4V-SI-135A 4 A 蓄圧タンク 出口第二逆止弁テスト弁		駆動部点検	低	1300	—	7	GM-45 1次系弁検査	
		分解点検		1300	—	7		
		機能・性能試験		10C	—	7		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
4V-SI-135B 4 B 蓄圧タンク出口第二逆止弁テスト弁		駆動部点検	低	1300	—	13		
		分解点検						
		機能・性能試験						
4V-SI-135C 4 C 蓄圧タンク出口第二逆止弁テスト弁		駆動部点検	低	1300	○	4		
		分解点検						
		機能・性能試験						
4V-SI-135D 4 D 蓄圧タンク出口第二逆止弁テスト弁		駆動部点検	低	1300	—	5		
		分解点検						
		機能・性能試験						
4V-SI-136A 4 A 蓄圧タンク出口第二逆止弁		分解点検	高	1300	—	12	GM-18 非薬用中心冷却系主要弁分解検査 GM-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検						
		機能・性能試験						
4V-SI-136B 4 B 蓄圧タンク出口第二逆止弁		分解点検	高	1300	—	11	GM-18 非薬用中心冷却系主要弁分解検査 GM-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検						
		機能・性能試験						
4V-SI-136C 4 C 蓄圧タンク出口第二逆止弁		分解点検	高	1300	—	11	GM-18 非薬用中心冷却系主要弁分解検査 GM-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検						
		機能・性能試験						
4V-SI-136D 4 D 蓄圧タンク出口第二逆止弁		分解点検	高	1300	—	11	GM-18 非薬用中心冷却系主要弁分解検査 GM-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検						
		機能・性能試験						
4V-SI-143 4号 安全注入系逆止弁テストライン内隔離弁		駆動部点検	高	1300	—	6		
		分解点検						
		機能・性能試験						
4V-SI-144 4号 安全注入系逆止弁テストライン外隔離弁		駆動部点検	高	1300	—	6		
		分解点検						
		機能・性能試験						
4V-SI-154 4号 蓄圧タンク補給ライン外隔離弁		駆動部点検	高	1300	—	12		
		分解点検						
		機能・性能試験						
4V-SI-165 4号 蓄圧タンク蒸気供給ライン外隔離弁		駆動部点検	高	1300	—	6		
		分解点検						
		機能・性能試験						
4V-SI-169 4号 蓄圧タンク蒸気供給ライン安全弁		分解点検	低	650	—	11		
		補えい試験						
		機能・性能試験						
4V-SI-172A 4 A 蓄圧タンク安全弁		分解点検	低	1300	—	11		
		補えい試験						
		機能・性能試験						
4V-SI-172B 4 B 蓄圧タンク安全弁		分解点検	低	1300	—	11		
		補えい試験						
		機能・性能試験						

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
原子炉冷却系経路等 (化学体積制御系統設備)	4V-S1-170C 4 C 蓄圧タンク安全弁	分解点検	低	130M	—	11	GM-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	11		
	4V-S1-172D 4 D 蓄圧タンク安全弁	分解点検	低	130M	—	11	GM-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	11		
	4 A 充てんポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	13	GM-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査 GM-70 充てんポンプ冷却材補給系機能検査	(振動診断;切替毎)
		分解点検		39M	—	13		
		機能・性能試験		1C	○	13		
	4 A 充てんポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	13	GM-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査 GM-70 充てんポンプ冷却材補給系機能検査	(振動診断;切替毎)
		分解点検		39M	○	11		
		機能・性能試験		1C	○	13		
	4 B 充てんポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	13	GM-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査 GM-70 充てんポンプ冷却材補給系機能検査	(振動診断;切替毎)
		分解点検		39M	○	11		
機能・性能試験		1C		○	13			
4 B 充てんポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	13	GM-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査 GM-70 充てんポンプ冷却材補給系機能検査	(振動診断;切替毎)	
	分解点検		39M	○	11			
	機能・性能試験		1C	○	13			
4 C 充てんポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	13	GM-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査 GM-70 充てんポンプ冷却材補給系機能検査	(振動診断;切替毎)	
	分解点検		39M	—	12			
	機能・性能試験		1C	○	13			
4 C 充てんポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	13	GM-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査 GM-70 充てんポンプ冷却材補給系機能検査	(振動診断;切替毎)	
	分解点検		39M	○	11			
	機能・性能試験		1C	○	13			
4号 体積制御タンク	開放点検	高	130M	—	11			
	開放点検		130M	—	11			
	開放点検		130M	—	11			
4号 非再生冷却器	開放点検	高	130M	—	9			
	開放点検		130M	○	13			
	外観点検		1C	—	12			
4号 再生熱交換器	開放点検	高	130M	—	12			
	開放点検		26M	○	12			
	開放点検		39M	○	11			
4号 封水冷却器	開放点検	高	39M	—	12			
	開放点検		39M	○	11			
	開放点検		39M	—	12			
4号 冷却材フィルタ	開放点検	高	39M	—	12			
	開放点検		39M	○	11			
	開放点検		39M	—	12			
4 A 冷却材脱塩器入口フィルタ	開放点検	高	39M	—	11			
	開放点検		39M	○	11			
	開放点検		39M	—	12			
4 B 冷却材脱塩器入口フィルタ	開放点検	高	39M	—	11			
	開放点検		39M	○	11			
	開放点検		39M	—	12			
4号 封水ストレーナ	開放点検	高	78M	—	11			
	開放点検		78M	○	13			
	開放点検		78M	—	13			
4 A 冷却材脱床式脱塩塔	開放点検	高	1C	○	13			
	開放点検		1C	○	13			
	開放点検		1C	○	13			
4 B 冷却材脱床式脱塩塔	開放点検	高	1C	○	13			
	開放点検		1C	○	13			
	開放点検		1C	○	13			
4号 冷却材脱イオン脱塩塔	開放点検	高	1C	○	13			
	開放点検		1C	○	13			
	開放点検		1C	○	13			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
4RCV-128 4号 充てんライン流量制御弁		駆動部点検	高	52M	—	11		
		分解点検		13M	○	13		
		機能・性能試験		1C	○	13	GM-85 1次系弁検査	
4RCV-140 4号 封水注入ライン流量制御弁		駆動部点検	高	52M	○	11		
		分解点検		13M	○	13		
		機能・性能試験		1C	○	13	GM-85 1次系弁検査	
4RCV-190 4号 含雑抽出流量設定弁		駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検		130M	—	7		
		機能・性能試験		10C	—	7	GM-85 1次系弁検査	
4LCV-151 4号 抽出ライン第一止弁		駆動部点検	高	130M	—	12		
		分解点検		30M	○	11	GM-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		3C	○	11		
4LCV-152 4号 抽出ライン第二止弁		駆動部点検	高	130M	—	12		
		分解点検		30M	○	11	GM-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		3C	○	11		
4RCV-104 4号 抽出ライン圧力制御弁		駆動部点検	高	130M	—	11		
		分解点検		13M	○	13		
		機能・性能試験		1C	○	13	GM-85 1次系弁検査	
4TCV-104 4号 冷卻材脱塩塔入口三方弁		駆動部点検	高	52M	—	13		
		分解点検		130M	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	11	GM-85 1次系弁検査	
4RCV-102 4号 低圧抽出ライン流量設定弁		駆動部点検	高	130M	—	11		
		分解点検		130M	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	11	GM-85 1次系弁検査	
4RCV-108 4号 冷卻材脱イオン脱塩塔排水流量設定弁		駆動部点検	高	130M	—	11		
		分解点検		130M	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	11	GM-85 1次系弁検査	
4LCV-121A 4号 V C T入口三方弁		駆動部点検	高	130M	—	12		
		分解点検		130M	—	12		
		機能・性能試験		10C	—	12	GM-85 1次系弁検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
4CV-12B 4号 V C T 第一出口弁		駆動部点検	高	130M	—	12		
		分解点検		130M	—	12		
		機能・性能試験		10C	—	12	GM-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	○	4		
4CV-12C 4号 V C T 第二出口弁		駆動部点検	高	130M	—	13		
		分解点検		130M	—	13		
		機能・性能試験		10C	—	13	GM-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	13		
4CV-12D 4号 C H P 非常用補助弁 A		駆動部点検	高	130M	—	6		
		分解点検		130M	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	6	GM-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	6		
4CV-12E 4号 C H P 非常用補助弁 B		駆動部点検	高	130M	—	6		
		分解点検		130M	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	6	GM-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	6		
4V-CS-005A 4 A 抽出オリフィス出口内筒離弁		駆動部点検	高	52M	—	13		
		分解点検		130M	—	11	GM-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		駆動部点検		52M	—	11		
		分解点検		130M	—	7	GM-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
4V-CS-005C 4 C 抽出オリフィス出口内筒離弁		駆動部点検	高	52M	—	12		
		分解点検		130M	—	8	GM-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		駆動部点検		130M	—	12		
		分解点検		10C	—	12	GM-86 1次系安全弁検査	
4V-CS-006 4号 抽出オリフィス選がし弁		駆動部点検	低	10C	—	12		
		機能・性能試験		10C	—	12		
		駆動部点検		130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8	GM-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
4V-CS-022 4号 抽出ライン選がし弁		駆動部点検	低	130M	—	7		
		分解点検		10C	—	7	GM-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	7		
		駆動部点検		130M	—	5		
4V-CS-025 4号 冷卻材電磁弁入口逆止弁		駆動部点検	高	130M	—	6		
		分解点検		130M	—	6		
		駆動部点検		130M	—	6		
		分解点検		10C	—	6	GM-85 1次系弁検査	
4V-CS-026A 4 A 冷卻材電磁弁入口弁		駆動部点検	高	130M	—	6		
		分解点検		130M	—	6		
		機能・性能試験		10C	—	6	GM-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		130M	—	6		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
AV-CS-026R 4号 給油材混床式脱塩塔入口弁		駆動部点検	高	1300	—	7		
		分解点検		1300	—	7		
		機能・性能試験		10C	—	7	GM-85 1次系弁検査	
AV-CS-028 4号 給油材機イオン脱塩塔入口弁		駆動部点検	高	1300	—	7		
		分解点検		1300	—	7		
		機能・性能試験		10C	—	7	GM-85 1次系弁検査	
AV-CS-048 4号 給油材脱塩塔出口逆止弁		分解点検	高	1300	—	12		
		分解点検	高	1300	—	5		
		分解点検	低	1300	—	5	GM-87 1次系逆止弁検査	
AV-CS-134 4号 VCT選がし弁		分解点検	低	1300	○	11		
		補えり試験		10C	○	11	GM-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	○	11		
AV-CS-132 4号 VCT出口逆止弁		分解点検	高	1300	—	5		
		分解点検	高	1300	—	7		
		分解点検	高	1300	—	8		
AV-CS-162C 4号 CCHP ミニフローライン逆止弁		分解点検	高	1300	—	9		
		分解点検	高	1300	—	7		
		分解点検	高	1300	—	8		
AV-CS-165A 4号 CCHP出口逆止弁		分解点検	高	1300	—	13		
		分解点検	高	1300	—	13		
		分解点検	高	10C	—	13	GM-85 1次系弁検査	
AV-CS-215 4号 蒸てん流量制御補助オリフイス切替弁		駆動部点検	高	1300	—	12		
		分解点検		1300	—	12		
		機能・性能試験		10C	—	12	GM-85 1次系弁検査	
AV-CS-217 4号 蒸てんライン止弁		駆動部点検	高	1300	—	12		
		分解点検		1300	—	12		
		機能・性能試験		10C	—	12	GM-85 1次系弁検査	
AV-CS-220 4号 蒸てんライン外隔離弁		電動機分解点検	高	1300	—	12		
		駆動部点検		1300	—	12		
		分解点検		1300	—	12	GM-46 蒸てん弁格納容器隔離弁分解検査	
AV-CS-222 4号 蒸てんライン隔離逆止弁		電動機分解点検	高	1300	—	12		
		分解点検		1300	—	5		
		駆動部点検		1300	—	11		
AV-CS-227 4号 加圧器補助スプレイ弁		分解点検	高	1300	—	11		
		分解点検		1300	—	11	GM-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	11		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
IV-CS-229 4号 加圧器補助スプライン逆止弁	IV-CS-233 4号 Dルーブ充てんライン第一逆止弁	分解点検	高	130M	—	8	GM-85 1次系弁検査	
		分解点検	高	130M	○	4	GM-85 1次系弁検査	
		分解点検	高	130M	○	4	GM-85 1次系弁検査	
IV-CS-236 4号 Dルーブ充てんライン弁	IV-CS-253 4号 封水注入流量補助用オフイス切替弁	駆動部点検	高	130M	—	10		
		分解点検		65M	—	11		
		機能・性能試験		5C	—	10	GM-85 1次系弁検査	
IV-CS-271A 4 A R C P封水注入ライン外周離弁	IV-CS-271B 4 B R C P封水注入ライン外周離弁	駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検		130M	—	7		
		駆動部点検		130M	—	11		
IV-CS-271C 4 C R C P封水注入ライン外周離弁	IV-CS-271D 4 D R C P封水注入ライン外周離弁	駆動部点検	高	130M	—	11		
		分解点検		130M	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	11	GM-85 1次系弁検査	
IV-CS-278A 4 A R C P封水注入ライン第一逆止弁	IV-CS-278B 4 B R C P封水注入ライン第一逆止弁	電動機分解点検	高	130M	—	11		
		駆動部点検		130M	—	12		
		分解点検		130M	—	12		
IV-CS-278C 4 C R C P封水注入ライン第二逆止弁	IV-CS-278D 4 D R C P封水注入ライン第二逆止弁	機能・性能試験	高	10C	—	12		
		電動機分解点検		130M	—	12	GM-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		130M	—	13		
IV-CS-278E 4 E R C P封水注入ライン第二逆止弁	IV-CS-278F 4 F R C P封水注入ライン第二逆止弁	駆動部点検	高	130M	○	4		
		分解点検		130M	○	4		
		機能・性能試験		10C	○	4	GM-85 1次系弁検査	
IV-CS-278G 4 G R C P封水注入ライン第二逆止弁	IV-CS-278H 4 H R C P封水注入ライン第二逆止弁	電動機分解点検	高	130M	○	4		
		分解点検		130M	—	8	GM-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		130M	—	9	GM-85 1次系弁検査	
IV-CS-278I 4 I R C P封水注入ライン第一逆止弁	IV-CS-278J 4 J R C P封水注入ライン第一逆止弁	分解点検	高	130M	—	6	GM-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	7	GM-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	8	GM-85 1次系弁検査	
IV-CS-278K 4 K R C P封水注入ライン第二逆止弁	IV-CS-278L 4 L R C P封水注入ライン第二逆止弁	分解点検	高	130M	—	9	GM-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	6	GM-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	7	GM-85 1次系弁検査	
IV-CS-283 4号 R C Pハンジホットタンク選流し弁	IV-CS-288 4号 R C Pハンジホットタンク選流し弁	分解点検	高	130M	—	7	GM-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M	—	5		
		補えり試験		10C	—	5	GM-86 1次系弁検査	
		機能・性能試験	低	10C	—	5		
		機能・性能試験	高	10C	—	5		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術	
	4V-CS-294A 4 A 封水戻りオリフイスバイス弁	駆動部点検	高	130M	—	13			
		分解点検		130M	—	13			
		駆動部点検		130M	—	13			
		分解点検		130M	—	13			
	4V-CS-294B 4 B 封水戻りオリフイスバイス弁	駆動部点検	高	130M	—	13			
		分解点検		130M	○	4			
		分解点検		130M	○	4			
		駆動部点検		130M	○	4			
	4V-CS-294C 4 C 封水戻りオリフイスバイス弁	駆動部点検	高	130M	—	13			
		分解点検		130M	○	4			
		駆動部点検		130M	○	4			
		分解点検		130M	○	4			
	4V-CS-294D 4 D 封水戻りオリフイスバイス弁	駆動部点検	高	130M	—	13			
		分解点検		130M	○	4			
		駆動部点検		130M	—	8			
		分解点検		130M	—	8	GM-46 1次系弁検査		
	4V-CS-292 4号 余熱抽出ライン第一止弁	機能・性能試験	高	10C	—	8			
		駆動部点検		130M	—	8			
		分解点検		130M	—	8	GM-46 1次系弁検査		
		機能・性能試験		10C	—	8			
	4V-CS-296 4号 余熱抽出冷却器出口三方弁	駆動部点検	高	130M	—	13			
		分解点検		130M	—	13			
		駆動部点検		130M	—	8			
		分解点検		130M	—	8	GM-46 1次系弁検査		
	4V-CS-297 4号 RC P封水戻りライン逃がし弁	機能・性能試験	低	10C	○	11			
		分解点検		130M	○	11	GM-46 1次系安全弁検査		
		補えり試験		10C	○	11			
		機能・性能試験		10C	○	11			
	4V-CS-310 4号 RC P封水戻りライン内漏離弁	駆動部点検	高	130M	—	13			
		分解点検		130M	—	13	GM-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		電動機分解点検		130M	—	11			
		駆動部点検		130M	—	12			
	4V-CS-311 4号 RC P封水戻りライン外漏離弁	分解点検	高	130M	—	13			
		電動機分解点検		130M	—	12	GM-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		分解点検		130M	—	10			
		補えり試験		10C	—	10	GM-46 1次系安全弁検査		
	4V-CS-322 4号 封水冷却器入口戻り水逃がし弁	機能・性能試験	低	10C	—	10			
		分解点検		130M	—	10			
		駆動部点検		130M	—	5			
		分解点検		65M	—	10			
	4PCV-0122A 4号 VCT水蒸気放出ライン止弁	駆動部点検	高	130M	—	13			
		分解点検		65M	—	10			
		駆動部点検		130M	—	5			
		分解点検		65M	—	10			
	4PCV-0122B 4号 VCT水蒸気放出ライン止弁	駆動部点検	高	130M	—	13			
		分解点検		65M	—	10			
		駆動部点検		130M	—	5			
		分解点検		65M	—	10			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
原子炉冷却系統施設 (原子炉補機給排水設備)	原子炉補機給排水系 弁 9 個	機能・性能試験 簡易点検(油入替他)	高	1C 13M	○	13	GM-15 原子炉補機給排水機能検査	
	4 A 原子炉補機給排水ポンプ	分解点検 機能・性能試験	高	52M 4C	○	13	GM-84 1次系ポンプ機能検査	(振動診断;切替毎)
4 A 原子炉補機給排水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M 52M	○	13			(振動診断;切替毎)
	分解点検	高	13M 52M	○	11			(振動診断;切替毎)
4 B 原子炉補機給排水ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M 52M	○	13			(振動診断;切替毎)
	分解点検	高	13M 52M	○	11			(振動診断;切替毎)
4 B 原子炉補機給排水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M 52M	○	13			(振動診断;切替毎)
	分解点検	高	13M 52M	○	13			(振動診断;切替毎)
4 C 原子炉補機給排水ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M 52M	○	13			(振動診断;切替毎)
	分解点検	高	13M 52M	○	11			(振動診断;切替毎)
4 C 原子炉補機給排水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M 52M	○	13			(振動診断;切替毎)
	分解点検	高	13M 52M	○	11			(振動診断;切替毎)
4 D 原子炉補機給排水ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M 52M	○	13			(振動診断;切替毎)
	分解点検	高	13M 52M	○	12			(振動診断;切替毎)
4 D 原子炉補機給排水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M 52M	○	13			(振動診断;切替毎)
	分解点検	高	13M 52M	○	12			(振動診断;切替毎)
4 A 原子炉補機給排水冷却器	簡易点検(駆動板取替他)	高	13M 26M	○	13			
	開放点検 非破壊試験	高	26M 52M	○	12		GM-92 1次系熱交換器検査	
4 B 原子炉補機給排水冷却器	簡易点検(駆動板取替他)	高	13M 26M	○	13			
	開放点検 非破壊試験	高	26M 52M	○	12		GM-92 1次系熱交換器検査	
原子炉補機給排水サージタンク	簡易点検	高	65M	○	11			
	駆動部点検 分解点検	高	130M 130M	○	—			第14回定検より追加
4LV-1200 4号 C C Wサージタンク水位制御弁	簡易点検	高	130M	○	10			
	分解点検 外観点検	低	10C	○	10		GM-88 1次系真空破断弁検査	
4V-CC-101 原子炉補機給排水サージタンク真空度がし弁	簡易点検	高	195M	○	11			
	補えし試験 機能・性能試験	低	15C 15C	○	11		GM-86 1次系安全弁検査	
4V-CC-01A 4号 C C Wサージタンク止弁A 4号 C C Wサージタンク止弁B	簡易点検	高	195M	○	—			第14回定検より追加
	分解点検	高	195M	○	—			第14回定検より追加

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
4V-CC-024 4号 C.C.Wサージタンク補給ライン連絡弁	4V-CC-024	分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加
	4V-CC-025	分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加
	4号 C.C.WサージタンクB側補給ライン切替弁	分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加
	4号 C.C.WサージタンクA側補給ライン切替弁	分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加
4V-CC-042 4 C.C.C.W戻り母管止弁	4V-CC-042	駆動部点検	高	195M	—	11		
	4 C.C.C.W戻り母管止弁	分解点検	高	195M	—	11	OM-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検	高	130M	—	10		
		分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加
4V-CC-063A 4 A.C.C.C.W戻り母管連絡弁	4V-CC-063A	分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加
	4 B.C.C.C.W戻り母管連絡弁	分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加
	4 A.C.C.W/P出口止弁	分解点検	高	195M	—	1		
	4 B.C.C.W/P出口止弁	分解点検	高	195M	—	2		
4V-CC-052B 4 B.C.C.W/P出口止弁	4V-CC-052B	分解点検	高	195M	—	11		
	4 C.C.C.W/P出口止弁	分解点検	高	195M	—	13		
	4 D.C.C.W/P出口止弁	分解点検	高	130M	—	10		
		駆動部点検	低	195M	—	10		
4V-CC-056A 4号 C.C.Wサージタンク選がしライン止弁	4V-CC-056A	分解点検	高	15C	—	10	OM-85 1次系弁検査	
	4 A.C.C.C.W供給母管連絡弁	分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加
	4 B.C.C.C.W供給母管連絡弁	分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加
	4号 C.C.W/P出口連絡弁A	分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加
4V-CC-057B 4号 C.C.W/P出口連絡弁B	4V-CC-057B	分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加
	4号 C.C.W/P出口連絡弁B	駆動部点検	高	195M	—	11		
		分解点検	高	195M	—	11	OM-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検	高	130M	—	10		
4V-CC-063A 4 A.C.C.W/P出口弁	4V-CC-063A	分解点検	高	195M	—	5		
	4 A.C.C.W/P出口弁	分解点検	高	195M	—	5		
		機能・性能試験	高	15C	—	5	OM-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検	高	130M	—	5		
4V-CC-063B 4 B.C.C.W/P出口弁	4V-CC-063B	分解点検	高	195M	—	5		
	4 B.C.C.W/P出口弁	分解点検	高	195M	—	5		
		機能・性能試験	高	15C	—	5	OM-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検	高	130M	—	5		
4V-CC-063C 4 C.C.C.W/P出口弁	4V-CC-063C	分解点検	高	195M	—	4		
	4 C.C.C.W/P出口弁	分解点検	高	195M	—	4		
		機能・性能試験	高	15C	—	4	OM-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検	高	130M	○	4		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
4V-CC-063B 4 D C C W P 出口弁		駆動部点検	高	195M	—	4		
		分解点検						
		機能・性能試験						
		電動機分解点検						
4V-CC-064A 4 A C C W 冷却器C C W 入口弁		分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加
		分解点検						
		分解点検						
		分解点検						
4V-CC-065 4号 C C W 屋り得管遮断弁		漏えい試験	低	15C	—	11		
		機能・性能試験						
		電動機分解点検						
		電動機分解点検						
4V-CC-083 4号 AM 明燃素マニホールド出口弁		分解点検	高	195M	—	10		
		分解点検						
		分解点検						
		分解点検						
4V-CC-082 4号 AM 用燃素マニホールド出口ロライン安全弁		漏えい試験	高	15C	—	7		
		機能・性能試験						
		電動機分解点検						
		電動機分解点検						
4V-CC-106A 4 A B C C W P モーターC C W 出口止弁		分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加
		分解点検						
		分解点検						
		分解点検						
4V-CC-107A 4 A R H R 冷却器C C W 入口弁		漏えい試験	高	15C	—	7		第14回定検より追加
		機能・性能試験						
		電動機分解点検						
		電動機分解点検						
4V-CC-107B 4 B R H R 冷却器C C W 入口弁		駆動部点検	高	195M	—	5		
		分解点検						
		機能・性能試験						
		電動機分解点検						
4V-CC-114A 4 A R H R 冷却器C C W 第二出口弁		駆動部点検	高	195M	—	5		
		分解点検						
		機能・性能試験						
		電動機分解点検						
4V-CC-114B 4 B R H R 冷却器C C W 第二出口弁		駆動部点検	高	195M	—	10		
		分解点検						
		機能・性能試験						
		電動機分解点検						
4V-CC-118B 4 B S I P モーターC C W 出口弁		分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加
		分解点検						
		機能・性能試験						
		電動機分解点検						
4V-CC-119B 4 B S I P 連冷冷却器C C W 出口弁		分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加
		分解点検						
		機能・性能試験						
		電動機分解点検						
4V-CC-124A 4 A R H R P、ポンプ、モーターC C W 入口弁		分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加
		分解点検						
		機能・性能試験						
		電動機分解点検						
4V-CC-127A 4 A S I P、ポンプ、モーターC C W 出口弁		分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加
		分解点検						
		機能・性能試験						
		電動機分解点検						
4V-CC-127B 4 B S I P、ポンプ、モーターC C W 出口弁		分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加
		分解点検						
		機能・性能試験						
		電動機分解点検						
4V-CC-133 4号 AM 用 4 A、R H R P ポンプ、モーターC C W 第1入口弁		分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加
		分解点検						
		機能・性能試験						
		電動機分解点検						
4V-CC-134 4号 AM 用 4 A、R H R P ポンプ、モーターC C W 第2入口弁		分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加
		分解点検						
		機能・性能試験						
		電動機分解点検						
4V-CC-135 4号 AM 用 4 A、R H R P ポンプ、モーターC C W 第1出口弁		分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加
		分解点検						
		機能・性能試験						
		電動機分解点検						
4V-CC-136 4号 AM 用 4 A、R H R P ポンプ、モーターC C W 第2出口弁		分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加
		分解点検						
		機能・性能試験						
		電動機分解点検						
4V-CC-137 4号 AM 用 4 A、R H R P ポンプ、モーターC C W 出口弁		分解点検	高	195M	—	—		第14回定検より追加
		分解点検						
		機能・性能試験						
		電動機分解点検						

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
4V-CC-169A 4 A S P P冷却器C C W第二出口弁		駆動部点検	高	195H	—	7		
		分解点検		195H	—	7		
		機能・性能試験		15C	—	7	GM-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130H	—	7		
4V-CC-169B 4 B S P P冷却器C C W第二出口弁		駆動部点検	高	195H	—	10		
		分解点検		195H	—	10		
		機能・性能試験		15C	—	10	GM-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130H	—	10		
4V-CC-165 4号 封水冷却器C C W出口止弁A		分解点検	高	195H	—	—		第1.4回定検より追加
		駆動部点検	高	195H	—	7		
		分解点検		195H	—	7		
		機能・性能試験		15C	—	7	GM-85 1次系弁検査	
電動機分解点検	130H	—		7				
4V-CC-178A 4 A C/Vスプレイ冷却器C C W第二出口弁		駆動部点検	高	195H	—	10		
		分解点検		195H	—	10		
		機能・性能試験		15C	—	10	GM-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130H	—	10		
4V-CC-178B 4 B C/Vスプレイ冷却器C C W第二出口弁		駆動部点検	高	195H	—	10		
		分解点検		195H	—	10		
		機能・性能試験		15C	—	10	GM-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130H	—	10		
4V-CC-189A 4 A B C/V再循環ユニットC C W入口ライオン外船離弁		駆動部点検	高	195H	—	7		
		分解点検		195H	—	7	GM-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130H	—	7		
		駆動部点検		195H	—	3		
4V-CC-189B 4 C D C/V再循環ユニットC C W入口ライオン外船離弁		分解点検	高	195H	—	3		
		電動機分解点検		130H	—	7		
		分解点検		130H	—	11		
		補えり試験		10C	—	11	GM-85 1次系安全弁検査	
4V-CC-195A 4 A B C/V再循環ユニットC C W入口ライオン遊がし弁		機能・性能試験	低	10C	—	11		
		分解点検		130H	—	12		
		補えり試験		10C	—	12		
		機能・性能試験		10C	—	12	GM-85 1次系安全弁検査	
4V-CC-195B 4 C D C/V再循環ユニットC C W入口ライオン遊がし弁		分解点検	低	130H	—	12		
		補えり試験		10C	—	12		
		機能・性能試験		10C	—	12		
		機能・性能試験		10C	—	12	GM-85 1次系安全弁検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
4V-CC-198A 4 A C/V再循環ユニットCCW出口ライン外隔離弁		駆動部点検	高	195H	—	1		
		分解点検		195H	—	1	GM-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130H	—	9		
4V-CC-198B 4 B C/V再循環ユニットCCW出口ライン外隔離弁		駆動部点検	高	195H	—	1		
		分解点検		195H	—	1	GM-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130H	—	9		
4V-CC-198C 4 C C/V再循環ユニットCCW出口ライン外隔離弁		駆動部点検	高	195H	—	10		
		分解点検		195H	—	10	GM-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130H	—	10		
4V-CC-198D 4 D C/V再循環ユニットCCW出口ライン外隔離弁		駆動部点検	高	195H	—	10		
		分解点検		195H	—	10	GM-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130H	—	10		
4V-CC-207A 4 A 制御用空気圧縮装置CCW出口弁		分解点検	高	195H	—	—		第14回定検より追加
		分解点検		195H	—	—		第14回定検より追加
		電動機分解点検		130H	—	10		
4V-CC-210 4号AMM用代替再循環ポンプCCW入口弁		駆動部点検	高	130H	—	8		
		分解点検		130H	—	5		
		電動機分解点検		130H	—	8		
4V-CC-211 4号AMM用代替再循環ポンプCCW出口弁		駆動部点検	高	130H	—	8		
		分解点検		130H	—	5		
		電動機分解点検		130H	—	8		
4V-CC-212 4号AMM用代替再循環ポンプCCW出口遮止弁		分解点検	高	130H	—	5		
		分解点検		130H	—	5		
		補えり試験 機能・性能試験		10C 10C	—	5 5	GM-85 1次系安全弁検査	
4V-CC-222B 4 B C/H P C C W 入口ライン第2切替弁B		分解点検	高	195H	—	—		第14回定検より追加
		分解点検		195H	—	—		第14回定検より追加
		分解点検		195H	—	—		第14回定検より追加
4V-CC-223A 4 A C/H P ポンプ、モータCCW出口弁		分解点検	高	195H	—	—		第14回定検より追加
		分解点検		195H	—	—		第14回定検より追加
		分解点検		195H	—	—		第14回定検より追加
4V-CC-229B 4 B C/H P モータCCW入口弁		分解点検	高	195H	—	—		第14回定検より追加
		分解点検		195H	—	—		第14回定検より追加
		電動機分解点検		130H	—	9		
4V-CC-348 4号CRDM冷却ユニットCCW出口ライン外隔離弁		駆動部点検	高	195H	—	9		
		分解点検		195H	—	9	GM-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130H	—	9		
4V-CC-001 4号RCP、余熱抽出器CCW入口ライン止弁		駆動部点検	高	195H	—	8		
		分解点検		195H	—	5	GM-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		130H	—	8		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
4V-CC-403 4号RCF, 余熱抽出冷却器CCW入口ライン外隔離弁		駆動部点検	高	1954	—	3	GM-45 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		1954	—	3		
		電動機分解点検		1304	—	13		
4V-CC-405 4号RCF, 余熱抽出冷却器CCW入口ライン内隔離弁		分解点検	高	1304	—	5		
		駆動部点検		1304	—	—		
		分解点検		1304	—	—		
4V-1319 4A RCF熱源への装置CCW出口流量制御弁		駆動部点検	高	1304	—	—		第14回定検より追加
		分解点検		1304	—	—		
		電動部点検		1304	—	—		
4RCV-1320 4B RCF熱源への装置CCW出口流量制御弁		分解点検	高	1304	—	—		第14回定検より追加
		駆動部点検		1304	—	—		
		電動部点検		1304	—	—		
4RCV-1321 4C RCF熱源への装置CCW出口流量制御弁		駆動部点検	高	1304	—	—		第14回定検より追加
		分解点検		1304	—	—		
		電動部点検		1304	—	—		
4RCV-1322 4D RCF熱源への装置CCW出口流量制御弁		分解点検	高	1304	—	—		第14回定検より追加
		電動部点検		1304	—	—		
		分解点検		1304	—	—		
4V-CC-421A 4A RCF熱源への装置CCW選がし弁		分解点検	低	1304	—	11	GM-86 1次系安全弁検査	
		補えり試験		10C	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	11		
4V-CC-421B 4B RCF熱源への装置CCW選がし弁		分解点検	低	1304	—	11	GM-86 1次系安全弁検査	
		補えり試験		10C	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	11		
4V-CC-421C 4C RCF熱源への装置CCW選がし弁		分解点検	低	1304	—	11	GM-86 1次系安全弁検査	
		補えり試験		10C	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	11		
4V-CC-421D 4D RCF熱源への装置CCW選がし弁		分解点検	低	1304	—	11	GM-86 1次系安全弁検査	
		補えり試験		10C	—	11		
		機能・性能試験		10C	—	11		
4V-CC-425 4号RCF, 余熱抽出冷却器CCW出口ライン選がし弁		分解点検	低	1304	○	11	GM-86 1次系安全弁検査	
		補えり試験		10C	○	11		
		機能・性能試験		10C	○	11		
4V-CC-427 4号RCF, 余熱抽出冷却器CCW出口ライン内隔離弁		駆動部点検	高	1304	○	4	GM-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		1304	○	4		
		電動機分解点検		1304	—	9		
4V-CC-429 4号RCF, 余熱抽出冷却器CCW出口ライン外隔離弁		駆動部点検	高	1954	—	7	GM-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		1954	—	7		
		電動機分解点検		1304	—	7		
4V-PS-002B 4B CHTスタフィンボックス冷却水入口弁(継手側)		分解点検	高	1954	—	—		第14回定検より追加
		電動機分解点検		1304	—	7		
		分解点検		1954	—	—		
4V-PS-006B 4B CHTスタフィンボックス冷却水入口弁(軸端側)		分解点検	高	1954	—	—		第14回定検より追加
		電動機分解点検		1304	—	—		
		分解点検		1954	—	—		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び記録の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
原子炉冷却系配管設置 (原子炉補機冷却海水設備)	原子炉補機冷却海水系 弁 4 個	機能・性能試験	高	1C	○	13	GM-15 原子炉補機冷却系機能検査	
		簡易点検(グラウンドハンドハッキン取替他)		13M	○	13		
		分解点検		20M	○	12	GM-121 2次系ポンプ分解検査	
		外観点検		4C	—	12		
	4 A 海水ポンプ	機能・性能試験	高	2C	○	12	GM-122 2次系ポンプ機能検査	(振動診断:切替毎)
		簡易点検(油入替他)		13M	○	13		
		普通点検(軸受点検)		20M	○	12		
		分解点検		52M	—	12		
	4 B 海水ポンプ	簡易点検(グラウンドハンドハッキン取替他)	高	13M	○	13		
		分解点検		20M	○	12	GM-121 2次系ポンプ分解検査	
		外観点検		4C	—	12		
		機能・性能試験		2C	○	12	GM-122 2次系ポンプ機能検査	
4 B 海水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	13		(振動診断:切替毎)	
	普通点検(軸受点検)		20M	—	13			
	分解点検		52M	—	13			
	簡易点検(グラウンドハンドハッキン取替他)		13M	○	13			
4 C 海水ポンプ	分解点検	高	20M	—	13	GM-121 2次系ポンプ分解検査		
	外観点検		4C	—	13			
	機能・性能試験		2C	—	13	GM-122 2次系ポンプ機能検査		
	簡易点検(油入替他)		13M	○	13			
4 C 海水ポンプ用電動機	普通点検(軸受点検)	高	20M	—	13		(振動診断:切替毎)	
	分解点検		52M	—	13			
	簡易点検(グラウンドハンドハッキン取替他)		13M	○	13			
	普通点検(軸受点検)		20M	—	13			
4 D 海水ポンプ	分解点検	高	20M	—	13	GM-121 2次系ポンプ分解検査		
	外観点検		4C	—	13			
	機能・性能試験		2C	—	13	GM-122 2次系ポンプ機能検査		
	簡易点検(油入替他)		13M	○	13			
4 D 海水ポンプ用電動機	普通点検(軸受点検)	高	20M	—	13		(振動診断:切替毎)	
	分解点検		52M	—	13			
	簡易点検(グラウンドハンドハッキン取替他)		13M	○	13			
	普通点検(軸受点検)		20M	—	13			
4 D 海水ポンプ用電動機	分解点検	高	20M	—	12			
	簡易点検(油入替他)		13M	○	13			
	普通点検(軸受点検)		20M	—	13			
	分解点検		52M	—	12			
4V-SW-502A 4 A S W P 出口逆止弁	分解点検	高	65M	—	—		第 1 4 回定検より追加	
	分解点検		65M	—	—			
	分解点検		65M	—	—			
	分解点検		65M	—	—			
4V-SW-502B 4 B S W P 出口逆止弁	分解点検	高	65M	—	—		第 1 4 回定検より追加	
	分解点検		65M	—	—			
	分解点検		65M	—	—			
	分解点検		65M	—	—			
4V-SW-502C 4 C S W P 出口逆止弁	分解点検	高	65M	—	—		第 1 4 回定検より追加	
	分解点検		65M	—	—			
	分解点検		65M	—	—			
	分解点検		65M	—	—			
4V-SW-502D 4 D S W P 出口逆止弁	分解点検	高	65M	—	—		第 1 4 回定検より追加	
	分解点検		65M	—	—			
	分解点検		65M	—	—			
	分解点検		65M	—	—			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
機器又は系統名	IS-SW-507A 4 A 海水ストレーナ	開放点検	高	13M	○	13		
	IS-SW-507B 4 B 海水ストレーナ	開放点検	高	13M	○	13		
	IS-SW-507C 4 C 海水ストレーナ	開放点検	高	13M	○	13		
	IS-SW-507D 4 D 海水ストレーナ	開放点検	高	13M	○	13		
	IV-SW-509A 4 A S W P 出口ストレーナ出口弁	分解点検	高	65M	—	—		第14回定検より追加
	IV-SW-509B 4 B S W P 出口ストレーナ出口弁	分解点検	高	65M	—	—		第14回定検より追加
	IV-SW-509C 4 C S W P 出口ストレーナ出口弁	分解点検	高	65M	—	—		第14回定検より追加
	IV-SW-509D 4 D S W P 出口ストレーナ出口弁	分解点検	高	65M	—	—		第14回定検より追加
	IV-SW-500A 4号 海水供給母管温調弁A	駆動点検	130M	—	—	9		
		分解点検	65M	○	—	11	GM-123 2次系弁検査	
		電動機分解点検	130M	—	—	8		
		駆動点検	130M	—	—	9		
	IV-SW-500B 4号 海水供給母管温調弁B	分解点検	65M	○	—	11	GM-123 2次系弁検査	
		電動機分解点検	130M	—	—	9		
		駆動点検	130M	—	—	12		
		分解点検	130M	—	—	9	GM-85 1次系弁検査	
IV-SW-570A 4 A C C W 冷却器海水第二出口弁	電動機分解点検	130M	—	—	9			
	駆動点検	130M	—	—	7			
	分解点検	130M	—	—	10	GM-85 1次系弁検査		
	電動機分解点検	130M	—	—	7			
海水配管(屋外)	開放点検	39M	○	—	13			
	開放点検	65M	○	—	12			
原子炉冷却系統駆設 (原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えい を監視する装置)	格納容器ポンプ水位上昇率測定装置、格納容器内凝縮液電導度測定装置及び 炉内計装用シリンパル配管室漏えい検出装置	機能・性能試験	低	1C	○	13	GM-79 格納容器ポンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液 電導度測定装置漏えい検出装置検査	
	計測制御系統駆設 (制御材)	機能・性能試験	高	1C	○	13	GM-30 制御系統駆設装置検査 GM-107 制御系統クランプ動作検査	
計測制御系統駆設 (制御材)	1. 停止グループ制御系統クランプ 24本 2. 制御グループ制御系統クランプ 20本	機能・性能試験	高	1C	○	13	GM-108 制御系統クランプ検査	※: 炉心設計による
	1. 制御系統クランプ 2. パーナブルボイス 3. 2次中性子源 4. プラズマデバイス	外観点検	高	1C	○	13		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
計測制御系統施設 (制御機駆動装置)	制御機位置指示装置	特性試験	低	13M	○	13	GM-109 制御機位置指示装置点検	(株動診断:1ヶ月)
	4 A MGセット用発電機	簡易点検(油入時他)		13M	○	13		
		普通点検(軸受点検)		39M	—	12		
		分解点検		65M	—	10		
	4 B MGセット用発電機	簡易点検(油入時他)	低	13M	○	13		(株動診断:1ヶ月)
		普通点検(軸受点検)		39M	—	13		
		分解点検		65M	—	13		
	4 A MGセット用電動機	分解点検	低	39M	—	12		(株動診断:1ヶ月)
		分解点検		39M	—	13		
	計測制御系統施設 (ほう酸注入機能を有する設備)	4 A ほう酸ポンプ	簡易点検(油入時他)	高	13M	○	13	
分解点検			39M		—	13	GM-31 ほう酸ポンプ分解検査	
4 B ほう酸ポンプ用電動機		機能・性能試験	高	1C	○	13	GM-56 ほう酸ポンプ機能検査	(株動診断:1ヶ月)
		分解点検		39M	—	13		
4 A ほう酸ポンプ		簡易点検(油入時他)	高	13M	○	13		(株動診断:1ヶ月)
		分解点検		39M	○	11	GM-31 ほう酸ポンプ分解検査	
4 B ほう酸ポンプ用電動機		機能・性能試験	高	1C	○	13	GM-56 ほう酸ポンプ機能検査	(株動診断:1ヶ月)
		分解点検		39M	○	12		
4 A ほう酸タンク		開放点検	高	130M	—	11		
		開放点検		130M	—	11		
4 B ほう酸タンク	開放点検	高	65M	—	12			
	開放点検		130M	○	4			
4号 ほう酸フィルタ	駆動部点検	低	130M	○	4			
	分解点検		130M	○	4			
4RCV-220A 4号 ほう酸補給ライン流量制御弁	機能・性能試験	高	10C	○	4	GM-85 1次系弁検査		
	駆動部点検		130M	—	13			
4RCV-220B 4号 ほう酸混合器VCT出口開補給弁	分解点検	低	130M	—	13			
	機能・性能試験		10C	—	13	GM-85 1次系弁検査		
4RCV-223A 4号 1次系純水補給ライン流量制御弁	駆動部点検	高	130M	—	11			
	分解点検		130M	—	11			
4RCV-223B 4号 ほう酸混合器VCT入口開補給弁	機能・性能試験	低	10C	—	11			
	駆動部点検		130M	—	13			
4VCS-02A 4 A B A T入口弁	分解点検	低	130M	○	4			
	機能・性能試験		130M	○	12	GM-85 1次系弁検査		
4VCS-02B 4 B B A T入口弁	駆動部点検	低	10C	○	4			
	分解点検		130M	—	13			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
4V-CS-473 4号 ほう筒給タンク出口逆止弁		分解点検	低	1300	—	8	GM-87 1次系逆止弁検査	
		駆動部点検			○			
4V-CS-478A 4 A B A T出口弁		分解点検	高	1300	○	4		
		機能・性能試験			○			
4V-CS-478B 4 B B A T出口弁		駆動部点検	高	1300	—	5	GM-85 1次系弁検査	
		分解点検			—			
4V-CS-486A ほう筒ポンプ出口逆止弁		分解点検	高	1300	—	10	GM-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験			—			
4V-CS-486B ほう筒ポンプ出口逆止弁		分解点検	高	1300	—	10		
		駆動部点検			—			
4V-CS-500A 4 A B A T 循環弁		分解点検	高	1300	—	11		
		機能・性能試験			—			
4V-CS-500B 4 B B A T 循環弁		駆動部点検	高	1300	—	12	GM-85 1次系弁検査	
		分解点検			—			
4V-CS-501A 4 A ほう筒タンク真空逆止弁		分解点検	低	1300	—	10	GM-88 1次系真空逆止弁検査	
		機能・性能試験			—			
4V-CS-501B 4 B ほう筒タンク真空逆止弁		分解点検	低	1300	—	10	GM-88 1次系真空逆止弁検査	
		外観点検			—			
4V-CS-502 4号 B A T 空器供給ライン逆止弁		分解点検	低	1300	—	6	GM-87 1次系逆止弁検査	
		分解点検			—			
4V-CS-505A 4 A B A T 逆止弁		分解点検	低	1300	—	6		
		補えり試験			—			
4V-CS-505B 4 B B A T 逆止弁		機能・性能試験	低	1300	—	6	GM-86 1次系安全弁検査	
		分解点検			—			
4V-CS-506B 4 B B A T 逆止弁		分解点検	低	1300	—	11		
		補えり試験			—			
4V-CS-526 4号 緊急ほう筒注入弁		機能・性能試験	高	1300	—	11	GM-86 1次系安全弁検査	
		駆動部点検			○			
B 1次系純水タンク		電動機分解点検	低	1300	○	4		
		開放点検			—			
V-PM-102B B 1次系純水タンク真空逆止弁		分解点検	低	1300	—	11	GM-88 1次系真空逆止弁検査	
		機能・性能試験			—			
V-PM-106B B 1次系純水タンク真空逆止弁		分解点検	低	1300	—	10	GM-88 1次系真空逆止弁検査	
		駆動部点検			—			
V-PM-505B B P M T 出口弁		分解点検	低	1300	—	8		
		機能・性能試験			—			
		分解点検	低	1300	—	8	GM-85 1次系弁検査	
		機能・性能試験			—			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術	
V-MH-5TP B P.M.T. ミニロー切り弁		駆動部点検	低	130M	—	8			
		分解点検		130M	—	8			
V-MH-5EB 脱気水E P.M.T. バス逆弁		機能・性能試験	低	10C	—	8	GM-85 1次系弁検査		
		分解点検		130M	—	10	GM-87 1次系逆止弁検査		
計測制御系統施設 (制御用空気設備)	1. 制御用空圧縮機 2台 2. 所内用空気1号機送風弁 1台 3. 制御用空気供給母管連絡弁 2台 4. 制御用空気供給管密閉内供給元弁 2台	機能・性能試験	高	1C	○	13	GM-32 制御用空気圧縮機機能検査		
		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	13		(振動診断:切替後)	
		分解点検	高	20M	○	12			
		分解点検	高	20M	○	12			
		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	13			(振動診断:切替後)
		分解点検	高	20M	—	13			(振動診断:切替後)
		分解点検	高	20M	—	13			(振動診断:切替後)
		開放点検	高	52M	—	12			
		開放点検	高	52M	—	11			
		開放点検	高	52M	—	12			
		開放点検	高	52M	—	11			
		開放点検	高	78M	—	11			
開放点検	高	78M	—	11					
開放点検	高	20M	○	12					
開放点検	高	20M	—	13					
開放点検	高	20M	○	12					
開放点検	高	20M	—	13					
開放点検	高	20M	—	13					
開放点検	高	13M	○	13					
分解点検	高	52M	—	13					
分解点検	高	52M	—	13					
簡易点検(油入替他)	高	13M	○	13					
分解点検	高	52M	—	12					
分解点検	高	52M	—	12					
駆動部点検	高	130M	—	12					
分解点検	高	130M	—	12			GM-85 1次系弁検査		
電動機分解点検	高	130M	—	9					
駆動部点検	高	130M	—	12					
分解点検	高	130M	—	12					
電動機分解点検	高	130M	—	8			GM-85 1次系弁検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
4V-1A-505A 4 A 制御用空気主送気送がし弁等供給元弁		駆動部点検	高	1300	—	9		
		分解点検		1300	—	9		
		機能・性能試験		10C	—	9	GM-85 1次系弁検査	
4V-1A-505B 4 B 制御用空気主送気送がし弁等供給元弁		電動機分解点検	高	1300	—	9		
		駆動部点検		1300	—	8		
		分解点検		1300	—	8		
		機能・性能試験	10C	—	8	GM-85 1次系弁検査		
		電動機分解点検	1300	—	8			
		駆動部点検	1300	○	4			
4V-1A-508A 4 A 制御用空気供給ライン外周露弁		分解点検	高	1300	○	4	GM-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		1300	○	4		
		駆動部点検		1300	—	5		
4V-1A-508B 4 B 制御用空気供給ライン外周露弁		分解点検	高	1300	—	5	GM-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		電動機分解点検		1300	—	5		
		駆動部点検		1300	—	5		
4V-1A-510A 4 A 制御用空気格納容器内供給元弁		分解点検	高	1300	—	9		
		電動機分解点検		1300	—	9		
		駆動部点検		1300	—	8		
4V-1A-510B 4 B 制御用空気格納容器内供給元弁		分解点検	高	1300	—	8		
		電動機分解点検		1300	—	8		
		駆動部点検		1300	—	8		
4V-1C-003A 4 A インタークーラークーア安全弁		分解点検	低	1300	○	11		
		補えり試験		10C	○	11	GM-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	○	11		
4V-1C-003B 4 B インタークーラークーア安全弁		分解点検	低	1300	—	13		
		補えり試験		10C	—	13	GM-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	13		
4V-1C-008A 4 A ドレンセパレータ安全弁		分解点検	低	1300	—	9		
		補えり試験		10C	—	9	GM-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	9		
4V-1C-008B 4 B ドレンセパレータ安全弁		分解点検	低	1300	—	10		
		補えり試験		10C	—	10	GM-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	10		
4V-1C-014A 4 A 制御用空気だめ安全弁		分解点検	低	1300	—	13		
		補えり試験		10C	—	13	GM-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	13		
4V-1C-014B 4 B 制御用空気だめ安全弁		分解点検	低	1300	○	11		
		補えり試験		10C	○	11	GM-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	○	11		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保 全 重 要 度	体 面 又 は 傾 度	今 回 の 実 施 計 画	前 回 実 施 時 期 (定 検 回 数)	検 査 名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	1.保安規定に定める原子炉トリップ、工学的安全施設の始動、原子炉格納容器隔離等を行うための伝送器、設定器及び保護継電器 (1) 1次冷却材等計測装置 68個 伝送器 116個 (2) 設定器 20個 設定器(保護継電器含む) 20個 2.重要な指示計器 (1) 1次冷却材等計測装置 11個 現場指示計 20個 中央制御室指示計 20個 (2) 稼計測装置 8個 中央制御室指示計 8個	特性試験	高	高	ISM	○	I3	GM-34 安全保護系設定値確認検査	
	1. ハーミッシュプロジェクタ回路 (原子炉保護系ロジック関連) 2. ハーミッシュプロジェクタ回路 (安全保護系ロジック関連)	機能・性能試験	高	高	IC	○	I3	GM-111 安全保護系機能検査(ハーミッシュプロジェクタ検査)	
	事故時監視計器 指示計 35個	特性試験	高	高	ISM	○	I3	GM-95 フロントパネル監視設備機能検査	
	事故時監視計器監視設備 ・格納容器冷却ガス材料採取設備 1台	機能・性能試験	低	低	IC	○	I3		
	1. 制御棒制御系 2. 加圧器水位制御系 3. 加圧器圧力制御系 4. 蒸気発生器水位制御系	機能・性能試験	高	高	IC	○	I3	GM-72 計測制御系機能検査	一部は検出後
	1次系及び2次系計測制御装置	特性試験	高	高	ISM	○	I3	GM-73 計測制御系監視機能検査	
	原子炉、タービン及び発電機相互の停止インターロック機構	機能・性能試験	高	高	IC	○	I3	GM-113 総合インターロック検査	
	炉外稼計測装置 1. 中性子稼働率計測装置 2台 2. 中間稼働計測装置 2台 3. 出力稼働計測装置 4台	特性試験	高	高	ISM	○	I3	GM-106 稼計測設備検査	一部は検出後
	炉内稼計測装置 1式	機能・性能試験	低	低	IC	○	I3	GM-106 稼計測設備検査	
	原子炉安全保護計装器 1式	特性試験	高	高	ISM	○	I3		
	原子炉安全保護シャケンス盤 1式	機能・性能試験	高	高	IC	○	I3		
	原子炉安全保護ロジック盤 1式	機能・性能試験	高	高	IC	○	I3		
	炉外稼計装器監視盤 1式	特性試験	高	高	ISM	○	I3		
	6. 6kV非常用母線高圧保護継電器 1式	特性試験	高	高	ISM	○	I3		
	1次冷却材ポンプ電源監視盤 1式	特性試験	高	高	ISM	○	I3		
	事故時放射線監視盤 1式	特性試験	高	高	ISM	○	I3		
	制御用空気圧縮機制御盤 1式	特性試験	高	高	ISM	○	I3		
	制御用空気除泥装置制御盤 1式	特性試験	高	高	ISM	○	I3		
	計装電源盤(後備電源線・切替盤・分電盤含む) 1式	特性試験他	高	高	ISM	○	I3		
	ディーゼル発電機制御盤 1式	特性試験	高	高	ISM	○	I3		
	中央制御室外原子炉停止盤 1式	機能・性能試験	高	高	IC	○	I3		
	中央制御室外蒸気空調盤 1式	機能・性能試験	高	高	IC	○	I3		
	主盤 1式	外観点検	高	高	IC	○	I3		
	原子炉補助盤 1式	外観点検	高	高	IC	○	I3		
	原子炉関連盤 1式	外観点検	高	高	IC	○	I3		
	タービン発電機補助盤 1式	外観点検	高	高	IC	○	I3		
	炉内盤 1式	外観点検	高	高	IC	○	I3		
	空調用冷媒機制御盤 1式	特性試験	高	高	ISM	○	I3		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
計測制御施設 (発電用原子炉の運転を管理するための制御装置)	電気ネットワーク 1式	外觀点検	高	1C	○	13		
	AM設備制御盤 1式	特性試験	高	1M	○	13		
	その他設備 1式	特性試験	高	1M	○	13		
	運転指令設備 (バージニング装置) (3,4号機共用)	外觀点検	低	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中
	緊急時運転パラメータ伝達システム (SDPS) (3,4号機共用)	機能・性能試験	高	1C	○	13		定検停止中又はプラント運転中
	中央制御室外原子炉停止監視操作回路 2回路	機能・性能試験	高	1C	○	13	GM-74 原子炉の停止制御回路健全性確認検査	
	測定監視カメラ他 (3,4号機共用) 4台	機能・性能試験	低	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中
	4号 加圧器送風シタック	開放点検	低	3M	—	13		
	4号 格納容器冷却材ドレンタンク	開放点検	低	3M	—	12		
	4号 格納容器サンプ	外觀点検	低	1C	○	13		プラント運転中
放射性廃棄物の廃棄施設 (気体、液体又は固体廃棄物処理設備)	4号 補助建屋サンプタンク	開放点検	低	3Y	—	2020年度		プラント運転中
	4号 補助建屋サンプファイラタ	開放点検	低	10Y	○	2012年度		プラント運転中
	4 A 格納容器サンプポンプ	分解点検	低	3M	○	11		
	4 A 格納容器サンプポンプ用電動機	機能・性能試験	低	3C	○	11	GM-97 液体廃棄物処理系設備検査	
	4 B 格納容器サンプポンプ	分解点検	低	3M	○	12		
	4 B 格納容器サンプポンプ用電動機	機能・性能試験	低	3C	○	12	GM-97 液体廃棄物処理系設備検査	
	4 B 格納容器サンプポンプ	分解点検	低	3M	—	12		
	4 B 格納容器サンプポンプ用電動機	機能・性能試験	低	3C	—	12	GM-97 液体廃棄物処理系設備検査	
	4 A 補助建屋サンプポンプ	分解点検	低	6Y	○	2016年度		プラント運転中
	4 A 補助建屋サンプポンプ用電動機	機能・性能試験	低	6F	○	2016年度		
	4 A 補助建屋サンプポンプ	分解点検	低	6Y	○	2016年度		プラント運転中
	4 A 補助建屋サンプポンプ用電動機	機能・性能試験	低	6F	○	2016年度		
	4 B 補助建屋サンプポンプ	分解点検	低	6Y	○	2016年度		プラント運転中
	4 B 補助建屋サンプポンプ用電動機	機能・性能試験	低	6F	○	2016年度		
	4 A 格納容器冷却材ドレンポンプ	分解点検	低	13M	○	13		
	4 A 格納容器冷却材ドレンポンプ用電動機	機能・性能試験	低	7M	—	12		
	4 B 格納容器冷却材ドレンポンプ	分解点検	低	6C	—	12		
	4 B 格納容器冷却材ドレンポンプ用電動機	機能・性能試験	低	3M	—	12	GM-97 液体廃棄物処理系設備検査	
	4 A 格納容器冷却材ドレンポンプ	分解点検	低	3C	—	12		
	4 A 格納容器冷却材ドレンポンプ用電動機	機能・性能試験	低	13M	○	13	GM-97 液体廃棄物処理系設備検査	
	4 B 格納容器冷却材ドレンポンプ	分解点検	低	7M	—	11		
	4 B 格納容器冷却材ドレンポンプ用電動機	機能・性能試験	低	6C	—	11	GM-97 液体廃棄物処理系設備検査	
	4 A 格納容器冷却材ドレンポンプ	分解点検	低	13M	○	13		
	4 A 格納容器冷却材ドレンポンプ用電動機	機能・性能試験	低	7M	—	11	GM-97 液体廃棄物処理系設備検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
4 B 格納容器冷却材ドレンポンプ用電動機		分解点検	低	3M	—	12	GM-07 液体廃棄物処理系設備検査	
		機能・性能試験						
A 洗浄排水モニタポンプ		簡易点検(油入等他)	低	1Y	○	2021年度		プラント運転中
		分解点検						
A 洗浄排水モニタポンプ用電動機		機能・性能試験	低	6Y	—	2018年度	GM-07 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		分解点検						
		機能・性能試験	低	6F	—	2018年度		
		簡易点検(油入等他)						
B 洗浄排水モニタポンプ		分解点検	低	6Y	—	2019年度		プラント運転中
		機能・性能試験						
B 洗浄排水モニタポンプ用電動機		分解点検	低	6F	—	2019年度	GM-07 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		機能・性能試験						
洗浄排水濃縮液移送ポンプ		分解点検	低	6Y	—	2017年度		プラント運転中
		機能・性能試験						
煙固体溶解処理建屋床ドレンサンダクタ		開放点検	低	5Y	—	2018年度		プラント運転中
		機能・性能試験						
煙固体溶解処理建屋床ドレン送水ポンプ		開放点検	低	5Y	—	2017年度		プラント運転中
		機能・性能試験						
煙固体溶解処理建屋床ドレン送水ポンプ用電動機		分解点検	低	6Y	—	2019年度	GM-07 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		機能・性能試験						
		分解点検	低	6F	—	2019年度		プラント運転中
		機能・性能試験						
煙固体溶解処理建屋洗浄排水送水ポンプ		分解点検	低	6Y	—	2018年度	GM-07 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		機能・性能試験						
		分解点検	低	6F	—	2018年度		プラント運転中
		機能・性能試験						
煙固体溶解処理建屋洗浄排水送水ポンプ用電動機		分解点検	低	6Y	—	2018年度	GM-07 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		機能・性能試験						
		分解点検	高	130M	—	7		
		機能・性能試験						
4V-088 4号 CVD T G、Aライイン内隔離弁		駆動部点検	高	65M	—	12		
		分解点検						
4V-089 4号 CVD T G、Aライイン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検						
4V-093 4号 CVD T ベントライイン内隔離弁		分解点検	高	65M	—	12		
		機能・性能試験						
4V-094 4号 CVD T ベントライイン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検						
4V-098 4号 CVD T 蓋体供給ライイン外隔離弁		分解点検	高	65M	—	13		
		機能・性能試験						
4V-113 4号 C/Vサンダクタポンプ出口ライイン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	9		
		分解点検						
		駆動部点検	高	130M	—	11		
		分解点検						
		GM-06 原子炉格納容器隔離弁分解検査						

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
V-WI-144 4号C/Vサンポンプ出口ライン外隔離弁	4号C/V冷卻材ドレンポンプ出口ライン内隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	6	GM-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		130M	—	6		
4LV-1000 4号C/V冷卻材ドレンポンプ出口ライン内隔離弁	4号C/V冷卻材ドレンポンプ出口ライン外隔離弁	駆動部点検	高	52M	—	13	GM-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		130M	—	5		
4V-WI-008 4号C V D T 連絡し弁	4号C/V冷卻材ドレンポンプ出口ライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M	—	5	GM-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		130M	—	5		
4V-WI-008 4号C V D T 連絡し弁	4号C/V冷卻材ドレンポンプ出口ライン外隔離弁	分解点検	高	130M	—	13	GM-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		漏えい試験		10C	—	13		
4V-WI-008 4号C V D T 連絡し弁	4号C/V冷卻材ドレンポンプ出口ライン外隔離弁	機能・性能試験	低	10C	—	13	GM-86 1次系安全弁検査	
		分解点検		130M	—	10		
4V-WI-005 4号C V D T 蒸気供給ライン逆止弁	4号C/V冷卻材ドレンポンプ出口ライン外隔離弁	分解点検	低	130M	—	10	GM-87 1次系逆止弁検査	
		分解点検		130M	—	7		
4V-WI-132 4号蒸留液部固定装置脱塩水逆止弁	4号C/V冷卻材ドレンポンプ出口ライン外隔離弁	分解点検	低	130M	—	7	GM-87 1次系逆止弁検査	
		分解・開放点検		3Y~10Y	○	2019年度		
A 洗浄排水モニタタンク	A 洗浄排水モニタタンク	開放点検	低	10Y	—	2019年度	GM-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
		開放点検		10Y	—	2020年度		
B 洗浄排水モニタタンク	B 洗浄排水モニタタンク	開放点検	低	10Y	—	2019年度	GM-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
		開放点検		10Y	—	2020年度		
V-WI-332 洗浄排水処理装置コンデンサ安全弁	V-WI-332 洗浄排水処理装置コンデンサ安全弁	開放点検	低	10Y	—	2016年度	GM-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
		漏えい試験		10F	—	2016年度		
V-WI-750 洗浄排水濃縮タンク安全弁	V-WI-750 洗浄排水濃縮タンク安全弁	機能・性能試験	低	10F	—	2016年度	GM-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
		分解点検		10Y	—	2015年度		
V-WI-306 洗浄排水処理装置薬品注入ライン逆止弁	V-WI-306 洗浄排水処理装置薬品注入ライン逆止弁	漏えい試験	低	10F	—	2015年度	GM-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
		機能・性能試験		10F	—	2015年度		
V-WI-325 洗浄排水処理装置蒸発器洗浄水入口逆止弁	V-WI-325 洗浄排水処理装置蒸発器洗浄水入口逆止弁	分解点検	低	10Y	—	2017年度	GM-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		分解点検		10Y	—	2017年度		
V-WI-328 洗浄排水処理装置蒸発器上部洗浄水入口逆止弁	V-WI-328 洗浄排水処理装置蒸発器上部洗浄水入口逆止弁	分解点検	低	10Y	—	2017年度	GM-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		分解点検		10Y	—	2017年度		
V-WI-334 洗浄排水処理装置精留槽洗浄水入口逆止弁	V-WI-334 洗浄排水処理装置精留槽洗浄水入口逆止弁	分解点検	低	10Y	—	2017年度	GM-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		分解点検		10Y	—	2017年度		
V-WI-741 洗浄排水濃縮タンク蒸気供給逆止弁	V-WI-741 洗浄排水濃縮タンク蒸気供給逆止弁	分解点検	低	10Y	—	2017年度	GM-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		分解点検		10Y	—	2017年度		
V-WI-752 洗浄排水濃縮液移送ポンプ入口ライン蒸気逆止弁	V-WI-752 洗浄排水濃縮液移送ポンプ入口ライン蒸気逆止弁	分解点検	低	10Y	—	2017年度	GM-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		分解点検		10Y	—	2017年度		
V-WI-768 洗浄排水濃縮液移送ポンプ出口ライン蒸気逆止弁	V-WI-768 洗浄排水濃縮液移送ポンプ出口ライン蒸気逆止弁	分解点検	低	10Y	—	2017年度	GM-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		分解点検		10Y	—	2017年度		
V-WI-200 溶融炉逆止弁	V-WI-200 溶融炉逆止弁	機能・性能試験	低	1C	○	13	GM-118 固体廃棄物処理系溶融炉運転性能検査	プラント運転中
		開放点検		2Y	—	2021年度		
V-WI-200 溶融炉逆止弁	V-WI-200 溶融炉逆止弁	開放点検	低	4Y	—	2020年度	GM-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
		漏えい試験		4F	—	2020年度		
V-WI-200 溶融炉逆止弁	V-WI-200 溶融炉逆止弁	機能・性能試験	低	4F	—	2020年度	GM-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
		開放点検		4F	—	2020年度		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
0001A ドレンセパレータA安全弁		分解点検	低	4V	—	2020年度	0M-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
		漏えい試験		4F	—	2020年度		
		機能・性能試験		4F	—	2020年度		
		外観点検		4F	—	2020年度		
0001B ドレンセパレータB安全弁		分解点検	低	4V	—	2020年度	0M-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
		漏えい試験		4F	—	2020年度		
		機能・性能試験		4F	—	2020年度		
		外観点検		4F	—	2020年度		
0008 レンジパータング安全弁		分解点検	低	4V	—	2020年度	0M-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		漏えい試験		4F	—	2020年度		
		機能・性能試験		4F	—	2020年度		
		外観点検		4F	—	2020年度		
V-WI-001 燃焼空気ファン出口逆止弁		分解点検	低	4V	—	2020年度	0M-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		漏えい試験		4F	—	2020年度		
		機能・性能試験		4F	—	2020年度		
		外観点検		4F	—	2020年度		
V-WI-013 C/F入口給気逆止弁		分解点検	低	4V	—	2020年度	0M-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		漏えい試験		4F	—	2020年度		
		機能・性能試験		4F	—	2020年度		
		外観点検		4F	—	2020年度		
V-WI-015 Ce/F出口表層バーージ空気逆止弁		分解点検	低	4V	—	2020年度	0M-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		漏えい試験		4F	—	2020年度		
		機能・性能試験		4F	—	2020年度		
		外観点検		4F	—	2020年度		
V-WI-018 Ce/右連佐ノズルバーージ空気入口逆止弁		分解点検	低	4V	—	2020年度	0M-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
		漏えい試験		4F	—	2020年度		
		機能・性能試験		4F	—	2020年度		
		外観点検		4F	—	2020年度		
放射線管理施設 (原子炉格納容器本体以外の廃棄物貯蔵設備又は廃棄物処理設備からの高放射能放射性廃棄物の漏えいの検出装置又は自動警報装置)	補助建屋サンプタンク 格納容器サンプ	機能・性能試験	低	1C	○	I3	0M-69 液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置機能検査	
		機能・性能試験	低	1C	○	I3		
		機能・性能試験	低	1C	○	I3		
		特性試験	高	I3M	○	I3	0M-209 エリアモニタ機能検査	
放射線管理施設 (格納容器内高レンジモニタ 4台)	1. エリアモニタ 8台 2. プロセスモニタ 17台	特性試験	低	I3M	○	I3	0M-77 放射線監視装置機能検査	
		機能・性能試験	低	1C	○	I3		
		駆動部点検	高	I30M	—	6		
		分解点検	高	I30M	—	6		
4V-IC-305A 4号 C/V水素バーージ給気ライン外層離弁A		機能・性能試験	高	10C	—	6	0M-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		130M	—	6		
		分解点検		130M	—	6		
		機能・性能試験		10C	—	6		
4V-IC-305B 4号 C/V水素バーージ給気ライン外層離弁B		駆動部点検	高	130M	—	6		
		分解点検		130M	—	6		
		機能・性能試験		10C	—	6	0M-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		130M	—	7		
4V-IC-307A 4号 C/V水素バーージ給気ライン内層離弁A		分解点検	高	130M	—	7		
		機能・性能試験		10C	—	7	0M-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	7		
		駆動部点検		130M	—	7		
4V-IC-307B 4号 C/V水素バーージ給気ライン内層離弁B		分解点検	高	130M	—	7		
		機能・性能試験		10C	—	7	0M-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検		130M	—	7		
		駆動部点検		130M	—	7		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び点検の項目	保 全 重 要 度	保 全 重 要 度	保全方式 又は 種 類 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	格納容器空調装置	機能・性能点検	高	高	1C	○	13	604-78 1 次系換気空調設備検査	
	4 A 格納容器給気ファン	分解点検	低	低	6Y	—	2019年度		プラント運転中
	4 A 格納容器給気ファン用電動機	分解点検	低	低	4V	—	2021年度		プラント運転中
	4 B 格納容器給気ファン	分解点検	低	低	6Y	—	2020年度		プラント運転中
	4 B 格納容器給気ファン用電動機	分解点検	低	低	4V	○	2018年度		プラント運転中
	4 A 格納容器排気ファン	簡易点検(油入時他) 分解点検	低	低	2Y 6Y	— —	2021年度 2021年度		プラント運転中
	4 A 格納容器排気ファン用電動機	分解点検	低	低	4V	—	2019年度		プラント運転中
	4 B 格納容器排気ファン	簡易点検(油入時他) 分解点検	低	低	2Y 6Y	○ ○	2020年度 2016年度		プラント運転中
	4 B 格納容器排気ファン用電動機	分解点検	低	低	4V	—	2020年度		プラント運転中
	4 A 格納容器給気ユニット	開放点検	低	低	6Y	—	2020年度		プラント運転中
	4 B 格納容器給気ユニット	開放点検	低	低	6Y	—	2021年度		プラント運転中
	4 A 格納容器排気ユニット	開放点検	低	低	6Y	—	2019年度		プラント運転中
	4 B 格納容器排気ユニット	開放点検	低	低	6Y	—	2020年度		プラント運転中
	4V-NS-054 4号 C/V 給気ライン外周離弁	駆動部点検 分解点検	高	高	130M 130M	— —	9 9		
	4V-NS-055 4号 C/V 給気ライン内周離弁	駆動部点検 分解点検	高	高	130M 130M	— —	10 10		
	4V-NS-056 4号 C/V 排気ライン内周離弁	駆動部点検 分解点検	高	高	130M 130M	— —	11 10		
	4V-NS-057 4号 C/V 排気ライン外周離弁	駆動部点検 分解点検	高	高	130M 130M	— —	9 9		
	4D-NS-060A 4 A C/V 排気ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	高	52M	—	13		
	4D-NS-060B 4 B C/V 排気ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	高	52M	—	12		
	4D-NS-061 4号 C/V 排気ダンパ	駆動部点検	高	高	52M	—	12		
	4D-NS-061A 4 A C/V 給気ファン出口ダンパ	駆動部点検	低	低	52M	—	13		
	4D-NS-061B 4 B C/V 給気ファン出口ダンパ	駆動部点検	低	低	52M	—	12		
	4D-NS-062A 4 A C/V 給気系外気取入切替ダンパ	駆動部点検	低	低	52M	—	13		
	4D-NS-062B 4 B C/V 給気系外気取入切替ダンパ	駆動部点検	低	低	52M	—	12		
	4D-NS-052 4号 C/V 給気ラインアニュラス入口第一ダンパ	駆動部点検	高	高	52M	—	11		
	4D-NS-053 4号 C/V 給気ラインアニュラス入口第二ダンパ	駆動部点検	高	高	52M	—	12		
	4D-NS-058 4号 C/V 排気ラインアニュラス出口第一ダンパ	駆動部点検	高	高	52M	—	11		
	4D-NS-059 4号 C/V 排気ラインアニュラス出口第二ダンパ	駆動部点検	高	高	52M	—	12		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	格納容器再循環設置	機能・性能試験	低	1C	○	13	GM-78 1次系換気空調設備検査	
	4 A 格納容器再循環ファン	分解点検	低	30M	—	12		
	4 A 格納容器再循環ファン用電動機	分解点検	低	30M	—	12		
	4 B 格納容器再循環ファン	分解点検	低	30M	—	13		
	4 B 格納容器再循環ファン用電動機	分解点検	低	30M	—	13		
	4 C 格納容器再循環ファン	分解点検	低	30M	—	12		
	4 C 格納容器再循環ファン用電動機	分解点検	低	30M	—	12		
	4 D 格納容器再循環ファン	分解点検	低	30M	—	13		
	4 D 格納容器再循環ファン用電動機	分解点検	低	30M	—	13		
	4 A 格納容器再循環ユニット	開放点検	高	13M	○	13		冷却コイル点検含む
	4 B 格納容器再循環ユニット	開放点検	高	13M	○	13		冷却コイル点検含む
	4 C 格納容器再循環ユニット	開放点検	高	13M	○	13		冷却コイル点検含む
	4 D 格納容器再循環ユニット	開放点検	高	13M	○	13		冷却コイル点検含む
	格納容器空気浄化装置	機能・性能試験	低	1C	○	13	GM-78 1次系換気空調設備検査	
	4 A 格納容器空気浄化ファン	分解点検	低	65M	—	13		
	4 A 格納容器空気浄化ファン用電動機	分解点検	低	65M	—	13		
	4 B 格納容器空気浄化ファン	分解点検	低	65M	○	9		
	4 B 格納容器空気浄化ファン用電動機	分解点検	低	65M	—	10		
	4号 格納容器空気浄化フィルタユニット	開放点検	低	26M	—	13		
	アニュラス空気浄化系	機能・性能試験	高	1C	○	13	GM-38 アニュラス循環排気系統検査	
	4 A アニュラス空気浄化ファン	分解点検	高	65M	—	13		(稼働診断:1ヶ月)
	4 A アニュラス空気浄化ファン用電動機	分解点検	高	65M	—	13		(稼働診断:1ヶ月)
	4 B アニュラス空気浄化ファン	分解点検	高	65M	—	12		(稼働診断:1ヶ月)
	4 B アニュラス空気浄化ファン用電動機	分解点検	高	65M	—	12		(稼働診断:1ヶ月)
	4 A アニュラス空気浄化フィルタユニット	開放点検	高	26M	—	13		
	4 A アニュラス空気浄化フィルタユニット電気加熱コイル	機能・性能試験	高	2C	—	13	GM-39 アニュラス循環排気系フィルタ性能検査	
	4 B アニュラス空気浄化フィルタユニット	開放点検	高	26M	○	12		
	4 B アニュラス空気浄化フィルタユニット電気加熱コイル	機能・性能試験	高	2C	○	12	GM-39 アニュラス循環排気系フィルタ性能検査	
	4 A アニュラス空気浄化フィルタユニット入口防火ダンパ	機能点検	高	13M	○	13		
	4 B アニュラス空気浄化フィルタユニット入口防火ダンパ	機能点検	高	13M	○	13		
	4 A アニュラス空気浄化フィルタユニット出口防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	13M	○	13		
	4 B アニュラス空気浄化フィルタユニット出口防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	13M	○	13		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び記録の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
4D-NS-101A 4 A アニメラス空気浄化ファン入ロダンプ	4D-NS-101A 4 A アニメラス空気浄化ファン入ロダンプ	駆動部点検	高	52M	—	11		
		分解点検	高	52M	—	12		
4D-NS-102A 4 A アニメラス空気浄化全量排気弁	4D-NS-102A 4 A アニメラス空気浄化全量排気弁	駆動部点検	高	52M	—	13	GM-219 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解点検	
		分解点検	高	130M	—	13		
4V-NS-102B 4 B アニメラス空気浄化全量排気弁	4V-NS-102B 4 B アニメラス空気浄化全量排気弁	駆動部点検	高	52M	—	12	GM-219 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解点検	
		分解点検	高	130M	—	12		
4V-NS-103A 4 A アニメラス空気浄化少量排気弁	4V-NS-103A 4 A アニメラス空気浄化少量排気弁	駆動部点検	高	52M	—	13	GM-219 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解点検	
		分解点検	高	130M	—	13		
4V-NS-103B 4 B アニメラス空気浄化少量排気弁	4V-NS-103B 4 B アニメラス空気浄化少量排気弁	駆動部点検	高	52M	—	12	GM-219 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解点検	
		分解点検	高	130M	—	12		
4D-NS-104A 4 A アニメラス戻りダンプ	4D-NS-104A 4 A アニメラス戻りダンプ	駆動部点検	高	52M	—	11		
		分解点検	高	52M	—	12		
4D-NS-104B 4 B アニメラス戻りダンプ	4D-NS-104B 4 B アニメラス戻りダンプ	駆動部点検	高	52M	—	12		
		機能・性能試験	高	1C	○	13	GM-78 1次系換気空調設備検査	
4 A 補助建屋排気ファン	4 A 補助建屋排気ファン	簡易点検(油入替他)	低	2Y	○	2020年度		プラント運転中
		分解点検	低	6Y	—	2020年度		
4 A 補助建屋排気ファン用電動機	4 A 補助建屋排気ファン用電動機	分解点検	低	4Y	○	2018年度		プラント運転中
		簡易点検(油入替他)	低	2Y	—	2021年度		
4 B 補助建屋排気ファン	4 B 補助建屋排気ファン	分解点検	低	6Y	—	2021年度		プラント運転中
		簡易点検(油入替他)	低	4Y	—	2019年度		
4 C 補助建屋排気ファン用電動機	4 C 補助建屋排気ファン用電動機	分解点検	低	2Y	○	2020年度		プラント運転中
		簡易点検(油入替他)	低	6Y	○	2016年度		
4 A 補助建屋排気ファン	4 A 補助建屋排気ファン	分解点検	低	4Y	—	2020年度		プラント運転中
		簡易点検(油入替他)	低	2Y	○	2020年度		
4 B 補助建屋排気ファン	4 B 補助建屋排気ファン	分解点検	低	6Y	—	2020年度		プラント運転中
		簡易点検(油入替他)	低	4Y	○	2018年度		
4 A 補助建屋排気ファン用電動機	4 A 補助建屋排気ファン用電動機	分解点検	低	2Y	—	2021年度		プラント運転中
		簡易点検(油入替他)	低	6Y	—	2021年度		
4 B 補助建屋排気ファン	4 B 補助建屋排気ファン	分解点検	低	4Y	—	2019年度		プラント運転中
		簡易点検(油入替他)	低	2Y	○	2020年度		
4 C 補助建屋排気ファン用電動機	4 C 補助建屋排気ファン用電動機	分解点検	低	2Y	○	2016年度		プラント運転中
		簡易点検(油入替他)	低	6Y	○	2016年度		
4 A 補助建屋排気ファン	4 A 補助建屋排気ファン	分解点検	低	4Y	—	2020年度		プラント運転中
		簡易点検(油入替他)	低	2Y	○	2020年度		
4 B 補助建屋排気ファン	4 B 補助建屋排気ファン	分解点検	低	6Y	—	2019年度		プラント運転中
		簡易点検(油入替他)	低	4Y	—	2018年度		
4 C 補助建屋排気ファン用電動機	4 C 補助建屋排気ファン用電動機	分解点検	低	2Y	—	2021年度		プラント運転中
		簡易点検(油入替他)	低	6Y	—	2021年度		
4 A 補助建屋排気ファン	4 A 補助建屋排気ファン	分解点検	低	4Y	—	2019年度		プラント運転中
		簡易点検(油入替他)	低	2Y	○	2020年度		
4 B 補助建屋排気ファン	4 B 補助建屋排気ファン	分解点検	低	6Y	—	2019年度		プラント運転中
		簡易点検(油入替他)	低	4Y	—	2018年度		
4 C 補助建屋排気ファン用電動機	4 C 補助建屋排気ファン用電動機	分解点検	低	2Y	—	2021年度		プラント運転中
		簡易点検(油入替他)	低	6Y	—	2021年度		
4 A 補助建屋排気ファン	4 A 補助建屋排気ファン	分解点検	低	4Y	—	2019年度		プラント運転中
		簡易点検(油入替他)	低	2Y	○	2020年度		
4 B 補助建屋排気ファン	4 B 補助建屋排気ファン	分解点検	低	6Y	—	2019年度		プラント運転中
		簡易点検(油入替他)	低	4Y	—	2018年度		
4 C 補助建屋排気ファン用電動機	4 C 補助建屋排気ファン用電動機	分解点検	低	2Y	—	2021年度		プラント運転中
		簡易点検(油入替他)	低	6Y	—	2021年度		
4 A 補助建屋排気ファン	4 A 補助建屋排気ファン	分解点検	低	4Y	—	2019年度		プラント運転中
		簡易点検(油入替他)	低	2Y	○	2020年度		
4 B 補助建屋排気ファン	4 B 補助建屋排気ファン	分解点検	低	6Y	—	2019年度		プラント運転中
		簡易点検(油入替他)	低	4Y	—	2018年度		
4 C 補助建屋排気ファン用電動機	4 C 補助建屋排気ファン用電動機	分解点検	低	2Y	—	2021年度		プラント運転中
		簡易点検(油入替他)	低	6Y	—	2021年度		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保 全 方 式 文 は 何 の 規 定	今 回 の 実 施 計 画	前 回 実 施 時 期 (定 検 回 数)	検 査 名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	0P-NS-105 4号 非気密入口第一ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	13		
	0P-NS-106 4号 非気密入口第二ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	0P-NS-201A 4 A A/B 給気ファン出口ダンパ	駆動部点検	低	52M	—	11		
	0P-NS-201B 4 B A/B 給気ファン出口ダンパ	駆動部点検	低	52M	—	12		
	0P-NS-201C 4 C A/B 給気ファン出口ダンパ	駆動部点検	低	52M	—	13		
	0P-NS-207A 4 A A/B 非気ファン出口ダンパ	駆動部点検	低	52M	—	11		
	0P-NS-207B 4 B A/B 非気ファン出口ダンパ	駆動部点検	低	52M	—	12		
	0P-NS-207C 4 C A/B 非気ファン出口ダンパ	駆動部点検	低	52M	—	12		
	安全補機室空気浄化設備	機能・性能試験	高	1C	○	13	GM-78 1次系換気空調設備検査	
	4 A 安全補機室空気浄化ファン	分解点検	高	52M	—	13		(稼動診断:1ヶ月)
	4 A 安全補機室空気浄化ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	13		(稼動診断:1ヶ月)
	4 B 安全補機室空気浄化ファン	分解点検	高	52M	—	13		(稼動診断:1ヶ月)
	4 B 安全補機室空気浄化ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	12		(稼動診断:1ヶ月)
	4号 安全補機室空気浄化フィルタユニット	開放点検	高	26M	○	12		
		機能・性能試験	高	1C	○	13	GM-94 1次系換気空調設備検査(換気空調系の分解等)	
	4号 安全補機室空気浄化フィルタユニットA電気加熱コイル	機能・性能試験	高	1C	○	13		
	4号 安全補機室空気浄化フィルタユニットB電気加熱コイル	機能・性能試験	高	1C	○	13		
	0P-NS-301 4号 安全補機室空気浄化フィルタユニット入口防火ダンパ	機能点検	高	13M	○	13		
	0P-NS-302 4号 安全補機室空気浄化フィルタユニット出口防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	13M	○	13		
	0P-NS-310A 4 A 安全補機室空気浄化ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	11		
	0P-NS-310B 4 B 安全補機室空気浄化ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	0P-NS-311A 4 A 安全補機室空気浄化ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	11		
	0P-NS-311B 4 B 安全補機室空気浄化ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4 A 安全補機室冷却ファン	分解点検	高	52M	—	12		
	4 A 安全補機室冷却ファン用電動機	分解点検	高	39M	—	12		
	4 B 安全補機室冷却ファン	分解点検	高	52M	—	13		
	4 B 安全補機室冷却ファン用電動機	分解点検	高	39M	—	13		
	4 A 安全補機室給気防火兼流量設定ダンパ	開放点検	高	26M	○	12		
	4 B 安全補機室給気防火兼流量設定ダンパ	開放点検	高	26M	—	13		
	0P-NS-209 4号 A安全補機室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2020年度		プラント運転中
	0P-NS-210 4号 B安全補機室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2020年度		プラント運転中
	0P-NS-211 4号 全てのポンプ用エア供給防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2020年度		プラント運転中
	0P-NS-212A 4 A 全てのポンプ用エア供給防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2020年度		プラント運転中
	0P-NS-212B 4 C 全てのポンプ用エア供給防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	○	2020年度		プラント運転中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び点検の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	4E-NS-213A 4号 B 充てんポンプ系統気防火薬流量設定ダンプA	機能点検	高	2Y	○	2020年度		プラント運転中
	4E-NS-213B 4号 B 充てんポンプ系統気防火薬流量設定ダンプB	機能点検	高	2Y	○	2020年度		プラント運転中
	4E-NS-214A 4号 充てんポンプエア操作エリア給気防火ダンプA	機能点検	高	2Y	○	2020年度		プラント運転中
	4E-NS-214B 4号 充てんポンプエア操作エリア給気防火ダンプB	機能点検	高	2Y	○	2020年度		プラント運転中
	4E-NS-228A 4 A 充てんポンプ系統気防火薬流量設定ダンプ	機能点検	高	20M	○	12		
	4E-NS-228B 4 C 充てんポンプ系統気防火薬流量設定ダンプ	機能点検	高	20M	○	12		
	4E-NS-229A 4号 B 充てんポンプ系統気防火薬流量設定ダンプA	機能点検	高	20M	○	12		
	4E-NS-229B 4号 B 充てんポンプ系統気防火薬流量設定ダンプB	機能点検	高	20M	○	12		
	4E-NS-232 4号 充てんポンプエア操作エリア排気防火薬流量設定ダンプ	機能点検	高	20M	○	12		
	4E-NS-233 4号 A 安全補機密排気防火薬流量設定ダンプ	機能点検	高	20M	○	12		
	4E-NS-234 4号 B 安全補機密排気防火薬流量設定ダンプ	機能点検	高	20M	○	12		
	4E-NS-301 4号 安全補機密排気第一ダンプ	駆動部点検	高	52M	—	11		
	4E-NS-302 4号 安全補機密排気第二ダンプ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4E-NS-303A 4 A 安全補機密排気防火薬流量設定ダンプ	機能点検	高	130M	—	7		
	4E-NS-303B 4 B 安全補機密排気防火薬流量設定ダンプ	機能点検	高	130M	—	7		
	4E-NS-304A 4 A 安全補機密排気防止ダンプ	機能点検	高	130M	—	8		
	4E-NS-304B 4 B 安全補機密排気防止ダンプ	機能点検	高	130M	—	9		
	4E-NS-306A 4 A 安全補機密排気防止ダンプ	機能点検	高	130M	—	8		
	4E-NS-306B 4 B 安全補機密排気防止ダンプ	機能点検	高	130M	—	9		
	4E-NS-307 4号 安全補機密排気第一ダンプ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4E-NS-308 4号 安全補機密排気第二ダンプ	駆動部点検	高	52M	—	11		
	4 A 安全補機密排気防火薬流量設定ダンプ	簡易点検(油入替他)	高	20M	○	12		(稼働診断:切替毎)
	4 A 安全補機密排気防火薬流量設定ダンプ	分解点検	高	52M	—	12		(稼働診断:切替毎)
	4 B 安全補機密排気防火薬流量設定ダンプ	分解点検	高	52M	—	12		(稼働診断:切替毎)
	4 A 安全補機密排気防火薬流量設定ダンプ	簡易点検(油入替他)	高	20M	—	13		(稼働診断:切替毎)
	4 B 安全補機密排気防火薬流量設定ダンプ	分解点検	高	52M	—	13		(稼働診断:切替毎)
	4 B 安全補機密排気防火薬流量設定ダンプ	分解点検	高	52M	—	11		(稼働診断:切替毎)
	4 A 安全補機密排気防火薬流量設定ダンプ	簡易点検	高	20M	○	12		
	4 B 安全補機密排気防火薬流量設定ダンプ	簡易点検	高	20M	—	13		
	4 A 安全補機密排気防火薬流量設定ダンプ	駆動部点検	高	52M	—	11		
	4 B 安全補機密排気防火薬流量設定ダンプ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4 A 安全補機密排気防火薬流量設定ダンプ	駆動部点検	高	52M	—	11		
	4 B 安全補機密排気防火薬流量設定ダンプ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4 A 安全補機密排気防火薬流量設定ダンプ	駆動部点検	高	52M	—	11		
	4 B 安全補機密排気防火薬流量設定ダンプ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4 A 安全補機密排気防火薬流量設定ダンプ	駆動部点検	高	52M	—	11		
	4 B 安全補機密排気防火薬流量設定ダンプ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4 A 安全補機密排気防火薬流量設定ダンプ	駆動部点検	高	52M	—	11		
	4 B 安全補機密排気防火薬流量設定ダンプ	駆動部点検	高	52M	—	12		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び点検の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	4F-NS-535A 4 A SWGR給気運転ダンプ	駆動部点検	高	52M	—	11		
	4F-NS-535B 4 B SWGR給気運転ダンプ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4 A SWGR 4 A SWGR送給気防火兼流量設定ダンプ	機能点検	高	2Y	○	2020年度		プラント運転中
	4 B SWGR 4 B SWGR送給気防火兼流量設定ダンプ	機能点検	高	2Y	○	2020年度		プラント運転中
	4 A SWGR 4 A SWGR送給気防火ダンプ	機能点検	高	2Y	○	2020年度		プラント運転中
	4 B SWGR 4 B SWGR送給気防火ダンプ	機能点検	高	2Y	○	2020年度		プラント運転中
	4号 A E.P.離陸給気防火ダンプ	機能点検	高	2Y	○	2020年度		プラント運転中
	4号 B E.P.離陸給気防火ダンプ	機能点検	高	2Y	○	2020年度		プラント運転中
	4号 A 離陸送給気第一防火兼流量設定ダンプ	機能点検	高	2Y	○	2020年度		プラント運転中
	4号 B 離陸送給気第一防火兼流量設定ダンプ	機能点検	高	2Y	○	2020年度		プラント運転中
	4号 A 離陸送給気第二防火兼流量設定ダンプ	機能点検	高	2Y	○	2020年度		プラント運転中
	4号 B 離陸送給気第二防火兼流量設定ダンプ	機能点検	高	2Y	○	2020年度		プラント運転中
	4号 A インバータ送給気防火兼流量設定ダンプ	機能点検	高	2Y	○	2020年度		プラント運転中
	4号 B インバータ送給気防火兼流量設定ダンプ	機能点検	高	2Y	○	2020年度		プラント運転中
	4号 A E.P.離陸送給気第一防火兼流量設定ダンプ	機能点検	高	2Y	○	2020年度		プラント運転中
	4号 B E.P.離陸送給気第一防火兼流量設定ダンプ	機能点検	高	2Y	○	2020年度		プラント運転中
	4号 A 離陸送給気第二防火兼流量設定ダンプ	機能点検	高	2Y	○	2020年度		プラント運転中
	4号 B 離陸送給気第二防火兼流量設定ダンプ	機能点検	高	2Y	○	2020年度		プラント運転中
	4号 A E.P.離陸送給気第一防火兼流量設定ダンプ	機能点検	高	2Y	○	2020年度		プラント運転中
	4号 B E.P.離陸送給気第一防火兼流量設定ダンプ	機能点検	高	2Y	○	2020年度		プラント運転中
	4号 A SWGR送給気第一防火兼流量設定ダンプ	機能点検	高	2Y	○	2020年度		プラント運転中
	4号 B SWGR送給気第一防火兼流量設定ダンプ	機能点検	高	2Y	○	2020年度		プラント運転中
	4号 A SWGR送給気第二防火兼流量設定ダンプ	機能点検	高	2Y	○	2020年度		プラント運転中
	4号 B SWGR送給気第二防火兼流量設定ダンプ	機能点検	高	2Y	○	2020年度		プラント運転中
	4号 A SWGR送給気第一防火兼流量設定ダンプ	機能点検	高	2Y	○	2020年度		プラント運転中
	4号 B SWGR送給気第一防火兼流量設定ダンプ	機能点検	高	2Y	○	2020年度		プラント運転中
	4号 A 離陸送給気第一防火兼流量設定ダンプ	機能点検	高	2Y	○	2020年度		プラント運転中
	4号 B 離陸送給気第一防火兼流量設定ダンプ	機能点検	高	2Y	○	2020年度		プラント運転中
	4号 A 離陸送給気第二防火兼流量設定ダンプ	機能点検	高	2Y	○	2020年度		プラント運転中
	4号 B 離陸送給気第二防火兼流量設定ダンプ	機能点検	高	2Y	○	2020年度		プラント運転中
	4号 A E.P.離陸送給気第一防火兼流量設定ダンプ	機能点検	高	26M	—	13		
	4号 B E.P.離陸送給気第一防火兼流量設定ダンプ	機能点検	高	52M	—	13		
	4 A 中間補機排空機	分解点検	高	52M	—	13		
	4 B 中間補機排空機	分解点検	高	26M	○	12		
	4 A 中間補機排空機	分解点検	高	52M	—	12		
	4 B 中間補機排空機	分解点検	高	52M	—	13		
	4 A 中間補機排空機	分解点検	高	52M	—	13		
	4 B 中間補機排空機	分解点検	高	52M	—	12		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
4F-NS-563A 4 A I / B 空調ファン出口逆止ダンパ	4 A I / B 空調ファン出口逆止ダンパ	機能点検	高	130M	—	6		
		4 B I / B 空調ファン出口逆止ダンパ	高	130M	—	6		
4D-NS-564A 4 A I / B 給気逆絡ダンパ	4 A I / B 給気逆絡ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
		4 B I / B 給気逆絡ダンパ	高	52M	—	13		
4F-NS-561A 4 A M / D A F W P 送給気防火兼流量設定ダンパ	4 A M / D A F W P 送給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2021年度		プリント運転中
		4 B M / D A F W P 送給気防火兼流量設定ダンパ	高	2Y	—	2021年度		プリント運転中
4F-NS-562B 4 A 制御用空気圧縮機送給気防火兼流量設定ダンパ	4 A 制御用空気圧縮機送給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2021年度		プリント運転中
		4 B 制御用空気圧縮機送給気防火兼流量設定ダンパ	高	2Y	—	2021年度		プリント運転中
4F-NS-563A 4 A D / G 電気送給気防火ダンパ	4 A D / G 電気送給気防火ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2021年度		プリント運転中
		4 B D / G 電気送給気防火ダンパ	高	2Y	—	2021年度		プリント運転中
4F-NS-567A 4 A M / D A F W P 送戻り防火兼流量設定ダンパ	4 A M / D A F W P 送戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2021年度		プリント運転中
		4 B M / D A F W P 送戻り防火兼流量設定ダンパ	高	2Y	—	2021年度		プリント運転中
4F-NS-566A 4 A 制御用空気圧縮機送戻り防火兼流量設定ダンパ	4 A 制御用空気圧縮機送戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2021年度		プリント運転中
		4 B 制御用空気圧縮機送戻り防火兼流量設定ダンパ	高	2Y	—	2021年度		プリント運転中
4F-NS-567B 4 A D / G 電気送戻り防火兼流量設定ダンパ	4 A D / G 電気送戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	2Y	—	2021年度		プリント運転中
		4 B D / G 電気送戻り防火兼流量設定ダンパ	高	2Y	—	2021年度		プリント運転中
中央制御室空調装置 4 A 中央制御室空調ユニット	中央制御室空調ユニット	機能・性能試験	高	1C	○	13	GM-78 1次系換気空調設備検査	
		開放点検	高	26M	○	12		
4 B 中央制御室空調ユニット	4 B 中央制御室空調ユニット	開放点検	高	26M	—	13		
		簡易点検(組入時他)	高	20M	○	12		(稼働診断:切替毎)
4 A 中央制御室空調ファン用電動機	4 A 中央制御室空調ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	12		(稼働診断:切替毎)
		簡易点検(組入時他)	高	26M	○	13		(稼働診断:切替毎)
4 B 中央制御室空調ファン	4 B 中央制御室空調ファン	分解点検	高	52M	—	13		(稼働診断:切替毎)
		簡易点検	高	20M	○	12		(稼働診断:切替毎)
4 A 中央制御室空調ファン用電動機	4 A 中央制御室空調ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	13		(稼働診断:切替毎)
		簡易点検	高	26M	—	12		(稼働診断:切替毎)
4 B 中央制御室空調ファン	4 B 中央制御室空調ファン	分解点検	高	52M	—	13		(稼働診断:切替毎)
		簡易点検	高	26M	—	12		(稼働診断:切替毎)
4 A 中央制御室送外気取入ダンパ	4 A 中央制御室送外気取入ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	13		
		4 B 中央制御室送外気取入ダンパ	高	52M	—	12		
4D-NS-606A 4 A 中央制御室空調ファン出口ダンパ	4 A 中央制御室空調ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	13		
		4 B 中央制御室空調ファン出口ダンパ	高	52M	—	12		
4D-NS-607A 4 A 中央制御室空調ファン入口ダンパ	4 A 中央制御室空調ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	13		
		4 B 中央制御室空調ファン入口ダンパ	高	52M	—	12		

機器又は系統名	実働数(機器名)	点検及び試験の項目	保全部重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	HPD-2840 4 A 中央制御室外気取入流量設定ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	HPD-2840 4 A 中央制御室外気取入流量設定ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	HPD-2841 4 A 中央制御室外気取入流量設定ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	HPD-2850 4 B 中央制御室外気取入流量設定ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	13		
	HPD-2853 4 B 中央制御室外気取入流量設定ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	13		
	HPD-2854 4 B 中央制御室外気取入流量設定ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	13		
	HP-YS-601 4号 フラントデータ管理センタ室給気第一防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	13M	○	13		
	HP-YS-602 4号 フラントデータ管理センタ室給気第二防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	13M	○	13		
	HP-YS-603 4号 フラントデータ管理センタ室給気第一防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	13M	○	13		
	HP-YS-606 4号 中央制御室給気防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	13M	○	13		
	HP-YS-607 4号 中央制御室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	13M	○	13		
	HP-YS-611 4号 フラントデータ管理センタ室戻り防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	13M	○	13		
	中央制御室非常用循環系	機能・性能試験	高	1C	○	13	CM-10 中央制御室非常用循環系機能検査	
	4号 中央制御室非常用循環ファンユニット	開放点検	高	20M	○	12		
		機能・性能試験	高	1C	○	13	CM-11 中央制御室非常用循環系ファンユニット性能検査	
	4 A 中央制御室非常用循環ファン	分解点検	高	65M	—	13		(稼働診断:1ヶ月)
	4 A 中央制御室非常用循環ファン用電動機	分解点検	高	65M	—	13		(稼働診断:1ヶ月)
	4 B 中央制御室非常用循環ファン	分解点検	高	65M	—	11		(稼働診断:1ヶ月)
	4 B 中央制御室非常用循環ファン用電動機	分解点検	高	65M	○	9		(稼働診断:1ヶ月)
	4号 中央制御室非常用循環ファンユニットA電気加熱コイル	機能・性能試験	高	1C	○	13		
	4号 中央制御室非常用循環ファンユニットB電気加熱コイル	機能・性能試験	高	1C	○	13		
	HP-NS-604 4号 中央制御室給気第一防火ダンパ	機能点検	高	13M	○	13		
	HP-NS-605 4号 中央制御室給気第二防火ダンパ	機能点検	高	13M	○	13		
	HP-NS-608 4号 中央制御室非常用循環F/U入口防火ダンパ	機能点検	高	13M	○	13		
	HP-NS-609 4号 中央制御室非常用循環F/U出口防火兼流量設定ダンパ	機能点検	高	13M	○	13		
	HP-NS-605A 4 A 中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	13		
	HP-NS-605B 4 B 中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	HPD-2841 4 A 中央制御室非常時外気取入流量設定ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	HPD-2842 4 A 中央制御室非常時外気取入流量設定ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	13		
	HPD-2851 4 B 中央制御室非常時外気取入流量設定ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	13		
	HPD-2852 4 B 中央制御室非常時外気取入流量設定ダンパ	駆動部点検	高	52M	—	12		
	4 A ほう酸ポンプ室空調ファン	分解点検	高	39M	—	12		
	4 A ほう酸ポンプ室空調ファン用電動機	分解点検	高	39M	—	12		
	4 B ほう酸ポンプ室空調ファン	分解点検	高	39M	—	13		
	4 B ほう酸ポンプ室空調ファン用電動機	分解点検	高	39M	—	13		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	4 A ほう動ポンプ室給気加熱コイル	機能・性能試験	高	1C	○	I3		
	4 B ほう動ポンプ室給気加熱コイル	機能・性能試験	高	1C	○	I3		
	4F-NS-201 4号ほう動ポンプ室給気系防火兼流量設定タンク	機能点検	高	2Y	—	2021年度		プラント運転中
	4F-NS-202 4号ほう動ポンプ室給気系防火兼流量設定タンク	機能点検	高	2Y	—	2021年度		プラント運転中
	4F-NS-210A 4 A ほう動ポンプ室空調ファン出口逆止タンク	機能点検	高	130H	—	2008年度		
	4F-NS-210B 4 B ほう動ポンプ室空調ファン出口逆止タンク	機能点検	高	130H	—	2008年度		
	4 A デイジーゼル発電機室給気ファン	分解点検	高	52M	—	I2		
	4 A デイジーゼル発電機室給気ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	I2		
	4 B デイジーゼル発電機室給気ファン	分解点検	高	52M	—	I3		
	4 B デイジーゼル発電機室給気ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	I3		
	4 C デイジーゼル発電機室給気ファン	分解点検	高	52M	—	I2		
	4 C デイジーゼル発電機室給気ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	I2		
	4 D デイジーゼル発電機室給気ファン	分解点検	高	52M	—	I3		
	4 D デイジーゼル発電機室給気ファン用電動機	分解点検	高	52M	—	I3		
	4F-NS-001A 4 A D/G室給気防火兼流量設定タンク	機能点検	高	2Y	—	2021年度		プラント運転中
	4F-NS-001B 4 B D/G室給気防火兼流量設定タンク	機能点検	高	2Y	—	2021年度		プラント運転中
	4F-NS-001C 4 C D/G室給気防火兼流量設定タンク	機能点検	高	2Y	—	2021年度		プラント運転中
	4F-NS-001D 4 D D/G室給気防火兼流量設定タンク	機能点検	高	2Y	—	2021年度		プラント運転中
	4F-NS-002A 4 A D/G室排気タンク	駆動部点検	高	65M	—	I3		
	4F-NS-002B 4 B D/G室排気タンク	駆動部点検	高	65M	—	I1		
	4F-NS-001A 4 A D/G室給気ファン入口逆止タンク	機能点検	高	10Y	—	2018年度		プラント運転中
	4F-NS-001B 4 B D/G室給気ファン入口逆止タンク	機能点検	高	10Y	—	2018年度		プラント運転中
	4F-NS-001C 4 C D/G室給気ファン入口逆止タンク	機能点検	高	10Y	—	2018年度		プラント運転中
	4F-NS-001D 4 D D/G室給気ファン入口逆止タンク	機能点検	高	10Y	—	2018年度		プラント運転中
	雑固体溶解処理建屋空調装置	機能・性能試験	低	1C	○	I3	GM-78 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
	副七体冷却空調装置	機能・性能試験	低	1C	○	I3	GM-78 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
	A 雑固体溶解処理建屋給気ファン	分解点検	低	9Y	—	2021年度		プラント運転中
	A 雑固体溶解処理建屋給気ファン用電動機	分解点検	低	6Y	—	2020年度		プラント運転中
	B 雑固体溶解処理建屋給気ファン	分解点検	低	9Y	—	2016年度		プラント運転中
	B 雑固体溶解処理建屋給気ファン用電動機	分解点検	低	6Y	—	2021年度		プラント運転中
	A 雑固体溶解処理建屋排気ファン	簡易点検(油入替他)	低	2Y	—	2021年度		プラント運転中
	A 雑固体溶解処理建屋排気ファン	分解点検	低	9Y	—	2018年度		プラント運転中
	A 雑固体溶解処理建屋排気ファン用電動機	分解点検	低	6Y	—	2019年度		プラント運転中
	B 雑固体溶解処理建屋排気ファン	簡易点検(油入替他)	低	2Y	—	2021年度		プラント運転中
	B 雑固体溶解処理建屋排気ファン	分解点検	低	9Y	—	2019年度		プラント運転中
	B 雑固体溶解処理建屋排気ファン用電動機	分解点検	低	6Y	—	2020年度		プラント運転中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保 全 重 要 度	体 面 方 式 又 は 傾 度	今 回 の 実 施 計 画	前 回 実 施 時 期 (定 検 回 数)	検 査 名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
C 雑固体溶融処理焼却排気ファン	雑固体溶融処理焼却排気ファン用電動機	簡易点検(油入替他)	低	2V	—	—	2021年度		プラント運転中
		分解点検					2013年度		
		分解点検					2018年度		
雑固体溶融処理焼却排気ファン用電動機	雑固体溶融処理焼却排気ファン用電動機	開放点検	低	9V	—	—	2013年度		プラント運転中
		開放点検					2018年度		
		開放点検					2013年度		
雑固体溶融処理焼却排気ファン用電動機	雑固体溶融処理焼却排気ファン用電動機	開放点検	低	9V	—	—	2019年度		プラント運転中
		開放点検					2016年度		
		開放点検					2017年度		
雑固体溶融処理焼却排気ファン用電動機	雑固体溶融処理焼却排気ファン用電動機	開放点検	低	2V	—	—	2021年度		プラント運転中
		開放点検					2021年度		
		開放点検					2021年度		
雑固体溶融処理焼却排気ファン用電動機	雑固体溶融処理焼却排気ファン用電動機	開放点検	低	3V	—	—	2016年度		プラント運転中
		開放点検					2016年度		
		開放点検					2016年度		
雑固体溶融処理焼却排気ファン用電動機	雑固体溶融処理焼却排気ファン用電動機	開放点検	低	3V	—	—	2021年度		プラント運転中
		開放点検					2021年度		
		開放点検					2021年度		
雑固体溶融処理焼却排気ファン用電動機	雑固体溶融処理焼却排気ファン用電動機	開放点検	低	13M	○	—	10	0M-88 1次系長空破壊弁検査	第14回定検より追加
		開放点検					13		
		開放点検					13		
4 A 空調用冷凍機	4 A 空調用冷凍機	簡易点検(油入替他)	高	39M	—	—	13		
		分解点検					13		
		非破壊試験					13		
4 A 空調用冷凍機用電動機	4 A 空調用冷凍機用電動機	分解点検	高	39M	—	—	13		
		分解点検					13		
		分解点検					13		
4 B 空調用冷凍機	4 B 空調用冷凍機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	—	13		
		分解点検					12		
		非破壊試験					12		
4 B 空調用冷凍機用電動機	4 B 空調用冷凍機用電動機	分解点検	高	39M	—	—	12		
		分解点検					12		
		分解点検					12		
4 C 空調用冷凍機	4 C 空調用冷凍機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	—	13		
		分解点検					13		
		非破壊試験					13		
4 C 空調用冷凍機用電動機	4 C 空調用冷凍機用電動機	分解点検	高	39M	—	—	13		
		分解点検					13		
		分解点検					13		
4 D 空調用冷凍機	4 D 空調用冷凍機	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	—	13		
		分解点検					12		
		非破壊試験					12		
4 D 空調用冷凍機用電動機	4 D 空調用冷凍機用電動機	分解点検	高	39M	—	—	12		
		分解点検					12		
		分解点検					12		
4 A 空調用冷水ポンプ	4 A 空調用冷水ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	—	13		(振動診断:切替毎)
		分解点検					13		
		分解点検					13		
4 A 空調用冷水ポンプ用電動機	4 A 空調用冷水ポンプ用電動機	分解点検	高	39M	—	—	13		(振動診断:切替毎)
		分解点検					13		
		分解点検					13		
4 B 空調用冷水ポンプ	4 B 空調用冷水ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	—	13		(振動診断:切替毎)
		分解点検					12		
		分解点検					12		
4 B 空調用冷水ポンプ用電動機	4 B 空調用冷水ポンプ用電動機	分解点検	高	39M	—	—	12		(振動診断:切替毎)
		分解点検					12		
		分解点検					12		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	4 C 空調用冷水ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	13		(振動診断:切替毎)
		分解点検		30M	—	13		
		分解点検		30M	—	13		
	4 D 空調用冷水ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M	○	13		(振動診断:切替毎)
		分解点検		30M	—	12		
	4 D 空調用冷水ポンプ用電動機	簡易点検	高	30M	—	12		(振動診断:切替毎)
		開放点検		130M	—	10		
	4号 空調用冷水膨張タンク	運転部点検	高	130M	—	12		
		分解点検		130M	—	12	GM-85 1次系点検査	
		運転部点検		130M	—	12	GM-85 1次系点検査	
	4号 DRPI室冷却ユニット出入口外漏離弁	分解点検	高	130M	—	10		
		漏えい試験		10C	—	10	GM-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	10		
	4号 DRPI室冷却タンクN2供給逃がし弁	分解点検	低	130M	—	12		
		漏えい試験		10C	—	10	GM-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	10		
	4号 CH-500 4号 空調用冷水C母管逃がし弁	分解点検	低	130M	—	10		
		漏えい試験		10C	—	10	GM-86 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	10		
	4TCV-2760 4 A I/B空調ユニット冷却温度制御弁	運転部点検	高	130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9		
		運転部点検		130M	—	10		
	4TCV-2770 4 B I/B空調ユニット冷却温度制御弁	分解点検	高	130M	—	10		
		運転部点検		130M	—	9		
		分解点検		130M	—	10		
	4TCV-2780 4 A S W G R空調ユニット冷却温度制御弁	運転部点検	高	130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9		
		運転部点検		130M	—	10		
	4TCV-2790 4 B S W G R空調ユニット冷却温度制御弁	分解点検	高	130M	—	10		
		運転部点検		130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9		
	4TCV-2848 4 A 中央制御室空調ユニット冷却温度制御弁	運転部点検	高	130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9		
		運転部点検		130M	—	10		
	4TCV-2858 4 B 中央制御室空調ユニット冷却温度制御弁	分解点検	高	130M	—	10		
		運転部点検		130M	—	10		
		分解点検		130M	—	7		
	4V-CH-016A 4 A 冷水供給弁	運転部点検	高	130M	—	7		
		分解点検		130M	—	7		
		電動機分解点検		130M	—	7		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術	
原子炉格納施設 (原子炉格納容器)	4V-CH-016B 4 B 冷water供給弁	駆動部点検	高	130M	—	8			
		分解点検		130M	—	8			
		電動機分解点検		130M	—	8			
	4V-CH-017A 4 A 冷water戻り弁	駆動部点検	高	130M	—	7			
		分解点検		130M	—	7			
		電動機分解点検		130M	—	7			
	4V-CH-017B 4 B 冷water戻り弁	駆動部点検	高	130M	—	8			
		分解点検		130M	—	8			
		電動機分解点検		130M	—	8			
	4V-CH-020 4号 C冷water供給弁	駆動部点検	高	130M	—	10			
		分解点検		130M	—	10			
		電動機分解点検		130M	—	10			
4V-CH-021 4号 C冷water戻り弁	駆動部点検	高	130M	—	10				
	分解点検		130M	—	10				
	電動機分解点検		130M	—	10				
原子炉格納施設 (原子炉格納容器)	1. 「T信号」及び「T信号」とUV信号との一致」により隔離される弁 65個 2. 「P信号」により隔離される弁 16個	機能・性能試験	高	1C	○	13	GM-45 原子炉格納容器隔離弁機能検査		
		原子炉格納容器	漏えい試験	高	3C	○	11	GM-43 原子炉格納容器全体漏えい率検査	
			非破壊検査	高	5年間	○	11	GM-105 プレストレストコンクリート格納容器供用期間中検査	
	外観点検(アニュラスシールド)		高	10C	—	10			
	通常用エアロック	漏えい試験	高	1C	○	13	GM-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施	
		開放点検		13M	○	13			
		分解点検(タイミングギア及び駆動部)		65M	—	11			
	非常用エアロック	漏えい試験	高	1C	○	13	GM-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施	
		開放点検		13M	○	13			
		分解点検(タイミングギア及び駆動部)		65M	—	11			
	機器搬入口	漏えい試験	高	1C	○	13	GM-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施	
		開放点検		13M	○	13			
分解点検(タイミングギア及び駆動部)		65M		—	11				
燃料移送管	1. 配管貫通部 8個 2. 電線貫通部 46個	高	1C	○	13	GM-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施		
	漏えい試験		1C	○	13	GM-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施		
	開放点検		13M	○	13				
原子炉格納容器隔離弁	52個	高	1C	○	13	GM-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施		
	原子炉格納容器スプレイズ ・格納容器スプレイズポンプ ・モード切替弁 ・常設電動注入ポンプ		2台 6個 1台	GM-48 原子炉格納容器安全系統検査	13				
	機能・性能試験		1C		○	13			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
4 A 格納容器スプレイポンプ		簡易点検(油入射他)	高	13M	○	13	GM-49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	(保動診断:1ヶ月)
		分解点検(メカニカルシール取替)		52M	—	13		
		分解点検		104M	—	13		
4 A 格納容器スプレイポンプ用電動機		簡易点検(油入射他)	高	13M	○	13		(保動診断:1ヶ月)
		分解点検		78M	○	8		
4 B 格納容器スプレイポンプ		簡易点検(油入射他)	高	13M	○	13		(保動診断:1ヶ月)
		分解点検(メカニカルシール取替)		52M	—	12		
		分解点検		104M	—	12		
4 B 格納容器スプレイポンプ		簡易点検(油入射他)	高	13M	○	13	GM-49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 GM-203 その他原子炉注入系ポンプ分解検査	(保動診断:1ヶ月)
		分解点検		78M	—	13		
4 A 格納容器スプレイポンプ用電動機		簡易点検(油入射他)	高	13M	○	13		(保動診断:1ヶ月)
		分解点検		78M	—	13		
4 A 格納容器スプレイ冷却器		開放点検	高	130M	—	11		
		開放点検		130M	—	11		
4 B 格納容器スプレイ冷却器		開放点検	高	130M	—	13		
		開放点検		130M	—	13		
よう素除去薬品タンク		開放点検	高	130M	—	10	GM-88 1次系真空破断弁検査	
		開放点検		130M	—	10		
4V-CF-01	4 A C/VスプレイポンプRWS P側入口弁	簡易点検	低	130M	—	10	GM-88 1次系真空破断弁検査	
		分解点検		130M	—	10		
4V-CF-02	4 A C/VスプレイポンプRWS P側入口弁	簡易点検	低	130M	—	10	GM-88 1次系真空破断弁検査	
		分解点検		130M	—	10		
4V-CF-01A	4 A C/VスプレイポンプRWS P側入口弁	駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
4 V C/VスプレイポンプRWS P側入口弁		電動機分解点検	高	130M	—	8		
		電動機分解点検		130M	—	8		
4V-CF-01B	4 B C/VスプレイポンプRWS P側入口弁	駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
4 V C/VスプレイポンプRWS P側入口弁		電動機分解点検	高	130M	—	8		
		電動機分解点検		130M	—	8		
4V-CF-01A	4 A C/VスプレイポンプRWS P側入口弁	簡易点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
4 V C/VスプレイポンプRWS P側入口弁		電動機分解点検	高	130M	—	8		
		電動機分解点検		130M	—	8		
4V-CF-01B	4 B C/VスプレイポンプRWS P側入口弁	簡易点検	高	130M	—	9		
		分解点検		130M	—	9		
4 V C/VスプレイポンプRWS P側入口弁		電動機分解点検	高	130M	—	5		
		電動機分解点検		130M	—	5		
4V-CF-02A	4 A C/VスプレイポンプRWS P側入口弁	簡易点検	高	130M	—	5	GM-50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		分解点検		130M	—	5		
4 V C/VスプレイポンプRWS P側入口弁		電動機分解点検	高	130M	—	5		
		電動機分解点検		130M	—	5		
4V-CF-02B	4 B C/VスプレイポンプRWS P側入口弁	簡易点検	高	130M	—	6		
		分解点検		130M	—	6		
4 V C/VスプレイポンプRWS P側入口弁		電動機分解点検	高	130M	—	6	GM-50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	6		
4V-CF-02A	4 A C/VスプレイポンプRWS P側入口弁	駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
4 V C/VスプレイポンプRWS P側入口弁		電動機分解点検	高	130M	—	8	GM-50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	8		
4V-CF-02B	4 B C/VスプレイポンプRWS P側入口弁	駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
4 V C/VスプレイポンプRWS P側入口弁		電動機分解点検	高	130M	—	8	GM-50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	8		
4V-CF-02A	4 A C/VスプレイポンプRWS P側入口弁	簡易点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
4 V C/VスプレイポンプRWS P側入口弁		電動機分解点検	高	130M	—	8	GM-50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	8		
4V-CF-02B	4 B C/VスプレイポンプRWS P側入口弁	駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検		130M	—	8		
4 V C/VスプレイポンプRWS P側入口弁		電動機分解点検	高	130M	—	8	GM-50 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		電動機分解点検		130M	—	8		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
4V-CP-050A 4 A よう素除去薬品注入弁後弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検						
		機能・性能試験						
		電動機分解点検						
4V-CP-050B 4 B よう素除去薬品注入弁後弁		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検						
		機能・性能試験						
		電動機分解点検						
4V-CP-068 4号よう素除去薬品タンク安全弁		分解点検	低	130M	—	11		
		漏えい試験						
		機能・性能試験						
		電動機分解点検						
4V-CP-084 4号AM用水消火ライン止め弁		分解点検	高	130M	—	6		
		分解点検						
		開放点検						
		機能・性能試験						
4V-CP-085 4号AM用水消火ライン逆止弁		分解点検	高	130M	—	6		
		開放点検						
		機能・性能試験						
		電動機分解点検						
4 A 格納容器減圧排気フィルタユニット電気加熱コイル		駆動部点検	低	13M	○	13		
		分解点検						
		機能・性能試験						
		電動機分解点検						
4 B 格納容器減圧排気フィルタユニット電気加熱コイル		駆動部点検	低	13M	○	13		
		分解点検						
		機能・性能試験						
		電動機分解点検						
4V-CP-311A 4号C/V減圧ライン内隔離弁A		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検						
		電動機分解点検						
		電動機分解点検						
4V-CP-311B 4号C/V減圧ライン内隔離弁B		駆動部点検	高	130M	—	8		
		分解点検						
		電動機分解点検						
		電動機分解点検						
4V-CP-313A 4号C/V減圧ライン外隔離弁A		駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検						
		電動機分解点検						
		電動機分解点検						
4V-CP-313B 4号C/V減圧ライン外隔離弁B		駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検						
		電動機分解点検						
		電動機分解点検						
4V-PP-035 4号A/L所内用空気加圧ライン安全弁		駆動部点検	低	130M	—	10		
		分解点検						
		漏えい試験						
		機能・性能試験						
4V-RM-001 4号C/V空気サンプル取出ライン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	5		
		分解点検						
		電動機分解点検						
		電動機分解点検						
4V-RM-002 4号C/V空気サンプル取出ライン外隔離弁		駆動部点検	高	65M	—	6		
		分解点検						
		電動機分解点検						
		電動機分解点検						
4V-RM-008 4号C/V空気サンプル戻りライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	6		
		分解点検						
		電動機分解点検						
		電動機分解点検						

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
4V-1G-009 4号炉内稼計測装置ガスバスライン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検						
4V-1G-010 4号炉内稼計測装置ガスバスライン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検						
4V-1S-502 4号炉内水消火ライン外隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	10	GM-85 1次系弁検査	
		分解点検						
4V-1S-536 4号炉内水消火ライン第一隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	10		
		分解点検						
4V-1S-537 4号炉内水消火ライン第二隔離弁		電動機分解点検	高	130M	—	10		
		分解点検						
4 A サンプル冷却器		電動機分解点検	高	130M	—	10		
		分解点検						
4 B サンプル冷却器		外観点検	高	1C	○	13		第14回定検より追加
		外観点検						
4V-SS-503 4号炉内圧縮気相部サンプルライン内隔離弁		駆動部点検	高	52M	—	12		
		分解点検						
4V-SS-523 4号炉内圧縮気相部サンプルライン内隔離弁		駆動部点検	高	52M	—	12	GM-85 1次系弁検査	
		分解点検						
4V-SS-524 4号炉内圧縮気相部サンプルライン内隔離弁		駆動部点検	高	52M	—	12		
		分解点検						
4V-SS-543A 4号炉内ルーブサブサンプルライン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	7	GM-85 1次系弁検査	
		分解点検						
4V-SS-543B 4号炉内ルーブサブサンプルライン内隔離弁		電動機分解点検	高	130M	—	7		
		分解点検						
4V-SS-544A 4号炉内ルーブサブサンプルライン内隔離弁		電動機分解点検	高	130M	—	7	GM-85 1次系弁検査	
		分解点検						
4V-SS-548B 4号炉内ルーブサブサンプルライン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	5		
		分解点検						
4V-SS-548B 4号炉内ルーブサブサンプルライン内隔離弁		電動機分解点検	高	65M	—	10	GM-85 1次系弁検査	
		分解点検						
4V-SS-548B 4号炉内ルーブサブサンプルライン内隔離弁		電動機分解点検	高	130M	—	8		
		分解点検						
4V-SS-548B 4号炉内ルーブサブサンプルライン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	8	GM-85 1次系弁検査	
		分解点検						
4V-SS-563A 4号炉内蒸気タンクサンプルライン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	12		
		分解点検						
4V-SS-563B 4号炉内蒸気タンクサンプルライン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	11	GM-85 1次系弁検査	
		分解点検						
4V-SS-563B 4号炉内蒸気タンクサンプルライン内隔離弁		駆動部点検	高	130M	—	13	GM-85 1次系弁検査	
		分解点検						

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
原子炉施設 (その他設備)	4V-SS-563C 4 C 蓄圧タンクサンプリングライン内隔離弁 4V-SS-563D 4 D 蓄圧タンクサンプリングライン内隔離弁 4V-SS-564 4号 蓄圧タンクサンプリングライン外隔離弁 4V-SS-587 4号 V C 1気相部サンプリング弁 4V-SS-620 4号 事故時1次冷却母管サンプリングライン外隔離弁 4V-SS-658 4号 C/V 雰囲気ガスサンプリングライン遮断弁 4V-SS-691 4号 C/V 雰囲気ガスサンプリングライン外隔離弁	駆動部点検	高	1300	—	9	GM-85 1次系弁検査	
		分解点検		1300	—	9		
		駆動部点検	高	1300	—	10	GM-85 1次系弁検査	
		分解点検		1300	—	13		
		駆動部点検	高	1300	—	8	GM-85 1次系弁検査	
		分解点検		1300	—	8		
		駆動部点検	低	1300	—	5	GM-85 1次系弁検査	
		分解点検		65M	—	10		
		機能・性能試験	高	5C	—	10	GM-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		1300	—	10		
		分解点検	高	1300	—	10	GM-87 1次系逆止弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	10		
駆動部点検	高	1300	—	6	GM-85 1次系弁検査			
分解点検		65M	—	11				
機能・性能試験	高	5C	—	11	GM-85 1次系弁検査			
非破壊試験		10年間	○	13				
補えり試験	高	1C	○	13	GM-1 クラス1機器使用期間中検査			
非破壊試験		10年間	○	13				
補えり試験	高	非破壊試験	○	13	GM-5 クラス2機器使用期間中検査			
非破壊試験		10年間	○	13				
補えり試験	高	非破壊試験	○	13	GM-90 クラス2管(原子炉格納容器内)個別検査			
非破壊試験		10年間	○	13				
非破壊試験	高	補えり試験	○	11	GM-109 耐震健全性検査			
非破壊試験		10C	—	12				
非破壊試験	高	補えり試験	○	12	GM-103 耐震健全性検査			
非破壊試験		10C	—	13				
非破壊試験	高	補えり試験	○	13	GM-103 耐震健全性検査			
非破壊試験		10C	—	8				
非破壊試験	高	補えり試験	○	8	GM-109 耐震健全性検査			
非破壊試験		10C	—	8				
非破壊試験	高	補えり試験	○	9	GM-103 耐震健全性検査			
非破壊試験		10C	—	9				
非破壊試験	高	補えり試験	○	9	GM-103 耐震健全性検査			
非破壊試験		10C	—	9				
非破壊試験	高	補えり試験	○	9	GM-103 耐震健全性検査			
非破壊試験		10C	—	9				
非破壊試験	高	補えり試験	○	10	GM-109 耐震健全性検査			
非破壊試験		10C	—	10				
非破壊試験	高	補えり試験	○	10	GM-103 耐震健全性検査			
非破壊試験		10C	—	10				
非破壊試験	高	補えり試験	○	10	GM-103 耐震健全性検査			
非破壊試験		10C	—	11				

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	R/B E.L. 3.7m(中間梁)【管内】	外観点検	高	10C	—	11	GM-103 耐震健全性検査	
	R/B E.L. 3.7m【管外】	外観点検	高	10C	—	11	GM-103 耐震健全性検査	
	A/B E.L. 3.7m【管外】	外観点検	高	10C	—	11	GM-103 耐震健全性検査	
	R/B E.L. 3.7m(中間梁)【管外】	外観点検	高	10C	—	11	GM-103 耐震健全性検査	
	R/B E.L. 1.1.3m【管内】	外観点検	高	10C	—	11	GM-103 耐震健全性検査	
	R/B E.L. 1.1.3m(中間梁)【管内】	外観点検	高	10C	—	11	GM-103 耐震健全性検査	
	R/B E.L. 1.1.3m【管外】	外観点検	高	10C	—	11	GM-103 耐震健全性検査	
	A/B E.L. 1.1.3m【管外】	外観点検	高	10C	—	11	GM-103 耐震健全性検査	
	R/B E.L. 1.1.3m(中間梁)【管外】	外観点検	高	10C	—	11	GM-103 耐震健全性検査	
	R/B E.L. 2.0.4m(線上)【管外】	外観点検	高	10C	—	11	GM-103 耐震健全性検査	
	屋外(取水ピット、海水管ダクト、放水ピット)	外観点検	高	10C	—	11	GM-103 耐震健全性検査	
	WM/B	外観点検	低	10C	—	11	GM-103 耐震健全性検査	
	容器	—	—	—	—	—	—	
	余熱除去冷却器(制御)	非破壊試験	高	10年間	—	13	GM-104 構造健全性検査	
	格納容器スプレイ冷却器(制御)	非破壊試験	高	10年間	○	11	GM-104 構造健全性検査	
	原子炉補機冷却水冷却器	非破壊試験	高	10年間	—	12	GM-104 構造健全性検査	
	D/G潜水冷却器	非破壊試験	高	10年間	—	12	GM-104 構造健全性検査	
	D/G潤滑油冷却器	非破壊試験	高	10年間	—	13	GM-104 構造健全性検査	
	ポンプ	—	—	—	—	—	—	
	原子炉補機冷却水ポンプ	非破壊試験	高	10年間	—	11	GM-104 構造健全性検査	
	配管	—	—	—	—	—	—	
	原子炉補機冷却水系統	非破壊試験	高	10年間	○	13	GM-104 構造健全性検査	
	原子炉補機冷却水配管	非破壊試験	高	10年間	—	13	GM-104 構造健全性検査	
	支持構造物	—	—	—	—	—	—	
	原子炉補機冷却水系統	非破壊試験	高	10年間	○	13	GM-104 構造健全性検査	
	原子炉補機冷却水系統	非破壊試験	高	10年間	○	13	GM-104 構造健全性検査	
	補えい試験	—	—	—	—	—	—	
	A, B 使用済燃料ピットポンプ入ロライン	補えい試験	高	10年間	—	11	GM-104 構造健全性検査	
	A, B 使用済燃料ピットポンプ出口ロライン	補えい試験	高	10年間	—	12	GM-104 構造健全性検査	
	A, B 原子炉補機冷却水ポンプ入ロライン	補えい試験	高	10年間	—	13	GM-104 構造健全性検査	
	C, D 原子炉補機冷却水ポンプ入ロライン	補えい試験	高	10年間	—	11	GM-104 構造健全性検査	
	A, B 原子炉補機冷却水ポンプ出口ロライン	補えい試験	高	10年間	—	12	GM-104 構造健全性検査	
	C, D 原子炉補機冷却水ポンプ出口ロライン	補えい試験	高	10年間	—	11	GM-104 構造健全性検査	
	原子炉補機冷却水ポンプ出口ロライン	補えい試験	高	10年間	—	13	GM-104 構造健全性検査	
	A, B 海水ポンプ出口ロライン	補えい試験	高	10年間	○	11	GM-104 構造健全性検査	
	C, D 海水ポンプ出口ロライン	補えい試験	高	10年間	—	12	GM-104 構造健全性検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	A 制御用空気圧縮機出口ライン	漏えい試験	高	10年間	○	11	GM-104 構造健全性検査	
	B 制御用空気圧縮機出口ライン	漏えい試験	高	10年間	—	11	GM-104 構造健全性検査	
	制御用空気Cヘッダライン	漏えい試験	高	10年間	—	11	GM-104 構造健全性検査	
	A デイジーゼル発電機始動空気ライン	漏えい試験	高	10年間	—	11	GM-104 構造健全性検査	
	B デイジーゼル発電機始動空気ライン	漏えい試験	高	10年間	—	11	GM-104 構造健全性検査	
	A デイジーゼル発電機冷却水ライン	漏えい試験	高	10年間	—	11	GM-104 構造健全性検査	
	B デイジーゼル発電機冷却水ライン	漏えい試験	高	10年間	—	11	GM-104 構造健全性検査	
		外観点検	—	—	—	—	—	—
	C/V E.L. -4.7m 【管内】	外観点検	高	10C	—	11	GM-104 構造健全性検査	
	C/V E.L. 3.7m 【管内】	外観点検	高	10C	—	12	GM-104 構造健全性検査	
	C/V E.L. 1.1.3m以上 【管内】	外観点検	高	10C	—	13	GM-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. -1.8.0m 【管内】	外観点検	高	10C	○	8	GM-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. -1.8.0m(中間床) 【管内】	外観点検	高	10C	○	8	GM-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. -1.1.0m 【管内】	外観点検	高	10C	—	9	GM-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. -1.1.0m(中間床) 【管内】	外観点検	高	10C	—	9	GM-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. -1.1.0m 【管外】	外観点検	高	10C	—	9	GM-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. -3.5m 【管内】	外観点検	高	10C	—	10	GM-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. -3.5m(中間床) 【管内】	外観点検	高	10C	—	10	GM-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. -3.5m 【管外】	外観点検	高	10C	—	10	GM-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. 3.7m 【管内】	外観点検	高	10C	—	11	GM-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. 3.7m(中間床) 【管内】	外観点検	高	10C	—	11	GM-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. 3.7m 【管外】	外観点検	高	10C	—	11	GM-104 構造健全性検査	
	A/B E.L. 3.7m 【管外】	外観点検	高	10C	—	11	GM-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. 3.7m(中間床) 【管外】	外観点検	高	10C	—	11	GM-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. 1.1.3m 【管内】	外観点検	高	10C	—	11	GM-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. 1.1.3m(中間床) 【管内】	外観点検	高	10C	—	11	GM-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. 1.1.3m 【管外】	外観点検	高	10C	—	11	GM-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. 1.1.3m(中間床) 【管外】	外観点検	高	10C	—	11	GM-104 構造健全性検査	
	R/B E.L. 2.0.4m(屋上) 【管外】	外観点検	高	10C	—	11	GM-104 構造健全性検査	
	感外(取水セット、海水管ダクト、放水セット)	外観点検	高	10C	—	11	GM-104 構造健全性検査	
	MM/B	外観点検	低	10C	—	11	GM-104 構造健全性検査	
	排気筒	外観点検	高	10F	—	2015年度	GM-104 構造健全性検査	プラント運転中
	主空気配管レストレイント 8箇所	外観点検	高	10C	—	8	GM-114 レストレイント検査	
	主海水配管レストレイント 14箇所	外観点検	高	10C	—	8	GM-114 レストレイント検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保 全 重 要 度	体 面 方 式 又 は 傾 度	今 回 の 実 施 計 画	前 回 実 施 時 期 (定 検 回 数)	検 査 名	備 考 ()内は適用する設備診断技術	
蒸気タービン (車室、甲板、艀板、噴口)	2次系配管等	外観点検	高	高	1C	○	13	GM-127 2次系配管検査	艦外保固材施工部	
		外観点検			4C	—	12			
		非破壊試験			余寿命による	○	13	GM-127 2次系配管検査		
	2次系配管	非破壊試験	高	高	余寿命による	○	○	13	GM-129 蒸気タービン開放検査	
		非破壊試験			余寿命による	○	13	GM-136 主蒸気、主給水配管検査		
		非破壊試験			余寿命による	○	13			
	4号 高圧タービン		開放点検(目視)	低	低	39M	○	11		開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
			開放点検(非破壊)			1C	○	13		
			開放点検(組立状況)			39M	○	13	GM-129 蒸気タービン開放検査	
			開放点検(目視)			1C	○	13		
			開放点検(非破壊)			39M	—	12		
			開放点検(組立状況)			1C	○	13		
4号 第1低圧タービン		開放点検(目視)	低	低	39M	—	12		開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
		開放点検(目視)			1C	○	13			
		開放点検(非破壊)			13M	○	13	GM-129 蒸気タービン開放検査		
		開放点検(非破壊)			39M	—	12			
		開放点検(組立状況)			1C	○	13			
		開放点検(組立状況)			39M	—	13			
4号 第2低圧タービン		開放点検(目視)	低	低	1C	○	13		開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
		開放点検(目視)			13M	○	13	GM-129 蒸気タービン開放検査		
		開放点検(非破壊)			39M	—	13			
		開放点検(非破壊)			13M	○	13			
		開放点検(組立状況)			1C	○	13			
		開放点検(組立状況)			39M	—	13			
4号 第3低圧タービン		開放点検(目視)	低	低	39M	○	11		開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
		開放点検(目視)			1C	○	13			
		開放点検(非破壊)			13M	○	13	GM-129 蒸気タービン開放検査		
		開放点検(非破壊)			39M	○	11			
		開放点検(組立状況)			1C	○	13			
		開放点検(組立状況)			39M	○	13			
蒸気タービン本体及びその附属設備		機能・性能試験(保安装置)	低	低	1C	○	13	GM-130 蒸気タービン性能検査	定検起動後	
		総合性能試験(負荷)			1C	○	13	GM-155 総合負荷性能検査		
		開放点検(目視)			13M	○	13	GM-129 蒸気タービン開放検査		
タービン調速装置・非常調速装置		開放点検(目視)	低	低	39M	—	13		開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
		開放点検(目視)			39M	—	13			
		開放点検(非破壊)			39M	—	13			
		開放点検(組立状況)			3C	—	13			
		機能・性能試験(保安装置)			1C	○	13	GM-130 蒸気タービン性能検査		
		機能・性能試験(保安装置)			39M	○	11			
# 1 主蒸気止め弁		開放点検(目視)	低	低	39M	○	11		開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
		開放点検(目視)			39M	○	11			
		開放点検(非破壊)			39M	○	11	GM-129 蒸気タービン開放検査		
		開放点検(組立状況)			3C	○	11			
		機能・性能試験(保安装置)			1C	○	13	GM-130 蒸気タービン性能検査		
		機能・性能試験(保安装置)			39M	○	11			
# 2 主蒸気止め弁		開放点検(目視)	低	低	39M	○	11		開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
		開放点検(目視)			39M	○	11			
		開放点検(非破壊)			39M	○	11	GM-129 蒸気タービン開放検査		
		開放点検(組立状況)			3C	○	11			
		機能・性能試験(保安装置)			1C	○	13	GM-130 蒸気タービン性能検査		
		機能・性能試験(保安装置)			39M	○	11			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術					
# 3 主蒸気止め弁		開放点検(目視)	低	30M	—	13	GM-I29 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施					
		開放点検(非破壊)		30M	—	13							
		開放点検(組立状況)		3C	—	13							
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	13			GM-I30 蒸気タービン性能検査				
		開放点検(目視)		30M	—	12			GM-I29 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施			
		開放点検(非破壊)		30M	—	12							
		開放点検(組立状況)		3C	—	12							
		# 4 主蒸気止め弁			機能・性能試験(保安装置)	低			1C	○	13	GM-I30 蒸気タービン性能検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
					開放点検(目視)				30M	—	13	GM-I29 蒸気タービン開放検査	
開放点検(非破壊)	30M		—		13								
開放点検(組立状況)	3C		—		13								
# 1 蒸気加減弁			機能・性能試験(保安装置)		低		1C	○	13	GM-I30 蒸気タービン性能検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施		
			開放点検(目視)				30M	○	11	GM-I29 蒸気タービン開放検査			
			開放点検(非破壊)				30M	○	11				
			開放点検(組立状況)				3C	○	11				
			# 2 蒸気加減弁					機能・性能試験(保安装置)	低	1C		○	
		開放点検(目視)		30M		—		13		GM-I29 蒸気タービン開放検査			
		開放点検(非破壊)		30M		—		13					
		開放点検(組立状況)		3C		—		13					
		# 3 蒸気加減弁				機能・性能試験(保安装置)		低		1C		○	13
開放点検(目視)	30M				—	12				GM-I29 蒸気タービン開放検査			
開放点検(非破壊)	30M				—	12							
開放点検(組立状況)	3C				—	12							
# 4 蒸気加減弁					機能・性能試験(保安装置)	低				1C	○	13	GM-I30 蒸気タービン性能検査
			開放点検(目視)		30M		—		13	GM-I29 蒸気タービン開放検査			
			開放点検(非破壊)		30M		—		13				
			開放点検(組立状況)		3C		—		13				
			A 再熱蒸気止め弁				機能・性能試験(保安装置)		低	1C	○	13	GM-I30 蒸気タービン性能検査
		開放点検(目視)		30M			—	13		GM-I29 蒸気タービン開放検査			
		開放点検(非破壊)		30M			—	13					
		開放点検(組立状況)		3C			—	13					
		B 再熱蒸気止め弁					機能・性能試験(保安装置)	低		1C	○	13	GM-I30 蒸気タービン性能検査
開放点検(目視)	30M					—	13			GM-I29 蒸気タービン開放検査			
開放点検(非破壊)	30M					—	13						
開放点検(組立状況)	3C					—	13						
C 再熱蒸気止め弁						機能・性能試験(保安装置)	低			1C	○	13	GM-I30 蒸気タービン性能検査
			開放点検(目視)		30M	○			11	GM-I29 蒸気タービン開放検査			
			開放点検(非破壊)		30M	○			11				
			開放点検(組立状況)		3C	○			11				
			D 再熱蒸気止め弁			機能・性能試験(保安装置)			低	1C	○	13	GM-I30 蒸気タービン性能検査
		開放点検(目視)		30M		○		11		GM-I29 蒸気タービン開放検査			
		開放点検(非破壊)		30M		○		11					
		開放点検(組立状況)		3C		○		11					

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術	
E 再熱蒸気止め弁	再熱蒸気止め弁	開放点検(目視)	低	39M	—	12	GM-I29 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
		開放点検(非破壊)		39M	—	12			
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	13	GM-I30 蒸気タービン性能検査		
	F 再熱蒸気止め弁	再熱蒸気止め弁	開放点検(目視)	低	39M	—	12	GM-I29 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
			開放点検(非破壊)		39M	—	12		
			機能・性能試験(保安装置)		1C	○	13	GM-I30 蒸気タービン性能検査	
	A インターセプト弁	インターセプト弁	開放点検(目視)	低	39M	—	13	GM-I29 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
			機能・性能試験(保安装置)		1C	○	13	GM-I30 蒸気タービン性能検査	
			開放点検(目視)		39M	—	13	GM-I29 蒸気タービン開放検査	
	B インターセプト弁	インターセプト弁	開放点検(目視)	低	39M	—	13	GM-I29 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
			開放点検(非破壊)		39M	—	13		
			機能・性能試験(保安装置)		1C	○	13	GM-I30 蒸気タービン性能検査	
C インターセプト弁	インターセプト弁	開放点検(目視)	低	39M	○	11	GM-I29 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
		開放点検(非破壊)		39M	○	11			
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	13	GM-I30 蒸気タービン性能検査		
D インターセプト弁	インターセプト弁	開放点検(目視)	低	39M	○	11	GM-I29 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
		開放点検(非破壊)		39M	○	11			
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	13	GM-I30 蒸気タービン性能検査		
E インターセプト弁	インターセプト弁	開放点検(目視)	低	39M	—	12	GM-I29 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
		開放点検(非破壊)		39M	—	12			
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	13	GM-I30 蒸気タービン性能検査		
F インターセプト弁	インターセプト弁	開放点検(目視)	低	39M	—	12	GM-I29 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
		開放点検(非破壊)		39M	—	12			
		機能・性能試験(保安装置)		1C	○	13	GM-I30 蒸気タービン性能検査		
蒸気タービン(復水器)	A 復水器本室	開放点検(目視)	低	13M	○	13	GM-I29 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、B7口結果により点検を行う場合に定期事業者検査として実施	
		開放点検(非破壊)		78M	—	13			
		開放点検(目視)		13M	○	13	GM-I29 蒸気タービン開放検査		
	B 復水器本室	復水器本室	開放点検(目視)	低	13M	○	13	GM-I29 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、B7口結果により点検を行う場合に定期事業者検査として実施
			開放点検(非破壊)		78M	○	8		
			開放点検(目視)		13M	○	13	GM-I29 蒸気タービン開放検査	
	C 復水器本室	復水器本室	開放点検(目視)	低	78M	—	9	GM-I29 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、B7口結果により点検を行う場合に定期事業者検査として実施
			開放点検(非破壊)		78M	—	10		
			開放点検(目視)		13M	○	13	GM-I29 蒸気タービン開放検査	
	D 復水器本室	復水器本室	開放点検(目視)	低	78M	—	10	GM-I29 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、B7口結果により点検を行う場合に定期事業者検査として実施
			開放点検(非破壊)		78M	—	11		
			開放点検(目視)		13M	○	13	GM-I29 蒸気タービン開放検査	
E 復水器本室	復水器本室	開放点検(目視)	低	78M	—	11	GM-I29 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、B7口結果により点検を行う場合に定期事業者検査として実施	
		開放点検(非破壊)		78M	—	12			
		開放点検(目視)		13M	○	13	GM-I29 蒸気タービン開放検査		
F 復水器本室	復水器本室	開放点検(目視)	低	78M	—	12	GM-I29 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、B7口結果により点検を行う場合に定期事業者検査として実施	
		開放点検(非破壊)		78M	—	12			
		開放点検(目視)		13M	○	13	GM-I29 蒸気タービン開放検査		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
機器又は系統名 蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び 貯水設備並びに給水処理設備	4 A 低圧第3 給水加熱器	開放点検(目視)	低	26M	—	13	OM-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	11		
	4 B 低圧第3 給水加熱器	開放点検(目視)	低	26M	○	12	OM-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	12		
	4 A 低圧第4 給水加熱器	開放点検(目視)	低	13M	○	13	OM-126 2次系熱交換器検査	第11回定検で取替
		開放点検(非破壊)		78M	—	—		開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
	4 B 低圧第4 給水加熱器	開放点検(目視)	低	13M	○	13	OM-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	12		
	4 A 低圧第5 給水加熱器	開放点検(目視)	低	26M	—	13	OM-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		26M	—	13		
	4 B 低圧第5 給水加熱器	開放点検(目視)	低	26M	○	—	OM-126 2次系熱交換器検査	第12回定検で取替
		開放点検(非破壊)		26M	○	—		開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施
4号 グランド蒸気風水器	開放点検(目視)	低	39M	—	13	OM-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
	開放点検(非破壊)		39M	—	13			
4 A 高圧第7 給水加熱器	開放点検(目視)	低	13M	○	—	OM-126 2次系熱交換器検査	第13回定検で取替	
	開放点検(非破壊)		26M	—	—		開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
4 B 高圧第7 給水加熱器	開放点検(目視)	低	13M	○	—	OM-126 2次系熱交換器検査	第13回定検で取替	
	開放点検(非破壊)		26M	○	—		開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業者検査として実施	
4 A 復水ポンプ	簡易点検(グラウンドバッドバック取替他)	低	13M	○	13		(振動診断:切替毎)	
	分解点検		39M	—	13			
	機能・性能試験		3C	—	13		OM-138 蒸気タービン附属設備機能検査	
4 A 復水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	低	13M	○	13		(振動診断:切替毎)	
	分解点検		39M	—	13			
	簡易点検(グラウンドバッドバック取替他)		13M	○	13			
4 B 復水ポンプ	分解点検	低	39M	○	11		(振動診断:切替毎)	
	機能・性能試験		3C	○	11			
	簡易点検(油入替他)		13M	○	13		OM-138 蒸気タービン附属設備機能検査	
4 B 復水ポンプ用電動機	分解点検	低	39M	○	11		(振動診断:切替毎)	
	機能・性能試験		3C	○	11			
	簡易点検(グラウンドバッドバック取替他)		13M	○	13			
4 C 復水ポンプ	分解点検	低	39M	—	12		(振動診断:切替毎)	
	機能・性能試験		3C	—	12			
	簡易点検(油入替他)		13M	○	13		OM-138 蒸気タービン附属設備機能検査	
4 C 復水ポンプ用電動機	分解点検	低	39M	—	12		(振動診断:切替毎)	
	機能・性能試験		3C	—	12			
	簡易点検(油入替他)		13M	○	13			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
4 A 復水ブースタポンプ		簡易点検(油入替他)	低	13M	○	13		(振動診断:切替毎)
		分解点検		20M	—	13		
		機能・性能試験		2C	—	13		
		分解点検		30M	—	13		
4 B 復水ブースタポンプ用電動機		簡易点検(油入替他)	低	13M	○	13		(振動診断:切替毎)
		分解点検		20M	○	12		
		機能・性能試験		2C	○	12		
		分解点検		30M	○	11		
4 C 復水ブースタポンプ		簡易点検(油入替他)	低	13M	○	13		(振動診断:切替毎)
		分解点検		20M	—	13		
		機能・性能試験		2C	—	13		
		分解点検		30M	—	12		
4 A 復水器具空ポンプ		簡易点検(グラウンドハンドバックン取替他)	低	13M	○	13		(振動診断:切替毎)
		分解点検		20M	—	13		
		機能・性能試験		2C	—	13		
		分解点検		52M	—	13		
4 B 復水器具空ポンプ用電動機		簡易点検(グラウンドハンドバックン取替他)	低	13M	○	13		(振動診断:切替毎)
		分解点検		20M	○	12		
		機能・性能試験		2C	○	12		
		分解点検		52M	○	10		
4 A 復水配管装置配管塔		開放点検	低	13M	○	13		(振動診断:切替毎)
		開放点検		13M	○	13		
		開放点検		13M	○	13		
		開放点検		13M	○	13		
4 C 復水配管装置配管塔		開放点検	低	13M	○	13		(振動診断:切替毎)
		開放点検		13M	○	13		
		開放点検		13M	○	13		
		開放点検		13M	○	13		
4 D 復水配管装置配管塔		開放点検	低	13M	○	13		(振動診断:切替毎)
		開放点検		13M	○	13		
		開放点検		13M	○	13		
		開放点検		13M	○	13		
4 E 復水配管装置配管塔		開放点検	低	13M	○	13		(振動診断:切替毎)
		開放点検		13M	○	13		
		開放点検		13M	○	13		
		開放点検		13M	○	13		
4 F 復水配管装置配管塔		開放点検	低	13M	○	13		(振動診断:切替毎)
		開放点検		130M	—	13		
		開放点検		13M	○	13		
		開放点検		13M	○	13		
復水フィルタ		簡易点検(油入替他)	低	13M	○	13		(振動診断:1ヶ月)
		分解点検		30M	—	13		
		分解点検		52M	—	13		
		分解点検		13M	○	13		
4 A タービン動主給水ポンプ		機能・性能試験	低	1C	○	13		(振動診断:1ヶ月)
		分解点検		13M	○	13		
		分解点検		13M	○	13		
		分解点検		13M	○	13		
4 B タービン動主給水ポンプ		機能・性能試験	低	1C	○	13		(振動診断:1ヶ月)
		分解点検		13M	○	13		
		分解点検		13M	○	13		
		分解点検		13M	○	13		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術	
4 A タービン動主給水ポンプ駆動タービン	簡易点検(油入替他)	点検及び試験の項目	低	13M	○	13	GM-121 2次系ポンプ分解検査	(稼働診断:1ヶ月)	
	分解点検			20M	—	13			
	機能・性能試験			1C	○	13			GM-122 2次系ポンプ機能検査
	簡易点検(油入替他)			13M	○	13			
	分解点検			20M	○	12			GM-121 2次系ポンプ分解検査
	機能・性能試験			1C	○	13			GM-122 2次系ポンプ機能検査
	簡易点検(グラウンドバックスン取替他)			13M	○	13			
	分解点検			30M	—	13			GM-121 2次系ポンプ分解検査
	機能・性能試験			20M	—	13			
	2C			○	13	GM-138 蒸気タービン付属設備機能検査			
4 A タービン動主給水ポンプ用給水ブースタポンプ	簡易点検(油入替他)	点検及び試験の項目	低	13M	○	13	GM-138 蒸気タービン付属設備機能検査	(稼働診断:1ヶ月)	
	分解点検			30M	—	13			
	機能・性能試験			20M	—	13			
	簡易点検(油入替他)			13M	○	13			
	分解点検			52M	—	11			
	機能・性能試験			20M	○	12			
	簡易点検(油入替他)			2C	○	12			GM-138 蒸気タービン付属設備機能検査
	分解点検			13M	○	13			
	機能・性能試験			52M	○	10			
	13M			○	13				
4 B タービン動主給水ポンプ用給水ブースタポンプ	簡易点検(油入替他)	点検及び試験の項目	低	13M	○	13	GM-138 蒸気タービン付属設備機能検査	(稼働診断:1ヶ月)	
	分解点検			52M	—	13			
	機能・性能試験			13M	○	13			
	簡易点検(油入替他)			20M	—	13			
	分解点検			2C	○	13			GM-138 蒸気タービン付属設備機能検査
	機能・性能試験			13M	○	13			
	簡易点検(油入替他)			52M	—	13			
	分解点検			13M	○	13			
	機能・性能試験			20M	○	12			
	2C			○	12	GM-138 蒸気タービン付属設備機能検査			
4 A 循環水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	点検及び試験の項目	低	13M	○	13	GM-138 蒸気タービン付属設備機能検査	(稼働診断:1ヶ月)	
	分解点検			52M	—	13			
	機能・性能試験			13M	○	13			
	簡易点検(油入替他)			20M	○	12			
	分解点検			2C	○	12			GM-138 蒸気タービン付属設備機能検査
	機能・性能試験			13M	○	13			
	簡易点検(油入替他)			52M	○	10			
	分解点検			20M	○	13			
	機能・性能試験			20M	○	12			
	2C			○	12	GM-138 蒸気タービン付属設備機能検査			
4 B 循環水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	点検及び試験の項目	低	13M	○	13	GM-138 蒸気タービン付属設備機能検査	(稼働診断:1ヶ月)	
	分解点検			52M	—	13			
	機能・性能試験			13M	○	13			
	簡易点検(油入替他)			20M	○	12			
	分解点検			2C	○	12			GM-138 蒸気タービン付属設備機能検査
	機能・性能試験			13M	○	13			
	簡易点検(油入替他)			52M	○	10			
	分解点検			20M	○	13			
	機能・性能試験			20M	○	12			
	2C			○	12	GM-138 蒸気タービン付属設備機能検査			
4 A 水分分離加熱器第1段ドレンタンク	開放点検	点検及び試験の項目	低	20M	○	12			
	開放点検			20M	○	12			
	開放点検			20M	—	13			
	開放点検			20M	○	12			
	開放点検			20M	—	13			
	開放点検			20M	○	12			
	開放点検			20M	—	13			
	開放点検			20M	○	12			
	開放点検			20M	—	13			
	開放点検			20M	○	12			
4 B 水分分離加熱器第2段ドレンタンク	開放点検	点検及び試験の項目	低	20M	○	12			
	開放点検			20M	○	12			
	開放点検			20M	—	13			
	開放点検			20M	○	12			
	開放点検			20M	—	13			
	開放点検			20M	○	12			
	開放点検			20M	—	13			
	開放点検			20M	○	12			
	開放点検			20M	—	13			
	開放点検			20M	○	12			
4 C 水分分離加熱器第1段ドレンタンク	開放点検	点検及び試験の項目	低	20M	○	12			
	開放点検			20M	○	12			
	開放点検			20M	—	13			
	開放点検			20M	○	12			
	開放点検			20M	—	13			
	開放点検			20M	○	12			
	開放点検			20M	—	13			
	開放点検			20M	○	12			
	開放点検			20M	—	13			
	開放点検			20M	○	12			
4 D 水分分離加熱器第2段ドレンタンク	開放点検	点検及び試験の項目	低	20M	○	12			
	開放点検			20M	○	12			
	開放点検			20M	—	13			
	開放点検			20M	○	12			
	開放点検			20M	—	13			
	開放点検			20M	○	12			
	開放点検			20M	—	13			
	開放点検			20M	○	12			
	開放点検			20M	—	13			
	開放点検			20M	○	12			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
4 A 風分分離器ドレンタンク	4 A 風分分離器ドレンタンク	開放点検	低	13M	○	13		
	4 B 風分分離器ドレンタンク	開放点検	低	13M	○	13		
	4 A 低圧給水加熱器ドレンタンク	開放点検	低	13M	○	13		
	4 B 低圧給水加熱器ドレンタンク	開放点検	低	13M	○	13		
4V-AS-006 4号 脱気器加熱蒸気逃がし弁	4号 脱気器加熱蒸気逃がし弁	分解点検 機能・性能試験	低	20M 2C	○	13 13	GM-124 2次系安全弁検査	
	4号 脱気器加熱蒸気逃がし弁	分解点検 機能・性能試験	低	20M 2C	○	12 12	GM-124 2次系安全弁検査	
4V-CW-027A 4 A C.P.吸込ライン逃がし弁	4 A C.P.吸込ライン逃がし弁	分解点検 機能・性能試験	低	20M 2C	○	13 13	GM-124 2次系安全弁検査	
	4 B C.P.吸込ライン逃がし弁	分解点検 機能・性能試験	低	20M 2C	○	12 12	GM-124 2次系安全弁検査	
4V-CW-027B 4 B C.P.吸込ライン逃がし弁	4 B C.P.吸込ライン逃がし弁	分解点検 機能・性能試験	低	20M 2C	○	13 13	GM-124 2次系安全弁検査	
	4 C C.P.吸込ライン逃がし弁	分解点検 機能・性能試験	低	20M 2C	○	12 12	GM-124 2次系安全弁検査	
4V-CW-028A 4 A 低圧第1ヒータ入口復水ライン逃がし弁	4 A 低圧第1ヒータ入口復水ライン逃がし弁	分解点検 機能・性能試験	低	20M 2C	○	13 13	GM-124 2次系安全弁検査	
	4 B 低圧第1ヒータ入口復水ライン逃がし弁	分解点検 機能・性能試験	低	20M 2C	○	12 12	GM-124 2次系安全弁検査	
4V-CW-028C 4 C 低圧第1ヒータ入口復水ライン逃がし弁	4 C 低圧第1ヒータ入口復水ライン逃がし弁	分解点検 機能・性能試験	低	20M 2C	○	12 12	GM-124 2次系安全弁検査	
	4 A 低圧第3ヒータ入口復水ライン逃がし弁	分解点検 機能・性能試験	低	20M 2C	○	13 13	GM-124 2次系安全弁検査	
4V-CW-029A 4 A 低圧第3ヒータ入口復水ライン逃がし弁	4 A 低圧第3ヒータ入口復水ライン逃がし弁	分解点検 機能・性能試験	低	20M 2C	○	12 12	GM-124 2次系安全弁検査	
	4 B 低圧第3ヒータ入口復水ライン逃がし弁	分解点検 機能・性能試験	低	20M 2C	○	13 13	GM-124 2次系安全弁検査	
4V-TW-013A 4 A 高圧第7ヒータ入口給水ライン逃がし弁	4 A 高圧第7ヒータ入口給水ライン逃がし弁	分解点検 機能・性能試験	低	20M 2C	○	12 12	GM-124 2次系安全弁検査	
	4 B 高圧第7ヒータ入口給水ライン逃がし弁	分解点検 機能・性能試験	低	20M 2C	○	13 13	GM-124 2次系安全弁検査	
4V-RS-121 4号 風分分離加熱器逃がし弁	4号 風分分離加熱器逃がし弁	分解点検 機能・性能試験	低	20M 2C	○	12 12	GM-124 2次系安全弁検査	
	4 A 風分分離加熱器リリーフ弁	分解点検 機能・性能試験	低	20M 2C	○	12 12	GM-124 2次系安全弁検査	
4V-RS-122 4 B 風分分離加熱器リリーフ弁	4 B 風分分離加熱器リリーフ弁	分解点検 機能・性能試験	低	20M 2C	○	12 12	GM-124 2次系安全弁検査	
	4 A 風分分離加熱器リリーフ弁	分解点検 機能・性能試験	低	20M 2C	○	13 13	GM-124 2次系安全弁検査	
4V-RS-123 4 B 風分分離加熱器リリーフ弁	4 B 風分分離加熱器リリーフ弁	分解点検 機能・性能試験	低	20M 2C	○	12 12	GM-124 2次系安全弁検査	
	4 A 風分分離加熱器リリーフ弁	分解点検 機能・性能試験	低	20M 2C	○	13 13	GM-124 2次系安全弁検査	
4V-RS-124 4 C 風分分離加熱器リリーフ弁	4 C 風分分離加熱器リリーフ弁	分解点検 機能・性能試験	低	20M 2C	○	12 12	GM-124 2次系安全弁検査	
	4 B 風分分離加熱器リリーフ弁	分解点検 機能・性能試験	低	20M 2C	○	13 13	GM-124 2次系安全弁検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
4V-BS-125 4 D 水分分離加熱器リリーフ弁		分解点検	低	26M	○	12	GM-124 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		2C	○	12		
4V-BS-126 4 E 水分分離加熱器リリーフ弁		分解点検	低	26M	○	12	GM-124 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		2C	○	12		
4V-BS-127 4 F 水分分離加熱器リリーフ弁		分解点検	低	26M	○	12	GM-124 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		2C	○	12		
4V-BS-128 4 G 水分分離加熱器リリーフ弁		分解点検	低	26M	○	13	GM-124 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		2C	○	13		
4V-BS-129 4 H 水分分離加熱器リリーフ弁		分解点検	低	26M	○	13	GM-124 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		2C	○	13		
4V-BS-130 4 J 水分分離加熱器リリーフ弁		分解点検	低	26M	○	13	GM-124 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		2C	○	13		
4V-BS-131 4 K 水分分離加熱器リリーフ弁		分解点検	低	26M	○	13	GM-124 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		2C	○	13		
4V-BS-132 4 L 水分分離加熱器リリーフ弁		分解点検	低	26M	○	13	GM-124 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		2C	○	13		
4V-BS-133 4 M 水分分離加熱器リリーフ弁		分解点検	低	26M	○	13	GM-124 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		2C	○	13		
4V-BS-134 4 N 水分分離加熱器リリーフ弁		分解点検	低	26M	○	13	GM-124 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		2C	○	13		
4V-BS-771A 4 A 低圧第3給水加熱器速がし弁		分解点検	低	26M	○	13	GM-124 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		2C	○	13		
4V-BS-771B 4 B 低圧第3給水加熱器速がし弁		分解点検	低	26M	○	12	GM-124 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		2C	○	12		
4V-BS-781A 4 A 低圧第4給水加熱器速がし弁		分解点検	低	26M	○	13	GM-124 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		2C	○	13		
4V-BS-781B 4 B 低圧第4給水加熱器速がし弁		分解点検	低	26M	○	12	GM-124 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		2C	○	12		
4V-BS-801A 4 A 低圧第5給水加熱器速がし弁		分解点検	低	26M	○	13	GM-124 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		2C	○	13		
4V-BS-801B 4 B 低圧第5給水加熱器速がし弁		分解点検	低	26M	○	12	GM-124 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		2C	○	12		
4V-BS-821A 4 A 高圧第7給水加熱器速がし弁		分解点検	低	26M	○	13	GM-124 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		2C	○	13		
4V-BS-821B 4 B 高圧第7給水加熱器速がし弁		分解点検	低	26M	○	12	GM-124 2次系安全弁検査	
		機能・性能試験		2C	○	12		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
4V-SC-501 4号スチームハンバータ安全弁		分解点検	低	20M	—	13		
		機能・性能試験		2C	—	13		
4V-AS-637 4号 ほう動補助タンク加熱器入口安全弁		分解点検	低	10Y	—	2021年度		
		補えり試験		10F	—	2021年度	GM-85 1次系安全弁検査	プラント運転中
補助給水系		機能・性能試験	高	10F	—	2021年度		
		機能・性能試験		1C	○	13	GM-24 補助給水系機能検査	
4 A 電動補助給水ポンプ		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	13		(振動診断:1ヶ月)
		分解点検		52A	—	11	GM-24 補助給水系ポンプ分解検査	
4 A 電動補助給水ポンプ用電動機		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	13		(振動診断:1ヶ月)
		分解点検		52A	○	10		
4 B 電動補助給水ポンプ		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	13		(振動診断:1ヶ月)
		分解点検		52A	—	13	GM-24 補助給水系ポンプ分解検査	
4 B 電動補助給水ポンプ用電動機		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	13		(振動診断:1ヶ月)
		分解点検		52A	—	13		
4号タービン駆動補助給水ポンプ		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	13		(振動診断:1ヶ月)
		分解点検		52A	—	12	GM-24 補助給水系ポンプ分解検査	
4号タービン駆動補助給水ポンプタービン		簡易点検(油入替他)	高	13M	○	13		(振動診断:1ヶ月)
		分解点検		52A	—	12	GM-24 補助給水系ポンプ分解検査	
4号 復水ピット		機能・性能試験	高	4C	—	12		
		開放点検		20M	○	12		
4HCV-3715 4号 T/D AFWP 出口流量設定弁 A		駆動部点検	高	130M	—	5		
		分解点検		130M	—	5		
4HCV-3725 4号 T/D AFWP 出口流量設定弁 B		機能・性能試験	高	10C	—	5	GM-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		130M	—	6		
4HCV-3735 4号 T/D AFWP 出口流量設定弁 C		分解点検	高	130M	—	12		
		機能・性能試験		10C	—	12	GM-85 1次系弁検査	
4HCV-3745 4号 T/D AFWP 出口流量設定弁 D		駆動部点検	高	130M	—	7		
		分解点検		130M	—	13		
4V-TW-533A 4 A M/D AFWP 出口逆止弁		機能・性能試験	高	10C	—	13	GM-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		130M	—	8		
4V-TW-533B 4 B M/D AFWP 出口逆止弁		分解点検	高	130M	○	4		
		機能・性能試験		10C	○	4	GM-85 1次系弁検査	
		分解点検	高	30M	—	12		
		分解点検		30M	○	11		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
4V-PW-557A 4 A M/D AFWPP 出口流量設定弁 A		駆動部点検	高	130M	—	11		
		分解点検						
		機能・性能試験						
		電動機分解点検						
4V-PW-557B 4 A M/D AFWPP 出口流量設定弁 B		駆動部点検	高	130M	—	13		
		分解点検						
		機能・性能試験						
		電動機分解点検						
4V-PW-557C 4 B M/D AFWPP 出口流量設定弁 C		駆動部点検	高	130M	○	5		
		分解点検						
		機能・性能試験						
		電動機分解点検						
4V-PW-557D 4 B M/D AFWPP 出口流量設定弁 D		駆動部点検	高	130M	○	4		
		分解点検						
		機能・性能試験						
		電動機分解点検						
4V-PW-559A 4 A M/D AFWPP 出口流量設定弁後逆止弁 A		駆動部点検	高	39M	○	11		
		分解点検						
		機能・性能試験						
		電動機分解点検						
4V-PW-559B 4 A M/D AFWPP 出口流量設定弁後逆止弁 B		駆動部点検	高	39M	—	12		
		分解点検						
		機能・性能試験						
		電動機分解点検						
4V-PW-559C 4 B M/D AFWPP 出口流量設定弁後逆止弁 C		駆動部点検	高	39M	○	11		
		分解点検						
		機能・性能試験						
		電動機分解点検						
4V-PW-559D 4 B M/D AFWPP 出口流量設定弁後逆止弁 D		駆動部点検	高	39M	○	11		
		分解点検						
		機能・性能試験						
		電動機分解点検						
4V-PW-568A 4号 T/D AFWPP 出口流量設定弁後逆止弁 A		駆動部点検	高	39M	○	11		
		分解点検						
		機能・性能試験						
		電動機分解点検						
4V-PW-568B 4号 T/D AFWPP 出口流量設定弁後逆止弁 B		駆動部点検	高	39M	○	11		
		分解点検						
		機能・性能試験						
		電動機分解点検						
4V-PW-568C 4号 T/D AFWPP 出口流量設定弁後逆止弁 C		駆動部点検	高	39M	—	12		
		分解点検						
		機能・性能試験						
		電動機分解点検						
4V-PW-568D 4号 T/D AFWPP 出口流量設定弁後逆止弁 D		駆動部点検	高	39M	—	12		
		分解点検						
		機能・性能試験						
		電動機分解点検						
4V-PW-573A 4 A 補助給水逆止弁		駆動部点検	高	39M	○	11		
		分解点検						
		機能・性能試験						
		電動機分解点検						
4V-PW-573B 4 B 補助給水逆止弁		駆動部点検	高	39M	○	11		
		分解点検						
		機能・性能試験						
		電動機分解点検						
4V-PW-573C 4 C 補助給水逆止弁		駆動部点検	高	39M	—	12		
		分解点検						
		機能・性能試験						
		電動機分解点検						
4V-PW-573D 4 D 補助給水逆止弁		駆動部点検	高	39M	—	12		
		分解点検						
		機能・性能試験						
		電動機分解点検						
4V-PW-574A 4 A 補助給水隔離弁		簡易点検(グラウンドハンズオン取替)	高	65M	—	12		
		駆動部点検						
		分解点検						
		機能・性能試験						
		電動機分解点検	高	130M	—	12		
		分解点検						
		機能・性能試験						
		電動機分解点検						

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
機器又は系統名 (蒸気タービンに附属する管等)	4V-TW-574B 4 B 補助給水閥継弁 4V-TW-574C 4 C 補助給水閥継弁 4V-TW-574D 4 D 補助給水閥継弁 4V-TW-580 4号 復水ピットM/D AFWP 停止弁 4V-TW-581 4号 復水ピットT/D AFWP 停止弁 4V-TW-587 4号 T/D AFWP 2次系統水タンク側入口弁 4V-TW-589 4号 T/D AFWP 2次系統水タンク側逆止弁 スチームコンバータ 主蒸気管 低圧再熱蒸気管(A部分分離器左側) 低圧再熱蒸気管(A部分分離器右側) 低圧再熱蒸気管(A部分分離器上側)	簡易点検(グラウンドバッドバックキョー取替)	高	65M	—	13	GM-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		130M	—	13		
		分解点検		130M	—	13		
		機能・性能試験		10C	—	13		
		電動機分解点検		130M	—	13		
		簡易点検(グラウンドバッドバックキョー取替)		65M	○	9		
		駆動部点検		130M	○	11		
		分解点検		130M	○	4		
		機能・性能試験		10C	○	11		
		電動機分解点検		130M	○	4		
		簡易点検(グラウンドバッドバックキョー取替)		65M	—	10		
		駆動部点検		130M	—	11		
		分解点検		130M	—	5		
機能・性能試験	10C	—	11					
電動機分解点検	130M	—	5					
簡易点検(グラウンドバッドバックキョー取替)	65M	—	5					
駆動部点検	130M	—	5					
分解点検	130M	—	5					
機能・性能試験	10C	—	5					
電動機分解点検	130M	—	5					
簡易点検(グラウンドバッドバックキョー取替)	65M	—	7					
駆動部点検	130M	—	7					
分解点検	130M	—	7					
機能・性能試験	10C	—	7					
電動機分解点検	130M	—	7					
簡易点検(グラウンドバッドバックキョー取替)	65M	—	—					
駆動部点検	130M	—	—					
分解点検	130M	—	—					
機能・性能試験	130M	○	13					
電動機分解点検	130M	○	13					
簡易点検(目視)	130M	○	13					
機能・性能試験(非破壊)	39M	○	11					
簡易点検(目視)	130M	○	13					
機能・性能試験(非破壊)	78M	—	11					
簡易点検(目視)	130M	○	13					
機能・性能試験(非破壊)	78M	—	9					
簡易点検(目視)	130M	○	13					
機能・性能試験(非破壊)	78M	—	13					

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
機器又は系統名	低圧再熱蒸気管(B部分分離器左側)	開放点検(目視)	低	13M	○	13	GM-I29 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業点検として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	12		
	低圧再熱蒸気管(B部分分離器右側)	開放点検(目視)	低	13M	○	13	GM-I29 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業点検として実施
		開放点検(非破壊)		78M	—	10		
	低圧再熱蒸気管(B部分分離器上側)	開放点検(目視)	低	13M	○	13	GM-I29 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業点検として実施
		開放点検(非破壊)		78M	○	8		
	高圧再熱蒸気管(LJ-1)	開放点検(目視)	低	13M	○	13	GM-I29 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業点検として実施
		開放点検(非破壊)		39M	—	13		
	高圧再熱蒸気管(LJ-2)	開放点検(目視)	低	13M	○	13	GM-I29 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業点検として実施
		開放点検(非破壊)		39M	○	11		
	高圧再熱蒸気管(LJ-3)	開放点検(目視)	低	13M	○	13	GM-I29 蒸気タービン開放検査	開放点検(非破壊)については、補修を行う場合に定期事業点検として実施
		開放点検(非破壊)		39M	—	12		
第7抽気管	開放点検(目視)	低	39M	○	11	GM-I29 蒸気タービン開放検査		
	外観点検		1C	○	13			
第6抽気管	開放点検(目視)	低	13M	○	13	GM-I29 蒸気タービン開放検査		
	外観点検		1C	○	13			
第5抽気管	開放点検(目視)	低	13M	○	13	GM-I29 蒸気タービン開放検査		
	外観点検		1C	○	13			
第4抽気管	開放点検(目視)	低	13M	○	13	GM-I29 蒸気タービン開放検査		
	外観点検		1C	○	13			
第3抽気管	開放点検(目視)	低	13M	○	13	GM-I29 蒸気タービン開放検査		
	外観点検		1C	○	13			
第2抽気管	開放点検(目視)	低	13M	○	13	GM-I29 蒸気タービン開放検査		
	外観点検		1C	○	13			
第1抽気管	開放点検(目視)	低	13M	○	13	GM-I29 蒸気タービン開放検査		
	外観点検		1C	○	13			
部分分離加熱器第1段加熱蒸気管	開放点検(目視)	低	39M	○	11	GM-I29 蒸気タービン開放検査		
	外観点検		1C	○	13			
1. デイゼル発電機 2台 2. 在来法人発電機及び特殊発電機スプレッド発電機を求めた機器 発電機に電源を供給する機器	機能性能試験	高	1C	○	13	GM-53 非常用予備発電機運転検査		
	特性試験		13M	○	13			
非常用ディーゼル発電機保護装置(継電器)	発電機分極点検	高	78M	—	13		(稼働診断:1ヶ月)	
	普通点検(軸受点検)		26M	—	13			
4 A. デイゼル発電機	簡易点検	高	13M	○	13			
	外観点検		1C	○	13			
4 A. デイゼル発電機NGR降路器	外観点検	高	1C	○	13			
	外観点検		1C	○	13			
4 A. デイゼル発電機起動装置	外観点検	高	1C	○	13			
	外観点検		1C	○	13			

そのほか発電用原子炉の附属施設
(非常用電源設備)

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び点検の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する高備診断技術 (振動診断:1ヶ月)
4 B ディーゼル発電機		発電機分解点検	高	78M	—	11		
		普通点検(軸受点検)						
		潤滑点検		13M	○	13		
4 B ディーゼル発電機NGR断路器		外観点検	高	1C	○	13		
4 B ディーゼル発電機励磁変圧器		外観点検	高	1C	○	13		
4 B ディーゼル発電機C T取締盤		外観点検	高	1C	○	13		
4 A No.1,9シリンダ・ピストン・接続体・クランク軸・シリンダカバー		分解点検	高	104M	—	11	GM-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 A No.2,10シリンダ・ピストン・接続体・クランク軸・シリンダカバー		分解点検	高	104M	—	12	GM-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 A No.3,11シリンダ・ピストン・接続体・クランク軸・シリンダカバー		分解点検	高	104M	—	13	GM-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 A No.4,12シリンダ・ピストン・接続体・クランク軸・シリンダカバー		分解点検	高	104M	○	11	GM-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 A No.5,13シリンダ・ピストン・接続体・クランク軸・シリンダカバー		分解点検	高	104M	—	11	GM-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 A No.6,14シリンダ・ピストン・接続体・クランク軸・シリンダカバー		分解点検	高	104M	—	11	GM-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 A No.7,15シリンダ・ピストン・接続体・クランク軸・シリンダカバー		分解点検	高	104M	—	11	GM-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 A No.8,16シリンダ・ピストン・接続体・クランク軸・シリンダカバー		分解点検	高	104M	—	11	GM-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 B No.1,9シリンダ・ピストン・接続体・クランク軸・シリンダカバー		分解点検	高	104M	—	11	GM-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 B No.2,10シリンダ・ピストン・接続体・クランク軸・シリンダカバー		分解点検	高	104M	—	11	GM-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 B No.3,11シリンダ・ピストン・接続体・クランク軸・シリンダカバー		分解点検	高	104M	—	11	GM-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 B No.4,12シリンダ・ピストン・接続体・クランク軸・シリンダカバー		分解点検	高	104M	—	11	GM-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 B No.5,13シリンダ・ピストン・接続体・クランク軸・シリンダカバー		分解点検	高	104M	○	11	GM-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 B No.6,14シリンダ・ピストン・接続体・クランク軸・シリンダカバー		分解点検	高	104M	—	13	GM-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 B No.7,15シリンダ・ピストン・接続体・クランク軸・シリンダカバー		分解点検	高	104M	—	12	GM-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 B No.8,16シリンダ・ピストン・接続体・クランク軸・シリンダカバー		分解点検	高	104M	—	11	GM-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 A 吸気弁 (3.2台) 開放シリンダのみ実施		分解点検	高	104M	○	13	GM-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 B 吸気弁 (3.2台) 開放シリンダのみ実施		分解点検	高	104M	○	13	GM-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 A 排気弁 (3.2台)		分解点検	高	13M	○	13	GM-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 B 排気弁 (3.2台)		分解点検	高	13M	○	13	GM-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 A 燃料噴射弁 (1.6台)		分解点検	高	13M	○	13	GM-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 B 燃料噴射弁 (1.6台)		分解点検	高	13M	○	13	GM-54 非常用ディーゼル発電機分解検査	
4 A 非常用ディーゼル発電機燃料油配管		外観点検	高	1C	○	13	GM-134 非常用予備発電機分解検査	
4 B 非常用ディーゼル発電機燃料油配管		外観点検	高	4C	—	12		室外保固材施工部
4 B 非常用ディーゼル発電機系統		外観点検	高	1C	○	13	GM-131 非常用予備発電機分解検査	
4 B 非常用ディーゼル発電機燃料油配管		外観点検	高	4C	—	12		室外保固材施工部
4 A 潤滑油プライミングポンプ		分解点検	高	13M	○	13		(振動診断:1ヶ月)
4 A 潤滑油プライミングポンプ用電動機		分解点検	高	26M	○	12		(振動診断:1ヶ月)
4 B 潤滑油プライミングポンプ		分解点検	高	13M	○	13		(振動診断:1ヶ月)
4 B 潤滑油プライミングポンプ用電動機		分解点検	高	26M	○	12		(振動診断:1ヶ月)

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び点検の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	4 A 風水循環ポンプ	分解点検	高	13M	○	13		(稼働診断:1ヶ月)
	4 A 風水循環ポンプ用電動機	分解点検	高	20M	○	12		(稼働診断:1ヶ月)
	4 B 風水循環ポンプ	分解点検	高	13M	○	13		(稼働診断:1ヶ月)
	4 B 風水循環ポンプ用電動機	分解点検	高	20M	○	12		(稼働診断:1ヶ月)
	4 A シリンダ冷却水ポンプ(機付)	分解点検	高	20M	—	13		
	4 B シリンダ冷却水ポンプ(機付)	分解点検	高	20M	○	12		
	4 A 燃料弁冷却水ポンプ	簡易点検(グラブドハッキン取替他)	高	13M	○	13		
		分解点検	高	30M	○	11	GM-134 非常用予備発電機稼働試験検査	(稼働診断:1ヶ月)
	4 A 燃料弁冷却水ポンプ用電動機	分解点検	高	30M	—	12		(稼働診断:1ヶ月)
	4 B 燃料弁冷却水ポンプ	簡易点検(グラブドハッキン取替他)	高	13M	○	13		
		分解点検	高	30M	○	11	GM-134 非常用予備発電機稼働試験検査	(稼働診断:1ヶ月)
	4 B 燃料弁冷却水ポンプ用電動機	分解点検	高	30M	—	12		(稼働診断:1ヶ月)
	4 A 燃料油供給ポンプ(機付)	分解点検	高	30M	○	11		
	4 B 燃料油供給ポンプ(機付)	分解点検	高	30M	—	13		
	4 A 潤滑油ポンプ(機付)	分解点検	高	52M	○	11		
	4 B 潤滑油ポンプ(機付)	分解点検	高	52M	—	11		
	4 A 燃料油移送ポンプ	簡易点検(センターリング他)	高	13M	○	13		(稼働診断:1ヶ月)
		分解点検	高	65M	—	11	GM-134 非常用予備発電機稼働試験検査	(稼働診断:1ヶ月)
	4 A 燃料油移送ポンプ用電動機	分解点検	高	65M	—	11		(稼働診断:1ヶ月)
	4 B 燃料油移送ポンプ	簡易点検(センターリング他)	高	13M	○	13		(稼働診断:1ヶ月)
		分解点検	高	65M	—	12	GM-134 非常用予備発電機稼働試験検査	(稼働診断:1ヶ月)
	4 B 燃料油移送ポンプ用電動機	分解点検	高	65M	—	12		(稼働診断:1ヶ月)
	4 A 過給機(左, 右)	簡易点検(油入時他)	高	13M	○	13		
		分解点検	高	130M	—	11		
	4 B 過給機(左, 右)	簡易点検(油入時他)	高	13M	○	13		
		分解点検	高	130M	—	11		
	4 A 潤滑油冷却器	開放点検	高	13M	○	13		
		非破壊試験	高	13M	○	13	GM-134 非常用予備発電機稼働試験検査	
	4 B 潤滑油冷却器	開放点検	高	13M	○	13		
		非破壊試験	高	13M	○	13	GM-134 非常用予備発電機稼働試験検査	
	4 A 清水冷却器	開放点検	高	13M	○	13		
		非破壊試験	高	13M	○	13	GM-134 非常用予備発電機稼働試験検査	
	4 B 清水冷却器	開放点検	高	13M	○	13		
		非破壊試験	高	13M	○	13	GM-134 非常用予備発電機稼働試験検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
4 A 燃料弁冷却水冷却器		開放点検	高	13M	○	13		
		非破壊試験						
4 B 燃料弁冷却水冷却器		開放点検	高	13M	○	13		GM-131 非常用予備発電機付風況備検査
		非破壊試験						
4 A-1 空気冷却器		開放点検	高	13M	○	13		GM-134 非常用予備発電機付風況備検査
		非破壊試験						
4 A-2 空気冷却器		開放点検	高	13M	○	13		GM-131 非常用予備発電機付風況備検査
		非破壊試験						
4 B-1 空気冷却器		開放点検	高	13M	○	13		GM-134 非常用予備発電機付風況備検査
		非破壊試験						
4 B-2 空気冷却器		開放点検	高	13M	○	13		GM-131 非常用予備発電機付風況備検査
		非破壊試験						
4 A-1 清水加熱器		開放点検	高	13M	○	13		
		機能・性能試験						
4 A-1 清水加熱器ヒータ		開放点検	高	1C	○	13		
		機能・性能試験						
4 A-2 清水加熱器		開放点検	高	13M	○	13		
		機能・性能試験						
4 A-2 清水加熱器ヒータ		開放点検	高	1C	○	13		
		機能・性能試験						
4 B-1 清水加熱器		開放点検	高	13M	○	13		
		機能・性能試験						
4 B-1 清水加熱器ヒータ		開放点検	高	1C	○	13		
		機能・性能試験						
4 B-2 清水加熱器		開放点検	高	13M	○	13		
		機能・性能試験						
4 B-2 清水加熱器ヒータ		開放点検	高	1C	○	13		
		機能・性能試験						
4 A シリンダ冷却水タンク		開放点検	高	13M	○	13		
		機能・性能試験						
4 B シリンダ冷却水タンク		開放点検	高	13M	○	13		
		機能・性能試験						
4 A-1 空気だめ		開放点検	高	13M	○	13		
		機能・性能試験						
4 A-2 空気だめ		開放点検	高	13M	○	13		
		機能・性能試験						
4 B-1 空気だめ		開放点検	高	13M	○	13		
		機能・性能試験						
4 B-2 空気だめ		開放点検	高	13M	○	13		
		機能・性能試験						
4 A 燃料弁冷却水タンク		開放点検	高	13M	○	13		
		機能・性能試験						
4 B 燃料弁冷却水タンク		開放点検	高	13M	○	13		
		機能・性能試験						
4 A 潤滑油タンク		開放点検	高	65M	—	11		
		機能・性能試験						
4 B 潤滑油タンクヒータ		開放点検	高	1C	○	13		
		機能・性能試験						
4 B 潤滑油タンク		開放点検	高	65M	—	11		
		機能・性能試験						
4 A 燃料油サーベスタタンク		開放点検	高	130M	—	11		
		機能・性能試験						
4 B 燃料油サーベスタタンク		開放点検	高	130M	—	11		
		機能・性能試験						
4 A 潤滑油逆洗こし器		開放点検	低	13M	○	13		
		機能・性能試験						
4 B 潤滑油逆洗こし器		開放点検	低	13M	○	13		
		機能・性能試験						

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する高機能診断技術
機器又は系統名	4 A 潤滑油主こし器(右)	開放点検	高	13M	○	13		
	4 A 潤滑油主こし器(左)	開放点検	高	13M	○	13		
	4 B 潤滑油主こし器(右)	開放点検	高	13M	○	13		
	4 B 潤滑油主こし器(左)	開放点検	高	13M	○	13		
	4 A 燃料油第1こし器1	開放点検	高	13M	○	13		
	4 A 燃料油第1こし器2	開放点検	高	13M	○	13		
	4 B 燃料油第1こし器1	開放点検	高	13M	○	13		
	4 B 燃料油第1こし器2	開放点検	高	13M	○	13		
	4 A 燃料油第2こし器1	開放点検	高	13M	○	13		
	4 A 燃料油第2こし器2	開放点検	高	13M	○	13		
	4 B 燃料油第2こし器1	開放点検	高	13M	○	13		
	4 B 燃料油第2こし器2	開放点検	高	13M	○	13		
	4 A シリンダ安全弁 (16台)	分解点検 機能・性能試験	高	130M 10C	— —	10 10	GM-134 非常用予備発電機付高圧油検査	
	4 B シリンダ安全弁 (16台)	分解点検 機能・性能試験	高	130M 10C	— —	10 10	GM-134 非常用予備発電機付高圧油検査	
	4 A クランク室安全弁 (4台)	機能・性能試験 補えり試験	高	130M 10C 10C	○ ○ ○	9 9 9	GM-134 非常用予備発電機付高圧油検査	
	4 B クランク室安全弁 (4台)	機能・性能試験 補えり試験	高	130M 10C 10C	○ ○ ○	9 9 9	GM-134 非常用予備発電機付高圧油検査	
	4 A 空気圧縮機	簡易点検(油入時他) 分解点検	低	13M 20M	○ —	13 13		(稼働診断:1ヶ月)
	4 B 空気圧縮機用電動機	分解点検	低	78M	—	12		
	4 A 空気圧縮機	簡易点検(油入時他) 分解点検	低	13M 20M	○ ○	13 12		(稼働診断:1ヶ月)
	4 B 空気圧縮機用電動機	分解点検	低	78M	—	12		
4 A 非常調速装置	機能・性能試験	高	1C	○	13	GM-134 非常用予備発電機付高圧油検査		
4 B 非常調速装置	機能・性能試験	高	1C	○	13	GM-134 非常用予備発電機付高圧油検査		
4 A 調速装置	分解点検	高	52M	—	12			
4 B 調速装置	分解点検	高	52M	—	13			
4 A 計測装置	特性試験	高	13M	○	13	GM-134 非常用予備発電機付高圧油検査		
4 B 計測装置	特性試験	高	13M	○	13	GM-134 非常用予備発電機付高圧油検査		
4 A 1主始動弁	分解点検	高	13M	○	13			
4 A 2主始動弁	分解点検	高	13M	○	13			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
4 B 1 主始動弁	4 B 1 主始動弁	分解点検	高	13M	○	13		
	4 B 2 主始動弁	分解点検	高	13M	○	13		
		分解点検	高	13M	○	13		
	4 A 非常用ディーゼル発電機 機組本体	分解点検	高	13M	○	13		
		分解点検	高	13M	○	13		
	4 A 燃料油貯蔵そう (重大事故等時のみ3,4号機共用)	開放点検	高	130M	○	9		
		気密試験	高	2C	○	12		
	4 A 燃料油貯蔵そう基礎 (土木建築設備)	外観点検	高	1C	○	13		
		開放点検	高	130M	—	—		第11回定検より追加
	4 A 燃料油貯蔵タンク (重大事故等時のみ3,4号機共用)	開放点検	高	2C	○	12		
		気密試験	高	1C	○	13		
	4 A 燃料油貯蔵タンク基礎 (土木建築設備)	開放点検	高	130M	—	—		
気密試験		高	2C	○	12			
4 B 燃料油貯蔵そう (重大事故等時のみ3,4号機共用)	開放点検	高	130M	—	—			
	気密試験	高	2C	○	12			
4 B 燃料油貯蔵そう基礎 (土木建築設備)	開放点検	高	130M	—	—			
	気密試験	高	2C	○	12			
4 B 燃料油貯蔵タンク (重大事故等時のみ3,4号機共用)	開放点検	高	130M	—	—			
	気密試験	高	2C	○	12			
4 B 燃料油貯蔵タンク基礎 (土木建築設備)	開放点検	高	130M	—	—			
	気密試験	高	2C	○	12			
4V-DC-613A 4 A 空気ため安全弁(A)	分解点検	高	130M	—	—			
	漏えい試験	高	10C	—	—	GM-86 1次系安全弁検査		
4V-DC-613B 4 B 空気ため安全弁(A)	機能・性能試験	高	10C	—	—	GM-86 1次系安全弁検査		
	分解点検	高	130M	—	—	13		
4V-DC-614A 4 A 空気ため安全弁(B)	漏えい試験	高	10C	—	—	GM-86 1次系安全弁検査		
	機能・性能試験	高	10C	—	—	13		
4V-DC-614B 4 B 空気ため安全弁(B)	分解点検	高	130M	○	11			
	漏えい試験	高	10C	○	11			
4V-DC-614C 4 C 空気ため安全弁(B)	機能・性能試験	高	10C	○	11			
	分解点検	高	130M	○	11			
4V-DC-627A 4 A 空気圧縮機 1号安全弁	漏えい試験	高	10C	○	11			
	機能・性能試験	高	10C	○	11			
4V-DC-627B 4 B 空気圧縮機 1号安全弁	分解点検	高	130M	—	—			
	漏えい試験	高	10C	—	—	GM-86 1次系安全弁検査		
4V-DC-627C 4 C 空気圧縮機 1号安全弁	機能・性能試験	高	10C	—	—	GM-86 1次系安全弁検査		
	分解点検	高	130M	—	—	6		
4V-DC-627D 4 D 空気圧縮機 1号安全弁	漏えい試験	高	10C	—	—	GM-86 1次系安全弁検査		
	機能・性能試験	高	10C	—	—	6		
4V-DC-627E 4 E 空気圧縮機 1号安全弁	外観点検	高	10C	—	—	6		
	分解点検	高	130M	—	—	7		
4V-DC-627F 4 F 空気圧縮機 1号安全弁	漏えい試験	高	10C	—	—	GM-86 1次系安全弁検査		
	機能・性能試験	高	10C	—	—	7		
4V-DC-627G 4 G 空気圧縮機 1号安全弁	漏えい試験	高	10C	—	—	GM-86 1次系安全弁検査		
	機能・性能試験	高	10C	—	—	7		
4V-DC-627H 4 H 空気圧縮機 1号安全弁	外観点検	高	10C	—	—	GM-86 1次系安全弁検査		
	分解点検	高	130M	—	—	7		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
機器又は系統名 その他製造用器具等の附属施設 (常用電源設備) (発電機、変圧器 他)	4V-DC-650A 4 A 空圧圧縮機 2段安全弁	分解点検	低	1300	—	6	0M-98 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	6		
		漏えい試験		10C	—	6		
		外観点検		10C	—	6		
	4V-DC-650B 4 B 空圧圧縮機 2段安全弁	分解点検	低	1300	—	7	0M-98 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	7		
		漏えい試験		10C	—	7		
		外観点検		10C	—	7		
	4V-DC-650A 4 A 空圧圧縮機 3段安全弁	分解点検	低	1300	—	6	0M-98 1次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C	—	6		
		漏えい試験		10C	—	6		
		外観点検		10C	—	6		
4V-DC-650B 4 B 空圧圧縮機 3段安全弁	分解点検	低	1300	—	7	0M-98 1次系安全弁検査		
	機能・性能試験		10C	—	7			
	漏えい試験		10C	—	7			
	外観点検		10C	—	7			
4V-DC-015A 4 A 温水循環ポンプ出口逆止弁	取替	高	65M	—	13			
	取替		65M	—	13			
	普通点検(軸受点検)		20M	—	13			
	分解点検		78M	—	13			
発電機	機能・性能試験 (組立状況)	低	1C	○	13	0M-129 蒸気タービン開放検査		
	普通点検(軸受点検他)		20M	—	13			
	分解点検		78M	—	13			
	特性試験		20M	○	12			
励磁機	普通点検(特性試験他)	低	13M	○	13			
	分解点検		195M	—	—			
	普通点検(特性試験他)		13M	○	13			
	分解点検		195M	—	12			
主変圧器	普通点検(特性試験他)	高	195M	—	—			
	分解点検		26M	○	12			
	普通点検(特性試験他)		13M	○	13			
	分解点検		195M	—	12			
所内変圧器	普通点検(特性試験他)	高	195M	—	—			
	分解点検		26M	○	12			
	普通点検(特性試験他)		13M	○	13			
	分解点検		150M	—	8			
主変圧器・所内変圧器保護装置(継電器)	特性試験	低	26M	○	12			
	普通点検(特性試験他)		13M	○	13			
	分解点検		150M	—	8			
	普通点検(特性試験他)		13M	○	13			
2 Lユニット	普通点検	低	150M	—	—			
	普通点検(特性試験他)		13M	○	13			
4 MT rユニット	普通点検	高	150M	—	—			
	普通点検(特性試験他)		150M	—	10			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
機器又は系統名 その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備) (その他の電源装置)	BUS TIEユニット	普通点検(特性試験他) 分解点検	低	13M 150H	○ —	13 11		
	4 C 充電器	機能・性能試験	高	1C	○	—		第14回定検より追加
	4 C トラップ盤	機能・性能試験	高	1C	○	—		第14回定検より追加
	4 C 蓄電池	機能・性能試験	高	1C	○	—		第14回定検より追加
	母線保護装置(继电器)	特性試験	低	78H	—	11		
	送電線保護装置(继电器)	特性試験	低	78H	○	11		
	電流計(500kV 母线線路上用)(3,4号機共用)	特性試験	低	26H	—	13		
	遮断器 4-4 AEG	機能・性能試験 内部点検	高	2C 130H	— —	13 13		
	遮断器 4-4 BEG	機能・性能試験 内部点検	高	2C 130H	○ —	12 12		
	6. 6 kV 4-4 C 母線	機能・性能試験	高	4C	—	13		
	6. 6 kV 4-4 C 母線 P T-1	機能・性能試験	高	4C	—	11		
	6. 6 kV 4-4 C 母線 P T-2	機能・性能試験	高	4C	—	11		
	6. 6 kV 4-4 D 母線	機能・性能試験	高	4C	—	12		
	6. 6 kV 4-4 D 母線 P T-1	機能・性能試験	高	4C	○	10		
	6. 6 kV 4-4 D 母線 P T-2	機能・性能試験	高	4C	○	10		
	受電遮断器 4-4 EC	機能・性能試験 内部点検	高	2C 130H	— —	13 13		
	受電遮断器 4-4 ED	機能・性能試験 内部点検	高	2C 130H	○ —	12 12		
	受電遮断器 4-4 HC	機能・性能試験 内部点検	高	2C 130H	— —	13 13		
	受電遮断器 4-4 HD	機能・性能試験 内部点検	高	2C 130H	○ —	12 12		
	遮断器 3-4 C 1H	機能・性能試験 内部点検	高	2C 130H	— —	13 13		
遮断器 3-4 C 2H	機能・性能試験 内部点検	高	2C 130H	— —	13 13			
遮断器 3-4 D 1H	機能・性能試験 内部点検	高	2C 130H	○ —	12 12			
遮断器 3-4 D 2H	機能・性能試験 内部点検	高	2C 130H	○ —	12 12			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	4-4C 6. 6kVメタクラ(安全系遮断器)	機能・性能試験	高	2C	—	13		
		内部点検						
	4-4D 6. 6kVメタクラ(安全系遮断器)	機能・性能試験	高	2C	○	12		
		内部点検						
	所内電源保護装置(雷電器)	特性試験	高	20M	○	12		
		機能・性能試験						
	440V 3-4C1母線	機能・性能試験	高	4C	—	11		
		機能・性能試験						
	遮断器 3-4C1L	機能・性能試験	高	2C	—	13		
		姿勢部点検						
	440V 3-4C1母線PT-1	機能・性能試験	高	4C	—	11		
		機能・性能試験						
	440V 3-4C1母線PT-2	機能・性能試験	高	4C	—	11		
		機能・性能試験						
	4C1 動力変圧器	機能・性能試験	高	2C	—	13		
		機能・性能試験						
	440V 3-4C2母線	機能・性能試験	高	4C	—	11		
		機能・性能試験						
	遮断器 3-4C2L	機能・性能試験	高	2C	—	13		
		姿勢部点検						
	440V 3-4C2母線PT-1	機能・性能試験	高	4C	—	11		
		機能・性能試験						
	440V 3-4C2母線PT-2	機能・性能試験	高	4C	—	11		
		機能・性能試験						
	4C2 動力変圧器	機能・性能試験	高	2C	—	13		
		機能・性能試験						
	440V 3-4D1母線	機能・性能試験	高	4C	○	10		
		機能・性能試験						
	遮断器 3-4D1L	機能・性能試験	高	2C	○	12		
		姿勢部点検						
	440V 3-4D1母線PT-1	機能・性能試験	高	4C	○	10		
		機能・性能試験						
	440V 3-4D1母線PT-2	機能・性能試験	高	4C	○	10		
		機能・性能試験						
	4D1 動力変圧器	機能・性能試験	高	2C	○	12		
		機能・性能試験						
	440V 3-4D2母線	機能・性能試験	高	4C	○	10		
		機能・性能試験						
	遮断器 3-4D2L	機能・性能試験	高	2C	○	12		
		姿勢部点検						
	440V 3-4D2母線PT-1	機能・性能試験	高	4C	○	10		
		機能・性能試験						
	440V 3-4D2母線PT-2	機能・性能試験	高	4C	○	10		
		機能・性能試験						
	4D2 動力変圧器	機能・性能試験	高	2C	○	12		
		機能・性能試験						
	3-4C 440Vハブ-センター(安全系遮断器)	機能・性能試験	高	2C	—	13		
		姿勢部点検						
	3-4D 440Vハブ-センター(安全系遮断器)	機能・性能試験	高	2C	○	12		
		姿勢部点検						

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 ()内は適用する高機能診断技術
火災防護設備 (消火設備)	4 C 1 原子炉コントロールセンター	機能・性能試験	高	6C	—	I3		
	4 C 2 原子炉コントロールセンター	機能・性能試験	高	6C	—	I3		
	4 C 3 原子炉コントロールセンター	機能・性能試験	高	6C	—	I1		
	4 C 4 原子炉コントロールセンター	機能・性能試験	高	6C	—	I1		
	4 D 1 原子炉コントロールセンター	機能・性能試験	高	6C	○	I1		
	4 D 2 原子炉コントロールセンター	機能・性能試験	高	6C	○	I1		
	4 D 3 原子炉コントロールセンター	機能・性能試験	高	6C	—	I1		
	4 D 4 原子炉コントロールセンター	機能・性能試験	高	6C	—	I1		
	4 A デイジーゼル発電機コントロールセンター	機能・性能試験	高	6C	—	I1		
	4 B デイジーゼル発電機コントロールセンター	機能・性能試験	高	6C	—	I0		
	4 A 直流コントロールセンター	機能・性能試験	高	16C	—	I1		
	4 A 充電器盤	機能・性能試験	高	1C	○	I3		
	4 A ドロップ盤	機能・性能試験	高	1C	○	I3		
	4 A 蓄電池 (安全貯蔵系用)	機能・性能試験 機能・性能試験	高	1C 1C	○ —	I3	GM-222 直流電源系機能検査 GM-223 直流電源系自動検査	
	4 B 直流コントロールセンター	機能・性能試験	高	16C	—	I1		
	4 B 充電器盤	機能・性能試験	高	1C	○	I3		
	4 B ドロップ盤	機能・性能試験	高	1C	○	I3		
	4 B 蓄電池 (安全貯蔵系用)	機能・性能試験 機能・性能試験	高	1C 1C	○ —	I3	GM-222 直流電源系機能検査 GM-223 直流電源系自動検査	
	直流分電盤(安全系)	機能・性能試験	高	16C	—	—		
	タービン動機給水ポンプ盤	機能・性能試験	高	16C	—	I2		
計量用インバータ 4台	機能・性能試験	高	1C	○	I3	GM-112 インバータ機能検査		
火災防護設備 (その他設備)	ハロン消火設備 (4号本館建屋)	機能・性能試験	低	1C	○	I3		
	ハロン消火設備 (相国倉庫棟処理建屋)	機能・性能試験	低	1F	○	2021年度		定検停止中又はフロント運転中
	二酸化炭素自動消火設備 (0/G)	機能・性能試験	低	1C	○	I3		
	水噴霧消火設備 (0/G) (3,4号機共用)	分解点検 機能・性能試験	低	10F	—	—		定検停止中又はフロント運転中 第11回定検より追加
	防火タンク 1台	機能点検	高	13M	○	I3		
	防火タンク 3台	機能点検	高	20M	○	I2		
	防火タンク 32台	機能点検	低	20M	○	I2		
	防火兼ハロン連動タンク 4台	機能点検	高	26M	○	I2		
	防火兼ハロン連動タンク 4台	機能点検	低	26M	○	I2		
	ハロン連動タンク 38台	機能点検	高	26M	○	I2		
	ハロン連動タンク 19台	機能点検	低	26M	○	I2		
	原子炉補助建屋 防火扉 12箇所	外観点検	低	1F	○	2021年度		定検停止中又はフロント運転中
原子炉屋辺建屋 防火扉 80箇所	外観点検	低	1F	○	2021年度		定検停止中又はフロント運転中	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
浸水防護設備 (外周浸水防護設備) (内周浸水防護設備)	原子炉炉辺建屋水密扉 5箇所	外観点検	低	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中
	海水ポンプエリア水密扉 2箇所	外観点検	低	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中
浸水防護施設 (その他設備) (取水設備)	取水セット搬入口蓋 (3,4号機共用) 15箇所	外観点検	低	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中
	原子炉炉辺建屋扉 9箇所	外観点検	低	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中
浸水防護施設 (その他設備) (取水設備)	床トレンライン遮断弁 70台	分解点検	低	10F	—	—		定検停止中又はプラント運転中
	取水口 (重大事故等時のみ3,4号機共用)	外観点検	高	1C	○	I3		
土木建築設備	取水管路 (重大事故等時のみ3,4号機共用)	外観点検	高	1C	○	I3		
	取水セット (重大事故等時のみ3,4号機共用)	外観点検	高	1C	○	I3		
プラント総合全取機器	原子炉格納容器	外観点検	高	1C	○	I3		
	原子炉炉辺建屋	外観点検	高	1C	○	I3		
電巻防護設備	補固体溶解処理建屋	外観点検	低	1C	○	I3		
	発電用原子炉及びその附属施設(非常用電源設備を除く)	適合性能試験	高	1C	○	I3	GM-55 総合負荷性能検査	定検起動後
電巻防護設備	ディーゼル発電機室水密扉 2箇所	外観点検	低	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中
	ディーゼル発電機室給気扉入口扉 2箇所	外観点検	低	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中
	蓄電池室 (安全系) 非気密入口扉	外観点検	低	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中
	ディーゼル発電機室給気防逆鋼板 1式	外観点検	低	1C	○	I3		
	蓄電池室 (安全系) 非気密防逆鋼板 1式	外観点検	低	1C	○	I3		

2. 点検計画 重大事故等対応設備

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保 全 方 式 又 は 頻 度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (使用済燃料貯蔵設備)	使用済燃料ピット水位(SA) 1台	特性試験	高	13M	○	13	GM-35 プラント状態監視設備機能検査	
	使用済燃料ピット水位(広域) 2台	特性試験	高	13M	○	13	GM-73 計測制御系監視機能検査	
	使用済燃料ピット温度(SA) 1台	特性試験	高	13M	○	13	GM-95 プラント状態監視設備機能検査	
	使用済燃料ピット状態監視カメラ 1台	特性試験	低	1Y	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (使用済燃料貯蔵設備浄化設備)	使用済燃料ピットスプレイライン 集水分岐管送水用 2.0mホース 2本 (予備含む)	外観点検	高	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中
	使用済燃料ピットスプレイライン 集水分岐管送水用 3.0mホース 2本 (予備含む)	外観点検	高	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中
	使用済燃料ピットスプレイライン 集水分岐管送水用 4.0mホース 2本 (予備含む)	外観点検	高	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中
	使用済燃料ピットスプレイライン 集水分岐管送水用 1.0mホース 3本 (予備含む)	外観点検	高	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中
原子炉冷却系統施設 (非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備)	1. 高圧注水系 ・高圧注水ポンプ : 2台 ・モータ切替弁 : 14個							
	2. 低圧注水系 ・自然給水ポンプ : 2台 ・モータ切替弁 : 8個							
	3. 原子炉格納容器スプレイ系 ・B格納容器スプレイポンプ : 4個 ・モータ切替弁 : 4個							
	4. 充てん注水系 ・充てんポンプ : 3台 ・モータ切替弁 : 4個							
	5. 蒸気注水系 ・蒸気タンク : 4基 ・蒸気タンク出口弁 : 4個							
	6. 常設電動注水ポンプ : 1台							
	原子炉補機海水サージタンク用蒸気ポンプ 7本 (予備含む)	外観点検	高	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中
	原子炉補機海水サージタンク加圧ライン蒸気供給用 3.8mフレキシブルホース 2本 (予備含む)	外観点検	高	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中
	原子炉補機海水冷却ファン排水用 3mフレキシブルホース (身水型継手) 2本 (予備含む)	外観点検	高	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中
	原子炉補機海水冷却ファン排水用 4mフレキシブルホース (4.5型継手) 2本 (予備含む)	外観点検	高	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中
	4A C/CW冷却器海水供給ライン第二止弁	分解点検	高	195M	—	—	—	第1.4回定検より追加
	4B S I Pポンプ・モータ冷却水戻りライン海水排水ライン止弁	分解点検	高	195M	—	—	—	第1.4回定検より追加
4B 制御用空気配管装置冷却水戻りライン海水排水止弁	分解点検	高	195M	—	—	—	第1.4回定検より追加	
4A C/V再循環ユニット冷却水戻りライン海水排水第二止弁	分解点検	高	195M	—	—	—	第1.4回定検より追加	
4B C/V再循環ユニット冷却水戻りライン海水排水第一止弁	分解点検	高	195M	—	—	—	第1.4回定検より追加	
4B CHP自己冷却水供給ライン第二止弁	分解点検	高	195M	—	—	—	第1.4回定検より追加	
4B CHP自己冷却水戻りライン第一止弁	分解点検	高	195M	—	—	—	第1.4回定検より追加	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保 全 方 式 又 は 頻 度	今 回 の 実 施 計 画	前 回 実 施 時 期 (定 検 回 数)	検 査 名	備 考 () 内 は 通 用 予 備 診 断 技 術	
計測制御系統施設 (計測装置)	AM用消防水係数流量	特性試験	高	13M	○	13	GM-35 フロント状態監視設備機能検査		
	4 B 格納容器スプレイ流量積算装置	特性試験	高	13M	○	13	GM-35 フロント状態監視設備機能検査		
	格納容器内温度(SA)	特性試験	高	13M	○	13	GM-35 フロント状態監視設備機能検査		
	原子炉下部キャビティ水位	特性試験	高	13M	○	13	GM-35 フロント状態監視設備機能検査		
	原子炉格納容器水位	特性試験	高	13M	○	13	GM-35 フロント状態監視設備機能検査		
	AM用格納容器圧力	特性試験	高	13M	○	13	GM-35 フロント状態監視設備機能検査		
	原子炉容器水位	特性試験	高	13M	○	13	GM-35 フロント状態監視設備機能検査		
	アニュラス水素濃度 2 體	特性試験	高	13M	○	13	GM-35 フロント状態監視設備機能検査		
	重大事故等対処用出力機	特性試験	高	13M	○	13			
	重大事故等対処用制御盤	特性試験	高	13M	○	13			
	多様化自動制御設備	特性試験	高	13M	○	13			
	計測制御系統施設 (工学的安全施設等の制御信号)	加圧器逃がし弁用窒素ボンベ 6 本 (予備含む)	外観点検	高	1F	○	2021年度		定期停止中又はプラント運転中
	計測制御系統施設 (制御用空気設備)	加圧器逃がし弁用窒素ボンベ 2 本 (予備含む)	外観点検	高	1F	○	2021年度		定期停止中又はプラント運転中
事故時材料採取設備用窒素ボンベ 2 本 (予備含む)		外観点検	高	1F	○	2021年度		定期停止中又はプラント運転中	
AV-NV-208 加圧器逃がし弁 A 窒素供給ライン安全弁		分解点検又は取替 漏えい試験 機能・性能試験	低	130M 10C 10C	— — —	13 13 13	GM-85 1次系安全弁検査		第11回定検より追加
AV-NV-218 加圧器逃がし弁 B 窒素供給ライン安全弁		分解点検又は取替 漏えい試験 機能・性能試験	低	130M 10C 10C	— — —	13 13 13	GM-85 1次系安全弁検査		第11回定検より追加
AV-NV-248 加圧器逃がし弁窒素供給ライン安全弁		分解点検又は取替 漏えい試験 機能・性能試験	低	130M 10C 10C	— — —	13 13 13	GM-85 1次系安全弁検査		第11回定検より追加
AV-1A-713 4 B アニュラス空気浄化系用窒素供給ライン安全弁		分解点検又は取替 漏えい試験 機能・性能試験	低	130M 10C 10C	— — —	— — —	— — —		第11回定検より追加
AV-1A-654 格納容器窒素ボンベ取出及び格納容器窒素用ガスランプ内ライオン外 側弁事故時制御用窒素供給ライン安全弁		分解点検又は取替 漏えい試験 機能・性能試験	低	130M 10C 10C	○ ○ ○	— — —	— — —		第11回定検より追加
加圧器逃がし弁制御用窒素ライン窒素供給用 2・5 mフレキシブルホース 3 本 (予備含む)		外観点検	高	1C	○	13			
アニュラス空気浄化ファン非用制御用窒素ライン窒素供給用 6 mフレキシブルホース 2 本 (予備含む)		外観点検	高	1C	○	13			
事故時材料採取設備非用制御用窒素ライン窒素供給用 3 mフレキシブルホース 2 本 (予備含む)		外観点検	高	1C	○	13			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保 全 方 式 又 は 頻 度	今 回 の 実 施 計 画	前 回 実 施 時 期 (定 検 回 数)	検 査 名	備 考 ()内は通年する設備診断技術	
非常用電源設備	大容量空冷式発電機ガスタービン	簡易点検	高	1C	○	13	GM-200 その他非常用発電装置の分解検査 GM-221 その他非常用発電装置の機能検査	第11回定検より追加	
		普通点検		39M	—	12			
		精密点検		130M	—	—			
		機能・性能試験		1C	○	13			
	大容量空冷式発電機	簡易点検	普通点検	高	1C	○	13		第11回定検より追加
			普通点検		65M	—	—		
			精密点検		130M	—	—		
			機能・性能試験		1C	○	13		
	大容量空冷式発電機用燃料タンク	開放点検	普通点検	高	130M	—	—		第11回定検より追加
			気密試験		2C	—	13		
	大容量空冷式発電機用給油ポンプ	簡易点検	普通点検	高	13M	○	13		(稼働診断：1ヶ月) 第11回定検より追加
			分解点検		65M	—	—		
	大容量空冷式発電機用給油ポンプ電動機	普通点検	普通点検	高	130M	—	—		(稼働診断：1ヶ月) 第11回定検より追加
			機能・性能試験		1Y	○	2021年度		
	可搬型直流変換器(3,4号機共用) 5台(予備含む)	蓄電池(重大事故等対応用) 2組	機能・性能試験	高	1C	○	13	GM-222 直流電源系機能検査 GM-223 直流電源系動作動検査	
機能・性能試験			1C		○	13			
可搬型バッテリー(加圧器速がし赤用)(3,4号機共用) 3車(予備含む)	普通点検	普通点検	高	1F	○	2021年度			
重大事故等対応用変圧器	普通点検	普通点検	高	1C	○	13			
重大事故等対応用変圧器受電盤	普通点検	普通点検	高	1C	○	13			
重大事故等対応用分電盤	普通点検	普通点検	高	1C	○	13			
常設電動注入ポンプ電源切替盤	普通点検	普通点検	高	1C	○	13			
計装用電源切替盤 2台	普通点検	普通点検	高	1C	○	13			
号内間電力融通回路(3,4号機共用、3号機に設置)	普通点検(絶縁抵抗測定他)	普通点検(絶縁抵抗測定他)	高	1C	○	13			
号内間電力融通回路(3,4号機共用)	普通点検(絶縁抵抗測定他)	普通点検(絶縁抵抗測定他)	高	1C	○	13			
予備ケーブル(号内間電力融通用)(3,4号機共用) 12本	普通点検(絶縁抵抗測定他)	普通点検(絶縁抵抗測定他)	低	1F	○	2021年度		定検停止中又はプラント運転中	
代替電源系統1	普通点検	普通点検	高	1C	○	13			
代替電源系統2(3,4号機共用)	普通点検	普通点検	高	1C	○	13			
重大事故等対応用直流コントロールセンター	普通点検	普通点検	高	65M	—	—		第11回定検より追加	

3. 原子力規制委員会の内規に従い実施する点検計画

なし

4. 長期施設管理方針に基づく点検計画

なし

クラス1機器供用期間中検査GN4-1 (保全重要度：高)
1. 原子炉容器(1/2)

項目番号	カテゴリー	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考				
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第9回	第10回	第11回	第12回		第13回	第14回	第15回	SA77s
B2.111	B-B	上部胴と下部胴との周溶接継手	体積	100%	1ヶ所	水中UT (内面)	100%							100%	SA2	亀裂検出修正に伴う検査範囲 5%→100%→変更(第13回定検以降)
		下部胴とフランジジョイントとの周溶接継手	体積	100%	1ヶ所	水中UT (内面)	100%							100%	SA2	亀裂検出修正に伴う検査範囲 5%→100%→変更(第13回定検以降)
B3.105	B-C	フランジジョイントと下部胴との周溶接継手	体積	100%	1ヶ所	水中UT (内面)	100% (可能範囲)							100%	SA2	亀裂検出修正に伴う検査範囲 5%→100%→変更(第13回定検以降)
B3.106	B-C	上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	体積	100%	1ヶ所	UT	100%	15%	15%			15%		10%	SA2	
B3.10	B-D	冷却材入口管台と胴との溶接継手	体積	100%	4箇所	水中UT (内面)	100% (4箇所)							100%	SA2	
		冷却材出口管台と胴との溶接継手	体積	100%	4箇所	水中UT (内面)	100% (4箇所)							100%	SA2	
B3.20	B-D	冷却材入口管台内面の丸みの部分	体積	100%	4箇所	水中UT (内面)	100% (4箇所)							100%	SA2	
		冷却材出口管台内面の丸みの部分	体積	100%	4箇所	水中UT (内面)	100% (4箇所)							100%	SA2	
B5.10	B-F	冷却材入口管台と「e-フェット」との溶接継手	体積及び表面	100%	4箇所	水中UT (内面)	100% (4箇所)							4箇所		UT及びPTについてはNI基合金使用部位に係る検査対象 (亀裂の解釈(※2)対応)
			PT											D		
		冷却材出口管台と「e-フェット」との溶接継手	体積及び表面	100%	4箇所	水中UT (内面)	100% (4箇所)							4箇所		
B6.10	B-G-1	ナット	VT-1	100%	54個	VT-1	100% (54個)							7個	SA2	
B6.30	B-G-1	スタッドボルト	体積	100%	54本	UT	100% (54本)							7本	SA2	
B6.40	B-G-1	フランジネジ穴のネジ部	体積	100%	54箇所	UT	100% (可能範囲)							7箇所	SA2	「ポイント」近傍は検査不可能。
B6.50	B-G-1	上蓋用ワッシャー	VT-1	100%	54個	VT-1	100% (54個)							7個	SA2	
B7.10	B-G-2	T/Cハウジングのマーママンカップリング	VT-1	25%	4箇所	VT-1	25% (1箇所)							1箇所	SA2	

※1 第13回定検以降は維持規格(JSME S NAI-2012 (2013, 2014年追補含む))を適用
 ※2 平成26年8月以降は「実用発電用原子炉及びその附属施設における廃棄物引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈(平成26年8月6日 原規技発第1408063号)」を適用

クラス1機器供用期間中検査GN4-1 (保全重要度：高)
2. 加圧器(2/2)

項目 番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S.MAL-2008, 2012 (※1)		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)							SA775	備考					
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第9回	第10回	第11回			第12回	第13回	第14回	第15回	
B5.40	B-F	サージ用管台とセフエントとの溶接継手	体積及び表面	溶接継手(管台)数の25%	1箇所	UT・PT	管台数の25% (2箇所)	1箇所							SA2 ・UT及びPTについてはNI基合金使用部位に係る検査対象(亀裂の解釈(※2)対応)		
		スプレイライソ管用管台とセフエントとの溶接継手			1箇所												
		安全弁用管台とセフエントとの溶接継手			3箇所												
		逃がし弁用管台とセフエントとの溶接継手			1箇所												
B7.20	B-G-2	マンホール取付ボルト	VT-1	25%	16本	VT-1	25% (4本)	1本						2本	SA2 ・漏えい検査時実施		
B8.20	B-H	スカート取付溶接継手	体積	7.5%	1/A	UT	7.5%								7.5%	SA2	
B15.20	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい検査時100%	1式	VT-2	漏えい検査時100% (可能範囲)	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	-	
F1.41	F-A	支持構造物 (スカート、基礎等を含む。)	VT-3	25%	24箇所	VT-3	25% (6箇所)								6箇所	SA2	

クラス1機器供用期間中検査 GN 4-1 (保全重要度：高)

3. 蒸気発生器(L1)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S. N1-2008, 2012 (※1)											玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)					備考
項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	検査頻度	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	SA77A
B2.40	B-B	管板と水室鏡との間溶接継手	体積	代表1基の25%	16本/基×4基	UT	代表1基の25%	10年間	A:5%			A:5%	A:5%	A:5%	A:5%	SA2
B3.60	B-D	冷却材出入口管台内面丸みの部分	体積	代表1基の25%	2箇所/基×4基	UT	代表1基の25%	10年間				A:1箇所			A:1箇所	SA2
B5.70	B-F	冷却材出入口管台とセーフエントとの溶接継手	体積及び表面	代表1基の25%	2箇所/基×4基	UT・PT	代表1基の25%	10年間				A:1箇所				SA2
B7.30	B-G-2	マンホール取付ボルト	VT-1	代表1基の25%	16本×2箇所/基×4基	VT-1	代表1基の25%	10年間		A:1箇所		A:1箇所			A:1箇所	SA2
B8.30	B-H	一体溶接された容器支持部	表面	代表1基の7.5%	4箇所×4基	PT	代表1基の7.5%	10年間								SA2
B15.30	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい検査時100%	1式	VT-2	漏えい検査時100%	10年間	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	—
B16.20	B-Q	伝熱管(コネクター690)	体積	100%	4基	ECT	—	10年間	—	—	—	—	—	—	—	SA2
F1.41	F-A	支持構造物(コネクター、ボルト、ナット)	VT-3	代表1基の25%	4箇所/基×4基	VT-3	代表1基の25%	10年間						C:1箇所		SA2

加圧水型軽水炉の原子炉冷却材圧力バウンダリにおけるN1基金金使用部位に係る検査計画

玄海原子力発電所4号機検査計画											備考					
項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	検査頻度	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	SA77A
—	—	冷却材出入口管台とセーフエントとの溶接継手	体積及び表面	代表1基の25%	2箇所/基×4基	UT (垂直及び縦波斜角)	代表1基の25%	10年間				A:1箇所				SA2
—	—	冷却材出入口管台とセーフエントとの溶接継手	体積及び表面	代表1基の25%	2箇所/基×4基	PT	代表1基の25%	10年間				A:1箇所				SA2
—	—	冷却材出入口管台とセーフエントとの溶接継手	ベアリング検査	—	2箇所/基×4基	ベアリング検査	—	10年間	—	—	—	—	—	—	—	SA2

構造上接近又は検査が困難であるとして試験が行われていない箇所の代替試験計画

玄海原子力発電所4号機検査計画											備考					
項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	検査頻度	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	SA77A
—	—	冷却材出入口管台とセーフエントとの溶接継手	体積	UT実施箇所100%	2箇所/基×4基	ECT	UT実施箇所100%	10年間				A:1箇所				SA2

・S/G出入口管台については、超音波探傷試験の代替試験必要箇所
 ECTによりき裂が確認されなかった後にUTを実施した部位として、1検出限りのき裂を想定した上で底力検査を実施防止の有効性が検証された射撃を施した部位に該当すると認められた。(10回検出より)

・超音波探傷試験の代替措置計画に基づき検査対象箇所(亀裂の解釈(※2)対応)

クラス1機器供用期間中検査GN4-1 (保全重要度：高)

4. 配置 (1/5)

項目番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA-2008, 2012 (※1)										SM7ス	備考				
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第9回	第10回	第11回	第12回			第13回	第14回	第15回	
B7.50	B-G-2	封水注入ライン	VT-1	25%	4箇所	VT-1	25% (1箇所)		1箇所						SA2		
		一次冷却材管	体積	25%	48箇所	UT	25% (12箇所)	2箇所	2箇所		1箇所	1箇所	2箇所	2箇所	SA2		
		加圧器サージライン	体積	25%	6箇所	UT	25% (2箇所)	1箇所	1箇所			1箇所			SA2		
		加圧器安全弁ライン	体積	25%	24箇所	UT	25% (6箇所)	1箇所	1箇所		1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2		
		加圧器迷がしライン	体積	25%	5箇所	UT	25% (2箇所)	1箇所	1箇所		1箇所				SA2		
		加圧器スプレイレイン	体積	25%	55箇所	UT	25% (14箇所)	2箇所	2箇所		2箇所	3箇所	1箇所	2箇所	—		
		加圧器補助スプレイレイン	体積	25%	1箇所	UT	25% (1箇所)				1箇所				—		
		余熱除去ポンプ入口ライン(1)	体積	25%	49箇所	UT	25% (13箇所)	1箇所	1箇所		1箇所	1箇所	2箇所	2箇所	SA2	・RCPB範囲拡大に伴う名称の変更 ・第11回配管工事に伴う変更	
		余熱除去ポンプ入口ライン(2)	体積	25%	14箇所	UT	25% (4箇所)	—	—		14箇所		1箇所	1箇所	SA2	・RCPB範囲拡大に伴う追加 ・12回以降は維持規格を適用	
		B9.11	B-J	蓄圧注入ライン	体積	25%	66箇所	UT	25% (17箇所)	2箇所	3箇所		2箇所	2箇所	3箇所	2箇所	SA2
高温側低圧注入ライン	体積			25%	33箇所	UT	25% (9箇所)	1箇所	1箇所		1箇所	1箇所	1箇所	2箇所	SA2	・第11回配管工事に伴う変更	
低温側低圧注入ライン	体積			25%	18箇所	UT	25% (5箇所)	1箇所	1箇所		1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2		
加圧器迷がしライン	表面			25%	12箇所	PT	25% (3箇所)		1箇所		1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2		
加圧器補助スプレイレイン	表面			25%	30箇所	PT	25% (8箇所)	1箇所	1箇所		1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	—		
クォータバブルトラップ、抽出ライン、 余剰抽出ライン	表面			25%	34箇所	PT	25% (9箇所)	1箇所	1箇所		1箇所	2箇所	2箇所	1箇所	SA2		
充てんライン	表面			25%	12箇所	PT	25% (3箇所)	1箇所	1箇所				1箇所	1箇所	SA2		
封水注入ライン	表面			25%	5箇所	PT	25% (2箇所)	1箇所	1箇所					1箇所	SA2		
余熱除去ポンプ入口ライン(2)	表面			25%	3箇所	PT	25% (1箇所)	—	—		3箇所			1箇所	SA2	・RCPB範囲拡大に伴う追加 ・12回以降は維持規格を適用	

クラス1機器供用期間中検査GN4-1 (保全重要度：高)
4. 配置(2/5)

項目番号	カテゴリー	送電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA-2008, 2012 (※1)										SM7ス	備考			
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第9回	第10回	第11回	第12回			第13回	第14回	第15回
B9.21	B-J	高温側高圧補助注入ライン	表面	25%	23箇所	PT	25% (6箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2	
		低温側高圧補助注入ライン	表面	25%	9箇所	PT	25% (3箇所)	1箇所	1箇所	1箇所		1箇所	1箇所		SA2	
B9.31	B-J	一次冷却材管	体積	25%	9箇所	UT	25% (3箇所)	1箇所	1箇所		1箇所	1箇所			SA2	
		一次冷却材管	表面	25%	32箇所	PT	25% (8箇所)	2箇所	2箇所		1箇所	1箇所	2箇所	1箇所	SA2	
B9.32	B-J	余熱除去ポンプ入口ライン(2)	表面	25%	2箇所	PT	100%* (2箇所)	—	—	2箇所				2箇所	SA2	• RCP6範囲拡大に伴う追加 (*管台については全数実施する)
		蓄圧注入ライン	表面	25%	4箇所	PT	25% (1箇所)					1箇所			SA2	
		高温側低圧注入ライン	表面	25%	2箇所	PT	25% (1箇所)		1箇所						SA2	
		一次冷却材管	表面	25%	24箇所	PT	25% (6箇所)		1箇所	1箇所		1箇所	1箇所	1箇所	SA2	
B9.40	B-J	加圧器補助スプレイレイン	表面	25%	7箇所	PT	25% (2箇所)	1箇所				1箇所			—	
		クローズド・システム・レゾナンス抽出7台、 余剰抽出7台	表面	25%	6箇所	PT	25% (2箇所)	1箇所						1箇所	SA2	
		封水注入ライン	表面	25%	50箇所	PT	25% (13箇所)	2箇所	2箇所			2箇所	2箇所	2箇所	SA2	
		高温側高圧補助注入ライン	表面	25%	28箇所	PT	25% (7箇所)	1箇所	1箇所			1箇所	1箇所	1箇所	SA2	
B15.50	B-P	低温側高圧補助注入ライン	表面	25%	4箇所	PT	25% (1箇所)					1箇所			SA2	
		圧力保持範囲	VT-2	漏えい検査時 100%	1式	VT-2	漏えい検査時 100% (可能範囲)	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	—	

クラス1機器供用期間中検査 GN 4-1 (保全重要度：高)
 4. 配管(4/5)

項目番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格「JSM S NA1-2008」, 2012 (※1)				立海原子力発電所 4号機検査計画 (10年間)										備考				
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	SA777					
	充てんライン	VT-3	25%	4箇所	RH	2箇所	VT-3	25% (1箇所)	1箇所								SA2	・第11回配管工事に伴う変更		
					MS	2箇所										1箇所				
					AN	0箇所														
	封水注入ライン	VT-3	25%	18箇所	RH	13箇所	VT-3	25% (5箇所)	1箇所	1箇所							SA2			
					MS	5箇所										1箇所				
					AN	0箇所														
	余熱除去ポンプ入ロライン(1)	VT-3	25%	18箇所	RH	6箇所	VT-3	25% (5箇所)									SA2	・RCPB絶頂拡大に伴う名称の変更 ・第11回配管工事に伴う変更		
					MS	10箇所										1箇所				
					SH	2箇所														
F1.10	F-A	VT-3	25%	10箇所	RH	8箇所	VT-3	25% (3箇所)									SA2	・RCPB絶頂拡大に伴う追加 ・12回以降は維持規格を適用		
					HS	0箇所														
					MS	2箇所														
	蓄圧注入ライン	VT-3	25%	28箇所	RH	17箇所	VT-3	25% (7箇所)	1箇所	2箇所							SA2			
					MS	8箇所													1箇所	
					HS	3箇所														
	高温側低圧注入ライン	VT-3	25%	18箇所	RH	10箇所	VT-3	25% (5箇所)	1箇所								SA2	・第11回配管工事に伴う変更		
					MS	4箇所														
					SH	2箇所														

クラス1機器供用期間中検査GN4-1 (保全重要度：高)
6. 弁 (1/3)

項目番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008, 2012 (※1)										備考								
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	検査数	設備数	検査方法	検査範囲	第9回	第10回	第11回		第12回	第13回	第14回	第15回	SM775			
B6. 210	B-6-1	圧力保持用ボルト締付部(ボルト)																		
		余熱除去ポンプ入口ライン(1) (4PCV-420, 430)	体積	代表1台の25%	2台	2台	UT	代表1台の100%							1台(430)		SA2	・RCP8運転拡大に伴う名称の変更		
		余熱除去ポンプ入口ライン(2) (4V-RH-002A, B)	体積	代表1台の25%	2台	2台	UT	代表1台の100%				2台(002A, B)				1台(002A)		SA2	・RCP8運転拡大に伴う追加 ・12回以降は維持規格を適用	
		圧力保持用ボルト締付部(フランジ表面)																		
B6. 220	B-6-1	余熱除去ポンプ入口ライン(1) (4PCV-420, 430)	VT-1	代表1台の25%	2台	2台	VT-1	代表1台の100%							1台(430)		SA2	・分解点検時に実施 ・RCP8運転拡大に伴う名称の変更		
		余熱除去ポンプ入口ライン(2) (4V-RH-002A, B)	VT-1	代表1台の25%	2台	2台	VT-1	代表1台の100%				2台(002A, B)			1台(002A)		SA2	・分解点検時に実施 ・RCP8運転拡大に伴う追加 ・12回以降は維持規格を適用		
		圧力保持用ボルト締付部(ナット、ワッシャー)																		
		余熱除去ポンプ入口ライン(1) (4PCV-420, 430)	VT-1	代表1台の25%	2台	2台	VT-1	代表1台の100%								1台(430)		SA2	・RCP8運転拡大に伴う名称の変更	
B6. 230	B-6-1	余熱除去ポンプ入口ライン(2) (4V-RH-002A, B)	VT-1	代表1台の25%	2台	2台	VT-1	代表1台の100%							1台(002A, B)		SA2	・RCP8運転拡大に伴う追加 ・12回以降は維持規格を適用		
		圧力保持用ボルト締付部(ボルト、軸込みボルト、ナット)																		
		加圧器安全弁ライン (4V-RC-055, 056, 057)	VT-1	代表1台の25%	3台	3台	VT-1	代表1台の100%								1台(057)		SA2	・漏えい検査時に実施	
		加圧器速がしライン (4V-RC-054A, 054B)	VT-1	代表1台の25%	2台	2台	VT-1	代表1台の100%									1台(054A)		SA2	・漏えい検査時に実施
B7. 70	B-6-2	加圧器速がしライン (4PCV-452A, 452B)	VT-1	代表1台の25%	2台	2台	VT-1	代表1台の100%										SA2	・漏えい検査時に実施	
		加圧器スプレイレイン (4PCV-451A, 451B)	VT-1	代表1台の25%	2台	2台	VT-1	代表1台の100%										SA2	・漏えい検査時に実施	
		加圧器補助スプレイレイン (4V-CS-227)	VT-1	代表1台の25%	1台	1台	VT-1	代表1台の100%										—	・使用時に実施	
		加圧器補助スプレイレイン (4V-CS-227)	VT-1	代表1台の25%	1台	1台	VT-1	代表1台の100%										—	・使用時に実施	
		加圧器補助スプレイレイン (4V-CS-227)	VT-1	代表1台の25%	1台	1台	VT-1	代表1台の100%											—	・使用時に実施
		加圧器補助スプレイレイン (4V-CS-227)	VT-1	代表1台の25%	1台	1台	VT-1	代表1台の100%											—	・使用時に実施
		加圧器補助スプレイレイン (4V-CS-227)	VT-1	代表1台の25%	1台	1台	VT-1	代表1台の100%											—	・使用時に実施
		加圧器補助スプレイレイン (4V-CS-227)	VT-1	代表1台の25%	1台	1台	VT-1	代表1台の100%											—	・使用時に実施
		加圧器補助スプレイレイン (4V-CS-227)	VT-1	代表1台の25%	1台	1台	VT-1	代表1台の100%											—	・使用時に実施
		加圧器補助スプレイレイン (4V-CS-227)	VT-1	代表1台の25%	1台	1台	VT-1	代表1台の100%											—	・使用時に実施
B7. 70	B-6-2	加圧器補助スプレイレイン (4V-CS-227)	VT-1	代表1台の25%	4台	4台	VT-1	代表1台の100%								1台(019A)		SA2	・分解点検時に実施	
		加圧器補助スプレイレイン (4V-CS-227)	VT-1	代表1台の25%	2台	2台	VT-1	代表1台の100%										SA2	・漏えい検査時に実施	
		加圧器補助スプレイレイン (4V-CS-227)	VT-1	代表1台の25%	1台	1台	VT-1	代表1台の100%										SA2	・漏えい検査時に実施	
		加圧器補助スプレイレイン (4V-CS-227)	VT-1	代表1台の25%	2台	2台	VT-1	代表1台の100%										SA2	・漏えい検査時に実施	
B7. 70	B-6-2	充てんライン (4V-RC-017)	VT-1	代表1台の25%	1台	1台	VT-1	代表1台の100%										SA2	・漏えい検査時に実施	
		充てんライン (4V-CS-233, 235)	VT-1	代表1台の25%	2台	2台	VT-1	代表1台の100%										SA2	・漏えい検査時に実施	

クラス1機器供用期間中検査 GN4-1 (保全重要度：高)
6. 弁(3/3)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008, 2012 (※1)		亙海原原子力発電所4号機検査計画(10年間)										SM77ス	備考						
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回			第15回					
F1.41	F-A	加圧器安全弁ライン (4V-RC-055, 056, 057)	VT-3	代表1台の25%	3箇所	AN	1箇所×3台	VT-3	代表1台の25% (1箇所)								1箇所 (055)	SA2			
			VT-3	代表1台の25%	4箇所	MS	2箇所×2台	VT-3	代表1台の25% (1箇所)										SA2		
		加圧器遮がしライン (4V-RC-054A, B)	VT-3	代表1台の25%	4箇所	MS	2箇所×2台	VT-3	代表1台の25% (1箇所)											SA2	
			VT-3	代表1台の25%	4箇所	MS	2箇所×2台	VT-3	代表1台の25% (1箇所)												
		加圧器スプレイレイン (4PCV-451A, B)	VT-3	代表1台の25%	4箇所	MS	2箇所×2台	VT-3	代表1台の25% (1箇所)												
			VT-3	代表1台の25%	1箇所	RH	1箇所×1台	VT-3	代表1台の25% (1箇所)										1箇所		
		加圧器補助スプレイレイン (4V-CS-227)	VT-3	代表1台の25%	4箇所	RH	1箇所×2台	VT-3	代表1台の25% (1箇所)												
			VT-3	代表1台の25%	4箇所	MS	1箇所×2台	VT-3	代表1台の25% (1箇所)												
		加圧器補助スプレイレイン(1) (4PCV-420, 430)	VT-3	代表1台の25%	4箇所	MS	2箇所×2台	VT-3	代表1台の25% (1箇所)												
			VT-3	代表1台の25%	4箇所	HS	1箇所×2台	VT-3	代表1台の25% (1箇所)												
加圧器補助スプレイレイン(2) (4V-RH-002A, B)	VT-3	代表1台の25%	4箇所	MS	1箇所×2台	VT-3	代表1台の25% (1箇所)														
	VT-3	代表1台の25%	4箇所	MS	1箇所×2台	VT-3	代表1台の25% (1箇所)														

・第11回配管工事に伴う変更
・RCPB補修拡大に伴う追加
・12回以降は維持規格を適用

クラス2機器供用期間中検査 GN 4-5 (保全重要度：高)
 1. 余熱除去冷却器 (1/1)

余熱除去冷却器 (管側)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	女海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考
							第14回	第15回	第16回	第17回	第18回	SA77s					
C1.20	C-A	管側鏡と管側胴との周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	1基/基×2基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%									SA2	
C1.30	C-A	管側胴と管側管板との周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	1基/基×2基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%						B:7.5%			SA2	
C2.21	C-B	管側出入口管台と管側胴との溶接継手	体積及び表面	代表1基の管台数の7.5%	2箇所×2基	UT・PT	代表1基の管台数の7.5% (1箇所)								B入口1箇所	SA2	

クラス2機器供用期間中検査GN4-5 (保全重要度：高)
2. 配管(1/4)

項目番号	カテゴリ	養電用原子力設備規格 維持規格 JSME S N A 1 - 2 0 0 8										玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)						備考
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回	SA/7s			
C3.20	C-C	余熱除去ポンプ入口ライン	表面	7.5%	4箇所	PT	7.5% (1箇所)	1箇所							SA2			
		余熱除去冷却器出口ライン	表面	7.5%	5箇所	PT	7.5% (1箇所)	1箇所							SA2			
		高温側低圧注入ライン	表面	7.5%	4箇所	PT	7.5% (1箇所)	1箇所							SA2			
		低温側低圧注入ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)		1箇所							SA2		
		高圧注入ポンプ出口ライン	表面	7.5%	6箇所	PT	7.5% (1箇所)				1箇所					SA2		
		格納容器再循環サブ出口ライン	表面	7.5%	12箇所	PT	7.5% (1箇所)					1箇所		1箇所		SA2		
		余熱除去ポンプ入口ライン	体積及び表面	7.5%	17箇所	UT・PT	7.5% (2箇所)				1箇所					SA2		
		余熱除去ポンプ入口ライン	表面	7.5%	50箇所	PT	7.5% (4箇所)	1箇所	1箇所		1箇所					SA2		
		余熱除去ポンプ出口ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)	1箇所								SA2		
		余熱除去冷却器出口ライン	体積及び表面	7.5%	67箇所	UT・PT	7.5% (6箇所)	1箇所	1箇所	1箇所		1箇所		1箇所	1箇所	SA2		
C5.11	C-F	高温側低圧注入ライン	体積及び表面	7.5%	12箇所	UT・PT	7.5% (1箇所)				1箇所				SA2			
		低温側低圧注入ライン	体積及び表面	7.5%	44箇所	UT・PT	7.5% (4箇所)	1箇所		1箇所				1箇所	SA2			
		高圧注入ポンプ出口ライン	体積及び表面	7.5%	49箇所	UT・PT	7.5% (4箇所)	1箇所	1箇所		1箇所		1箇所		SA2			
		燃料取替用水ピット出口ライン	表面	7.5%	7箇所	PT	7.5% (1箇所)									SA2		
		格納容器再循環サブ出口ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)			1箇所						SA2		
																SA2	・“検証不可”のため検査は実施不可となるが個別評価フローに基づき問題ないことを確認している。	

クラス2機器供用期間中検査GN4-5 (保全重要度：高)
2. 配管(2/4)

項目番号	カテゴリー	養電用原子力設備規格 維持規格 JSME S N A 1 - 2 0 0 8		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考		
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回		第18回	SA77s
C5.12	C-F	余熱除去ポンプ入口ライン	表面	7.5%	7箇所	PT	7.5% (1箇所)	1箇所							SA2	
		高温側高圧補助注入ライン	表面	7.5%	72箇所	PT	7.5% (6箇所)	2箇所	1箇所			1箇所			SA2	1箇所
		高圧注入ポンプ出口ライン	表面	7.5%	6箇所	PT	7.5% (1箇所)			1箇所					SA2	
C5.21	C-F	低温側高圧補助注入ライン	表面	7.5%	77箇所	PT	7.5% (6箇所)	2箇所		1箇所					SA2	1箇所
		高圧補助注入ライン連絡管	表面	7.5%	9箇所	PT	7.5% (1箇所)						1箇所		SA2	
		高圧補助注入ライン	表面	7.5%	12箇所	PT	7.5% (1箇所)							1箇所	SA2	
		封水注入ライン	表面	7.5%	17箇所	PT	7.5% (2箇所)		1箇所						SA2	
C5.30	C-F	高温側高圧補助注入ライン	表面	7.5%	26箇所	PT	7.5% (2箇所)	1箇所		1箇所					SA2	
		低温側高圧補助注入ライン	表面	7.5%	28箇所	PT	7.5% (3箇所)	1箇所						1箇所	SA2	
		封水注入ライン	表面	7.5%	22箇所	PT	7.5% (2箇所)	1箇所							SA2	
C5.41	C-F	格納容器再循環サンプ出口ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)							1箇所	SA2	
		高圧注入ポンプ出口ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)							1箇所	SA2	

クラス2機器供用期間中検査GN4-5 (保全重要度:高)
3. ボンプ(1/1)

赤てんボンプ

項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	J S M E S N A I - 2 0 0 8		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										SAクラス	備考			
			検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回					
C3.30	C-C	ボンプ支持脚部材取付け溶接継手	表面	7.5%	16箇所×3台	PT	7.5% (4箇所)	A:1箇所		A:1箇所				B:1箇所				SA2	
C4.30	C-D	ケーシングボルト	体積	代表1台の7.5%	16本×3台	UT	代表1台の7.5% (2本)	B:2本										SA2	
C6.10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の7.5%	1箇所×3台	PT	代表1台の7.5% (1箇所)						B:1箇所					SA2	
F1.43	F-A	ボンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	2箇所×3台	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)						B:1箇所					SA2	

余熱除去ボンプ

項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	J S M E S N A I - 2 0 0 8		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										SAクラス	備考			
			検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回					
C6.10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の7.5%	2箇所×2台	PT	代表1台の7.5% (1箇所)	A:1箇所										SA2	
F1.43	F-A	ボンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	2箇所×2台	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)							B:1箇所				SA2	

クラス2機器供用期間中検査 GN4-5 (保全重要度:高)
4. 弁(1/1)

項目 番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S N A 1-2 0 0 8										北海道原子力発電所 4号機検査計画(10年間)						備考
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	検査範囲	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回	SAマックス		
F1.43	F-A	余熱除去冷却器出入口ライン (4HCY-603, 613)	VT-3	代表1台の 7.5%	4箇所 HS	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)	1箇所 (603)								SA2		
			VT-3	代表1台の 7.5%	4箇所 HS	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)							1箇所 (604)		SA2		
		高温側高圧補助注入ライン (4V-SI-067A, B)	VT-3	代表1台の 7.5%	3箇所 RH	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)				1箇所 (067A)						SA2	
			VT-3	代表1台の 7.5%	1箇所 HS	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)								1箇所 (066A)		SA2	
		高圧補助注入ライン連絡管 (4V-SI-066A, B)	VT-3	代表1台の 7.5%	3箇所 RH	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)									SA2		
		封水注入ライン (4V-SI-026A, 026B)	VT-3	代表1台の 7.5%	4箇所 RH	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)								1箇所 (026A)	SA2		

クラス2機器供用期間中検査GN4-5 (保全重要度：高)
5. クラス2機器種々の検査(1/4)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所		検査方法	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)						備考			
		系統名	ライン名称		第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回		第18回		
C7.10, C7.30 C7.70	C-H	化学体積制御系統	体積制御タンク及びび出入ロライン	検査圧力 定常運転圧力 (0.1MPa) 以上	VT-2					○				
C7.10, C7.30 C7.50, C7.70			A 充てんポンプ出口ロライン	定常運転圧力 (17.5MPa) 以上	VT-2	●								
C7.30, C7.50 C7.70			B 充てんポンプ出口ロライン	定常運転圧力 (17.5MPa) 以上	VT-2		●							
C7.30, C7.50 C7.70			C 充てんポンプ出口及びび封水注入ライン	定常運転圧力 (17.5MPa) 以上	VT-2			○						
C7.10, C7.30 C7.70			抽出ライン (1)	定常運転圧力 (15.0MPa) 以上	VT-2				○					
C7.10, C7.30 C7.70			抽出ライン (2)	定常運転圧力 (2.1MPa) 以上	VT-2				○					
C7.30, C7.70			抽出ライン (3)	定常運転圧力 (0.45MPa) 以上	VT-2			○						
C7.30, C7.70			体積制御タンク入口ロライン	定常運転圧力 (0.24MPa) 以上	VT-2		○							
C7.10, C7.30 C7.70			A ほう酸ポンプ入口ロライン	定常運転圧力 (0.007MPa) 以上	VT-2	●								
C7.10, C7.30 C7.70			B ほう酸ポンプ入口ロライン	定常運転圧力 (0.007MPa) 以上	VT-2	●								
C7.30, C7.50 C7.70			A ほう酸ポンプ出口ロライン	機能試験圧力 (0.787MPa) 以上	VT-2				○					
C7.30, C7.50 C7.70			B ほう酸ポンプ出口ロライン	機能試験圧力 (0.787MPa) 以上	VT-2				○					
C7.30, C7.70	ほう酸混合器及びび出入ロライン	機能試験圧力 (0.788MPa) 以上	VT-2							○				
C7.30, C7.70	RCP 封水注入戻りライン	定常運転圧力 (0.10MPa) 以上	VT-2							○				
C7.30, C7.50 C7.70	C-H	安全注入系統	A, B 高圧注入ポンプ入口ロライン	定常運転水位 燃料取替用水ピット水位 96%以上(水張り)	VT-2									
C7.30, C7.50 C7.70			A 高圧注入ポンプ出口ロライン (1)	機能試験圧力 (9.47MPa) 以上	VT-2				○					
C7.30, C7.70			A 高圧注入ポンプ出口ロライン (2)	機能試験圧力 (9.47MPa) 以上	VT-2				○					
C7.30, C7.50 C7.70			B 高圧注入ポンプ出口ロライン (1)	機能試験圧力 (9.47MPa) 以上	VT-2					○				
C7.30, C7.70			B 高圧注入ポンプ出口ロライン (2)	機能試験圧力 (9.47MPa) 以上	VT-2					○				
C7.30, C7.70			A 格納容器再循環サンプ出口ロライン	最高使用圧力 (0.393MPa) 以上	VT-2				○					
C7.30, C7.70			B 格納容器再循環サンプ出口ロライン	最高使用圧力 (0.393MPa) 以上	VT-2				○					
C7.10, C7.30 C7.70			A 蓄圧タンク及びび出入ロライン	定常運転圧力 (4.4MPa) 以上	VT-2	●								
C7.10, C7.30 C7.70			B 蓄圧タンク及びび出入ロライン	定常運転圧力 (4.4MPa) 以上	VT-2	●								
C7.10, C7.30 C7.70			C 蓄圧タンク及びび出入ロライン	定常運転圧力 (4.4MPa) 以上	VT-2	●								
C7.10, C7.30 C7.70			D 蓄圧タンク及びび出入ロライン	定常運転圧力 (4.4MPa) 以上	VT-2	●								
C7.30, C7.70			蓄圧タンクトラストライン	機能試験圧力 (9.47MPa) 以上	VT-2			○						
C7.30, C7.70	蓄圧タンクN ₂ 供給ライン	定常運転圧力 (4.4MPa) 以上	VT-2				○							

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)
 1. 原子炉容器 (1/2)

項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
		発電用原子炉設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008, 2012 (※1)			
		検査の対 象 箇 所			
		検査方法			
		検査範囲			
		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)			
B2.111	B-B	上部胴と下部胴との周溶接継手 下部胴とトランジションとの周溶接継手 トランジションと下部鏡との周溶接継手	体積	100%	
B3.105	B-C	上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	体積	100%	
B3.106	B-C	上部鏡板と上部蓋フランジとの溶接継手	体積	100%	
B3.10	B-D	冷却材入口管台と胴との溶接継手 冷却材出口管台と胴との溶接継手	体積	100%	
B3.20	B-D	冷却材入口管台内面の丸みの部分 冷却材出口管台内面の丸みの部分	体積	100%	クラス1機器供用期間中検査で管理
B5.10	B-F	冷却材入口管台とセーフティとの溶接継手	体積及び表面	100%	
B6.10	B-G-1	ナット	VT-1	100%	
B6.30	B-G-1	スタッドボルト	体積	100%	
B6.40	B-G-1	フランジネジ穴のネジ部	体積	100%	
B6.50	B-G-1	上蓋用ワッシャ	VT-1	100%	
B7.10	B-G-2	T/Cハウジングのマーマーンカップリング	VT-1	25%	

※1 第13回定検以降は維持規格JSME S NAI-2012 (2013, 2014年追加含む) を適用

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)
 1. 原子炉容器(2/2)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
B1.10	B-0	制御駆動装置の溶接継手及びVT/Cの溶接継手	視視 又は表面	最外周の25%	
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	25%	
G1.10	G-P-1	原子炉容器の内部	VT-3	100%	
G1.40	G-P-1	炉心領域外の炉心支持金物	VT-3	100%	
G1.50	G-P-2	上部炉心支持構造物	VT-3	100%	
		下部炉心支持構造物	VT-3	100%	

クラス1 機器供用期間中検査で管理

加圧水型軽水炉の原子炉冷却材圧力バウンダリにおけるNi基合金使用部位に係る検査計画

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
		冷却材入口管台とセーフエントとの溶接継手	視視及び表面 ベアメタル検査	100%	
		冷却材出口管台とセーフエントとの溶接継手	視視及び表面 ベアメタル検査	100%	
		原子炉容器上蓋の表面	ベアメタル検査	定検毎に100% (可能範囲)	
		原子炉容器底部の表面	ベアメタル検査	5年毎に100% (可能範囲)	

クラス1 機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)
 2. 加圧器 (1/2)

項目番号	カテゴリ	添電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008, 2012 (※1)		検査範囲	備考
		検査の対象箇所	検査方法		
B2.11	B-B	上部胴と上部胴との周溶接継手	体積	5%	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間) クラス1機器供用期間中検査で管理
		下部胴と下部胴との周溶接継手	体積	5%	
B2.12	B-B	上部胴の長手溶接継手	体積	10%	
		中間胴の長手溶接継手	体積	10%	
		下部胴の長手溶接継手	体積	10%	
B2.13	B-B	上部胴と中間胴との周溶接継手	体積	5%	
		中間胴と下部胴との周溶接継手	体積	5%	
B3.30	B-D	サージ用管台と容器との溶接継手	体積	管台数の25%	
		スプレインライイン用管台と容器との溶接継手			
		安全弁用管台と容器との溶接継手			
		逃がし弁用管台と容器との溶接継手			
B3.40	B-D	サージ用管台内面の丸みの部分	体積	管台数の25%	
		スプレインライイン用管台内面の丸みの部分			
		安全弁用管台内面の丸みの部分			
		逃がし弁用管台内面の丸みの部分			

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)
 2. 加圧器 (2/2)

項目番号	カテゴリ	検査の対 象 箇 所		検査方法	検査範囲	備 考
		検査の対 象 箇 所	検査方法			
B5.40	B-F	サージ用管台とセメントとの溶接継手	体 積 及び表面	溶接継手 (管台) 数の25%	クラス1機器供用期間中検査で管理	
		スプレイライイン用管台とセメントとの溶接継手				
		安全弁用管台とセメントとの溶接継手				
		逃がし弁用管台とセメントとの溶接継手				
B7.20	B-G-2	マンホール取付ボルト	VT-1	25%		
B8.20	B-H	スカート取付溶接継手	体 積	7.5%		
F1.41	F-A	支持構造物 (スカート、基礎等を含む。)	VT-3	25%		

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)
 3. 蒸気発生器 (1/1)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008, 2012 (※1)		検査範囲	備考
	カテゴリ	検査の対象箇所		
B2.40	B-B	管板と水室籠との周溶接継手	体積 代表1基の25%	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間) クラス1機器供用期間中検査で管理
B3.60	B-D	冷却材出入口管台内丸み部分	体積 代表1基の25%	
B5.70	B-F	冷却材出入口管台とセーフエントとの溶接継手	体積及び表面 代表1基の溶接継手数の25%	
B7.30	B-G-2	マンホール取付ボルト	VT-1 代表1基の25%	
B8.30	B-H	一体溶接された容器支持部	表面 代表1基の7.5%	
B16.20	B-Q	伝熱管(レコパ6890)	体積 100%	
F1.41	F-A	支持構造物 (支持脚ボルト、基礎、ボルト含む)	VT-3 代表1基の25%	

加圧水型軽水炉の原子炉冷却材圧力パウンダリにおけるNi基金金使用部位に係る検査計画

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
-	-	冷却材出入口管台とセーフエントとの溶接継手	体積及び表面 代表1基の溶接継手数の25%(1箇所) 代表1基の溶接継手数の25%(1箇所)	代表1基の溶接継手数の25%(1箇所) 代表1基の溶接継手数の25%(1箇所)	玄海原子力発電所4号機検査計画 クラス1機器供用期間中検査で管理

構造上接近又は検査が困難であるとして試験が行われていない箇所の代替試験計画

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
-	-	冷却材出入口管台とセーフエントとの溶接継手	体積	UT実施箇所100%	玄海原子力発電所4号機検査計画 クラス1機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査GN4-201(保全重要度:高)
4.クラス1配管(1/3)

項目 番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008, 2012 (※1)		検査方法	検査の対 象 箇 所	玄海原子力発電所 4号機 検査計画 (10年間)		備 考
		検査項目	検査割合			検査項目	検査割合	
B9.11	B-J	B7.50	B-G-2	封水注入ライン	VT-1	25%	クラス1 機器供用期間中検査で管理	
				一次冷却材管	体 積	25%		
				加圧器サージライン	体 積	25%		
				加圧器安全弁ライン	体 積	25%		
				加圧器逃がしライン	体 積	25%		
				余熱除去ポンプ入口ライン(1)	体 積	25%		
				余熱除去ポンプ入口ライン(2)	体 積	25%		
				蓄圧注入ライン	体 積	25%		
				高温側低圧注入ライン	体 積	25%		
				低温側低圧注入ライン	体 積	25%		
B9.21	B-J			加圧器逃がしライン	表 面	25%		
				クロスバレットレゾナンス抽出管, 余剰抽出管	表 面	25%		
				充てんライン	表 面	25%		
				封水注入ライン	表 面	25%		
		余熱除去ポンプ入口ライン(2)	表 面	25%				

重大事故等クラス2機器供用期間中検査GN4-201(保全重要度:高)
4.クラス1配管(2/3)

項目番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008, 2012 (※1)		検査方法	検査範囲	備考
		検査の対象箇所	検査面			
B9.21	B-J	高温側高圧補助注入ライン	表面	25%	玄海原子力発電所 4号機検査計画(10年間) クラス1機器供用期間中検査で管理	
		低温側高圧補助注入ライン	表面	25%		
B9.31	B-J	一次冷却材管	体積	25%		
		一次冷却材管	表面	25%		
B9.32	B-J	余熱除去ポンプ入口ライン(2)	表面	25%		
		蓄圧注入ライン	表面	25%		
		高温側低圧注入ライン	表面	25%		
		一次冷却材管	表面	25%		
B9.40	B-J	クロスベリタドレイン, 抽出ライン, 余剰抽出ライン	表面	25%		
		封水注入ライン	表面	25%		
		高温側高圧補助注入ライン	表面	25%		
		低温側高圧補助注入ライン	表面	25%		

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN 4-201 (保全重要度：高)
 4. クラス1配管(3/3)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S MA1-2008, 2012 (※1)		検査方法	検査範囲	備考
	検査の対象箇所	検査方法			
F1.10 F-A	加圧器サージライン	VT-3	25%	玄海原子力発電所 4号機検査計画(10年間) クラス1機器供用期間中検査で管理	
	加圧器逃がしライン	VT-3	25%		
	クロスバードレフトレライク、抽出7分、 余剰抽出7分	VT-3	25%		
	充てんライン	VT-3	25%		
	封水注入ライン	VT-3	25%		
	余熱除去ポンプ入口ロライン(1)	VT-3	25%		
	余熱除去ポンプ入口ロライン(2)	VT-3	25%		
	蓄圧注入ライン	VT-3	25%		
	高温側低圧注入ライン	VT-3	25%		
	低温側低圧注入ライン	VT-3	25%		
	高温側高圧補助注入ライン	VT-3	25%		
	低温側高圧補助注入ライン	VT-3	25%		

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)
 5.1 次冷却材ポンプ(1/1)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008, 2012 (※1)		検査範囲	備考
	カテゴリ	検査の対象箇所		
B6.180	B-G-1	ケーシングボルト	体 積 代表1台の 25%	北海道電力発電所4号機検査計画(10年間) クラス1機器供用期間中検査で管理
B6.190	B-G-1	フランジ表面	VT-1 代表1台の 25%	
B6.200	B-G-1	ケーシングボルト用ナット及びワッシャー	VT-1 代表1台の 25%	
B12.20	B-L-2	ケーシングの内表面	VT-3 代表1台の 100%	
F1.41	F-A	支持構造物 (支持脚、スラブ、基礎、ボルト含む。)	VT-3 代表1台の 25%	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査GN4-201(保全重要度:高)
6.クラス1弁(3/3)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)	備考
F1.41	F-A	加圧器安全弁ライン (4V-RC-055, 056, 057)	VT-3	代表1台の 25%	クラス1機器供用期間中検査で管理	
		加圧器逃がしライン (4V-RC-054A, B)	VT-3	代表1台の 25%		
		加圧器逃がしライン (4PCV-452A, B)	VT-3	代表1台の 25%		
		クロスバンド・レライク, 抽出ライク, 余熱抽出ライク (4LCV-451, 452)	VT-3	代表1台の 25%		
		余熱除去ポンプ入口ライン(1) (4PCV-420, 430)	VT-3	代表1台の 25%		
		余熱除去ポンプ入口ライン(2) (4V-RH-002A, B)	VT-3	代表1台の 25%		

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)

7. 容器(U/I)

余熱除去冷却器 (管側)

項目番号	発電用原子力設備規格 J S M E S N A I - 2 0 0 8		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考	
	検査方法	検査範囲	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	検査回数	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回		第17回
C1.20	C-A	管側鏡と管側胴との周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	UT	2ヶ-A/基×1基	7.5%							
C1.30	C-A	管側胴と管側管板との周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	UT	2ヶ-A/基×1基	7.5%							
C2.21	C-B	管側出入口管台と管側胴との溶接継手	体積及びひ表面	代表1基の管台数の7.5%	UT・PT	2箇所×1基					1箇所			

クラス2機器供用期間中検査で管理

原子炉補機冷却水冷却器 (胴側)

項目番号	発電用原子力設備規格 J S M E S N A I - 2 0 0 8		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考	
	検査方法	検査範囲	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	検査回数	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回		第17回
C1.10	C-A	胴側胴と胴側フランジとの周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	UT	2ヶ-A/基×1基	7.5%							
C1.10	C-A	胴側胴の周継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	UT	2ヶ-A/基×1基	7.5%					7.5%		
C2.21	C-B	胴側出入口管台と胴側胴との溶接継手	体積及びひ表面	代表1基の管台数の7.5%	UT・PT	2箇所×1基					1箇所			
C2.22	C-B	胴側出入口管台内面の丸み部分	体積	代表1基の管台数の7.5%	UT	2箇所×1基				1箇所				
C3.10	C-C	胴と当板との溶接継手	表面	代表1基の溶接継手数の7.5%	PT	3箇所×1基							1箇所	
F1.43	F-A	支持脚	VT-3	代表1基の7.5%	VT-3	3箇所×1基				1箇所				

格納容器スプレイ冷却器 (管側)

項目番号	発電用原子力設備規格 J S M E S N A I - 2 0 0 8		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考	
	検査方法	検査範囲	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	検査回数	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回		第17回
C1.10	C-A	管側胴と管側フランジとの周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	UT	1ヶ-A/基×2基	7.5%							
C1.20	C-A	管側鏡と管側胴との周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	UT	1ヶ-A/基×2基	7.5%			A:7.5%				
C4.10	C-D	カラーボルト	体積	代表1基の7.5%	UT	36本×2基				A:1本				A:1本
C4.10	C-D	全ネジボルト	体積	代表1基の7.5%	UT	12本×2基				A:1本				A:1本

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)
8. 配管(1/6)

項目番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S N A I - 2 0 0 8				玄海原子力発電所 4号機 検査計画 (10年間)										備考		
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回				
C3.20	C-C	原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン	表面	7.5%	1箇所	PT	7.5% (1箇所)					1箇所						
		原子炉補機冷却水ポンプ出口ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)						1箇所					
		原子炉補機冷却器入口ライン	表面	7.5%	1箇所	PT	7.5% (1箇所)									1箇所		
		余熱除去ポンプ入口ライン	表面	7.5%														
		余熱除去冷却器出口ライン	表面	7.5%														
		高温側低圧注入ライン	表面	7.5%														
C5.11	C-F	低温側低圧注入ライン	表面	7.5%														
		高圧注入ポンプ出口ライン	表面	7.5%														
		格納容器再循環サンプ出口ライン	表面	7.5%														
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回				
		A, B原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン	表面	7.5%	8箇所	PT	7.5% (1箇所)		1箇所									
		A, B原子炉補機冷却水ポンプ出口ライン	表面	7.5%	3箇所	PT	7.5% (1箇所)			1箇所								
A原子炉補機冷却水冷却器入口ライン	表面	7.5%	9箇所	PT	7.5% (1箇所)							1箇所						
主蒸気逃がしライン	表面	7.5%	8箇所	PT	7.5% (1箇所)											1箇所		

クラス2機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査GN4-201 (保全重要度：高)
8. 配管(3/6)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S N A I - 2 0 0 8 検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)		備考
				カテゴリー		
C5.21	C-F	高温側高圧補助注入ライン	表面	7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理	
		高圧注入ポンプ出口ライン	表面	7.5%		
		低温側高圧補助注入ライン	表面	7.5%		
		高圧補助注入ライン連絡管	表面	7.5%		
		高圧補助注入ライン	表面	7.5%		
		封水注入ライン	表面	7.5%		
C5.30	C-F	高温側高圧補助注入ライン	表面	7.5%		
		低温側高圧補助注入ライン	表面	7.5%		
		封水注入ライン	表面	7.5%		
		格納容器再循環サンプ出口ライン	表面	7.5%		
		高圧注入ポンプ出口ライン	表面	7.5%		
C5.41	C-F					

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)
 8. 配管(6/6)

項目番号	発電原子力設備規格 J.S.M.E. S. N.A.1-2008 検査の対 象 箇 所	検査方法	検査範囲	玄海原子力発電所 4 号機 検査 計画 (10年間)		備 考
				カテゴリー		
F1.21	F-A	余熱除去ポンプ入口ライン	VT-3	7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理	
		余熱除去ポンプ出口ライン	VT-3	7.5%		
		余熱除去冷却器出入口ライン	VT-3	7.5%		
		余熱除去冷却器出口ライン	VT-3	7.5%		
		高温側 高圧補助注入ライン	VT-3	7.5%		
		低温側 低圧注入ライン	VT-3	7.5%		
		高圧注入ポンプ 出口ライン	VT-3	7.5%		
		低温側 高圧補助注入ライン	VT-3	7.5%		
		高圧補助注入ライン 連絡管	VT-3	7.5%		
		高圧補助注入ライン	VT-3	7.5%		
		格納容器再循環サンプ出口ライン	VT-3	7.5%		
燃料取替用水ピット出口ライン	VT-3	7.5%				
封水注入ライン	VT-3	7.5%				

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)
 9. ボンプ(1/1)

充てんボンプ

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S N A I - 2 0 0 8		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考		
項目番号	検査の对象箇所	検査方法	検査範囲											
C3.30	ボンプ支持脚部材取付け溶接継手	表面	7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理										
C4.30	ケーシングボルト	体積	代表1台の7.5%											
C6.10	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の7.5%											
F1.43	ボンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%											

余熱除去ボンプ

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S N A I - 2 0 0 8		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考		
項目番号	検査の对象箇所	検査方法	検査範囲											
C6.10	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理										
F1.43	ボンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%											

原子炉補機冷却水ボンプ

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S N A I - 2 0 0 8		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考	
項目番号	検査の对象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回		第16回
F1.43	ボンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	4箇所×2台	VT-3	代表1台の7.5%(1箇所)			A:1箇所				

格納容器スプレイボンプ

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S N A I - 2 0 0 8		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考	
項目番号	検査の对象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回		第16回
F1.43	ボンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	2箇所×2台	VT-3	代表1台の7.5%(1箇所)			A:1箇所				

常設電動注入ボンプ

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S N A I - 2 0 0 8		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考	
項目番号	検査の对象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回		第16回
F1.43	ボンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	2箇所×1台	VT-3	代表1台の7.5%(1箇所)						1箇所	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査GN4-201 (保全重要度：高)
10. 弁(1/1)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME SNA1-2008		玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)										備考			
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回		第17回		
F1.43	F-A	A, B格納容器再循環ユニット 出口ライン (4TCV-2430, 2431)	VT-3	7.5%	4箇所 RH	VT-3	7.5% (1箇所)										
			VT-3	7.5%	4箇所 RH	VT-3	7.5% (1箇所)					1箇所 (3610)					
		主蒸気逃がしライン (4PCV-3610, 3620, 3630, 3640)	VT-3	7.5%	8箇所 MS	VT-3	7.5% (1箇所)										
			VT-3	7.5%	代表1台の 7.5%	VT-3	7.5%										
		余熱除去冷却器出入口ライン (4HCV-603, 613)	VT-3	7.5%	代表1台の 7.5%	VT-3	7.5%										
			VT-3	7.5%	代表1台の 7.5%	VT-3	7.5%										
		余熱除去冷却器出入口ライン (4FCV-604, 614)	VT-3	7.5%	代表1台の 7.5%	VT-3	7.5%										
			VT-3	7.5%	代表1台の 7.5%	VT-3	7.5%										
		高温側高圧補助注入ライン (4V-SI-067A, B)	VT-3	7.5%	代表1台の 7.5%	VT-3	7.5%										
			VT-3	7.5%	代表1台の 7.5%	VT-3	7.5%										
高圧補助注入ライン連絡管 (4V-SI-066A, B)	VT-3	7.5%	代表1台の 7.5%	VT-3	7.5%												
	VT-3	7.5%	代表1台の 7.5%	VT-3	7.5%												
封水注入ライン (4V-SI-026A, 026B)	VT-3	7.5%	代表1台の 7.5%	VT-3	7.5%												
	VT-3	7.5%	代表1台の 7.5%	VT-3	7.5%												

クラス2機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)

1.1. 重大事故等クラス2機器漏えい検査(1/4)

項目 番号	カテゴリ	検査対象箇所		検査方法	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)							備考		
		系統名	ライン名称		第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回			
B15.10	B-P	一次冷却材系統	原子炉容器	SA時の使用圧力	●	●	●	○	○	○	○	○		
B15.20			加圧器	SA時の使用圧力	●	●	●	○	○	○	○	○		
B15.30			蒸気発生器	SA時の使用圧力	●	●	●	○	○	○	○	○		
B15.50			クラス1配管	SA時の使用圧力	●	●	●	○	○	○	○	○		
B15.60			一次冷却材ポンプ	SA時の使用圧力	●	●	●	○	○	○	○	○		
B15.70			クラス1弁	SA時の使用圧力	●	●	●	○	○	○	○	○		
C7.30, C7.70			C-H	化学体積制御系統	B 充てんポンプ自己冷却水供給ライン	SA時の使用圧力						○		
C7.30, C7.70	B 充てんポンプ自己冷却水戻りライン	SA時の使用圧力									○			
C7.30, C7.70	体積制御タンク及びび出入口ライン	SA時の使用圧力										○		
C7.10, C7.30	A 充てんポンプ出口ライン	SA時の使用圧力				●								
C7.50, C7.70	B 充てんポンプ出口ライン	SA時の使用圧力					●							
C7.30, C7.50	C 充てんポンプ出口及び封水注入ライン	SA時の使用圧力						○						
C7.10, C7.30	A ほう酸ポンプ入口ライン	SA時の使用圧力				●								
C7.10, C7.30	B ほう酸ポンプ入口ライン	SA時の使用圧力				●								
C7.30, C7.50	A ほう酸ポンプ出口ライン	SA時の使用圧力								○				
C7.30, C7.50	B ほう酸ポンプ出口ライン	SA時の使用圧力								○				
C7.30, C7.70	B 高压注入ポンプ海水排水ライン	SA時の使用圧力							○					
C7.30, C7.70	A, B 高压注入ポンプ入口ライン	SA時の使用圧力					●							
C7.30, C7.50	A 高压注入ポンプ出口ライン (1)	SA時の使用圧力								○				
C7.30, C7.70	A 高压注入ポンプ出口ライン (2)	SA時の使用圧力								○				
C7.30, C7.50	B 高压注入ポンプ出口ライン (1)	SA時の使用圧力							○					
C7.30, C7.70	B 高压注入ポンプ出口ライン (2)	SA時の使用圧力								○				
C7.30, C7.70	A 格納容器再循環サンプ出口ライン	SA時の使用圧力								○				
C7.30, C7.70	B 格納容器再循環サンプ出口ライン	SA時の使用圧力								○				
C7.10, C7.30	A 蓄圧タンク及びび出入口ライン	SA時の使用圧力		●										
C7.10, C7.30	B 蓄圧タンク及びび出入口ライン	SA時の使用圧力		●										
C7.10, C7.30	C 蓄圧タンク及びび出入口ライン	SA時の使用圧力		●										
C7.10, C7.30	D 蓄圧タンク及びび出入口ライン	SA時の使用圧力		●										

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)

1.1. 重大事故等クラス2機器漏えい検査(2/4)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所		検査圧力	検査方法	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)						備考	
		系統名	ライン名称			第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回		第17回
C7.30, C7.70			格納容器スプレイ系統～余熱除去系統間のタ イライン	SA時の使用圧力	VT-2						○		
C7.30, C7.70			A 余熱除去ポンプ入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2	●							
C7.30, C7.70			B 余熱除去ポンプ入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2		●						
C7.10, C7.30 C7.50, C7.70	C-H	余熱除去系統	A 余熱除去ポンプ出口ライン (1)	SA時の使用圧力	VT-2	●							
C7.30, C7.70			A 余熱除去ポンプ出口ライン (2)	SA時の使用圧力	VT-2						○		
C7.10, C7.30 C7.50, C7.70			B 余熱除去ポンプ出口ライン (1)	SA時の使用圧力	VT-2				○				
C7.30, C7.70			B 余熱除去ポンプ出口ライン (2)	SA時の使用圧力	VT-2						○		
C7.30, C7.70			可搬型ポンプ用送水ライン (1)	SA時の使用圧力	VT-2						○		
C7.30, C7.70			可搬型ポンプ用送水ライン (2)	SA時の使用圧力	VT-2						○		
C7.30, C7.70			A 格納容器スプレイポンプ入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2	●							
C7.30, C7.70			B 格納容器スプレイポンプ入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2	●							
C7.10, C7.30 C7.50, C7.70	C-H	格納容器スプレイ系統	A 格納容器スプレイポンプ出口ライン (1)	SA時の使用圧力	VT-2		●						
C7.30, C7.70			A 格納容器スプレイポンプ出口ライン (2)	SA時の使用圧力	VT-2				○				
C7.10, C7.30 C7.50, C7.70			B 格納容器スプレイポンプ出口ライン (1)	SA時の使用圧力	VT-2						○		
C7.30, C7.70			B 格納容器スプレイポンプ出口ライン (2)	SA時の使用圧力	VT-2						○		
C7.30, C7.70			使用済燃料ピット浄化 冷却系統	SA時の使用圧力	VT-2	●							
C7.30, C7.70			使用済燃料ピット補給用給水ライン (1)	SA時の使用圧力	VT-2	●							
C7.30, C7.70			使用済燃料ピット補給用給水ライン (2)	SA時の使用圧力	VT-2	●							
C7.30, C7.70	C-H	燃料取替用水系統	常設電動注入ポンプ入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2						○		
C7.30, C7.50 C7.10, C7.30 C7.70			常設電動注入ポンプ出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2							○	
C7.10, C7.30 C7.70			燃料取替用水ピット及び出入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2			●					
C7.10, C7.30 C7.70	C-H	給水系統	A 蒸気発生器給水入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2							○	
C7.10, C7.30 C7.70			B 蒸気発生器給水入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2	●							
C7.10, C7.30 C7.70			C 蒸気発生器給水入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2				○				
C7.10, C7.30 C7.70			D 蒸気発生器給水入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2							○	
C7.10, C7.30 C7.70			補助給水ポンプ入口ライン	SA時の使用圧力	VT-2			●					電線管含む
C7.30, C7.50 C7.70	C-H	補助給水系統	A 電動補助給水ポンプ出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2				○				
C7.30, C7.50 C7.70			B 電動補助給水ポンプ出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2					○			
C7.30, C7.50 C7.70			タービン動補助給水ポンプ出口ライン	SA時の使用圧力	VT-2							○	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)

1.1. 重大事故等クラス2機器漏えい検査(3/4)

項目 番号	カテゴリ	検査対象箇所		検査圧力	検査方法	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)						備考			
		系統名	ライン名称			第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回		第17回		
C7.30, C7.70	C-H	主蒸気系統		A 蒸気発生器蒸気出口ライン	VT-2							○			
C7.30, C7.70				B 蒸気発生器蒸気出口ライン	VT-2	●									
C7.30, C7.70				C 蒸気発生器蒸気出口ライン	VT-2				○						
C7.30, C7.70				D 蒸気発生器蒸気出口ライン	VT-2							○			
C7.30	C-H	換気空調系統		中央制御室換気空調ライン	VT-2							○	技術基準規則第58条第2項の ただし書による「他の方法」 として外観検査を実施		
C7.30, C7.70				アニュラス空気浄化ライン	VT-2								○		
C7.30, C7.70				A 原子炉補機冷却水冷却器海水供給ライン	VT-2			●							
C7.30, C7.70				A 格納容器再循環ユニット屋外放出口ライン	VT-2					○					
C7.30, C7.70	C-H	原子炉補機冷却水系統		B 格納容器再循環ユニット屋外放出口ライン	VT-2							○			
C7.30, C7.70				A, B 原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン	VT-2			●							
C7.10, C7.30 C7.50, C7.70				A, B 原子炉補機冷却水ポンプ出口ライン	VT-2			●							
C7.30, C7.70				C, D 原子炉補機冷却水ポンプ出口ライン	VT-2								○		
C7.10, C7.30 C7.70	C-H	原子炉補機冷却海水系統		原子炉補機冷却水サージタンク及び出入口ライン	VT-2										
C7.10, C7.30 C7.50, C7.70				A, B 海水ポンプ出口ライン	VT-2							○			
C7.30, C7.70				C, D 海水ポンプ出口ライン	VT-2										
C7.30, C7.70					VT-2			●							

重大事故等クラス2機器供用期間中検査 GN4-201 (保全重要度：高)

1.1. 重大事故等クラス2機器漏えい検査(4/4)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所		検査方法	検査圧力	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)						備考			
		系統名	ライン名称			第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回		第17回		
C7.30, C7.70	C-H	制御用空気系統	A 加圧器逃がし弁用制御用空気ライン B 加圧器逃がし弁用制御用空気ライン A ニュエラス空気浄化フアン弁用制御用空気ライン 事故時試料採取設備弁用制御用空気ライン A 制御用空気圧縮機出口ライン B 制御用空気圧縮機出口ライン	VT-2	SA時の使用圧力				○						
C7.30, C7.70				VT-2	SA時の使用圧力				○						
C7.30, C7.70				VT-2	SA時の使用圧力								○		
C7.30, C7.70				VT-2	SA時の使用圧力					○					
C7.30, C7.70				VT-2	SA時の使用圧力									○	
C7.30, C7.70				VT-2	SA時の使用圧力										○
C7.10	C-H	ディーゼル発電機 始動用空気系統	A ディーゼル発電機始動空気ライン B ディーゼル発電機始動空気ライン	VT-2	SA時の使用圧力										
C7.10				VT-2	SA時の使用圧力						○				
C7.30, C7.70	C-H	一次系サンプリング系統	事故時サンプリングライン (1) 事故時サンプリングライン (2) 事故時サンプリングライン (3)	VT-2	SA時の使用圧力			●							
C7.30, C7.70				VT-2	SA時の使用圧力			●							
C7.30, C7.70				VT-2	SA時の使用圧力			●							

重大事故等クラス2機器供用期間中検査GN4-201 (保全重要度：高)
 1.2. クラス2管 (原子炉格納容器内) 特別検査(1/1)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年間)	備考
-	-	配管の円周方向溶接継手			クラス2管 (原子炉格納容器内) 特別検査で管理	
		充てんライン	体積	25%		
		再生熱交換器連絡管				
		充てんライン連絡管	体積	25%		

重大事故等クラス3機器漏えい検査 GN4-228-N1 (保全重要度：高)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所		検査方法	設備数	玄海原子力発電所4号機検査計画(10年)							備考				
		ライン(設備)名	機器名			2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024		2025	2026	2027	2028
D2.30	D-B	原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン	窒素ポンベ(原子炉補機冷却水サージタンク用)～原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン窒素供給用3.8mフレキシブルホース入口接続口	VT-2	2				●								
D2.30	D-B	A, B加圧器逃がし弁用制御用空気ライン	窒素ポンベ(加圧器逃がし弁用)～加圧器逃がし弁用制御用空気ライン窒素供給用2.5mフレキシブルホース入口接続口	VT-2	3							○					

添付書類四 定期事業者検査の判定方法（一定の期間を含む）

1. 定期事業者検査の判定方法

(1) 定期事業者検査の実施における考え方

定期事業者検査の実施にあたっては、実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第56条第1項において検査の方法が規定されており、これに従い表-1に記載する方法に基づき、対象設備に対して定期事業者検査を実施する。

また、実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第56条第2項では、定期事業者検査においては、一定の期間を設定し、その期間において技術基準に適合する状態を維持するかどうかを判定する方法で行うことが規定されている。

表-1のうち、①、②の検査は、設備の点検にあわせて、または点検の完了後に実施するものであり、その実施頻度は設備の点検頻度や原子炉を停止する頻度に基づいている。(添付書類三 別紙1 点検計画(計画期間中における点検の実施状況等) 参照)

定期事業者検査の対象となる設備については、技術基準への適合維持が要求されていることから、その実施頻度の設定においては、所定の機能を発揮できなくなる前、すなわち技術基準に適合する状態を維持すると考えられる段階に点検を行うように考慮しており、その実施頻度を定期事業者検査の一定の期間とみなすことができる。この実施頻度から設定した定期事業者検査の一定の期間の最短は、原子炉を停止して実施する必要がある点検の最短の間隔に調整運転期間等を考慮した13ヶ月※(定期事業者検査終了からの期間)である。

※：使用の状況等から別途点検を行う時期を評価し、定期事業者検査を実施すべき時期について原子力規制委員会の承認を受ける場合を除く。

なお、定期事業者検査の実施頻度の前提となるこれらの点検にあたっては、その対象設備が技術基準に適合する状態を維持するため、その点検頻度の設定にあたって前提とされた部品取替等の行為を保全活動の中で確実に行う。

また、機器の劣化、特性変化を定量的に評価し判定する検査については、上記に係わらず、当該評価で判定に考慮する期間を一定の期間とする。これに該当する検査を(2)に示す。

(2) 一定の期間を考慮する定期事業者検査の判定について

定期事業者検査においては、(1)のとおり設定された頻度に基づき、設備が技術基準に適合していることを確認するが、機器の劣化、特性変化を定量的に評価し判定する以下の検査については、その判定に一定の期間を考慮する。

○原子炉を停止して実施する必要がある点検の最短の間隔に調整運転期間等を考慮した13ヶ月(定期事業者検査終了からの期間)以上を一定の期間として判定に考慮する検査

- ・原子炉格納容器全体漏えい率検査
- ・原子炉格納容器局部漏えい率検査
- ・クラス1機器供用期間中検査
- ・クラス2機器供用期間中検査
- ・クラス2管(原子炉格納容器内)特別検査
- ・重大事故等クラス2機器供用期間中検査
- ・重大事故等クラス3機器漏えい検査
- ・構造健全性検査
- ・炉内計装用シングルチューブ体積検査
- ・蒸気タービン開放検査
- ・2次系配管検査
- ・主蒸気・主給水配管検査
- ・1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査

○また、第15サイクルの炉心設計に係わる以下の検査については、実運転期間(2ヶ月)に調整運転期間等を踏まえ、これに基づき判定を行う。

- ・原子炉停止余裕検査
- ・炉物理検査
- ・燃料集合体外観検査

なお、上記以外の検査については、その対象設備が技術基準に適合している状態を維持するため、その点検間隔の設定にあたって前提とされた部品取替等の行為を保全活動の中で確実にを行う。

表－1 検査の方法の考え方について

実用発電用原子炉の設置、運転等 に関する規則第56条	検査の方法	
① 開放、分解、非破壊検査そ の他の各部の損傷、変形、 摩耗及び異常の発生状況 を確認するために十分な 方法	分解検査及び開放 検査	機器等を分解、開放した状態で、き裂、変形及び摩耗 等の有無を目視等により確認する。
	外観検査	機器等を分解又は開放しない状態で漏えい又はその 形跡、き裂、変形等の有無を目視等により確認する。
	非破壊検査	一般社団法人日本機械学会「発電用原子力設備規格 維持規格」(JSME S NA-1-2008/2012/2013 追補/2014 追補)に規定されている超音波探傷試験、渦流探傷試 験、浸透探傷試験、目視試験等により、機器等の内外 表面及び内部欠陥の有無等を確認する。
	漏えい(率)検査	系統及び機器等の点検完了後、所定の圧力において、 漏えいの有無又は漏えい率*を確認する。
② 試運転その他の機能及び 作動の状況を確認するた めに十分な方法	特性検査	電気設備及び計測制御設備について絶縁抵抗測定**、 校正、設定値確認検査などを行い、機器等の特性を確 認する。
	機能・性能検査	系統及び機器等の点検完了後、作動試験、試運転、イ ンターロック試験等を行い、機器単体又は系統の機 能・性能等を確認する。
	総合性能検査	各設備の点検完了後に、定格出力近傍で原子力発電所 の運転を行い、発電用原子炉施設の運転状態が正常で あること及び各種パラメータが妥当な値であることを 確認する。

※：漏えい率の確認には、「②試運転その他の機能及び作動の状況を確認するために十分な方法」を兼ねるものがある。

※※：絶縁抵抗測定には、「①開放、分解、非破壊検査その他の各部の損傷、変形、摩耗及び異常の発生状況を確認するために十分な方法」を兼ねるものがある。

上表の検査の方法にて実施する具体的な定期事業者検査は点検計画(添付書類三 別紙1)のとおり。なお、当該点検計画に含まれる簡易点検は定期事業者検査として実施しないが、部品の定期的な取替え、運転経験・劣化の進展予測、使用環境及び設置環境等を考慮して実施内容、頻度を定めている。

添付書類五 前回の定期事業者検査報告内容（添付書類二、三、四）からの変更内容

1. 添付書類二 発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について定量的に定める施設管理の目標の変更

別紙－１のとおり

2. 添付書類三 施設管理の実施に関する計画の変更

別紙－２のとおり

3. 添付書類四 定期事業者検査の判定方法に関する変更（一定の期間を含む）

なし

添付書類二

発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について定量的に定める施設管理の目標の変更箇所

1. 保全活動管理指標（系統レベル）

No.	系統名	変更理由	該当ページ
1	化学体積制御系統	原子炉冷却材を内蔵する機能(ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口径のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く)は、確率論的リスク評価 (PRA)によりリスク重要度が「高」になったことから、予防可能故障回数目標値を2回から1回へ変更した。	3
2	余熱除去系統	原子炉冷却材を内蔵する機能(ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口径のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く)は、確率論的リスク評価 (PRA)によりリスク重要度が「高」になったことから、予防可能故障回数目標値を2回から1回へ変更した。	3
3	原子炉補機冷却水系統	事故時のプラント状態の把握機能(直接関連系)及び事故時のプラント状態の把握機能(PAM機能)は、確率論的リスク評価 (PRA)によりリスク重要度が「高」になったことから、予防可能故障回数目標値を2回から1回へ変更した。	4
4	燃料取替用水系統	事故時のプラント状態の把握機能(PAM機能)は、確率論的リスク評価 (PRA)によりリスク重要度が「低」になったことから、予防可能故障回数目標値を1回から2回へ変更した。	4
5	給水系統 (HP Htr～SG)	異常状態の緩和機能は、確率論的リスク評価 (PRA)によりリスク重要度が「高」になったことから、予防可能故障回数目標値を2回から1回へ変更した。	5
6	主単線結線図 (M/C、P/C)	安全上特に重要な関連機能(情報提供系)は、確率論的リスク評価 (PRA)によりリスク重要度が「高」になったことから、予防可能故障回数目標値を2回から1回へ変更した。	5
7	直流電源系統	安全上特に重要な関連機能(情報提供系)は、確率論的リスク評価 (PRA)によりリスク重要度が「高」になったことから、予防可能故障回数目標値を2回から1回へ変更した。	5
8	原子炉保護制御装置	事故時のプラント状態の把握機能(PAM機能)は、確率論的リスク評価 (PRA)によりリスク重要度が「高」になったことから、予防可能故障回数目標値を2回から1回へ変更した。	6

2. システムレベル

システム名	要求機能	予防可能故障回数目標値	非待機時間目標値	備考
1次冷却材系統	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能 (PS-1)	<1回/サイクル	—	
	原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能 (MS-1)	<1回/サイクル	—	
	原子炉圧力上昇の緩和機能 (MS-3)	<2回/サイクル	<72時間/2サイクル/基	
	安全弁及び逆がし弁の吹止まり機能 (PS-2)	<1回/サイクル	—	
	異常状態の緩和機能 (MS-2)	<1回/サイクル	<72時間/2サイクル/基	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	—	
	未臨界維持機能 (MS-1)	<1回/サイクル	系統共通箇所以外 <240時間/2サイクル	
	原子炉冷却材を内蔵する機能 (ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口径のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く) (PS-2)	<1回/サイクル	—	
	異常状態の緩和機能 (MS-2)	<2回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	—	
安全注入系統	炉心冷却機能 (MS-1)	<1回/サイクル	【高圧注入系】 Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル 【低圧注入系】 Aトレイン <1時間/2サイクル/基	
	未臨界維持機能 (MS-1)	<1回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	
	原子炉停止後の除熱機能、炉心冷却機能 (MS-1)	<1回/サイクル	—	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	—	
	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	—	
	炉心冷却機能 (MS-1)	<1回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	
	原子炉冷却材を内蔵する機能 (ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口径のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く) (PS-2)	<1回/サイクル	—	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	—	
	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル 【よう系除去薬品タンク】 <72時間/2サイクル	
原子炉格納容器スプレイ系統	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	—	
	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル 【よう系除去薬品タンク】 <72時間/2サイクル	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	—	
	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	
原子炉補機冷却水系統	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<1回/サイクル	—	
	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<1回/サイクル	—	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<1回/サイクル	—	

系統名	要求機能	予防可能故障回数目標値	非待機時間目標値	備考
制御用空気系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	Aトレイン <1時間/2サイクル Bトレイン <1時間/2サイクル	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	—	
	未駆界維持機能 (MS-1)	<1回/サイクル	<1時間/2サイクル	
	炉心冷却機能、放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<2回/サイクル	【燃料取扱専用ホピット】 <1時間/2サイクル 【燃料取扱専用ホピット以外】 <240時間/2サイクル	
燃料取扱設備	燃料取扱設備 (格納容器給排気系)	<2回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	
	燃料取扱設備 (アニュラス空気浄化系)	<1回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	
換気空調設備 (排気筒)	換気空調設備 (直接関連系)	<2回/サイクル	—	
	換気空調設備 (情報提供系) (MS-2)	<1回/サイクル	—	
換気空調設備 (安全補機室空気浄化系)	換気空調設備 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル トレイン/共通 2トレイン同時故障 <72時間/2サイクル	
	換気空調設備 (直接関連系) (MS-1)	<2回/サイクル	—	
	換気空調設備 (直接関連系) (MS-2)	<1回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	
	換気空調設備 (情報提供系) (MS-2)	<2回/サイクル	—	
換気空調設備 (安全補機室冷却系)	炉心冷却機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	—	
	未駆界維持機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	—	
	原子炉停止後の除熱機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	—	
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	—	
換気空調設備 (安全補機室空気浄化系)	安全上特に重要な関連機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	Aトレイン <8時間/2サイクル Bトレイン <8時間/2サイクル	
	安全上特に重要な関連機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	
換気空調設備 (中間補機室空調系)	安全上特に重要な関連機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	
	安全上特に重要な関連機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	
換気空調設備 (ディーゼル発電機室換気系)	安全上特に重要な関連機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	
	安全上特に重要な関連機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	

系統名	要求機能	予防可能故障回数目標値	非待機時間目標値	備考
換気空調設備 (補助建屋給排気系)	放射線物質の閉じ込み機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	
換気空調設備 (ほう酸ポンプ室空調系)	未編昇維持機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	A トレーン <240時間/2サイクル B トレーン <240時間/2サイクル	
換気空調設備 (中央制御室非常用循環系)	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	A トレーン <720時間/2サイクル B トレーン <720時間/2サイクル トレーン共通、2 トレーン同時故障 <240時間/2サイクル	
換気空調設備 (中央制御室非常用循環系)	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	A トレーン <720時間/2サイクル B トレーン <720時間/2サイクル トレーン共通、2 トレーン同時故障 <240時間/2サイクル	
空調用冷水系統	安全上特に重要な関連機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	A トレーン <240時間/2サイクル B トレーン <240時間/2サイクル	
炉内構造物	炉心形状の維持機能 (炉心支持機能) (PS-1)	<1回/サイクル	—	
	原子炉の緊急停止機能 (制御棒クラスター案内機能) (MS-1)	<1回/サイクル	—	
	炉心形状の維持機能 (PS-1)	<1回/サイクル	—	
燃料集合体及び核燃料炉心構成部品	原子炉の緊急停止機能 (MS-1)	<1回/サイクル	—	
	未編昇維持機能 (MS-1)	<1回/サイクル	—	
原子炉格納容器	放射線物質の閉じ込み機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (原子炉格納容器ハウジング機能) (MS-1)	<1回/サイクル	<4時間/2サイクル/弁 <24時間/2サイクル/エアプロック	
1 次系サンプリング系統	事故時のプラント状態の把握機能 (1 次冷却材ほう素濃度サンプリング機能) (MS-2)	<2回/サイクル	—	
主蒸気及び再熱蒸気系統 (SG～高圧タービン)	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	【主蒸気安全弁】 <6時間/2サイクル/基 【主蒸気隔離弁】 <8時間/2サイクル/基 【主蒸気逃がし弁】 <168時間/2サイクル/基	
	異常状態の緩和機能 (MS-2)	<2回/サイクル	<8時間/2サイクル/基	
給水系統 (HPHtr～SG)	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	<72時間/2サイクル/基	
	異常状態の緩和機能 (MS-2)	<1回/サイクル	<72時間/2サイクル/基	
補助給水系統	原子炉停止後の除熱機能 (補助給水による除熱機能) (MS-1)	<1回/サイクル	【T/D補助給水ポンプ】 <240時間/2サイクル 【W/D補助給水ポンプA トレーン】 <240時間/2サイクル 【W/D補助給水ポンプB トレーン】 <240時間/2サイクル 【毎本ピット】 <168時間/2サイクル	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	—	
SGプロペラダウナー及びサンプリング系統	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	<72時間/2サイクル/基	

系統名	要求機能	予防可能故障回数目標値	非待機時間目標値	備考
海水系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	A トレイン <240時間/2サイクル B トレイン <240時間/2サイクル	
	安全上特に重要な関連機能 (間接関連系) (MS-3)	<2回/サイクル	<240時間/2サイクル	
	安全上特に重要な関連機能 (情報提供系) (MS-2)	<2回/サイクル	—	
	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	
	母線の保護・計量機能 (非常用母線計器片変圧器・変流器) (MS-1)	<1回/サイクル	<8時間/2サイクル/母線	
	安全上特に重要な関連機能 (情報提供系) (MS-2)	<1回/サイクル	<6時間/2サイクル/チャンネル	
	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	—	
	安全上特に重要な関連機能 (安全系への無停電交流電源の供給) (MS-1)	<1回/サイクル	<8時間/2サイクル/母線	
	安全上特に重要な関連機能 (安全系への直流電源の供給) (MS-1)	<1回/サイクル	<2時間/2サイクル/母線	
	直流電源系統	安全上特に重要な関連機能 (安全系への直流電源の供給) (MS-1)	<1回/サイクル	【直流母線】 <2時間/2サイクル/母線 【蓄電池】 <240時間/2サイクル/基 【終端油・充電器同時故障】 <2時間/2サイクル/基
電磁弁用電源系統	安全上特に重要な関連機能 (情報提供系) (MS-2)	<1回/サイクル	—	
	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	<2時間/2サイクル/母線	
所内保護・計量設備	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	<6時間/2サイクル/チャンネル	
	工学的安全確認及び原子炉停止系の作動信号の発生機能 (MS-1)	<1回/サイクル	<6時間/2サイクル/チャンネル	
制御棒駆動装置 (機械系)	過剰反応度の印加防止機能 (PS-1)	<1回/サイクル	—	
	原子炉の緊急停止機能 (MS-1)	<1回/サイクル	—	
制御棒駆動装置 (電気系)	未臨界維持機能 (原子炉停止系のうち制御棒による系の直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	—	
	原子炉の緊急停止機能 (MS-1)	<1回/サイクル	【原子炉トリップ遮断器】 <1時間/2サイクル/トレイン	
ディーゼル発電機始動用空気系統	事故時のプラント状態の把握機能 (DAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	—	
	安全上特に重要な関連機能 (ディーゼル機関の始動用空気系) (MS-1)	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	
ディーゼル発電機燃料油系統	安全上特に重要な関連機能 (ディーゼル機関の燃料油系) (MS-1)	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	
	安全上特に重要な関連機能 (ディーゼル機関の潤滑油系) (MS-1)	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	
ディーゼル発電機冷却水系統	安全上特に重要な関連機能 (ディーゼル機関の冷却水系) (MS-1)	<1回/サイクル	A トレイン <240時間/2サイクル B トレイン <240時間/2サイクル	

系統名	要求機能	予防可能故障回数目標値	非待機時間目標値	備考
原子炉保護制御装置	工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能 (MS-1)		<1回/サイクル	【原子炉保護系論理回路】 <6時間/2サイクル/トレイン <48時間/2サイクル/チャンネル (手動トリップ) <6時間/2サイクル/チャンネル (自動トリップ) (ただし、中間領域による自動トリップは <9時間/2サイクル/チャンネル) <1時間/2サイクル/チャンネル (VTR-07)
			<1回/サイクル	【工学的安全施設等作動論理回路】 <6時間/2サイクル/トレイン 【工学的安全施設等作動信号部】 <48時間/2サイクル/チャンネル (手動起動) <6時間/2サイクル/チャンネル (自動起動) <1時間/2サイクル/チャンネル (VTR-07) 【ディーゼル発電機起動論理回路への信号発信】 <6時間/2サイクル/チャンネル 【中央制御室非常用保護系作動論理回路への信号発信】 <720時間/2サイクル/チャンネル
	事故時のプラント状態の把握機能 (PM機能) (MS-2)	<1回/サイクル	—	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	—	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	—	
	制御室外からの安全停止機能 (MS-2)	<2回/サイクル	<2回/サイクル	
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (アニュラス部を構成する機能) (MS-1)	<1回/サイクル	<1回/サイクル	
	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	<1回/サイクル	
	安全上特に重要な関連機能 (海水供給機能) (MS-1)	<1回/サイクル	<1回/サイクル	
	緊急停止失敗時に原子炉を未臨界にするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	<1回/サイクル	
	1次系のフリードアンドブリードをするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	<1回/サイクル	高圧注入ポンプ <240時間/2サイクル 加圧器透かし弁 <72時間/2サイクル
	炉心注入をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	<1回/サイクル	炉心注入 — 代替炉心注入 (B系でんポンプ(自己冷却)) <720時間/2サイクル 代替炉心注入 (可搬型ディーゼル注入ポンプ) <720時間/2サイクル 代替再循環運転 (日格納容器スプレイポンプ) <72時間/2サイクル
	1次冷却システムの減圧をするための設備 (SA-3)	<2回/サイクル	<2回/サイクル	加圧器透かし弁による減圧 <240時間/2サイクル
原子炉格納容器スプレイをするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	<1回/サイクル	原子炉格納容器スプレイ — 代替原子炉格納容器スプレイ <720時間/2サイクル	
原子炉格納容器内自然対流冷却をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	<1回/サイクル	原子炉格納容器内自然対流冷却 <720時間/2サイクル 移動式大容量ポンプ車による 原子炉格納容器内自然対流冷却及び代替補機冷却 <720時間/2サイクル	

系統名	要求機能	予防可能故障回数目標値	非待機時間目標値	備考
重大事故等対応設備	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	—	
	蒸気発生器2次側による炉心冷却(蒸気放出)をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	<72時間/2サイクル	
	水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための設備 (SA-3)	<1回/サイクル	水素濃度低減 <72時間/2サイクル 水素濃度監視 <720時間/2サイクル	
	水素爆発による原子炉周辺建屋等の損傷を防止する等のための設備 (SA-3)	<1回/サイクル	<72時間/2サイクル	
	使用済燃料ピットの冷却等のための設備 (SA-3)	<1回/サイクル	—	
	発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための設備 (SA-3)	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル	
	重大事故等の収束に必要な水の供給設備 (SA-2)	<2回/サイクル	中間受槽、取水用水中ポンプ、 復水タンク(ピット)、補給用水中ポンプ <720時間/2サイクル 燃料取扱用ホット、復水ピット <72時間/2サイクル	
	電源設備 (SA-3)	<1回/サイクル	電源設備 <720時間/2サイクル 重大事故等対応用変圧器受電盤 重大事故等対応用変圧器盤 <240時間/2サイクル 燃料油貯蔵タンク、タンクローリ <48時間/2サイクル	
	計測設備	<1回/サイクル	<720時間/2サイクル 記録機能	
	中央制御室	<1回/サイクル	中央制御室非常用循環系 <72時間/2サイクル 可搬型照明、酸濃度計、二酸化炭素濃度計 <240時間/2サイクル	
	通信連絡を行うために必要な設備	<2回/サイクル	<240時間/2サイクル	

添付書類三 施設管理の実施に関する計画の変更箇所

1. 点検計画 設計基準事故対処設備等

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
1	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (燃料取扱設備) 使用済燃料運搬用容器 (NFT-14P型2号機)	使用済燃料号炉間輸送工事に伴い、左記設備を点検計画に反映する。	1/85
2	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (燃料取扱設備) 使用済燃料運搬用容器 (NFT-14P型23号機)	使用済燃料号炉間輸送工事に伴い、左記設備を点検計画に反映する。	1/85
3	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備) 4A、4B 使用済燃料ピット冷却器	確率論的リスク評価(PRA)により、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	2/85
4	原子炉冷却系統施設 (非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備) 4V-SI-004A、004B 4A、4B 安全注入系ホップ入口逃がし弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	16/85
5	原子炉冷却系統施設 (非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備) 4V-SI-064A、064B 4A、4B 高圧注入ライン隔離逆止弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	17/85
6	原子炉冷却系統施設 (非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備) 4V-SI-095A、095B 4A、4B 安全注入系ホップC/V再循環ホップ側入口逆止弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	18/85
7	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4LCV-1200 4号CCWホップタンク水位制御弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	27/85
8	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-014A、014B 4号CCWホップライン止弁A、B	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	27/85
9	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-024 4号CCWホップタンク補給ライン連絡弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	28/85
10	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-025 4号CCWホップタンク側補給ライン切替弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	28/85
11	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-026 4号CCWホップタンク側補給ライン切替弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	28/85
12	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-043A、B 4A、4B CCW戻り母管連絡弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	28/85
13	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-056A、B 4A、4B CCW供給母管連絡弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	28/85
14	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-057A、B 4号CCWP出口連絡弁A、B	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	28/85
15	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-064A、B 4A、4B CCW冷却器CCW入口弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	29/85
16	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-106A 4AB CCWPホップCCW出口止弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	29/85

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
17	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-107A、B 4A、4B RHR冷却器CCW入口弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	29/85
18	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-118B 4B SIPモータCCW出口弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	29/85
19	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-119B 4B SIP油冷却器CCW出口弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	29/85
20	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-120B 4B SIP CCW出口弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	29/85
21	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-124A 4A RHRP、ポンプ、モータCCW入口弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	29/85
22	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-127A、B 4A、4B SIP、ポンプ、モータCCW出口弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	29/85
23	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-133 4号AM用4A RHRPポンプ、モータCCW第1入口弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	29/85
24	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-134 4号AM用4A RHRPポンプ、モータCCW第2入口弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	29/85
25	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-135 4号AM用4A RHRPポンプ、モータCCW第1出口弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	29/85
26	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-136 4号AM用4A RHRPポンプ、モータCCW第2出口弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	29/85
27	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-137 4号AM用4A RHRPポンプ、モータCCW出口弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	29/85
28	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-165 4号封水冷却器CCW出口止弁A	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	30/85
29	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-207A、B 4A、4B 制御用空気圧縮装置CCW出口弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	31/85
30	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-222B 4B CHP CCW入口ライン第2切替弁B	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	31/85
31	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-223A、C 4A、4C CHP ポンプ、モータCCW出口弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	31/85
32	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-229B 4B CHPモータCCW入口弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	31/85
33	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-235B 4B CHP CCW出口ライン第1切替弁B	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	31/85
40	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4FCV-1319 4A RCP熱遮へい装置CCW出口流量制御弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	32/85

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
41	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4FCV-1320 4B RCP熱遮へい装置CCW出口流量制御弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	32/85
42	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4FCV-1321 4C RCP熱遮へい装置CCW出口流量制御弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	32/85
43	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4FCV-1322 4D RCP熱遮へい装置CCW出口流量制御弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	32/85
44	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-PS-002B 4B CHPスフィンボックス冷却水入口弁(継手側)	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	32/85
45	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-PS-006B 4B CHPスフィンボックス冷却水入口弁(軸端側)	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	32/85
46	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却海水設備) 4V-SW-502A、B、C、D 4A、4B、4C、4D SWP出口逆止弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	33/85
47	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却海水設備) 4V-SW-509A、B、C、D 4A、4B、4C、4D SWP出口ストレーナ出口弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	34/85
59	放射線管理施設 (換気設備) A、B 雑固体溶融処理建屋 給気ファン用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、分解点検の頻度を「4Y」から「6Y」に変更する。	53/85
60	放射線管理施設 (換気設備) A、B 雑固体溶融処理建屋 排気ファン用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、分解点検の頻度を「4Y」から「6Y」に変更する。	53/85
60	放射線管理施設 (換気設備) C 雑固体溶融処理建屋 排気ファン用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、分解点検の頻度を「4Y」から「6Y」に変更する。	54/85
58	放射線管理施設 (換気設備) 固化体冷却室排気ファン用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、分解点検の頻度を「4Y」から「6Y」に変更する。	54/85
48	放射線管理施設 (換気設備) 4V-CH-262 4号空調用冷水膨張タック純水補給止弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	54/85
49	原子炉格納施設 (圧力低減設備その他の安全設備) 4Aダブル冷却器	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	59/85
50	蒸気タービン (蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備) 4V-FW-587 4号T/D AFWP2次系純水タック側入口弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	74/85
51	蒸気タービン (蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備) 4V-FW-589 4号T/D AFWP2次系純水タック側逆止弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	74/85
52	その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) (発電機、変圧器 他) 主変圧器	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	81/85
53	その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) (発電機、変圧器 他) 所内変圧器	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	81/85
54	その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) (発電機、変圧器 他) 4MTユニット	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	81/85
55	その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) (発電機、変圧器 他) 4C充電器盤	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	82/85

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
56	その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) (発電機、変圧器 他) 4Cドロップ盤	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	82/85
57	その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) (発電機、変圧器 他) 4C蓄電池	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	82/85

2. 点検計画 重大事故等対処設備

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
34	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-241 4A C/CW冷却器海水供給ライン第二止弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	1/4
35	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-246 4B S I Pポンプ・モータ冷却水戻りライン海水排水ライン止弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	1/4
36	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-247 4B 制御用空気圧縮装置冷却水戻りライン海水排水止弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	1/4
37	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-248A、B 4A、4B C/V再循環ユニット冷却水戻りライン海水排水第一止弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	1/4
38	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-251 4B CHP自己冷却水供給ライン第二止弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	1/4
39	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-252 4B CHP自己冷却水戻りライン第一止弁	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。また、見直しに伴い、点検計画に反映した。	1/4

1. 点検計画 設計基準事故対処設備等

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	低 合 方 式 又 は 順 度	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
原子炉本体 (炉心)	再使用予定の燃料集合体 1式※	外観点検	高	1C	GM-2 燃料集合体外観検査	※:炉心設計による
	取出し燃料集合体 1式※	外観点検	高	1C		※:炉心設計による
	燃料集合体 108体					
	内吊物 1. 制御棒クラスタ 2. クレーン吊具 3. クレーン吊具 4. 2次中性子源	外観点検	高	1C	GM-3 燃料集合体内設置検査	※:炉心設計による
	原子炉本体のうち炉心	機能・性能試験	高	1C	GM-81 炉物理検査 GM-4 原子炉停止余熱検査	定例起動後 定例起動後
	原子炉容器本体	開放点検	高	13M		
	燃料移送装置	分解点検	高	13M		一部フロント運転中
	燃料移送装置制御設備 1式	機能・性能試験	高	1C		一部フロント運転中
	燃料戻装クレーン	分解点検	高	13M		
	燃料戻装クレーン制御設備 1式	機能・性能試験	高	1C		一部フロント運転中
使用済燃料ピットクレーン	分解点検	高	13M		一部フロント運転中	
使用済燃料ピットクレーン制御設備 1式	機能・性能試験	高	1C		一部フロント運転中	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (燃料取扱設備)	1. 燃料移送装置(リアインダクタ) 2台 2. 燃料取扱クレーン 3. 使用済燃料ピットクレーン	機能・性能試験	高	1C	GM-36 燃料取扱装置機能検査	
	1. 新燃料エレベータ 2. 燃料取扱クレーン	機能・性能試験	低	1C	GM-75 燃料取扱設備検査	
	1. 燃料取扱クレーン 2. 燃料移送装置 3. 使用済燃料ピットクレーン	機能・性能試験	高	1C	GM-95 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	
	1. 燃料取扱クレーン 2. 新燃料エレベータ	機能・性能試験	低	1C		
	原子炉キャビティ	外観点検	高	1C		
	燃料取扱キャナル(原子炉格納容器内/燃料取扱棟内)	外観検査	高	1C		
	キャスタピット	外観検査	高	1C		
	新燃料貯蔵庫	外観検査	低	1C		
	1. 新燃料取扱工具 2. 使用済燃料取扱工具 3. 燃料放置ラック	外観点検	低	1C	GM-95 燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	
	使用済燃料運搬用容器 (NFT-14P型2台機)	外観点検	高	1F		
使用済燃料運搬用容器 (NFT-14P型3台機)	外観点検	高	1F			
使用済燃料ピット冷卻化冷却設備	機能・性能試験	高	1C	GM-99 使用済燃料貯蔵庫冷却浄化系機能検査	使用済燃料ピット含む	
4 A 使用済燃料ピットポンプ	簡易点検(加入時他)		低	4Y		フロント運転中
	分解点検					
	4 A 使用済燃料ピットポンプ用電動機	分解点検	低	4Y		フロント運転中
	4 B 使用済燃料ピットポンプ	簡易点検(加入時他)	低	4Y		フロント運転中
4 B 使用済燃料ピットポンプ用電動機	分解点検		低	4Y		フロント運転中
	分解点検		低	4Y		フロント運転中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (燃料取扱用本設備)	4 A 使用済燃料ピット冷却器	開放点検	高	10Y		プラント運転中	
	4 B 使用済燃料ピット冷却器	開放点検	高	10Y		プラント運転中	
	4 A 使用済燃料ピットフィルタ	開放点検	低	10Y		プラント運転中	
	4 B 使用済燃料ピットフィルタ	開放点検	低	10Y		プラント運転中	
	4 A 使用済燃料ピット脱塩塔	外観点検	低	1C			
	4 B 使用済燃料ピット脱塩塔	外観点検	低	1C			
	4V-SF-011 4 A ΔM用 S F P ポンプ/出口弁	駆動部点検			10Y		
		分解点検		低	10Y		プラント運転中
		機能・性能試験			10P	GMF-85 1 次系弁検査	
		電動機分解点検			10Y		
	4V-SF-094 4号 S F P 脱塩水補給ライン逆止弁	分解点検		低	130M	GMF-87 1 次系逆止弁検査	
		簡易点検(組入時他)			1Y		
		分解点検		高	4Y		プラント運転中 (稼働診断:切替毎)
		機能・性能試験			4F	GMF-84 1 次系ポンプ機能検査	
	4 A 燃料取替用ポンプ/電動機	分解点検		高	4Y		プラント運転中 (稼働診断:切替毎)
		簡易点検(組入時他)			1Y		
		分解点検		高	4Y		プラント運転中 (稼働診断:切替毎)
		機能・性能試験			4F	GMF-84 1 次系ポンプ機能検査	
	4 B 燃料取替用ポンプ/電動機	分解点検		高	4Y		プラント運転中 (稼働診断:切替毎)
		簡易点検(組入時他)			1Y		
分解点検			高	4Y		プラント運転中 (稼働診断:切替毎)	
機能・性能試験				4F	GMF-84 1 次系ポンプ機能検査		
原子炉冷却系統施設 (一次冷却材の種類設備)	燃料取替用ピット	開放点検	高	130M			
	4 A 蒸気発生器本体	開放点検(2次側管板上水洗含む)	高	13M			
	4 B 蒸気発生器本体	開放点検(2次側管板上水洗含む)	高	13M			
	4 C 蒸気発生器本体	開放点検(2次側管板上水洗含む)	高	13M			
	4 D 蒸気発生器本体	開放点検(2次側管板上水洗含む)	高	13M			
	4 A 蒸気発生器伝熱管 3,382本	非破壊試験	高	26M	GMF-6 蒸気発生器伝熱管体種検査		
	4 B 蒸気発生器伝熱管 3,382本	非破壊試験	高	26M	GMF-6 蒸気発生器伝熱管体種検査		
	4 C 蒸気発生器伝熱管 3,382本	非破壊試験	高	26M	GMF-6 蒸気発生器伝熱管体種検査		
	4 D 蒸気発生器伝熱管 3,382本	非破壊試験	高	26M	GMF-6 蒸気発生器伝熱管体種検査		
	4 A 1次冷却材ポンプ	分解点検	高	10年間		一部プラント運転中	
	4 A 1次冷却材ポンプ/電動機	機能・性能試験		高	1C	GMF-93 1 次冷却材ポンプ機能検査	一部定検起動後
		簡易点検(組入時他)			13M		
4 B 1次冷却材ポンプ	分解点検		高	52M			
	機能・性能試験			10年間		一部プラント運転中	
4 B 1次冷却材ポンプ/電動機	簡易点検(組入時他)		高	1C	GMF-93 1 次冷却材ポンプ機能検査	一部定検起動後	
	分解点検			13M			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保 全 方 式 の 順 位	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術			
4 A 高圧注入ポンプ	簡易点検(油入替他)	簡易点検(メカニカルシール取替)	高	130					
		分解点検							
		分解点検							
	4 A 高圧注入ポンプ用電動機	分解点検	高	780		GM-17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 GM-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(稼働診断: 1ヶ月)		
		簡易点検(油入替他)	高	130					
		分解点検(メカニカルシール取替)							
	分解点検								
	4 B 高圧注入ポンプ	4 A 格納容器再循環サブ	外観点検	高	1C		GM-17 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 GM-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(稼働診断: 1ヶ月)	
			外観点検						
			外観点検						
		4 B 格納容器再循環サブ	外観点検	高	1C				
			外観点検						
外観点検									
4 A 格納容器再循環サブスタクリーン		外観点検	高	1C					
		外観点検							
		外観点検							
4 B 格納容器再循環サブスタクリーン		外観点検	高	1C					
		外観点検							
		外観点検							
4 B 高圧注入ポンプ用電動機	4 A 安全注入系ポンプRWS P側入口弁	駆動部点検	高	1300					
		分解点検							
		電動機分解点検							
	4 B 安全注入系ポンプRWS P側入口弁	駆動部点検	高	1300					
		分解点検							
		電動機分解点検							
	4 A 安全注入系ポンプRWS P側入口弁	分解点検	高	1300					
		漏えい試験							
		機能・性能試験							
	4 B 安全注入系ポンプRWS P側入口弁	分解点検	高	1300					
		漏えい試験							
		機能・性能試験							
4 A 高圧注入ポンプ	4 A 安全注入系ポンプRWS P側入口弁	分解点検	高	1300					
		漏えい試験							
		機能・性能試験							
	4 B 安全注入系ポンプRWS P側入口弁	分解点検	高	1300					
		漏えい試験							
		機能・性能試験							
	4 A 高圧注入ポンプ出口逆止弁	分解点検	高	1300					
		漏えい試験							
		機能・性能試験							
	4 B 高圧注入ポンプ出口逆止弁	分解点検	高	1300					
		漏えい試験							
		機能・性能試験							
4 A 高圧注入ポンプミニフロー逆止弁	分解点検	高	1300						
	漏えい試験								
	機能・性能試験								
4 B 高圧注入ポンプミニフロー逆止弁	分解点検	高	1300						
	漏えい試験								
	機能・性能試験								

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	重要度	保全方式又は頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備の技術
	W-S1-015A 4 A 高圧注入ポンプ第二ミニフロー弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検				
		電動機分解点検				
	W-S1-015B 4 B 高圧注入ポンプ第二ミニフロー弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検				
		電動機分解点検				
	W-S1-016A 4 A 高圧注入ポンプ第二ミニフロー弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検				
		電動機分解点検				
	W-S1-016B 4 B 高圧注入ポンプ第二ミニフロー弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検				
		電動機分解点検				
	W-S1-020A 4 A 高圧注入ポンプ取水注入ライン止弁	駆動部点検	低	130M	GMF-18 非常用貯心冷却系主要弁分解検査	
		分解点検				
		電動機分解点検				
	W-S1-020B 4 B 高圧注入ポンプ取水注入ライン止弁	駆動部点検	低	130M	GMF-18 非常用貯心冷却系主要弁分解検査	
		分解点検				
		電動機分解点検				
	W-S1-062A 4 A 高圧注入ライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検				
		機能・性能試験				
	W-S1-062B 4 B 高圧注入ライン外隔離弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検				
		機能・性能試験				
	W-S1-063A 4 A 高圧注入ライン隔離逆止弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検				
		電動機分解点検				
	W-S1-063B 4 B 高圧注入ライン隔離逆止弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検				
		電動機分解点検				
	W-S1-065A 4 A B 高圧注入ポンプ出口連絡弁A	駆動部点検	高	130M		
		分解点検				
		電動機分解点検				
	W-S1-065B 4 A B 高圧注入ポンプ出口連絡弁B	駆動部点検	高	130M		
		分解点検				
		電動機分解点検				
	W-S1-067A 4号 A Bグループ高圧隔離止弁Aライン止弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検				
		電動機分解点検				

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 重 要 度	保 全 要 素	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術	
原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備)	原子炉補機冷却水系 弁 9 個	機能・性能試験	高	1C	GMF-15 原子炉補機冷却系統機能検査		
	4 A 原子炉補機冷却水ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M			
		分解点検			52M		(稼働診断;切替毎)
	4 A 原子炉補機冷却水ポンプ用電動機	機能・性能試験	高	4C	GMF-84 1次系ポンプ機能検査		
		分解点検			13M		(稼働診断;切替毎)
	4 B 原子炉補機冷却水ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M			
		分解点検			52M		(稼働診断;切替毎)
	4 B 原子炉補機冷却水ポンプ用電動機	機能・性能試験	高	4C	GMF-84 1次系ポンプ機能検査		
		分解点検			13M		(稼働診断;切替毎)
	4 C 原子炉補機冷却水ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M			
		分解点検			52M		(稼働診断;切替毎)
	4 C 原子炉補機冷却水ポンプ用電動機	機能・性能試験	高	4C	GMF-84 1次系ポンプ機能検査		
		分解点検			13M		(稼働診断;切替毎)
	4 D 原子炉補機冷却水ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M			
		分解点検			52M		(稼働診断;切替毎)
	4 D 原子炉補機冷却水ポンプ用電動機	機能・性能試験	高	4C	GMF-84 1次系ポンプ機能検査		
		分解点検			13M		(稼働診断;切替毎)
	4 A 原子炉補機冷却水冷却器	簡易点検(駆動板取替他)	高	13M			
		開放点検			26M	GMF-92 1次系熱交換器検査	
	4 B 原子炉補機冷却水冷却器	開放点検	高	13M			
非破壊試験				52M			
原子炉補機冷却水サージタンク	簡易点検(駆動板取替他)	高	13M				
	開放点検			26M	GMF-92 1次系熱交換器検査		
4LV-1206 4号 C C Wサージタンク水位制御弁	駆動部点検	高	65M				
	分解点検			130M			
4V-CCT-101 原子炉補機冷却水サージタンク真澄部ろし弁	分解点検	低	130M		GMF-88 1次系真空破断弁検査		
	外観点検			10C			
4V-CC-010 4号 C C Wサージタンク選流し弁	分解点検	低	105M				
	漏えい試験			15C	GMF-86 1次系安全弁検査		
4V-CC-010A 4号 C C Wサージタンク止弁A	機能・性能試験	高	15C				
	分解点検			195M			
4号 C C Wサージタンク止弁B	分解点検	高	195M				
	分解点検			195M			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術	
機器又は系統名	W-CC-024 4号 C.C.Wサービスタック補給ライン連絡弁	分解点検	高	195M			
	W-CC-025 4号 C.C.WサービスタックB側補給ライン切替弁	分解点検	高	195M			
	W-CC-026 4号 C.C.WサービスタックA側補給ライン切替弁	分解点検	高	195M			
	W-CC-042 4 C C.C.W戻り母管止弁	駆動部点検		高	195M		
		分解点検		高	195M	GM1-85 1次系弁検査	
	W-CC-022A 4 A C C.C.W戻り母管連絡弁	電動機分解点検		高	130M		
		分解点検		高	195M		
	W-CC-022B 4 B C C.C.W戻り母管連絡弁	分解点検		高	195M		
		電動機分解点検		高	130M		
	W-CC-052A 4 A C.C.W P出口逆止弁	分解点検		高	195M		
		電動機分解点検		高	130M		
	W-CC-052B 4 B C.C.W P出口逆止弁	分解点検		高	195M		
電動機分解点検			高	130M			
W-CC-052D 4 D C.C.W P出口逆止弁	分解点検		高	195M			
	電動機分解点検		高	130M			
ARCY-056 4号 C.C.Wサービスタック選がしライン止弁	駆動部点検		低	195M			
	分解点検	機能・性能試験	低	15C	GM1-85 1次系弁検査		
W-CC-056A 4 A C C.C.W供給母管連絡弁	分解点検		高	195M			
	電動機分解点検		高	130M			
W-CC-056B 4 B C C.C.W供給母管連絡弁	分解点検		高	195M			
	電動機分解点検		高	130M			
W-CC-057A 4号 C.C.W P出口連絡弁A	分解点検		高	195M			
	電動機分解点検		高	130M			
W-CC-057B 4号 C.C.W P出口連絡弁B	分解点検		高	195M			
	電動機分解点検		高	130M			
W-CC-058 4 C C.C.W供給母管止弁	分解点検		高	195M			
	電動機分解点検		高	130M			
W-CC-063A 4 A C.C.W P出口弁	駆動部点検		高	195M			
	分解点検		高	195M			
W-CC-063B 4 B C.C.W P出口弁	機能・性能試験		高	15C	GM1-85 1次系弁検査		
	電動機分解点検		高	130M			
W-CC-063C 4 C C.C.W P出口弁	駆動部点検		高	195M			
	分解点検		高	195M			
W-CC-063D 4 D C.C.W P出口弁	機能・性能試験		高	15C	GM1-85 1次系弁検査		
	電動機分解点検		高	130M			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保全方式 又は 順 度	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
W*CC-063B 4 D C C W P 出口弁		駆動部点検	高	195M		
		分解点検				
		機能・性能試験				
		電動機分解点検				
W*CC-064A 4 A C C W 冷却器 C C W 入口弁		分解点検	高	195M		
		分解点検				
		分解点検				
		分解点検				
W*CC-064B 4 B C C W 冷却器 C C W 入口弁		漏えい試験	低	15C		GM1-85 1次系安全弁検査
		機能・性能試験				
		分解点検				
		分解点検				
W*CC-065 4号 C C W 戻り母管通がし弁		漏えい試験	高	15C		GM1-86 1次系安全弁検査
		機能・性能試験				
		分解点検				
		分解点検				
W*CC-083 4号 AM用蒸着マニホールド出口弁		分解点検	高	195M		
		分解点検				
		漏えい試験				
		機能・性能試験				
W*CC-082 4号 AM用蒸着マニホールド出口ライン安全弁		分解点検	高	15C		GM1-86 1次系安全弁検査
		漏えい試験				
		機能・性能試験				
		電動機分解点検				
W*CC-106A 4 A B C C W P モータ C C W 出口弁		分解点検	高	195M		
		分解点検				
		漏えい試験				
		機能・性能試験				
W*CC-107A 4 A R H R 冷却器 C C W 入口弁		分解点検	高	195M		
		分解点検				
		分解点検				
		分解点検				
W*CC-107B 4 B R H R 冷却器 C C W 入口弁		駆動部点検	高	195M		
		分解点検				
		機能・性能試験				
		電動機分解点検				
W*CC-114A 4 A R H R 冷却器 C C W 第二出口弁		駆動部点検	高	195M		
		分解点検				
		機能・性能試験				
		電動機分解点検				
W*CC-114B 4 B R H R 冷却器 C C W 第二出口弁		駆動部点検	高	195M		
		分解点検				
		機能・性能試験				
		電動機分解点検				
W*CC-118B 4 B S I P モータ C C W 出口弁		分解点検	高	195M		
		分解点検				
		機能・性能試験				
		電動機分解点検				
W*CC-119B 4 B S I P 油冷冷却器 C C W 出口弁		分解点検	高	195M		
		分解点検				
		分解点検				
		分解点検				
W*CC-120B 4 B S I P C C W 出口弁		分解点検	高	195M		
		分解点検				
		分解点検				
		分解点検				
W*CC-124A 4 A R H R P、ポンプ、モータ C C W 入口弁		分解点検	高	195M		
		分解点検				
		分解点検				
		分解点検				
W*CC-127A 4 A S I P、ポンプ、モータ C C W 出口弁		分解点検	高	195M		
		分解点検				
		分解点検				
		分解点検				
W*CC-127B 4 B S I P、ポンプ、モータ C C W 出口弁		分解点検	高	195M		
		分解点検				
		分解点検				
		分解点検				
W*CC-132 4号 AM用 4 A R H R P ポンプ、モータ C C W 第 1 入口弁		分解点検	高	195M		
		分解点検				
		分解点検				
		分解点検				
W*CC-131 4号 AM用 4 A R H R P ポンプ、モータ C C W 第 2 入口弁		分解点検	高	195M		
		分解点検				
		分解点検				
		分解点検				
W*CC-135 4号 AM用 4 A R H R P ポンプ、モータ C C W 第 1 出口弁		分解点検	高	195M		
		分解点検				
		分解点検				
		分解点検				
W*CC-136 4号 AM用 4 A R H R P ポンプ、モータ C C W 第 2 出口弁		分解点検	高	195M		
		分解点検				
		分解点検				
		分解点検				
W*CC-137 4号 AM用 4 A R H R P ポンプ、モータ C C W 出口弁		分解点検	高	195M		
		分解点検				
		分解点検				
		分解点検				

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全 重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
機器又は系統名	4W-CC-149A 4 A S F P 冷却器CCW第二出口弁	駆動部点検	高	195M	GM1-85 1次系弁検査	
		分解点検		195M		
		機能・性能試験		15C		
		電動機分解点検		130M		
	4W-CC-149B 4 B S F P 冷却器CCW第二出口弁	駆動部点検	高	195M	GM1-85 1次系弁検査	
		分解点検		195M		
		機能・性能試験		15C		
		電動機分解点検		130M		
	4W-CC-165 4号 封水冷却器CCW出口止弁A	分解点検	高	195M		
		駆動部点検		195M		
		分解点検		195M		
		機能・性能試験		15C		
4W-CC-178A 4 A C/V スプレイ冷却器CCW第二出口弁	駆動部点検	高	195M	GM1-85 1次系弁検査		
	分解点検		195M			
	機能・性能試験		15C			
	電動機分解点検		130M			
4W-CC-178B 4 B C/V スプレイ冷却器CCW第二出口弁	駆動部点検	高	195M	GM1-85 1次系弁検査		
	分解点検		195M			
	機能・性能試験		15C			
	電動機分解点検		130M			
4W-CC-189A 4 A B C/V 再循環ユニットCCW入口ライン外隔離弁	駆動部点検	高	195M	GM1-85 1次系弁検査		
	分解点検		195M			
	機能・性能試験		15C			
	電動機分解点検		130M			
4W-CC-189B 4 C D C/V 再循環ユニットCCW入口ライン外隔離弁	駆動部点検	高	195M	GM1-85 1次系弁検査		
	分解点検		195M			
	機能・性能試験		15C			
	電動機分解点検		130M			
4W-CC-195A 4 A B C/V 再循環ユニットCCW入口ライン逃がし弁	分解点検	低	130M	GM1-86 1次系安全弁検査		
	漏えい試験		10C			
	機能・性能試験		10C			
	分解点検		130M			
4W-CC-195B 4 C D C/V 再循環ユニットCCW入口ライン逃がし弁	分解点検	低	10C	GM1-86 1次系安全弁検査		
	漏えい試験		10C			
	機能・性能試験		10C			
	分解点検		130M			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保全方式 又は 順 位	検査名	備 考 ()内は適用する設備部技術
4W-CC-1983 4 A C/V再循環ユニットCCW出口ライン外漏離弁		駆動部点検	高	195M	GM-85 1次系弁検査	
		分解点検				
		電動機分解点検				
4W-CC-1988 4 B C/V再循環ユニットCCW出口ライン外漏離弁		駆動部点検	高	195M	GM-85 1次系弁検査	
		分解点検				
		電動機分解点検				
4W-CC-198C 4 C C/V再循環ユニットCCW出口ライン外漏離弁		駆動部点検	高	195M	GM-85 1次系弁検査	
		分解点検				
		電動機分解点検				
4W-CC-198D 4 D C/V再循環ユニットCCW出口ライン外漏離弁		駆動部点検	高	195M	GM-85 1次系弁検査	
		分解点検				
		電動機分解点検				
4W-CC-207A 4 A 制御用空気圧縮装置C CW出口弁		分解点検	高	195M		
		分解点検				
		電動機分解点検				
4W-CC-207B 4 B 制御用空気圧縮装置C CW出口弁		駆動部点検	高	130M		
		分解点検				
		電動機分解点検				
4W-CC-210 4号 AM用代替再循環ポンプCCW入口弁		駆動部点検	高	130M		
		分解点検				
		電動機分解点検				
4W-CC-211 4号 AM用代替再循環ポンプCCW出口弁		駆動部点検	高	130M		
		分解点検				
		電動機分解点検				
4W-CC-212 4号 AM用代替再循環ポンプCCW出口逆止弁		分解点検	高	130M		
		分解点検				
		電動機分解点検				
4W-CC-213 4号 AM用代替再循環ポンプCCW入口ライン逆止弁		分解点検	高	10C	GM-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験				
		機能・性能試験				
4W-CC-222B 4 B CHP C CW入口ライン第2切替弁B		分解点検	高	195M		
		分解点検				
		電動機分解点検				
4W-CC-223A 4 A CHP ポンプ、モータCCW出口弁		分解点検	高	195M		
		分解点検				
		電動機分解点検				
4W-CC-223C 4 C CHP ポンプ、モータCCW出口弁		分解点検	高	195M		
		分解点検				
		電動機分解点検				
4W-CC-223B 4 B CHPモータCCW入口弁		分解点検	高	195M		
		分解点検				
		電動機分解点検				
4W-CC-225B 4 B CHP C CW出口ライン第1切替弁B		駆動部点検	高	195M	GM-85 1次系弁検査	
		分解点検				
		電動機分解点検				
4W-CC-348 4号 CRDM冷却ユニットCCW出口ライン外漏離弁		駆動部点検	高	195M	GM-85 1次系弁検査	
		分解点検				
		電動機分解点検				
4W-CC-401 4号 RCP、余熱抽出冷却器CCW入口ライン止弁		駆動部点検	高	195M	GM-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検				
		電動機分解点検				

機器又は系統名	実施教(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保全方式 又は 順 度	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
W-C-403 4号 RCP、余剰抽出冷却器CCW入口ライン外漏離弁	駆動点検 分解点検 電動機分解点検	駆動点検	高	195M	GM-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		195M		
		電動機分解点検		130M		
W-C-405 4号 RCP、余剰抽出冷却器CCW入口ライン隔離防止弁	分解点検	分解点検	高	130M		
		駆動点検		130M		
		分解点検		130M		
W-C-4319 4A RCP熱源への装置CCW出口流量制御弁	駆動点検 分解点検	駆動点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		駆動点検		130M		
W-C-4320 4B RCP熱源への装置CCW出口流量制御弁	駆動点検 分解点検	駆動点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		駆動点検		130M		
W-C-4321 4C RCP熱源への装置CCW出口流量制御弁	駆動点検 分解点検	駆動点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		駆動点検		130M		
W-C-4322 4D RCP熱源への装置CCW出口流量制御弁	駆動点検 分解点検	駆動点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		駆動点検		130M		
W-C-421A 4A RCP熱源への装置CCW通がし弁	分解点検 漏えい試験 機能・性能試験	分解点検	低	10C	GM-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
W-C-421B 4B RCP熱源への装置CCW通がし弁	分解点検 漏えい試験 機能・性能試験	分解点検	低	130M		
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
W-C-421C 4C RCP熱源への装置CCW通がし弁	分解点検 漏えい試験 機能・性能試験	分解点検	低	130M		
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
W-C-421D 4D RCP熱源への装置CCW通がし弁	分解点検 漏えい試験 機能・性能試験	分解点検	低	130M		
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
W-C-425 4号 RCP、余剰抽出冷却器CCW出口ライン通がし弁	分解点検 漏えい試験 機能・性能試験	分解点検	低	130M		
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
W-C-427 4号 RCP、余剰抽出冷却器CCW出口ライン内漏離弁	駆動点検 分解点検 電動機分解点検	駆動点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		電動機分解点検		130M		
W-C-429 4号 RCP、余剰抽出冷却器CCW出口ライン外漏離弁	駆動点検 分解点検 電動機分解点検	駆動点検	高	195M		
		分解点検		195M		
		電動機分解点検		130M		
W-S-002B 4B C.H.P.スタフインパンボックス冷却水入口弁(継手側) W-S-006F 4B C.H.P.スタフインパンボックス冷却水入口弁(軸端側)	分解点検 分解点検	分解点検	高	195M		
		分解点検		195M		
		分解点検		195M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 重 要 度	保 全 要 因	検査方式 又は 順 位	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術		
原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却海水設備)	原子炉補機冷却海水系 弁 4 個	機能・性能試験	高	高	1C	GM-I15 原子炉補機冷却系統機能検査			
		簡易点検(グラウンドバンドハンギン取替他)				13M			
		分解点検						20M	
		外観点検							GM-I21 2次系ポンプ分解検査
	4 A 海水ポンプ	機能・性能試験	高	高	4C		GM-I22 2次系ポンプ機能検査	保温材施工附属配管	
		簡易点検(油入替他)					13M		
		普通点検(軸受点検)							20M
		分解点検							
	4 A 海水ポンプ用電動機	機能・性能試験	高	高	13M		GM-I21 2次系ポンプ分解検査		
		簡易点検(グラウンドバンドハンギン取替他)					20M		
		分解点検							4C
		外観点検							
	4 B 海水ポンプ	機能・性能試験	高	高	13M		GM-I21 2次系ポンプ分解検査	保温材施工附属配管	
		簡易点検(油入替他)					20M		
		普通点検(軸受点検)							52M
		分解点検							
	4 B 海水ポンプ用電動機	機能・性能試験	高	高	2C		GM-I21 2次系ポンプ分解検査	(検動診断;切替他)	
		簡易点検(油入替他)					20M		
		普通点検(軸受点検)							52M
		分解点検							
4 C 海水ポンプ	機能・性能試験	高	高	13M		GM-I21 2次系ポンプ分解検査			
	簡易点検(グラウンドバンドハンギン取替他)					20M			
	分解点検							4C	
	外観点検								GM-I22 2次系ポンプ機能検査
4 C 海水ポンプ用電動機	機能・性能試験	高	高	2C		GM-I21 2次系ポンプ分解検査	保温材施工附属配管		
	簡易点検(油入替他)					13M			
	普通点検(軸受点検)							20M	
	分解点検								52M
4 D 海水ポンプ	機能・性能試験	高	高	13M		GM-I21 2次系ポンプ分解検査	保温材施工附属配管		
	簡易点検(グラウンドバンドハンギン取替他)					20M			
	分解点検							4C	
	外観点検								GM-I22 2次系ポンプ機能検査
4 D 海水ポンプ用電動機	機能・性能試験	高	高	2C		GM-I21 2次系ポンプ分解検査	保温材施工附属配管		
	簡易点検(油入替他)					13M			
	普通点検(軸受点検)							20M	
	分解点検								52M
4 A SWP 出口逆止弁	機能・性能試験	高	高	13M		GM-I21 2次系ポンプ分解検査	(検動診断;切替他)		
	簡易点検(油入替他)					20M			
	普通点検(軸受点検)							52M	
	分解点検								13M
4 B SWP 出口逆止弁	機能・性能試験	高	高	2C		GM-I21 2次系ポンプ分解検査	保温材施工附属配管		
	簡易点検(油入替他)					13M			
	普通点検(軸受点検)							20M	
	分解点検								52M
4 C SWP 出口逆止弁	機能・性能試験	高	高	13M		GM-I21 2次系ポンプ分解検査	(検動診断;切替他)		
	簡易点検(油入替他)					20M			
	普通点検(軸受点検)							52M	
	分解点検								13M
4 D SWP 出口逆止弁	機能・性能試験	高	高	2C		GM-I21 2次系ポンプ分解検査	保温材施工附属配管		
	簡易点検(油入替他)					13M			
	普通点検(軸受点検)							20M	
	分解点検								52M

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全部数	検定方式又は頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術	
機器又は系統名	IS-SW-507A 4 A 海水ストレーナ	開放点検	高	130			
	IS-SW-507B 4 B 海水ストレーナ	開放点検	高	130			
	IS-SW-507C 4 C 海水ストレーナ	開放点検	高	130			
	IS-SW-507D 4 D 海水ストレーナ	開放点検	高	130			
	IV-SW-509A 4 A S W P 出口ストレーナ出口弁	分解点検	高	650			
	IV-SW-509B 4 B S W P 出口ストレーナ出口弁	分解点検	高	650			
	IV-SW-509C 4 C S W P 出口ストレーナ出口弁	分解点検	高	650			
	IV-SW-509D 4 D S W P 出口ストレーナ出口弁	分解点検	高	650			
	IV-SW-509A 4号 海水供給母管連絡弁A	駆動部点検			1300		
		分解点検		高	650	GMF-123 2次系弁検査	
		電動機分解点検			1300		
		駆動部点検			1300		
	IV-SW-509B 4号 海水供給母管連絡弁B	分解点検		高	650	GMF-123 2次系弁検査	
		電動機分解点検			1300		
		駆動部点検			1300		
		分解点検		高	1300	GMF-85 1次系弁検査	
IV-SW-570A 4 A C C W 冷却器海水第二出口止弁	電動機分解点検			1300			
	駆動部点検			1300			
	分解点検		高	1300	GMF-05 1次系弁検査		
	電動機分解点検			1300			
海水配管(屋外)	開放点検		高	300			
	開放点検		高	650			
格子容器サンプ水位上昇率測定装置、格子容器内漏れ検出装置及び格子容器内漏れ検出装置用シリンダ配管室漏えい検出装置	機能・性能試験		低	1C	GMF-79 格子容器サンプ水位上昇率測定装置及び格子容器内漏れ検出装置漏れ検出機能検査		
	機能・性能試験		高	1C	GMF-30 制御機駆動系機能検査 GMF-107 制御機クランク動作検査		
計測制御系配管設備 (制御機)	1. 停止グループ制御機クランク 24本 2. 制御グループ制御機クランク 29本		高	1C	GMF-108 制御機クランク検査	※: 中心設計による	
	1. 制御機クランク 2. パーナーバルボイズン 3. 2次中性子源 4. フラッキンクデハイス	外観点検	高	1C			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保 全 方 式 順 位	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	4 A ほう機ポンプ蒸結気加熱コイル	機能・性能試験	高	1C		
	4 B ほう機ポンプ蒸結気加熱コイル	機能・性能試験	高	1C		
	4号 ほう機ポンプ蒸結気系防火兼流量設定タンク	機能点検	高	2Y		プラント運転中
	4号 ほう機ポンプ蒸結気系防火兼流量設定タンク	機能点検	高	2Y		プラント運転中
	4 A ほう機ポンプ蒸結気系防火兼流量設定タンク	機能点検	高	130M		
	4 B ほう機ポンプ蒸結気系防火兼流量設定タンク	機能点検	高	130M		
	4 A ディーゼル発電機蒸結気ファン用電動機	分解点検	高	52H		
	4 B ディーゼル発電機蒸結気ファン用電動機	分解点検	高	52H		
	4 B ディーゼル発電機蒸結気ファン用電動機	分解点検	高	52H		
	4 C ディーゼル発電機蒸結気ファン	分解点検	高	52H		
	4 C ディーゼル発電機蒸結気ファン用電動機	分解点検	高	52H		
	4 D ディーゼル発電機蒸結気ファン	分解点検	高	52H		
	4 D ディーゼル発電機蒸結気ファン用電動機	分解点検	高	52H		
	4 A D/G蒸結気防火兼流量設定タンク	機能点検	高	2Y		プラント運転中
	4 B D/G蒸結気防火兼流量設定タンク	機能点検	高	2Y		プラント運転中
	4 C D/G蒸結気防火兼流量設定タンク	機能点検	高	2Y		プラント運転中
	4 D D/G蒸結気防火兼流量設定タンク	機能点検	高	2Y		プラント運転中
	4 A D/G蒸排気タンク	駆動部点検	高	65H		
	4 B D/G蒸排気タンク	駆動部点検	高	65H		
	4 A D/G蒸結気ファン入口逆止タンク	機能点検	高	10Y		プラント運転中
	4 B D/G蒸結気ファン入口逆止タンク	機能点検	高	10Y		プラント運転中
	4 C D/G蒸結気ファン入口逆止タンク	機能点検	高	10Y		プラント運転中
	4 D D/G蒸結気ファン入口逆止タンク	機能点検	高	10Y		プラント運転中
	雑固体溶融処理建屋空調装置	機能・性能試験	低	1C	GM-78 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
	固体化冷却蒸空調装置	機能・性能試験	低	1C	GM-78 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
	A 雑固体溶融処理建屋蒸結気ファン	分解点検	低	9Y		プラント運転中
	A 雑固体溶融処理建屋蒸結気ファン用電動機	分解点検	低	6Y		プラント運転中
	B 雑固体溶融処理建屋蒸結気ファン	分解点検	低	9Y		プラント運転中
	B 雑固体溶融処理建屋蒸結気ファン用電動機	分解点検	低	6Y		プラント運転中
	A 雑固体溶融処理建屋蒸結気ファン	簡易点検(組入替他)	低	2Y		プラント運転中
	A 雑固体溶融処理建屋蒸結気ファン	分解点検	低	9Y		プラント運転中
	A 雑固体溶融処理建屋蒸結気ファン用電動機	分解点検	低	6Y		プラント運転中
	B 雑固体溶融処理建屋蒸結気ファン	簡易点検(組入替他)	低	2Y		プラント運転中
	B 雑固体溶融処理建屋蒸結気ファン	分解点検	低	9Y		プラント運転中
	B 雑固体溶融処理建屋蒸結気ファン用電動機	分解点検	低	6Y		プラント運転中

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	低 重 要 度	検査方式 又は 順 位	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術	
機器又は系統名	C 雑固体溶融処理建屋排気ファン	簡易点検(油入幹他)	低	2Y		プラント運転中	
		分解点検					
	C 雑固体溶融処理建屋排気ファン用電動機	分解点検	低	6Y		プラント運転中	
		開放点検	低	9Y		プラント運転中	
	雑固体溶融処理建屋排気ファンユニット(Aバンク、Bバンク)	開放点検	低	9Y		プラント運転中	
		開放点検	低	9Y		プラント運転中	
	D#E-200	駆動部点検	低	9Y		プラント運転中	
		駆動部点検	低	9Y		プラント運転中	
	FD1-10502	駆動部点検	低	9Y		プラント運転中	
		簡易点検(油入幹他)	低	2Y		プラント運転中	
	同化体冷房排気ファン	分解点検	低	3Y		プラント運転中	
		分解点検	低	6Y		プラント運転中	
	同化体冷房排気ファン用電動機	分解点検	低	6Y		プラント運転中	
		開放点検	低	3Y		プラント運転中	
	同化体冷房排気ファン	分解点検	低	130M		GM1-88 1次系異常破壊検査	
		分解点検	高	195M			
	4 A 空調用冷凍機	簡易点検(油入幹他)	高	13M			
		分解点検					
	4 A 空調用冷凍機用電動機	非破壊試験	高	30M	30M		
		分解点検					
4 B 空調用冷凍機	簡易点検(油入幹他)	高	13M				
	分解点検						
4 B 空調用冷凍機用電動機	非破壊試験	高	30M	30M			
	分解点検						
4 C 空調用冷凍機	簡易点検(油入幹他)	高	13M				
	分解点検						
4 C 空調用冷凍機用電動機	非破壊試験	高	30M	30M			
	分解点検						
4 D 空調用冷凍機	簡易点検(油入幹他)	高	13M				
	分解点検						
4 D 空調用冷凍機用電動機	非破壊試験	高	30M	30M			
	分解点検						
4 A 空調用冷水ポンプ	簡易点検(油入幹他)	高	13M			(振動診断:切替毎)	
	分解点検						
4 B 空調用冷水ポンプ	簡易点検(油入幹他)	高	13M			(振動診断:切替毎)	
	分解点検						
4 B 空調用冷水ポンプ用電動機	非破壊試験	高	30M	30M		(振動診断:切替毎)	
	分解点検						

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 重 級 度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	W-1C-009 4号 炉内検査装置ガスハルライン外周継弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検				
	W-1C-010 4号 炉内検査装置ガスハルライン内周継弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検				
	W-1S-502 4号 本館スライン外周継弁	駆動部点検	高	130M	GM1-85 1次系弁検査	
		分解点検				
	W-1S-536 4号 AM用本消火ライン第一周継弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検				
	W-1S-537 4号 AM用本消火ライン第二周継弁	電動機分解点検	高	130M		
		駆動部点検				
	4 A サンプル冷却器	電動機分解点検	高	1C		
		外観点検				
	4 B サンプル冷却器	外観点検	高	1C		
		駆動部点検				
	W-SS-503 4号 加圧器気相部サンプルライン内周継弁	駆動部点検	高	52M		
		分解点検				
	W-SS-523 4号 加圧器液相部サンプルライン内周継弁	駆動部点検	高	52M		
		分解点検				
	W-SS-524 4号 加圧器、Aルーブサンプルライン外周継弁	駆動部点検	高	130M	GM1-85 1次系弁検査	
		分解点検				
	W-SS-543A 4号 Aルーブサンプルライン内周継弁	駆動部点検	高	130M	GM1-85 1次系弁検査	
		分解点検				
	W-SS-543B 4号 Bルーブサンプルライン内周継弁	電動機分解点検	高	130M		
		駆動部点検				
	W-SS-544 4号 Bルーブサンプルライン外周継弁	駆動部点検	高	130M	GM1-85 1次系弁検査	
		分解点検				
	W-SS-548A 4 A 糸線除去ポンプ出口サンプルライン元弁	電動機分解点検	高	130M		
		駆動部点検				
	W-SS-548B 4 B 糸線除去ポンプ出口サンプルライン元弁	駆動部点検	高	130M	GM1-85 1次系弁検査	
		分解点検				
	W-SS-563A 4 A 蓄圧タンクサンプルライン内周継弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検				
	W-SS-563B 4 B 蓄圧タンクサンプルライン内周継弁	駆動部点検	高	130M	GM1-85 1次系弁検査	
		分解点検				

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 ()内は適用する設備修理工術	
機器又は系統名 (蒸気タービンに附属する管等)	AV-PW-574B 4 B 補助給水循環弁	簡易点検(グラウンドハンギン取替)	高	65M			
		駆動部点検		130M			
		分解点検		130M			
		機能・性能試験		10C	GM1-85 1次系弁検査		
	AV-PW-574C 4 C 補助給水循環弁	電動機分解点検	130M				
		簡易点検(グラウンドハンギン取替)	65M				
		駆動部点検	130M				
		分解点検	130M				
	AV-PW-580 4号 凝水ヒートM/D AFWP 阻止弁	機能・性能試験	10C	高	10C	GM1-85 1次系弁検査	
		電動機分解点検	130M		130M		
		駆動部点検	130M		130M		
		分解点検	130M		130M		
AV-PW-581 4号 凝水ヒートT/D AFWP 阻止弁	機能・性能試験	10C	高	10C	GM1-85 1次系弁検査		
	電動機分解点検	130M		130M			
	駆動部点検	130M		130M			
	分解点検	130M		130M			
AV-PW-587 4号 T/D AFWP 2次系統水タンク側入口弁	機能・性能試験	10C	高	10C	GM1-85 1次系弁検査		
	電動機分解点検	130M		130M			
	駆動部点検	130M		130M			
	分解点検	130M		130M			
AV-PW-589 4号 T/D AFWP 2次系統水タンク側逆止弁	機能・性能試験	10C	高	10C	GM1-85 1次系弁検査		
	電動機分解点検	130M		130M			
	駆動部点検	130M		130M			
	分解点検	130M		130M			
蒸気タービン (蒸気タービンに附属する管等)	スチーム・ム・コンバータ	開放点検	低	13M			
		開放点検	13M				
	主蒸気管	開放点検(目視)	低	13M	GM1-129 蒸気タービン開放検査		開放点検(非破壊)については、補修を行う 場合に定期作業者検査として実施
		開放点検(非破壊)	低	39M			
	低温再熱蒸気管(A側分離器左側)	開放点検(目視)	低	13M	GM1-129 蒸気タービン開放検査		開放点検(非破壊)については、補修を行う 場合に定期作業者検査として実施
		開放点検(非破壊)	低	78M			
	低温再熱蒸気管(A側分離器右側)	開放点検(目視)	低	13M	GM1-129 蒸気タービン開放検査		開放点検(非破壊)については、補修を行う 場合に定期作業者検査として実施
		開放点検(非破壊)	低	78M			
	低温再熱蒸気管(A側分離器上側)	開放点検(目視)	低	13M	GM1-129 蒸気タービン開放検査		開放点検(非破壊)については、補修を行う 場合に定期作業者検査として実施
		開放点検(非破壊)	低	78M			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保全方式 又は 順 度	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
機器又は系統名 その他発電用原子炉の附属施設 (炉内電源設備) (発電機、変圧器 他)	4W-KC-600A 4 A 空気圧縮機 2 段安全弁	分解点検	低	130M	GM-86 1 次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C		
		漏えい試験		10C		
		外観点検		10C		
	4W-KC-600B 4 B 空気圧縮機 2 段安全弁	分解点検	低	130M	GM-86 1 次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C		
		漏えい試験		10C		
		外観点検		10C		
	4W-KC-600A 4 A 空気圧縮機 3 段安全弁	分解点検	低	130M	GM-86 1 次系安全弁検査	
		機能・性能試験		10C		
		漏えい試験		10C		
		外観点検		10C		
4W-KC-620B 4 B 空気圧縮機 3 段安全弁	分解点検	低	130M	GM-86 1 次系安全弁検査		
	機能・性能試験		10C			
	漏えい試験		10C			
	外観点検		10C			
4W-DC-015A 4 A 温水循環ポンプ出口逆止弁	取替	高	65M			
	取替		65M			
	普通点検(軸受点検)		26M			
	分解点検		78M			
発電機	機能・性能試験 (組立状況)	低	1C	GM-F129 蒸気タービン開放検査		
	普通点検(軸受点検他)		20M			
	分解点検		78M			
	特性試験		20M			
励磁機	普通点検(軸受点検他)	低	13M			
	分解点検		78M			
	特性試験		20M			
	普通点検(特性試験他)		13M			
発電機保護装置(継電器)	普通点検(軸受点検他)	高	195M			
	分解点検		13M			
	普通点検(特性試験他)		195M			
	分解点検		195M			
変圧器	普通点検(軸受点検他)	高	26M			
	分解点検		13M			
	普通点検(特性試験他)		156M			
	分解点検		13M			
所内変圧器	普通点検(軸受点検他)	低	13M			
	分解点検		156M			
	普通点検(特性試験他)		13M			
	分解点検		156M			
主変圧器・所内変圧器保護装置(継電器)	普通点検(軸受点検他)	高	13M			
	分解点検		156M			
	普通点検(特性試験他)		13M			
	分解点検		156M			
2 Lユニット	普通点検(軸受点検他)	低	13M			
	分解点検		156M			
	普通点検(特性試験他)		13M			
	分解点検		156M			
4 MT r ユニット	普通点検(軸受点検他)	高	13M			
	分解点検		156M			
	普通点検(特性試験他)		13M			
	分解点検		156M			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
その電変電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備) (その他の電源装置)	BUS T I Eユニット	普通点検(特性試験他) 分解点検	低	13M 150M		
	4 C 充電器	機能・性能試験	高	1C		
	4 C トロップ/盤	機能・性能試験	高	1C		
	4 C 蓄電池	機能・性能試験	高	1C		
	母線保護装置(继电器)	特性試験	低	78M		
	送電線保護装置(继电器)	特性試験	低	78M		
	電流計(500V 互換特種用比電線)(3, 4号機共用)	特性試験	低	26M		
	遮断器 4-4 A E G	機能・性能試験 内部点検	高	2C 130M		
	遮断器 4-4 B E G	機能・性能試験 内部点検	高	2C 130M		
	6. 6 k V 4-4 C母線	機能・性能試験	高	4C		
	6. 6 k V 4-4 C母線P T-1	機能・性能試験	高	4C		
	6. 6 k V 4-4 C母線P T-2	機能・性能試験	高	4C		
	6. 6 k V 4-4 D母線	機能・性能試験	高	4C		
	6. 6 k V 4-4 D母線P T-1	機能・性能試験	高	4C		
	6. 6 k V 4-4 D母線P T-2	機能・性能試験	高	4C		
	受変電所器 4-4 E C	機能・性能試験 内部点検	高	2C 130M		
	受変電所器 4-4 E D	機能・性能試験 内部点検	高	2C 130M		
	受変電所器 4-4 H C	機能・性能試験 内部点検	高	2C 130M		
	受変電所器 4-4 H D	機能・性能試験 内部点検	高	2C 130M		
	遮断器 3-4 C 1 H	機能・性能試験 内部点検	高	2C 130M		
遮断器 3-4 C 2 H	機能・性能試験 内部点検	高	2C 130M			
遮断器 3-4 D 1 H	機能・性能試験 内部点検	高	2C 130M			
遮断器 3-4 D 2 H	機能・性能試験 内部点検	高	2C 130M			

2. 点検計画 重大事故等対処設備

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式又は頻 度	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術					
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (使用済燃料貯蔵設備)	使用済燃料ピット水位(SA) 1台	特性試験	高	I3M	OM-55 フランスト状態監視設備機能検査						
	使用済燃料ピット水位 (広域) 2台	特性試験	高	I3M	OM-73 計測制御系監視機能検査						
	使用済燃料ピット温度 (SA) 1台	特性試験	高	I3M	OM-55 フランスト状態監視設備機能検査						
	使用済燃料ピット状態監視カメラ 1台	特性試験	低	IY		定検停止中又ははプラント運転中					
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (使用済燃料貯蔵設備物品净化設備)	使用済燃料ピットスプレイレイン集水分岐管送水用2.0mホース 2本 (予備含む)	外観点検	高	IF		定検停止中又ははプラント運転中					
	使用済燃料ピットスプレイレイン集水分岐管送水用3.0mホース 2本 (予備含む)	外観点検	高	IF		定検停止中又ははプラント運転中					
	使用済燃料ピットスプレイレイン集水分岐管送水用4.0mホース 2本 (予備含む)	外観点検	高	IF		定検停止中又ははプラント運転中					
	使用済燃料ピットスプレイレイン集水分岐管送水用1.0mホース 3本 (予備含む)	外観点検	高	IF		定検停止中又ははプラント運転中					
原子炉冷却系統施設 (非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備)	1. 高圧注入系 : 2台 ・ 高圧注入ポンプ : 14個 ・ モード切替弁 : 2台	機械・性能試験	高	IC	OM-205 その他原子炉注水系統機能検査						
	2. 低圧注入系 : 2台 ・ 低圧注入ポンプ : 8個 ・ モード切替弁 : 2台										
	3. 原子炉格納容器スプレイレイン系 : 4個 ・ B格納容器スプレイレインポンプ : 4個 ・ モード切替弁 : 4個										
	4. 充てん注入系 : 3台 ・ 充てんポンプ : 4個 ・ 高圧注入ポンプ : 4個										
	5. 高圧タンク : 4基 ・ 高圧タンク出口弁 : 4個										
	6. 常設電動注入ポンプ : 1台										
	原子炉補機冷却水サージタンク用蒸着ポンプ 7本 (予備含む)						外観点検	高	IF		定検停止中又ははプラント運転中
	原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン蒸着供給用 3.8mフレキシブルホース 2本 (予備含む)						外観点検	高	IF		定検停止中又ははプラント運転中
	原子炉補機海水冷却ライン排水用 2mフレキシブルホース (ガス駆動手) 2本 (予備含む)						外観点検	高	IF		定検停止中又ははプラント運転中
	原子炉補機海水冷却ライン排水用 4mフレキシブルホース (ガス駆動手) 2本 (予備含む)						外観点検	高	IF		定検停止中又ははプラント運転中
	4A C/CW冷却器海水供給ライン第二止弁						分種点検	高	I05M		
	4B S I Pポンプ・モード冷却水戻りライン海水排水ライン止弁						分種点検	高	I05M		
	4B 制御用空気圧縮設備冷却水戻りライン海水排水止弁						分種点検	高	I05M		
	4A C/V内循環ユニット冷却水戻りライン海水排水第一止弁						分種点検	高	I05M		
4B C/V内循環ユニット冷却水戻りライン海水排水第一止弁	分種点検	高	I05M								
4B CHP自己冷却水供給ライン第二止弁	分種点検	高	I05M								
4B CHP自己冷却水戻りライン第一止弁	分種点検	高	I05M								

添付書類六 前回の定期事業者検査申請内容（添付書類二及び三）についての評価結果

玄海原子力発電所 第4号機

保全の有効性評価の結果に関する説明書

これまでの保全活動で得られた情報をもとに継続的な改善につなげるよう、保全の有効性評価を実施した。

前保全サイクルにおける保全の有効性評価の結果については添付－1のとおり。

また、これら評価の結果等を踏まえ、保全内容の変更を行ったものは添付－2のとおり。

添付－1 保全の有効性評価結果

添付－2 保全の有効性評価の結果等より保全へ反映した事項

参 考 保全活動管理指標の実績

保全の有効性評価結果

保安規定、保修基準、土木建築基準に基づき、有効性評価を実施。

定期的な評価のインプット			総合評価
分類 1	分類 2	対象期間	
a. 保全活動管理指標の監視結果	①プラントレベル 保全活動管理指標が目標値を超えたもの	2020. 8. 1 ～ 2021. 12. 31	プラントレベルの保全活動管理指標は全て目標値以内であることから、保全は有効に機能していると評価した。
	②系統レベル 保全活動管理指標が目標値を超えたもの	MPFF: 2020. 8. 1 ～ 2021. 12. 31 UA: 2019. 5. 1 ～ 2021. 12. 31	制御用空気系統において UA 時間が目標値を超過したが、運転機切替時の自動停止に伴い、一時的に隔離し点検したことによるものであり、制御用空気系統の要求機能は確保されており、目標値に影響を及ぼす事象ではないことから、目標値の見直しは不要と評価した。また、機器の損傷等は認められず、復旧後、運転の健全性を確認したことから、保全計画の見直しは不要と評価した。その他の系統レベルの指標は目標値以内であり、保全は有効に機能していると評価した。
b. 保全データの推移及び経年劣化の長期的な傾向監視の実績	③点検状況記録シート、工事記録（特記事項・気付き事項）、点検・検査報告書、回転機器振動診断（定期診断）工事記録	2020. 8. 1 ～ 2021. 12. 31	点検状況記録シート、工事記録（特記事項、気付き事項）、点検・検査報告書、回転機器振動診断（定期診断）工事記録の内容を確認し評価を行った結果、保全へ反映すべき事項はなく、保全は有効に機能していると評価した。
c. トラブルなど運転経験	④当該プラントのトラブル及び不適合	2020. 8. 1 ～ 2021. 12. 31	不適合報告書、是正処置報告書の内容を確認し評価を行った結果、保全へ反映すべき事項はなかった。
d. 高経年化技術評価及び安全性向上評価結果	⑤自社他プラントの高経年化技術評価及び安全性向上評価結果	2020. 8. 1 ～ 2021. 12. 31	玄海 3 号機及び玄海 4 号機の安全性向上評価の内容を確認し評価を行った結果、保全へ反映すべき事項はなかった。
e. 他プラントのトラブル及び経年劣化に係るデータ	⑥社内他プラントの不適合情報	2020. 8. 1 ～ 2021. 12. 31	未然防止処置対策実施確認票の内容を確認し評価を行った結果、保全へ反映すべき事項はなかった。
	⑦国内情報（NUCIA 情報）		
	⑧海外情報		通達等の文書の内容を確認し評価を行った結果、特定重大事故等対処施設設置工事等を設計及び工事の計画へ反映する。また、使用済燃料運搬用容器を点検計画に反映する。
f. リスク情報、科学的知見	⑨通達等の文書	2020. 8. 1 ～ 2021. 12. 31	玄海 3/4 号機の確率論的リスク評価（PRA）の実施に伴うリスク重要度の変更情報を確認し評価を行った結果、保全活動管理指標、保全重要度等の変更を行う。
	⑩リスク情報		
g. その他	⑪電力共同研究・技術開発	2020. 8. 1 ～ 2021. 12. 31	保全へ反映すべき情報はなかった。
	⑫以上に該当しない情報		

保全の有効性評価の結果等より保全へ反映した事項

1. 保全活動管理指標への反映

No.	系統・機器名	保全活動管理指標への反映			評価		備考 (関連する定期事業者検査等)
		項目	変更前	変更後	インプット 情報の項目※	評価内容	
1	化学体積制御系統 原子炉冷却材を内蔵する機能 (ただし、原子炉冷却材圧力バウン ダリから除外されている計装等の小 口径のもの及びバウンダリに直接接 続されていないものは除く)	予防可能故障 回数目標値	2回	1回	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によ って、リスク重要度の評価を行っ た。	リスク重要度が「低」から「高」になっ たことから、予防 可能故障回数目標値を2回から1回へ変更した。
2	余熱除去系統 原子炉冷却材を内蔵する機能 (ただし、原子炉冷却材圧力バウン ダリから除外されている計装等の小 口径のもの及びバウンダリに直接接 続されていないものは除く)	予防可能故障 回数目標値	2回	1回	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によ って、リスク重要度の評価を行っ た。	リスク重要度が「低」から「高」になっ たことから、予防 可能故障回数目標値を2回から1回へ変更した。
3	原子炉補機冷却水系統 事故時のプラント状態の把握機能 (直接関連系)	予防可能故障 回数目標値	2回	1回	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によ って、リスク重要度の評価を行っ た。	リスク重要度が「低」から「高」になっ たことから、予防 可能故障回数目標値を2回から1回へ変更した。
4	原子炉補機冷却水系統 事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能)	予防可能故障 回数目標値	2回	1回	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によ って、リスク重要度の評価を行っ た。	リスク重要度が「低」から「高」になっ たことから、予防 可能故障回数目標値を2回から1回へ変更した。
5	燃料取替用水系統 事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能)	予防可能故障 回数目標値	1回	2回	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によ って、リスク重要度の評価を行っ た。	リスク重要度が「高」から「低」になっ たことから、予防 可能故障回数目標値を1回から2回へ変更した。
6	給水系統 (H P Htr ~ S G) 異常状態の緩和機能	予防可能故障 回数目標値	2回	1回	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によ って、リスク重要度の評価を行っ た。	リスク重要度が「低」から「高」になっ たことから、予防 可能故障回数目標値を2回から1回へ変更した。
7	主単線結線図 (M / C、P / C) 安全上特に重要な関連機能 (情報提供系)	予防可能故障 回数目標値	2回	1回	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によ って、リスク重要度の評価を行っ た。	リスク重要度が「低」から「高」になっ たことから、予防 可能故障回数目標値を2回から1回へ変更した。
8	直流電源系統 安全上特に重要な関連機能 (情報提供系)	予防可能故障 回数目標値	2回	1回	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によ って、リスク重要度の評価を行っ た。	リスク重要度が「低」から「高」になっ たことから、予防 可能故障回数目標値を2回から1回へ変更した。
9	原子炉保護制御装置 事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能)	予防可能故障 回数目標値	2回	1回	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によ って、リスク重要度の評価を行っ た。	リスク重要度が「低」から「高」になっ たことから、予防 可能故障回数目標値を2回から1回へ変更した。

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			インプット 情報の項目	事象の概要	評価		備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は 点検内容の変更					評価内容	4つの評価 項目 ※	
		項目	変更前	変更後					
1	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵 施設 (使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設 備) 4A、4B 使用済燃料ピット冷却 器	保全重要度	低	高	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によ って、リスク重要度の評価を行っ た。	当該機器のリスク重要度が「高」となっ たことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
2	原子炉冷却系統施設 (非常用炉心冷却設備その他原 子炉注水設備) 4V-SI-004A、004B 4A、4B 安全注入系ボンプ入口逃が し弁	保全重要度	低	高	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によ って、リスク重要度の評価を行っ た。	当該機器のリスク重要度が「高」となっ たことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	GN4-S6 1次系安全弁検査
3	原子炉冷却系統施設 (非常用炉心冷却設備その他原 子炉注水設備) 4V-SI-064A、064B 4A、4B 高圧注入ライン隔離逆止弁	保全重要度 点検及び試 験の項目 頻度	— —	高 分解点検 195M	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によ って、リスク重要度の評価を行っ た。	当該機器のリスク重要度が「高」となっ たことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
4	原子炉冷却系統施設 (非常用炉心冷却設備その他原 子炉注水設備) 4V-SI-095A、095B 4A、4B 安全注入系ボンプ C/V再循 環ボンプ側入口逆止弁	保全重要度 点検及び試 験の項目 頻度	— —	高 分解点検 195M	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によ って、リスク重要度の評価を行っ た。	当該機器のリスク重要度が「高」となっ たことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
5	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4LCV-1200 4号CCWポンプタンク水位制御弁	保全重要度 点検及び試 験の項目 頻度	— —	高 駆動部点検 分解点検 130M	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によ って、リスク重要度の評価を行っ た。	当該機器のリスク重要度が「高」となっ たことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
6	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-014A、014B 4号CCWポンプタンク逆止弁A、B	保全重要度 点検及び試 験の項目 頻度	— —	高 分解点検 195M	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によ って、リスク重要度の評価を行っ た。	当該機器のリスク重要度が「高」となっ たことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
7	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-024 4号CCWポンプ補給ライン逆止弁	保全重要度 点検及び試 験の項目 頻度	— —	高 分解点検 195M	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によ って、リスク重要度の評価を行っ た。	当該機器のリスク重要度が「高」となっ たことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更			インプット 情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの評価 項目 ※	
		項目	変更前	変更後					
8	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-025 4号CCWポンプA側補給7インチ弁弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
9	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-026 4号CCWポンプA側補給7インチ弁弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
10	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-03A,B 4A,C,4B CCW戻り母管連絡弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
11	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-056A,B 4A,C,4B CCW供給母管連絡弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
12	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-057A,B 4号CCW出口連絡弁A、B	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
13	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-064A,B 4A,4B CCW冷却器CCW入口弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
14	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-106A 4A,B CCWP→CCW出口止弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
15	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-107A,B 4A,4B RHR冷却器CCW入口弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
16	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-118B 4B SIP→CCW出口弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
17	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-119B 4B SIP油冷却器CCW出口弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
18	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-120B 4B SIP CCW出口弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
19	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-124A 4A RHRP、ポンプ、モータCCW入口弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
20	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-127A,B 4A,4B SIP、ポンプ、モータCCW出口弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
21	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-133 4号AM用4A RHRPポンプ、モータCCW第1入口弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
22	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-134 4号AM用4A RHRPポンプ、モータCCW第2入口弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
23	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-135 4号AM用4A RHRPポンプ、モータCCW第1出口弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
24	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-136 4号AM用4A RHRPポンプ、モータCCW第2出口弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更			インプット 情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの評価 項目 ※	
		項目	変更前	変更後					
25	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-137 4号AM用4A RHRポンプ、モータCCW出口弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
26	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-165 4号封水冷却器CCW出口止弁A	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
27	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-207A,B 4A,4B 制御用空気圧縮装置CCW出口弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
28	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-222B 4B CHIP CCW入口ライン第2切替弁B	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
29	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-223A,C 4A,4C CHIP ポンプ、モータCCW出口弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
30	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-229B 4B CHIP→CCW入口弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
31	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-235B 4B CHIP CCW出口ライン第1切替弁B	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
32	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-241 4A C C W冷却器海水供給ライン第二止弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
33	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-246 4B S I P ポンプ・モータ冷却水戻りライン海水排水ライン止弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
34	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-247 4B 制御用空気圧縮装置冷却水戻りライン海水排水止弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
35	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-248A,B 4A,4B C/V再循環ユニット冷却水戻りライン海水排水第一止弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
36	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-251 4B CHIP自己冷却水供給ライン第二止弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
37	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-CC-252 4B CHIP自己冷却水戻りライン第一止弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
38	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4FCV-1319 4A RCP熱遮へい装置CCW出口流量制御弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	駆動部点検					
		頻度	—	130M					
39	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4FCV-1320 4B RCP熱遮へい装置CCW出口流量制御弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	駆動部点検					
		頻度	—	130M					
40	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4FCV-1321 4C RCP熱遮へい装置CCW出口流量制御弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	駆動部点検					
		頻度	—	130M					

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価			備考 (関連する定期事業者検査等)	
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更			インプット 情報の項目	事象の概要	評価内容		4つの評価 項目 ※
		項目	変更前	変更後					
41	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4FCV-1322 4D RCP熱遮へい装置CCW出口流量 制御弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価 を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」とな ったことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	駆動部点検 分解点検					
		頻度	—	130M					
42	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-PS-002B 4B CHIPスクリーン冷却水入口弁 (継手側)	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価 を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」とな ったことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
43	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 4V-PS-006B 4B CHIPスクリーン冷却水入口弁 (軸端側)	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価 を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」とな ったことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
44	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却海水設備) 4V-SW-502A,B,C,D 4A,4B,4C,4D SWP出口逆止弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価 を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」とな ったことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	65M					
45	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却海水設備) 4V-SW-509A,B,C,D 4A,4B,4C,4D SWP出口ストレーン出口 弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価 を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」とな ったことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	65M					
46	放射線管理施設 (換気設備) 4V-CII-262 4号空調用冷水膨張弁純水補給 止弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価 を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」とな ったことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
47	原子炉格納施設 (圧力低減設備その他の安全設 備) 4Aフンダ冷却器	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価 を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」とな ったことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	外観点検					
		頻度	—	1C					
48	蒸気タービン (蒸気タービンに附属する給水 ポンプ及び貯水設備並びに給水 処理設備) 4V-FW-587 4号T/D AFWP2次系純水冷却側入口 弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価 を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」とな ったことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	駆動部点検 分解点検 電動機分解 点検					
		頻度	—	130M					
49	蒸気タービン (蒸気タービンに附属する給水 ポンプ及び貯水設備並びに給水 処理設備) 4V-FW-589 4号T/D AFWP2次系純水冷却側逆止 弁	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価 を行った。	今回のリスク重要度評価により当該機器 のリスク重要度が「高」となったことを 考慮し、保全重要度を「低」から「高」 に変更した。また、見直しに伴い、左記機器について 点検計画に反映した。	—	
		点検及び試験の項目	—	分解点検					
		頻度	—	195M					
50	その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) (発電機、変圧器 他) 主変圧器	保全重要度	低	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価 を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」とな ったことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
51	その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) (発電機、変圧器 他) 所内変圧器	保全重要度	低	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価 を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」とな ったことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
52	その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) (発電機、変圧器 他) 4MTユニット	保全重要度	低	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価 を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」とな ったことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
53	その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) (発電機、変圧器 他) 4C充電器盤	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価 を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」とな ったことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	機能・性能 試験					
		頻度	—	1C					
54	その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) (発電機、変圧器 他) 4Cドロップ盤	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価 を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」とな ったことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	機能・性能 試験					
		頻度	—	1C					
55	その他発電用原子炉の附属施設 (常用電源設備) (発電機、変圧器 他) 4C蓄電池	保全重要度	—	高	「リスク情報」	確率論的リスク評価 (PRA) によって、リスク重要度の評価 を行った。	当該機器のリスク重要度が「高」とな ったことを考慮し、保全重要度を「低」か ら「高」に変更した。	—	
		点検及び試験の項目	—	機能・性能 試験					
		頻度	—	1C					
56	放射線管理施設 固体冷却室排気ファン用電動 機	分解点検 頻度	4Y	6Y	「その他」	保全計画の最適化として点検頻 度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及 び過去にトラブルがなかったこと等を綜 合的に評価し、分解点検の頻度を「4Y」 から「6Y」に変更する。	①	
57	放射線管理施設 (換気設備) A、B 雑固体溶融処理建屋 給気ファン用電動機	分解点検 頻度	4Y	6Y	「その他」	保全計画の最適化として点検頻 度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及 び過去にトラブルがなかったこと等を綜 合的に評価し、分解点検の頻度を「4Y」 から「6Y」に変更する。	①	

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更			インプット 情報の項目	事象の概要	評価内容	4つの評価 項目 ※	
		項目	変更前	変更後					
58	放射線管理施設 (換気設備) A、B、C 雑固体溶解処理建屋 排気ファン用電動機	分解点検 頻度	4Y	6Y	「その他」	保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと及び過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価し、分解点検の頻度を「4Y」から「6Y」に変更する。	①	
59	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (燃料取扱設備) 使用済燃料運搬用容器 (NFT-1 4 P型 2 2号機)	保全重要度 点検及び試験の項目 頻度	— — —	高 外観点検 1F	「その他」	使用前検査合格を受け、点検計画を策定した。	使用済燃料運搬用容器について、外観点検を「1F」の頻度で実施する。	—	
60	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (燃料取扱設備) 使用済燃料運搬用容器 (NFT-1 4 P型 2 3号機)	保全重要度 点検及び試験の項目 頻度	— — —	高 外観点検 1F	「その他」	使用前検査合格を受け、点検計画を策定した。	使用済燃料運搬用容器について、外観点検を「1F」の頻度で実施する。	—	

※点検頻度の変更に適用した評価方法
 ①点検及び取替結果の評価
 ②劣化トレンドによる評価
 ③類似機器等のベンチマークによる評価
 ④研究成果等による評価

3. 設計及び工事の計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容		評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		設計及び工事の計画 (設計及び工事の計画の認可又は届出 対象工事又はその主要工事)		インプット 情報の項目	事象の概要	評価内容		
1	特定重大事故等対処施設	特定重大事故等対処施設設置工事					「通達等の文書」	実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則第53条に規定される特定重大事故等対処施設を設置する。
2	重大事故等対処設備 非常用電源設備	常設直流電源設備（3系統目）設置工事		「通達等の文書」	実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則第72条第2項に規定される常設の直流電源設備を設置する。	第14回定期事業者検査において、常設直流電源設備（3系統目）を設置工事を実施する。		
3	その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備) 非常用ディーゼル発電機	非常用DG高エネルギーアーク損傷対策工事		「通達等の文書」	高エネルギーアーク放電による非常用ディーゼル発電機に接続される電気盤の損傷の拡大を防止するために必要な措置を講じる。	第14回定期事業者検査において、非常用DG高エネルギーアーク損傷対策工事を実施する。		
4	放射線管理施設 (放射線管理用計測装置) エリア・プロセスモニタ	放射線監視装置点検		「その他」	高感度主蒸気管モニタ等の放射線監視装置の検出器について、予防保全の観点から取替えを実施する。	第14回定検において、高感度主蒸気管モニタ等の検出器の取替えを実施する。	GM4-77 放射線監視装置機能検査	
5	蒸気タービン (蒸気タービンに附属する管等) 低温再熱蒸気管	低温再熱蒸気管取替工事		「その他」	配管の減肉が確認されたため、減肉箇所の配管の取替えを実施する。	第14回定検において、減肉箇所の配管の取替えを実施する。	GM4-127 2次系配管検査	
6	計測制御系統施設 (その他設備) 炉外核計測装置	炉外中性子束検出器修繕工事		「その他」	炉外中性子束検出器（中性子源領域、中間領域、出力領域）について予防保全の観点から取替えを実施する。	第14回定検において、炉外中性子束検出器の取替えを実施する。	GM4-106 核計装設備検査	

保全活動管理指標の実績

1. プラントレベル (評価対象期間: 2020年8月1日~2021年12月31日)

項目	目標値	実績値
計画外自動・手動トリップ回数	1回/7000臨界時間未満	0回
計画外出力変動回数	2回/7000臨界時間未満	0回
工学的安全施設の 計画外作動回数	1回未満	0回

2. 系統レベル (MPFFF回数評価対象期間: 2020年8月1日~2021年12月31日, U時間評価対象期間: 2019年5月1日~2021年12月31日) ※評価対象期間で変更があった系統については、備考欄に示す。

系統名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFFF回数)		実績	非待機時間 (U, A時間)		備考
		目標値	実績		目標値	実績	
1次冷却材系統	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能 (PS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---
	原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---
	原子炉圧力上昇の緩和機能 (MS-3)	<2回/サイクル	0回/サイクル	0時間/2サイクル/基	---	---	---
	安全弁及び逆止弁の吹止まり機能 (PS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	---
化学体積制御系統	異常状態の検知機能 (MS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	0時間/2サイクル/基	---	---	---
	事故時のプラント状態の把握機能 (PM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	---
	本線昇降機機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	系統非通過時以外 0時間/2サイクル	---	---	系統非通過時以外 0時間/2サイクル
	原子炉冷却材を内蔵する機能 (ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口径のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く) (PS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	---
安全注入系統	異常状態の検知機能 (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	0時間/2サイクル/基	---	---	---
	事故時のプラント状態の把握機能 (PM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	---
	中心冷却機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	【高圧注入系】 Aトレイ 0時間/2サイクル Bトレイ 0時間/2サイクル 【密圧注入系】 Aトレイ 0時間/2サイクル/基	---	---	---
	本線昇降機機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイ 0時間/2サイクル Bトレイ 0時間/2サイクル	---	---	Aトレイ 0時間/2サイクル Bトレイ 0時間/2サイクル
余熱除去系統	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイ 0時間/2サイクル Bトレイ 0時間/2サイクル	---	---	Aトレイ 0時間/2サイクル Bトレイ 0時間/2サイクル
	原子炉停止後の除熱機能、中心冷却機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイ 0時間/2サイクル Bトレイ 0時間/2サイクル	---	---	Aトレイ 0時間/2サイクル Bトレイ 0時間/2サイクル
	事故時のプラント状態の把握機能 (PM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	---
	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	---
原子炉格納容器スプレイ系統	中心冷却機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイ 0時間/2サイクル Bトレイ 0時間/2サイクル	---	---	Aトレイ 0時間/2サイクル Bトレイ 0時間/2サイクル
	原子炉冷却材を内蔵する機能 (ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口径のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く) (PS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	---
	事故時のプラント状態の把握機能 (PM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	---
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイ 0時間/2サイクル Bトレイ 0時間/2サイクル 【より蒸気発生品タンク】 0時間/2サイクル	---	---	Aトレイ 0時間/2サイクル Bトレイ 0時間/2サイクル 【より蒸気発生品タンク】 0時間/2サイクル
原子炉補機冷却水系統	事故時のプラント状態の把握機能 (PM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	---
	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイ 0時間/2サイクル Bトレイ 0時間/2サイクル	---	---	Aトレイ 0時間/2サイクル Bトレイ 0時間/2サイクル
	事故時のプラント状態の把握機能 (直接関連系) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	---
	事故時のプラント状態の把握機能 (PM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	---	---

系統名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFF回数)		非待機時間 (U A 時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
制御用空気系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <1時間/2サイクル Bトレイン <1時間/2サイクル	Aトレイン 4時間/19分/サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	プラント運営運転中の制機回機にて4人組用空気圧縮機を起動したところ、潤滑油圧力低警報発信により自動停止したこと から、非待機時間をカウントした
		<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
燃料取替用水系統	燃料取替用水の補給機能 (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	【燃料取替用水ピット】 <1時間/2サイクル 【燃料取替用水ピット以外】 <240時間/2サイクル	【燃料取替用水ピット】 0時間/2サイクル 【燃料取替用水ピット以外】 0時間/2サイクル	
		<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
燃料取替設備	燃料を安全に取り扱う機能 (FS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
燃料取替設備 (格納容器系排気系)	燃料を安全に取り扱う機能 (FS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
排気空調設備 (排気)	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
排気空調設備 (安全箱機室空気浄化系)	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル トレイン共通、2トレイン同時故障 <72時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル トレイン共通、2トレイン同時故障 0時間/2サイクル	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
排気空調設備 (安全箱機室冷却系)	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
排気空調設備 (安全箱機室排気系)	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <8時間/2サイクル Bトレイン <8時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
排気空調設備 (中間機室排気系)	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	
		<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	

系統名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFF回数)		非待機時間 (U A 時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
換気空調設備 (補助送風機換気系)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<20時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
換気空調設備 (ほう電ポンプ室空調系)	采掘界維持機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	
換気空調設備 (中央制御室空調系)	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル Cトレイン 0時間/2サイクル Dトレイン 0時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル Cトレイン 0時間/2サイクル Dトレイン 0時間/2サイクル	中央制御室空調ユニットR/F取替に伴い、当該系機器を隔離したことから非待機時間をカウントした。
換気空調設備 (中央制御室常用種設備)	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル Cトレイン 0時間/2サイクル Dトレイン 0時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル Cトレイン 0時間/2サイクル Dトレイン 0時間/2サイクル	中央制御室空調ユニットR/F取替に伴い、当該系機器を隔離したことから非待機時間をカウントした。
空調用冷水系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	
炉内構造物	炉心形状の維持機能 (炉心支持機能) (PS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
燃料集合体及び燃料燃料中心構成品	炉心形状の緊急停止機能 (炉排枠クランプ室内機能) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
原子炉格納容器	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (原子炉格納容器バウンダリ機能) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<14時間/2サイクル/炉 <2時間/2サイクル/炉	0時間/2サイクル/炉 0時間/2サイクル/炉	
1次系ポンプリング系統	事故時のプラント状態の把握機能 (1次系母材はる業濃度ポンプリング機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
主蒸気及び再熱蒸気系統 (SG~高圧タービン)	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	【主蒸気安全弁】 <6時間/2サイクル/基 【主蒸気隔離弁】 <8時間/2サイクル/基 【主蒸気遮断弁】 <168時間/2サイクル/基	【主蒸気安全弁】 0時間/2サイクル/基 【主蒸気隔離弁】 0時間/2サイクル/基 【主蒸気遮断弁】 0時間/2サイクル/基	
給水系統 (HPHt~SG)	異常状態の検知機能 (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	<8時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
補助給水系統	原子炉停止後の除熱機能 (補助給水による除熱機能) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	【W補助給水ポンプ】 <240時間/2サイクル 【W補助給水ポンプAトレイン】 <240時間/2サイクル 【W補助給水ポンプBトレイン】 <240時間/2サイクル 【W補助給水ポンプCトレイン】 <168時間/2サイクル	【W補助給水ポンプ】 0時間/2サイクル 【W補助給水ポンプAトレイン】 0時間/2サイクル 【W補助給水ポンプBトレイン】 0時間/2サイクル 【W補助給水ポンプCトレイン】 0時間/2サイクル	
SGプロローグダウン及びポンプリング系統	事故時のプラント状態の把握機能 (DWH機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	<72時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	

系統名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFF回数)		非待機時間 (U A 時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
海水系統	安全上特に重要な潤滑機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	
	安全上特に重要な潤滑機能 (潤滑潤滑系) (MS-3)	<2回/サイクル	0回/サイクル	<2回/サイクル	0時間/2サイクル	
	安全上特に重要な潤滑機能 (精製提供系) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	<2回/サイクル	---	
	安全上特に重要な潤滑機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
	安全上特に重要な潤滑機能 (非常用母線) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<8時間/2サイクル/母線	0時間/2サイクル/母線	
主線線図 (M/C、P/C)	母線の保護・計量機能 (非常用母線計器用変圧器・変流器) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<6時間/2サイクル/チャンネル	0時間/2サイクル/チャンネル	
	安全上特に重要な潤滑機能 (精製提供系) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
主線線図 (R/C)	安全上特に重要な潤滑機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<8時間/2サイクル/母線	0時間/2サイクル/母線	
	安全上特に重要な潤滑機能 (安全系への無停電交流電源の供給) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<2時間/2サイクル/母線	0時間/2サイクル/母線	
計量用電源系統	安全上特に重要な潤滑機能 (安全系への直流電源の供給) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	【原形機】 <2時間/2サイクル/母線 【新機】 <240時間/2サイクル/基 【新機】 <240時間/2サイクル/基 【新機】 <2時間/2サイクル/基	【原形機】 0時間/2サイクル/母線 【新機】 0時間/2サイクル/基 【新機】 0時間/2サイクル/基	
	安全上特に重要な潤滑機能 (精製提供系) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
電磁存用電源系統	安全上特に重要な潤滑機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<2時間/2サイクル/母線	0時間/2サイクル/母線	
	安全上特に重要な潤滑機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<6時間/2サイクル/チャンネル	0時間/2サイクル/チャンネル	
所内保護・計量設備	安全上特に重要な潤滑機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<6時間/2サイクル/チャンネル	0時間/2サイクル/チャンネル	
	工学的安全施設及び原子炉停止系の作動信号の発生機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<2時間/2サイクル/基	---	
制御停機装置 (機械系)	過剰反応速度の増加防止機能 (PS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
	原子炉の緊急停止機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
制御停機装置 (電気系)	本線界線機能 (原子炉停止系のうち制御体による系の直接潤滑系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
	原子炉の緊急停止機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	【原子炉トリップ潤滑機】 <1時間/2サイクル/トレイン	【原子炉トリップ潤滑機】 0時間/2サイクル/トレイン	
ディーゼル発電機始動用空気系統	制御時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
	安全上特に重要な潤滑機能 (ディーゼル機関の始動用空気系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
	安全上特に重要な潤滑機能 (ディーゼル機関の燃料油系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
	安全上特に重要な潤滑機能 (ディーゼル機関の潤滑油系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	0時間/2サイクル/基	
ディーゼル発電機冷却水系統	安全上特に重要な潤滑機能 (ディーゼル機関の冷却水系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	Aトレイン 0時間/2サイクル Bトレイン 0時間/2サイクル	

系統名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFF回数)		非待機時間 (U A 時間)	実績	備考
		目標値	実績			
重大事故等対処設備	蒸気発生部2次側による炉心冷却(圧入)をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
	蒸気発生部2次側による炉心冷却(蒸気放出)をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<72時間/2サイクル	0時間/2サイクル	
	水素燃焼による原子炉格納容器の破損を防止するための設備 (SA-3)	<1回/サイクル	0回/サイクル	水素濃度低減 燃料温度低減 水素燃焼抑制 <720時間/2サイクル	水素濃度低減 燃料温度低減 水素燃焼抑制 0時間/2サイクル	
	水素燃焼による原子炉周辺建屋等の損傷を防止するための設備 (SA-3)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<1回/サイクル	0時間/2サイクル	
	使用済燃料ピットの処理等のための設備 (SA-3)	<1回/サイクル	0回/サイクル	---	---	
	発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための設備 (SA-3)	<1回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル	0時間/2サイクル	
	重大事故等の発生に必要な水の供給設備 (SA-2)	<2回/サイクル	0回/サイクル	中間受槽、取水用水中ポンプ、 復水タンク (ヒート) 補給用水中ポンプ 燃料取扱用ホット、復水ピット <72時間/2サイクル	中間受槽、取水用水中ポンプ、 復水タンク (ヒート) 補給用水中ポンプ 燃料取扱用ホット、復水ピット 0時間/2サイクル	
	電源設備 (SA-3)	<1回/サイクル	0回/サイクル	電源設備 <720時間/2サイクル 重大事故等対処用圧入受槽 重大事故等対処用圧入設備 <240時間/2サイクル 燃料油貯蔵タンク、タンクローリ <48時間/2サイクル	電源設備 0時間/2サイクル 重大事故等対処用圧入受槽 重大事故等対処用圧入設備 0時間/2サイクル 燃料油貯蔵タンク、タンクローリ 0時間/2サイクル	
	計測設備	<1回/サイクル	0回/サイクル	<720時間/2サイクル 記録機能 ---	0時間/2サイクル 記録機能 ---	
	中央制御室	<1回/サイクル	0回/サイクル	中央制御室非常用電源系 <240時間/2サイクル 可搬型照明 燃料温度計、酸化炭素濃度計 <240時間/2サイクル	中央制御室非常用電源系 <240時間/2サイクル 可搬型照明 燃料温度計、酸化炭素濃度計 0時間/2サイクル	
	通信連絡を行うために必要な設備	<2回/サイクル	0回/サイクル	<240時間/2サイクル	0時間/2サイクル	

添付書類七 定期事業者検査の判定方法(一定の期間に限る)を変更した場合の実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第五十六条第三項各号の事項について

1. 定期事業者検査の判定方法(一定の期間に限る)の変更

なし